

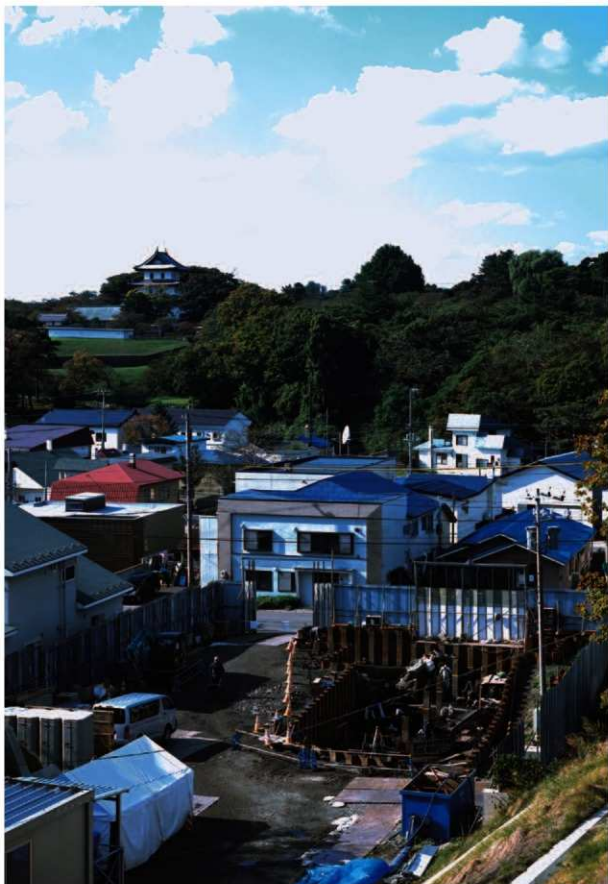
松前町

福山城下町遺跡

—町道朝日豊岡線代行事業改良工事に関わる埋蔵文化財発掘調査報告書—

平成23年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター



調査区全景

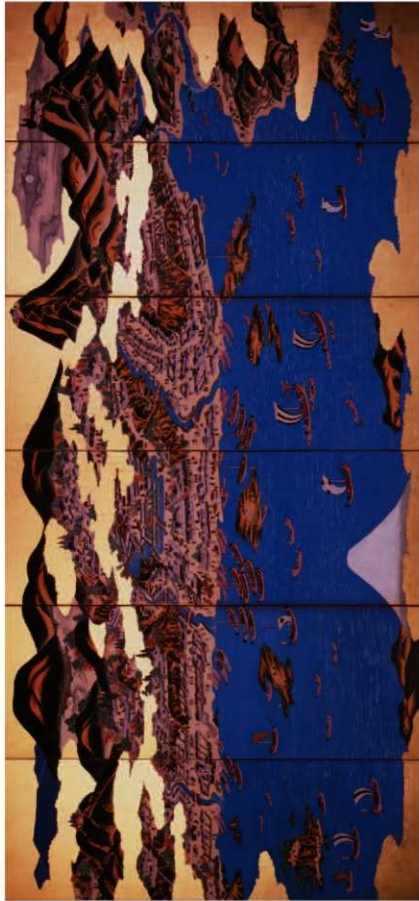
口絵2



松前屏風

松前町郷土資料館所蔵

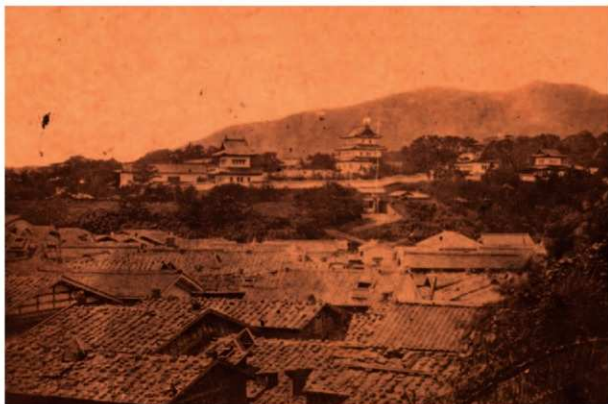
口絵3



松前・江差屏風中の松前分

写真所蔵：函館市中央図書館

口絵 4



江戸時代の福山城（慶応3年）

函館市中央図書館所蔵



現在の福山城（平成23年）



蔵 2



寛永通寶



漆塗下駄 (樽 3)



漆塗片口椀 (土坑 2)

口絵 6



石廟の屋根（炉1）



装身具・化粧道具

例 言

- 1 本書は、町道朝日豊岡線代行事業改良工事に関わる埋蔵文化財発掘調査工事に伴い財団法人北海道埋蔵文化財センターが平成22年に松前町福山城下町遺跡で実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書である。
- 2 本書は、平成22～23年度調査成果を収録した。
- 3 調査・整理は当財団第1調査部第2調査課が担当した。同課の鈴木 信・菊池慈人・山中文雄が調査・整理業務を担当し、その指示のもと臨時職員が作業にあたった。
- 4 現場における遺構図・土層図などの作図は菊池・山中が、整理業務は鈴木・菊池・山中が従事し、その指示のもと臨時職員も作業にあたった。
- 5 調査写真・写真図版の編集は菊池慈人が担当した。
- 6 遺物整理は、陶磁器等・金属製品を鈴木が、漆製品・木製品を菊池が、自然遺物・土壌を山中が担当し、臨時職員が従事した。
- 7 鉄製品・非鉄金属製品の保存処理と一部の成分分析を岩手県立博物館、木製品の樹種同定・保存処理・実測・写真の一部を元興寺文化財研究所・東都文化財研究所、石材分析を榎ハリノ・サーヴェイ、樽内土壌・漆喰・泥炭・粘土分析・微細動植物遺存体種同定は榎パレオ・ラボに委託した。
- 8 放射性炭素年代測定は榎加速器分析研究所に委託した。
- 9 委託した自然科学的分析【VI章】はDVD-ROMに収録し添付した。
- 10 本書の執筆は鈴木・菊池・山中が分担し、文責は各項目文末に示した。編集はI～V章を鈴木、VI章を鈴木・菊池・山中が行った。
- 11 調査の実施にあたり下記の諸機関・諸氏の御教示・御協力をいただいたことを記して感謝する。
北海道渡島総合振興局函館建設管理部松前出張所知内事業所、松前町教育委員会、赤沼英男、石崎俊哉、大橋康二、垣内光次郎、北田仁司、久保 泰、栗山雅夫、佐藤雄生、鳥影社憲、田邊朋宏、平山わた、前田正憲

(五十音順)

記号等の説明

1 遺構図について

- (1) 縮尺は20～60分の1で、全ての図にスケールを付けてある。
- (2) 平面図の方位は座標北を表す。
- (3) 平面図の「+」はグリッドラインの交点を表す。
- (4) 平面図の「・」付き小アラビア数字は、その地点の標高(単位m)を表す。
- (5) 立面図・断面図の水糸レベルの単位はmである。
- (6) 破線は隠れた部分を表し、鎖線は推定であることを表す。
- (7) 焼土や木材が焼け焦げている部分等は、網伏せして示してある。
- (8) 木・石の断面は、ハッチングして立面と区別してある(礎石を除く)。

2 遺物図について

- (1) 遺物図の縮小率は頁内に縮尺・縮率数値で示す。
- (2) 遺物図下の太ゴシックアラビア数字は掲載番号であり、太ゴシックアラビア数字の前置する小文字アルファベットは、aは磁器、bは陶器、cは土器を表す。同一太ゴシックアラビア数字に後置する小文字アルファベットは同一個体を表す。本文中の太ゴシックアラビア数字も掲載番号である。

3 図版について

- (1) 遺物写真の右下のゴシックアラビア数字は図掲載番号を示す。

目 次

口	絵
例	言
記号等の説明	
目	次

I	緒言	
1	調査要項	1
2	調査にいたる経緯	1
3	調査の経過	2
4	調査・報告書の概要	2
II	調査の方法	
1	調査範囲	3
2	掘削など	4
3	測量と記録	5
4	資料整理	5
5	保存処理など	6
III	遺跡の環境	
1	位置	7
2	周辺の遺跡	9
3	地層	10
IV	遺構	
1	概要	13
2	蔵	14
3	溝	15
4	礎石列	17
5	掘立柱列	19
6	井戸	19
7	樽	20
8	木枠	22
9	柵	22
10	石組	22
11	配石	22
12	礫集中	22
13	土坑	24

14	炉	24
15	灰集中	25
	写真図版(調査・遺構)	

V 遺物

1	概要	89
2	陶磁器・土器、土陶磁製品	89
3	鉄製品・非鉄製品	91
4	骨角製品など	95
5	石器・石製品	95
6	木製品	95
7	動植物遺存体	99
	写真図版(木製品・墨書文字・動植物遺存体)	

VI 自然科学的分析

1	福山城下町遺跡における放射性炭素年代(加速器分析研究所)
2	福山城下町遺跡における樽内堆積物の分析(パレオ・ラボ)
3	福山城下町遺跡における出土金属器の金属考古学的調査結果 —近世アイヌ文化期における金属器の再利用—(岩手県立博物館 赤沼英男)
4	福山城下町遺跡における岩石試料の産地同定等(バリノ・サーヴェイ)
5	福山城下町遺跡における木製品の樹種同定(1)・塗膜分析(元興寺文化財研究所)
6	福山城下町遺跡における木製品の樹種同定(2)(バリノ・サーヴェイ)
7	福山城下町遺跡における木製品の樹種同定(3)(菊池慈人)
8	福山城下町遺跡における漆塗製品から採取した漆膜の放射性炭素年代 (名古屋大学年代測定総合研究センター 中村俊夫・元興寺文化財研究所 山田哲也)
9	福山城下町遺跡における炭化種実同定(パレオ・ラボ)
10	福山城下町遺跡における「蔵2」漆喰の分析(パレオ・ラボ)
11	福山城下町遺跡における泥炭層の年代および泥炭層から出土した珪藻化石と花粉化石 (パレオ・ラボ)
12	福山城下町遺跡における「蔵2」石垣接合部粘土の分析(パレオ・ラボ)
13	福山城下町遺跡における動物遺存体同定(パレオ・ラボ)

挿図目次

II 調査の方法			
図II-1 発掘区の設定(1)	3	図IV-23 Ⅲ層礎石列(2)、Ⅲ層掘立柱列(2)	48
図II-2 発掘区の設定(2)	4	図IV-24 井戸1	49
III 遺跡の環境		図IV-25 井戸2・3	50
図III-1 遺跡の位置(1)	7	図IV-26 井戸4・5	51
図III-2 遺跡の位置(2)	8	図IV-27 榑1~3	52
図III-3 松前分間絵図	8	図IV-28 榑4~6	53
図III-4 江差松前屏風園	9	図IV-29 榑7・8	54
図III-5 土層柱状模式	10	図IV-30 木枠1	55
図III-6 分析試料採取位置(1)	11	図IV-31 榑1、石組1、配石1・2	56
図III-7 分析試料採取位置(2)	12	図IV-32 礎集中1~3	57
図III-8 火山ガラスの化学組成値分布	12	図IV-33 礎集中4~7	58
IV 遺構		図IV-34 礎集中8、土坑1・2	59
図IV-1 遺構位置図(1)	26	図IV-35 土坑3~5、炉1・2(1)、石組2(1)	60
図IV-2 遺構位置図(2)	27	図IV-36 炉1・2(2)、石組2(2)	61
図IV-3 調査区土層断面(1)	28	図IV-37 炉1・2(3)、炉3	62
図IV-4 調査区土層断面(2)	29	図IV-38 炉4~7、灰集中1	63
図IV-5 蔵1・溝1(1)	30	V 遺物	
図IV-6 蔵1・溝1(2)	31	図V-2-1~23 磁器(1)~(23)	101~123
図IV-7 蔵1・溝1(3)	32	図V-2-24~61 陶器(1)~(38)	124~161
図IV-8 蔵1・溝1(4)	33	図V-2-62~65 土器(1)~(4)	162~165
図IV-9 蔵2・溝2(1)	34	図V-2-66~70 土陶磁製品(1)~(5)	
図IV-10 蔵2・溝2(2)	35		166~170
図IV-11 蔵2・溝2(3)	36	図V-3-1 小刀分類	91
図IV-12 蔵2・溝2(4)	37	図V-3-2 釘分類	91
図IV-13 溝3	38	図V-3-3 煙管分類	92
図IV-14 溝4	39	図V-3-4 銭計測	93
図IV-15 溝5	40	図V-3-5~14 鉄製品(1)~(10)	
図IV-16 I層礎石列(1)	41		171~180
図IV-17 I層礎石列(2)	42	図V-3-15~24 非鉄製品(1)~(14)	
図IV-18 I層礎石列(3)	43		181~194
図IV-19 II層礎石列(1)	44	図V-4-1 骨角製品	195
図IV-20 II層礎石列(2)	45	図V-5-1~7 石器・石製品(1)~(7)	
図IV-21 II層礎石列(3)	46		196~202
図IV-22 Ⅲ層礎石列(1)、Ⅲ層掘立柱列(1)	47	図VI-1~50 木製品(1)~(50)	203~252

表目次

III 遺跡の環境			
表III-1 火山ガラスの化学組成	12	表V-2-2 磁器遺構破片集計(1)	253
IV 遺構		表V-2-3 磁器遺構破片集計(2)	254
表IV-1 遺構一覧	64	表V-2-4 磁器蔵2包含層扱い破片集計	254
V 遺物		表V-2-5 磁器包含層破片集計(1)	255
表V-2-1 器種分類	90	表V-2-6 磁器包含層破片集計(2)	256
		表V-2-7 陶器遺構破片集計	257
		表V-2-8 陶器蔵2包含層扱い破片集計	257
		表V-2-9 陶器包含層破片集計	257

表V-2-10	陶磁器遺構個体集計(1).....	258
表V-2-11	陶磁器遺構個体集計(2).....	259
表V-2-12	土器個体破片集計.....	259
表V-2-13	陶磁器蔵2包含層扱い個体集計.....	259
表V-2-14	陶磁器含層個体集計.....	260
表V-2-15	磁器観察(1).....	261
表V-2-16	磁器観察(2).....	262
表V-2-17	磁器観察(3).....	263
表V-2-18	磁器観察(4).....	264
表V-2-19	磁器観察(5).....	265
表V-2-20	陶器観察(1).....	266
表V-2-21	陶器観察(2).....	267
表V-2-22	陶器観察(3).....	268
表V-2-23	陶器観察(4).....	269
表V-2-24	土器観察.....	269
表V-2-25	磁器・陶器・土器規格(1).....	270
表V-2-26	磁器・陶器・土器規格(2).....	271
表V-2-27	磁器・陶器・土器規格(3).....	272
表V-2-28	土陶磁器接合表(1).....	273
表V-2-29	土陶磁器接合表(2).....	274
表V-2-30	土陶磁器接合表(3).....	275
表V-2-31	土陶磁器接合表(4).....	276
表V-2-32	土陶磁器接合表(5).....	277
表V-2-33	土陶磁器接合表(6).....	278
表V-2-34	土陶磁器接合表(7).....	279
表V-2-35	土陶磁器接合表(8).....	280
表V-2-36	土陶磁器接合表(9).....	281
表V-2-37	焼継ぎ・接継ぎ・墨書集計.....	281
表V-2-38	土陶磁器石製品の遺構と蔵2包含層扱い と包含層破片集計.....	282

表V-2-39	土陶磁製品観察.....	283
表V-2-40	土陶磁製品接合.....	283
表V-3-1	煙管部位相関.....	93
表V-3-2	銭細分類(1).....	94
表V-3-3	銭細分類(2).....	94
表V-3-4	銭細分類集計.....	95
表V-3-5	鉄・非鉄製品遺構破片集計.....	284
表V-3-6	鉄製品包含層と蔵2包含層扱い破片集計.....	285
表V-3-7	非鉄製品包含層と蔵2包含層扱い破片集計.....	286
表V-3-8	鉄製品観察(1).....	287
表V-3-9	鉄製品観察(2).....	288
表V-3-10	非鉄製品観察(1).....	289
表V-3-11	非鉄製品観察(2).....	290
表V-3-12	鉄製品接合.....	291
表V-3-13	非鉄製品接合.....	292
表V-4-1	骨角製品観察.....	293
表V-4-2	骨角製品接合.....	293
表V-5-1	石器・石製品観察.....	293
表V-5-2	石器・石製品接合.....	293
表V-6-1	~4 木製品観察(1)~(4).....	294~297
表V-6-5	6 木製品集計(1)・(2).....	298~299
表V-6-7	樹種別集計.....	300
表V-7-1	出土動物遺存体分類.....	100
表V-7-2	貝類集計.....	301
表V-7-3	脊椎動物集計.....	302

写真図版目次

IV 遺構		
図版IV-1	準備状況(1).....	65
図版IV-2	準備状況(2)・調査開始.....	66
図版IV-3	調査状況(1).....	67
図版IV-4	調査状況(2).....	68
図版IV-5	蔵1・溝1.....	69
図版IV-6	蔵2.....	70
図版IV-7	蔵2・溝2.....	71
図版IV-8	溝3-5.....	72
図版IV-9	礎石建物.....	73
図版IV-10	井戸1・2・5.....	74
図版IV-11	樽1-4.....	75
図版IV-12	樽5-8.....	76
図版IV-13	木枠1・柵1.....	77
図版IV-14	石組1・2、配石1・2、礎集中1・2.....	78
図版IV-15	礎集中3-8.....	79

図版IV-16	灰集中1・土坑1-5.....	80
図版IV-17	竈1.....	81
図版IV-18	竈2-5・7.....	82
図版IV-19	陶磁器出土状況.....	83
図版IV-20	鉄・非鉄製品出土状況.....	84
図版IV-21	木製品出土状況(1).....	85
図版IV-22	木製品出土状況(2).....	86
図版IV-23	木製品出土状況(3).....	87
図版IV-24	木製品出土状況(4)・低湿度完掘状況.....	88

V 遺物

図版V-1	~36 木製品(1)~(36).....	303~338
図版V-37	陶磁器墨書.....	339
図版V-38	~40 動物遺存体(1)~(3).....	340~342

I 緒言

1 調査要項

事業名 町道朝日豊岡線代行事業改良工事に関わる埋蔵文化財発掘調査工事
 事業委託者 北海道渡島総合振興局函館建設管理部松前出張所知内事業所
 事業受託者 財団法人北海道埋蔵文化財センター
 遺跡名 福山下町遺跡（北海道教育委員会登録番号：B-02-29）
 所在地 北海道松前町字福山92-8、93-3
 調査期間 平成22年8月16日～平成24年3月30日（発掘期間：平成22年8月16日～12月17日）
 調査面積 277m²
 調査整理体制

（平成22・23年度）

第一調査部	部長	千葉英一
第一調査部第2調査課	課長	鈴木 信（発掘担当者）
第一調査部第2調査課	主査	菊池慈人（発掘担当者）
第一調査部第2調査課	主任	山中文雄（発掘担当者）
第一調査部第1調査課	課長	田口 尚

2 調査にいたる経緯

福山下町遺跡は、道道松前港線改良工事にかかわる埋蔵文化財包蔵地所在調査の結果、平成17年に周知の遺跡となる。遺跡の範囲は、唐津内沢川左岸から大松前川左岸の沖積地～浜地、字名では「唐津」「松城」「福山」に当たる（当センター調査範囲は、周知範囲の東部、大松前川左岸に位置する）。

北海道渡島総合振興局が計画・実施している「町道朝日豊岡線代行事業改良工事」にかかわる記録保存を目的とした発掘調査は、起点側については平成13年度～平成16年度の調査・整理（東山遺跡）が松前町教育委員会によって行われている。詳細は松前町教育委員会「東山遺跡」（2005.3刊行）。

終点側の字福山の包蔵地については、平成21年5月に実施された北海道教育委員会による範囲確認調査により、やむをえない場合は記録保存を目的とした発掘調査が必要であり、深度のある低湿地性遺跡であるため、それに伴う準備工・付帯工には十分な配慮が必要である旨、北海道渡島総合振興局に伝えられた。渡島総合振興局は平成21年内に発掘調査を終わらせて、道路本体工事を継続させることが困難であることから、工事計画の変更が不可避と判断した。

以上の経緯から、平成22年3月に北海道教育委員会が財団法人北海道埋蔵文化財センターに300m²を指示（後に270m²に指示変更、最終面積は277m²）、平成22年3月に財団法人北海道埋蔵文化財センターは調査実施を受託し、調査計画を立案した（当初計画では調査期間は2ヵ年度に亘る6ヵ月・整理報告3ヵ年度に亘る29ヵ月であったが、代替事業が2ヵ年で終了することから、契約時には調査期間1ヵ年度の内5ヵ月・整理報告2ヵ年度に亘る16ヵ月となる）平成22年7月に北海道渡島総合振興局と契約を交わし、同月に北海道教育委員会から発掘調査についての通知があり、平成22年8月に発掘調査・整理、平成24年3月まで整理・報告を行なった。

3 調査の経過

(1) 発掘等経過

平成22年6月29日～8月12日：鋼欠板仕切工事（渡島総合振興局発注）

平成22年7月13日～7月29日：作業員募集と面接・発掘機材調達

平成22年8月16日～8月20日：プレハブ設置、水道・電気工事、ベルトコンベアー・釜場・排土場設置、重機による近現代層除去、基準杭・方眼杭打設、

平成22年8月30日～12月7日：遺物包含層と遺構調査の実施

平成22年11月5日～11月6日：切梁・腹起し敷設工事（渡島総合振興局発注）、5日は調査中止

平成22年11月9日～11月17日：上屋架工、サーチライト設置

平成22年12月7日で発掘終了（277m²）

平成22年12月8日～17日：木製品・土壌水洗、遺物搬出、プレハブ・設備解体、帰センター。

(2) 整理経過

平成22年度：12月20日から整理作業開始、遺物注記・破片接合・遺構素図作成・写真整理、木製品・金属製品保存処理など委託。

平成23年度：4月11日から実測・墨入れ、図版製作、写真撮影、木製品・金属製品保存処理など委託。石材分析・年代測定などの成果を得る。また、6月1日には石狩市に木製品保存処理作業を開設する。そして、報告書「松前町 福山城下町跡」（北埋調報290集）を刊行した。

4 調査・報告書の概要

遺構数は、蔵2棟、溝5条、礎石列17列、掘立柱列1列、井戸5基、樽8基、木枠1組、榎1基、石組2か所、配石2か所、礎集中8か所、土坑5基、炬7か所、灰集中1か所である。遺物量は土器・陶磁器25906点（計画点数の2.3倍）、土陶磁製品362（計画点数の362倍）、金属製品等3,043点（計画点数の3.3倍）、石器・石製品153点（計画点数の153倍）、骨角製品18点（計画点数の18倍）、木製品9,391点（計画点数の1.6倍）、動植物遺存体800点（計画点数の800倍）である。時期は16世紀中葉～19世紀中葉である。

本書は、平成22年度に調査した松前町福山城下町遺跡の報告を行う。遺構と陶磁器・金属製品・木製品等の遺物、自然科学的分析について報告する。I章では、調査に至る経緯とこれまでの調査の経過について説明する。II章では、当遺跡の調査の工程を概説、調査方法と遺物や図面・写真などの記録類の取り扱いについて説明する。III章では、遺跡の位置・立地とその環境について触れる。IV章では遺構について、V章では遺物に対する事実報告する。VI章では自然科学的分析による報告を掲載する。写真図版では現地調査における調査状況や土層・各遺構の状況、出土した木製品などを掲載する。

（鈴木）

II 調査の方法

1 調査範囲

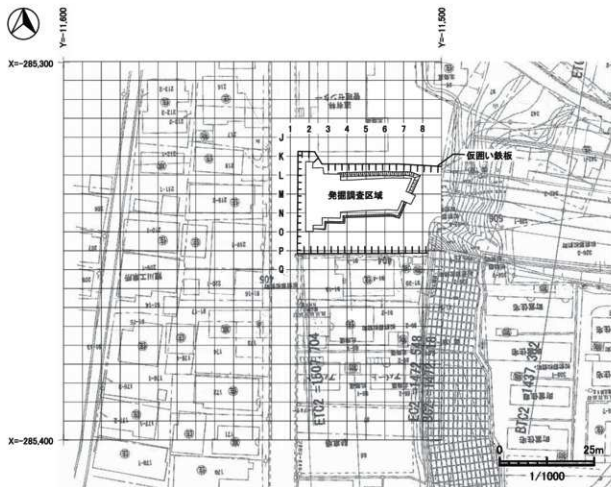
(1) 発掘区の設定

a 方格組みおよび座標

発掘区の設定には以下の条件があった。この遺跡は、城下町という性格を有するので松前町内のほぼ全域に広がる可能性があること、町道蔵町線が近世城下の町割を踏襲している可能性が高いことである。

上述より、工事路線中心線を用いないこと、遺跡のうち調査対象区域の東西中央軸（Mライン）・南北基線（1ライン）が平面直角座標系第X I系の第1位が5の倍数に当たること、の2点に基づき、方格設定の原点は1ライン:Y=-11,540、Aライン:X=-285,275を選定した（図II-1・2）。

方格間隔は、方格杭打設の経費節減、調査面積累計把握の容易さを考慮して5mに設定した。それぞれの区画線にアルファベット（北→南方向）と数字（西→東方向）を与え、発掘区（グリッド）の呼称は、方眼の北西角で交差する区画線を読む。さらに、5m方眼を25m四方に分割して、反時計回りに北西角から「a」・「b」・「c」・「d」と呼ぶ小発掘区（小グリッド）を設置し、遺物取り上げな



図II-1 発掘区の設定 (1)

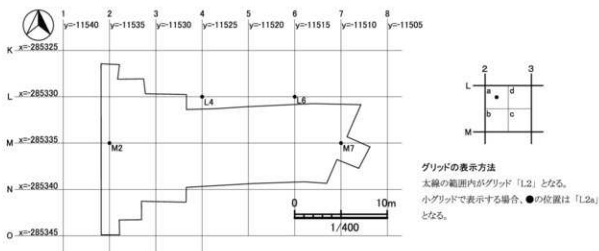


図 II-2 発掘区の設定 (2)

どの便宜を図った。

調査着手に当たっては株式会社小林土木工業所に委託し、3級基準点4ヶ所の測量を行い、基準杭を4ヶ所設置し座標値と標高を得た。これを基本杭として5m方眼杭の打設を行った。なお、調査に必要な5m方格杭は、その都度自ら打設することがあった。

打設された基準杭平面直角座標は以下である。

L 4 : X = -285,330.000, Y = -11,525.000 L 6 : X = -285,330.000, Y = -11,515.000

M 2 : X = -285,335.000, Y = -11,535.000 M 7 : X = -285,335.000, Y = -11,510.000

b 水準点

水準点は調査区・用地内に打設された基準杭を使用した。

L 4 : 9.301m, L 6 : 8.290m, M 2 : 7.765m, M 7 : 7.581m

2 掘削など

(1) 準備

遺跡は調査深度があること（標高4.00m、地表高との比高4.00m位）、東側の段丘崖からの差し水が想定されたことから、腹越・切梁を付加した鋼矢板（長さ：5.5m～11.0m×巾：0.4m）で調査区を囲い、2インチポンプで常時排水を行い、1インチポンプで適宜排水し、濁水処理槽を設置した。遺構は泥炭質・粘質土壌に包埋されており、金属・木製品などの脆弱遺物がある。また、夏秋季には乾燥によるひび割れ・降雨による泥化、冬季には凍結・降雪ある。そのため、夏秋季には調査区に1インチ小型ポンプでの適宜排水・ブルーシートなどをかけるなど降雨対策、じょうろや噴霧器を用いての乾燥対策を行って調査を進め、冬季には上屋を仮構した。排土は工事区内・調査区内が伏陰であるため、まず電動ベルトコンベアーで調査区外に仮堆積し、2トンダンプで場外に搬出した。なお、安全対策のため調査区周は仮囲安全鋼板を設置した。

(2) 掘削

人力掘削作業は、主に手鋸を使用して行った。遺構・遺物の検出状況に応じて、竹箆や竹串を使用して遺構・遺物を傷つけないように掘削を行った。精査・清掃の際には、前記のほかにはロボウキ・ブラシ等を用いた。また、手鋸では掘ることが困難な場所や攪乱坑等ではスコップ等を併用した。人力掘削方針は遺構構築面・客土層上面での精査に努めた。

3 測量と記録

(1) 測量・図化

遺構・遺物の詳細な出土位置と範囲を記録することにより、その接合関係を把握し、遺構の形成順序を把握するため下記のような方法を用いて遺物の検出範囲と出土位置を記録することとした。

委託設置した基準杭をもとに5m方格の各交点に木杭を設置し、平面測量の基準とした。主たる測量はデジタルカメラを併用した追尾式トータルステーション（CUBIC社製「遺構くん」）を用い、手測り実測の場合は、水準測量は自動レベルと1mm目盛のアルミスタッフを用いて方格杭に基準杭を与点とする標高を入れ、方格杭と対象の比高を直接観測し、平面測量は方格杭を基準としてコンベックススケールを用いた。手測り実測は1mm方眼のB3版セクションフィルムに基本的に20分の1スケールで記入した。（山中）

(2) 現場での撮影

a 撮影方法

撮影は遺構・遺物の出土状況などを行った。また、進行状況の確認となる定点撮影も行った。撮影に際しては、各被写体の撮影方向・出土位置・取上面など必要な情報を入れることを考慮した。ブレ・ボケなどを防止する為に三脚・レリーズを用いた。同一カットを同じ露出で2コマ撮影し1セットとした。

b 撮影機材

撮影機材・フィルムは下記を使用した。

カメラはNIKONF3、Mamiya RZ67PRO II、WISTA45を用い、フィルムはフジフィルムNPアクロスとフジフィルムPROVIA100Fを使用した。井戸の撮影には大型ストロボ（コメットCB2400 II、CL25H）でアンブレラを使用して撮影を行った。

c 撮影データ

撮影データ（カットNo.・撮影日・被写体名・被写体詳細または出土層位・撮影方向・フィルム種類）を野帳に記入し写真台帳とした。（菊池）

(3) 出土品の収集

a 掘り出し遺物

掘り上げ方法は点取り上げと一括上げがある。一括上げとは5m方眼ないしは2.5m方眼・層別である。

b 土壌等

土壌の掘り上げは遺物の掘り上げと同じ方法で行った。土壌に含まれる微細遺物は土壌ごとポリ袋に採取し、その後の整理作業で水篩選別（1mmメッシュ・2mmメッシュ）により掘り出ししている。

4 資料整理

(1) 図面等

トータルステーションによる測量については現地において逐次訂正などの作業を行い、手測り測量図面についてはCUBIC社製「ビットくん」により図化編集を行った。これらは遺物図などその他の図との兼ね合いがあり、報告書印刷時点で描画ソフト（アドビ社Illustrator）に変換した。（山中）

(2) 出土品

a 掘り出し遺物

一次整理：掘り出された陶磁器・木製品等は、野外作業と平行して現地で水洗・乾燥・遺物台帳

の作成・遺物カードの添付を行い、注記作業は江別センターでおこなった。

水洗はボンドブラシや歯ブラシなどを使用して遺物に付着した土を洗い落とし、乾燥は新聞紙等を敷いた乾燥かごに遺物を入れて、遺物乾燥小屋の室内で行った。室内では除湿機などを用いて乾燥を促した。水洗・乾燥の終了した遺物は、収集の単位ごとに遺物名と点数を決定したうえで遺物番号を与え、遺物台帳に登録した。

遺物台帳は、材質ごとに作成している。B5判の様式を印刷して手作業で記入し、グリッド別に全遺物を登録した台帳を作成した。台帳には出土グリッドまたは遺構のほか遺物番号・取り上げ日・層位・遺物名・分類・材質・点数その他を記入した。台帳登録の終わった遺物は、台帳の内容を記入して材質で色分けをした遺物カードとともに遺物番号ごとにチャック付ポリ袋に納めた。

注記は手書きによって行った。注記対象は、縁辺表面が摩滅した資料（「海揚がり」資料と呼称、台帳備考欄に内点数として記載）・残存最長辺3cm未満のものについて行なっていない。径3cm未満のものについては遺物番号ごとにポリ袋に納め、注記済みのものと同封し、「海揚がり」については遺物番号ごとにポリ袋に納めた。

注記内容は、遺構については、遺跡名の略号「フ」：福山城下遺跡、出土遺構名のカタカナ表記の頭文字たとえば「ク」：蔵、遺構番号「アラビア数字」、遺構層位名「アラビア数字」、遺物番号「アラビア数字」を記入した。組み合わせ表記順は例えば「フ」・「遺構番号」＋「層位名」＋「遺物番号」である。包含層については、遺跡名の略号「フ」、出土方格東西方向「アルファベット」と南北方向「アラビア数字」、層位名「ローマ数字」、遺物番号「アラビア数字」を記入した。組み合わせ表記順は例えば「フ」＋「層位名」＋「遺物番号」である。

二次整理：一次整理の終了した遺物を埋蔵文化財センターに搬入し、分類・材質の確認、接合などを行った。遺物の整理と平行して遺物台帳の修正・コンピューターへの入力を進めた。整理終了後、原則として各遺物と遺物カードを同封したチャック付ポリ袋に戻し、出土方格座標と出土層ごとに遺物番号順に整頓し、プラスチックコンテナに収納した。

遺物は遺物台帳と破片の照合→接合関係表記入→接合→樹脂充填の手順を取った。陶磁器復元個体・非鉄金属製品・石製品・土陶磁製品・骨角製品は、300mm望遠レンズ装着のデジタルカメラで撮影し人手による原寸実測した断面図と描画ソフト（Illustrator）をもちい合成立入墨入を行った。木製品・鉄製品・石器は人手による原寸実測、原寸素図をスキャナーで取り込み描画ソフトにより墨入を行った。なお、遺物の分類については報文中V章で言及する。（鈴木）

室内撮影は、6×7版カメラ・4×5版カメラ・ストロボを用いて撮影を行った。俯視撮影は無影撮影台を用い、遺物集合写真など立面撮りは、撮影台に遺物が乗り切らない時は、背景紙を床に直に垂らして撮影した。フィルム現像はカラーリバーサルフィルムを外注し、モノクロフィルムに関しては、自動現像機での自家処理となっている。モノクロ写真の焼き付けは自家処理しており、写真図版用の焼付けや密着焼きを行なっている。フィルムには1コマずつ番号をつけ、フィルム種類ごとの連番で管理している。

5 保存処理など

金属製品については岩手県立博物館に委託した。木製品については、主に漆製品の樹種特定とPEG含浸＋真空凍結乾燥法による保存処理を元興寺文化財研究所に、大型建材の樹種特定とPEG含浸＋真空凍結乾燥法による保存処理を東都文化財研究所に委託し、その他の木製品については当センターが行った。当センターではPEG含浸＋真空凍結乾燥法とPEG含浸による保存処理を行った。（菊池）

III 遺跡の環境

1 位置

(1) 所在

調査地点は北海道松前町字福山92-8、93-3に所在する。松前町は北海道の南西部、松前半島の南端を占め、北は上ノ国町、東は福島町に接している。遺跡は大松前川下流左岸にあり、河口から約400m遡った、福山城から東に約300mに位置する。(図Ⅲ-1・2)。

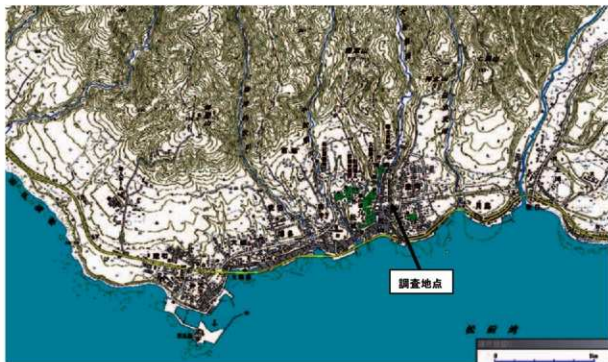
(2) 歴史的環境

調査地点の行政地名「松前町字福山」は昭和15年7月に施行され、昭和15年6月～明治33年6月には「福山町大字蔵町」であった。それ以前は明治33年5月～明治2年は「福山蔵町」と称されており、地名としての「蔵町」初出(『福山旧事記』)は正保元年(1644)である。

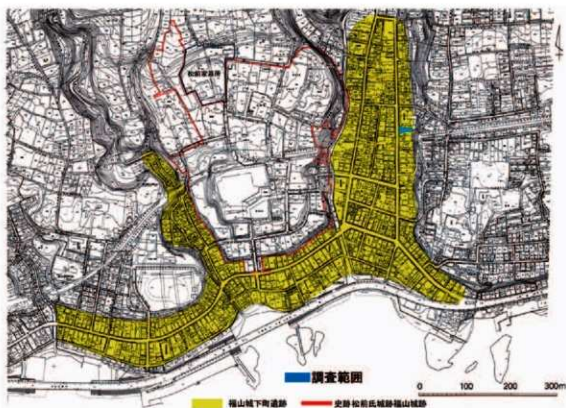
John Saris (児玉作左衛門「デ・アンジェリスの蝦夷國報告書に就いて」『北方文化研究報告4』1941)によれば、慶長18年(1613)頃の松前は500世帯ほどで、福山城下形成は元和5年(1619)に始まることから(『福山秘府』巻年曆之4)、「蔵町」の成立はその頃にさかのぼる可能性が高い。なお、寛文9年(1669)には浜沿いに東西巾2～3町のひろがり(『津軽一統志』巻10)があったようだ。

城下町の様相は、宝暦年間(1751～1763)に描かれた『松前屏風』江差松前屏風(松前分)、文化年間(1804～1817)に作成された『松前分間絵図』『松前市中地図』に詳しい。市街図には「蔵町」は一部武家地を含む町屋と図示されている(『松前分間絵図』では「町」、『松前市中地図』では「町家」と表記)。

『松前分間絵図』(図Ⅲ-3)によれば、大松前川左岸～法華寺がある台地の間には南北通りが3条あり、台地に登る坂が「牢屋」より北側には3条ある。通りの名称は西から「川原町」・「中川原町」・



図Ⅲ-1 遺跡の位置 (1)：国土地理院数値地図二万五千分の一「松前」を使用



図Ⅲ-2 遺跡の位置 (2)：「福山城下町遺跡V」を加筆引用



図Ⅲ-3 松前分間絵図：「松前町史 史料編第二巻」付図を加筆引用



図III-4 江差松前屏風図（松前分）：口絵3の部分加筆引用

「蔵町（蔵町以南は折れ繋がり「袋町」・「浜まで」の通りが続く）、坂の名称はこの図にないが『蝦夷日誌』（弘化4年：1847）によれば南から「牢の坂」「茂作坂」「一貫坊坂」である。調査地点は2条目の坂（「茂作坂」）南側の「蔵町」東側町にあたる。そしてこれらの条件を『江差松前屏風（松前分）』（Ⅲ-4、口絵3屏風の右から3曲の中央やや上）に当てはめてみると、調査地点付近には切石礎石の蔵らしき建物が描かれている（調査区からは緑色凝灰岩切石礎石「蔵1・2」を検出）。

「蔵町」の町名由来は成立時には不詳であるが、宝暦年間には「蔵がある町屋」という状況であり『蝦夷日誌』によれば「問屋・小宿の荷物蔵」が設けられ、「22軒の青楼」もあることから倉庫街・歓楽街として機能していたようである。また、近世初期の松前市中では「大工・松木屋・鍛冶屋」（『松前蝦夷記』享保2年：1717）などの職人がおり、「銅屋・塗師・木挽き・左官」（所謂『村鑑』、文化6年：1809）も加わっていることから（調査区からは銅・鉄小鍛遺構「炉1～3」を検出）、調査地点では商人・職人が混住していた可能性がある。

(3) 地理的環境

遺跡は津軽海峡、背後の台地に挟まれた沖積層～海浜に広がる。調査地点は標高8m前後の大松前川左岸の低位河岸段丘縁にあり、東側には新第三紀・福山層の凝灰角礫岩を基盤とする標高20m前後の海岸段丘がある（秦 光男ほか1990年『松前地域の地質』地質調査所）。

調査地点は粘土・シルトの沖積層の堆積が6mほどあり、その下に厚さ2mほどの砂礫があり、さらに福山層上部の風化凝灰角礫岩がある。調査地点よりさらに低位の「川原町・中川原町」については「此辺りはむかしは入江にてありしものかと思わる。井戸等を掘る時は五尺以下は皆小石にして甚掘りがたし」（『蝦夷日誌』）の記述があるので、調査地点から40mほど離れた西側は大松前川の氾濫原であったと推測される。

2 周辺の遺跡

松前町内にある近世期の遺跡は、神明石切り場遺跡・日枝社通り遺跡・バッコ沢牢屋跡遺跡・松前藩主松前家墓所遺跡・福山城遺跡・福山城下町遺跡・川上遺跡・豊岡遺跡・東山遺跡がある。

近世期の既調査遺跡のうち、東山遺跡は町道朝日豊岡線代行業改良工事によるものであり、調査地点東側にある台地の西端が調査された。報告書〔「東山遺跡」2005〕によれば近世期の家屋敷地の遺構が検出された。遺構・遺物は18世紀後半から19世紀中葉であり、建物・排水溝・井戸など、肥前系陶磁器（所謂伊万里・唐津）、コンプラ瓶（肥前波佐見で焼かれた輸出用酒・醤油瓶）、銭などの金属器類が出土した。（鈴木）

3 地層

(1) 基本層序

調査地点の調査対象基本層序はⅠ～Ⅳ層・泥炭層・砂層に分かれる。Ⅰ～Ⅲ層は人工堆積物であり、Ⅰ層より上位には近現代の人工堆積物があった。Ⅳ層・泥炭層・砂層は自然堆積物である。Ⅰ～Ⅳ層は段丘縁に、泥炭層は旧河道（下掲図3-Lineより左側）に、砂層は河床部に堆積する。

Ⅰ～Ⅲ層は礫混じり粘土の埋立て土であり、構成材は黄褐色粘土・明灰白色シルト・破砕した凝灰角礫岩・海揚げ砂利。Ⅳ層は黒褐色粘土～シルト。

Ⅰ層上面には焼土層があり、Ⅰ・Ⅱ層中には焼土・炭化物層が挟み入る。Ⅳ層と泥炭層の層界には多量の川原石・海揚げ石が投げ込まれている。なお、Ko-d火山灰（1640年降下）がⅣ層中で確認された。

自然堆積は呼称を設けローマ数字で表記し、遺構内の人為堆積物はアラビア数字で表記した（図Ⅲ-5）。（菊池・山中）

(2) 火災記事について

Ⅰ・Ⅱ層には3枚の焼土・炭化物層が検出された。「蔵町」についての火災記事が12件ある（下記参照、「松前町史」通説編第1巻上下・年表）。検出された焼土・炭化物層とこれらとの照合はⅣ章で言及する。なお、福山城攻戦による火災は「蔵町」に類焼していないようである。

正保元年（1664）3月、寛文7（1667）1月、元禄3年（1690）3月、寛延2年（1749）7月、寛政9年（1797）10月、天保4年（1833）5月、天保11年（1840）5月、天保13年（1842）10月、嘉永2年（1849）3月、安政元年（1854）10月、慶応元年（1865）3月、明治3（1870）6月（鈴木）

(3) 福山城下町遺跡の火山灰

本遺跡で降下火山灰が一層認められた。岩石記載学的特徴から駒ヶ岳Ko-dテフラに対比された。

a. 火山灰の野外観察

産状：降下堆積物。黒色の腐植土中に斑状、層状に断続的に産出。

層厚：0.5-1.0cm。

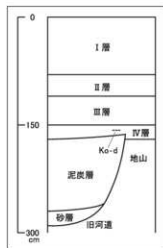
色調：10YR 5/2（灰黄褐色）、10YR 6/1（褐灰色）。地質断面では白く見える。

b. 火山灰の検鏡

検鏡、分析の試料：近世の人為的堆積物のほぼ直下で層状に産出するものを使用した（図Ⅲ-6の「テフラ3」の地点）。

粒度：極細粒砂～シルトサイズ（シルトサイズ主体）。

鉱物組み合わせ：火山ガラスと斜長石に富む。火山ガラス>斜長石>不透明鉱物>斜方輝石、単斜輝石。火山ガラスの形態は、スポンジ状発泡の軽石型>繊維状発泡の軽石型、パブルウォール型。



図Ⅲ-5 土層柱状模式

c. 火山ガラスの分析

分析装置：日本電子製の走査型電子顕微鏡JSM-5600LV、EDS型X線マイクロアナライザJED-2200。

分析条件：加速電圧15kV、照射電流0.35nA、測定時間100秒（ライブタイム）、測定面積約 $2.5 \sim 5 \mu\text{m}$ 四方、ZAF補正によりSi、Ti、Al、Fe、Mn、Mg、Ca、Na、Kを定量。

分析結果：表Ⅲ-1、図Ⅲ-8に示す。本遺跡の火山灰は駒ヶ岳起源のKo-dであることが予想されたので、これらには、比較試料として森町の森川3遺跡で採取したKo-dの軽石石基ガラスの化学組成も示している。森町はKo-dの模式地域である¹⁾。森川3遺跡でのKo-dは大きく3つのフォールユニットから成り、上部は層厚3cmの火山灰層、中部は層厚145cmの礫サイズ白色軽石層、下部は層厚1.5cmの岩片混じり火山灰層で構成されている（図Ⅲ-7）。比較試料は中部ユニットから採取した。採取した軽石10個について粉砕し、軽石1個につき6個の石基ガラス碎片を測定した。

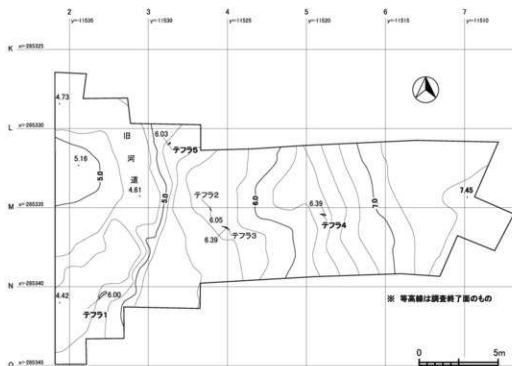
d. 対比

本遺跡の火山灰の火山ガラス化学組成はKo-dと調和的である。徳井³⁾のKo-dの分析値とも調和的である。とくに TiO_2 - K_2O の分布域は良い一致を示す。また、鉱物組み合わせ、火山ガラスの形態も同じである。したがって、本遺跡の火山灰は駒ヶ岳Ko-dテフラに対比される。

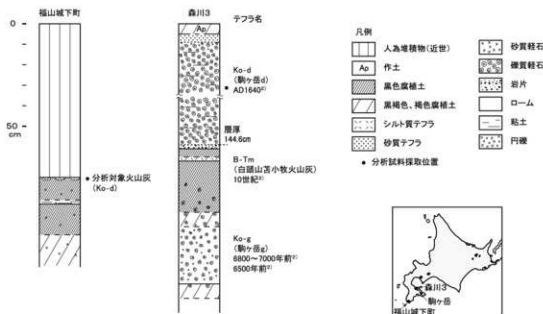
(花岡正光)

引用文献

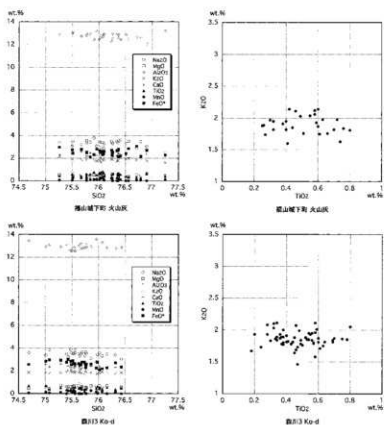
- 1) 北海道火山灰命名委員会（1979）：「北海道の火山灰分布図」
- 2) 町田 洋・新井房夫（2003）：「新編火山灰アトラス-日本列島とその周辺」 336p 東京大学出版会
- 3) 徳井由美（1990）：八千代A遺跡におけるテフラ層の分析 『帯広・八千代A遺跡本文編』 北海道帯広市教育委員会 100p 65-72



図Ⅲ-6 分析試料採取位置 (1)



図Ⅲ-7 分析試料採取位置 (2)



図Ⅲ-8 火山ガラスの化学組成値分布

表Ⅲ-1 火山ガラスの化学組成 (重量%、100%規格化平均値)

試料	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO*	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	合計 (測定値合計)	測定数
福山城下町 火山灰	76.17	0.51	12.74	2.53	0.11	0.48	2.29	3.27	1.90	100.00 (68.74)	29
森川3 Ko-d	75.66	0.48	12.89	2.59	0.11	0.55	2.40	3.45	1.86	100.00 (67.75)	60

FeO*: 全鉄

IV 遺構

1 概要

今回の調査では、I～III層及び泥炭層から、蔵2棟、溝5条、礎石列17列、掘立柱列1列、井戸5基、樽(桶)8基、木枠1組、榿1基、石組2か所、配石2か所、礫集中8か所、土坑5基、炉7か所、灰集中1か所が検出された。なお、樽1～8はいずれも蓋がなく、桶と言う方が適当であることから、遺構名はそのまま樽とするが、文章中では樽に代えて桶と呼んでいる。また、緑がかった凝灰岩は「緑色凝灰岩」と呼んでいる。

I層の遺構は、蔵1・2、溝1・2、礎石列I-1～7、井戸1・3・4、樽1～3、木枠1、榿1、礫集中1～3である。蔵1は大部分が調査区外にあるが、基礎の可能性のある石列や礎石が検出されている。蔵2は、二、三段の石垣と礎石を基礎とし、少なくとも屋根の一部は椼瓦葺であったと推測される。どちらの蔵も石列と石垣には緑色凝灰岩、礎石には自然石が用いられる。溝1・2は、両側縁を板材等により区画している。溝2では、直方体の緑色凝灰岩が緑石のように並べられた部分がある。溝の西端はどちらも街路(現在は町道蔵町線)の側溝付近にあると想定されるので、溝1・2は街路に面する敷地を三つに区画(溝1以北、溝1と溝2の間、溝2以南)するものであろう。礎石列は、I-2が蔵2の礎石、I-7が蔵1の礎石とみられ、溝1と溝2の間にある敷地でも、複数の礎石列が認められる。井戸は3基とも桶枠井戸である。井戸1は底のない結桶を四段積み重ね、高さは2.9mを測る。上から三段目までが井戸側、四段目は水溜めにあたり、水溜めの底面は礫敷である。樽1は便槽の可能性が高く、底板上で榿木が出土している。樽2・3は、底板のない結桶である。どちらも木枠1の中央部で検出されていることから、樽2・3と木枠1は関連する遺構と考えられる。礫集中1・2は、火災後に瓦礫を集積した遺構で、礫集中1は平面形が長方形の土坑を伴う。陶磁器から推定されるI層の年代は、18世紀中葉～19世紀中葉である。なお、井戸3・4は近代以降のものである。

II層の遺構は、溝3、礎石列II-1～6、井戸2、樽4・5、石組2、土坑1～3・5、炉1～3、礫集中4である。溝3は両側縁に板材等を用いて区画し、南北方向にのびる。礎石列II-1～4は、前述した蔵2の下位に位置する。これらの礎石は、ほぼ同じ場所で繰り返し検出されることから、蔵の建て替えが複数回行われていたことを窺わせる。II-1・2は、漆喰塊を含む炭化物層の直下にあるので、火災に遭った漆喰壁の蔵の礎石と推定される。井戸2は縦板組の木枠井戸で、同じ地点に掘削された井戸1に北側を壊されている。樽4・5は、結桶が三段積み重ねられており、桶枠井戸の可能性が高い。土坑1・2・5からは礫がまとまって出土しており、土坑2の覆土には桶の側板等の木製品も多量に含まれる。炉1～3は銅鍛冶炉である。炉3の炉壁は粘土であるが、炉1は緑色凝灰岩製の石廟の屋根を裏返し、そのくほみを炉壁として利用している。炉1の周囲では、銅を溶解するための埴場が出土している。陶磁器から推定されるII層の年代は、17世紀後葉～18世紀前葉である。なお、I層またはII層(I・II層)の遺構に、井戸5、土坑4がある。井戸5は三段積みの桶枠井戸である。

III層の遺構は、溝4、礎石列III-1～4、掘立柱列III-1、樽6～8、石組1、配石1、礫集中5～7、炉4～7、灰集中1である。溝4は、東西に連ねられた二列の板材等による溝状の区画である。I層で検出された溝2よりも約1.5m南側に位置する。礎石列III-3は、間口7.2m、奥行5.4m以上の建物跡と推測される。樽のうち、7は井戸の可能性が高いが、6・8の用途ははっきりしない。

礫集中7は礫が土坑内に集積されている。埴4～7に伴う灰層には、骨片や炭化木片が多数認められ、灰集中1も同様の検出状況である。陶磁器から推定されるⅢ層の年代は、17世紀前葉～17世紀後葉である。なお、Ⅱ層またはⅢ層（Ⅱ・Ⅲ層）の遺構に石組1がある。

泥炭層の遺構は、溝5、配石2、礫集中8である。溝5は二列の板材等が連なって南北に弧状にのびる。陶磁器から推定されるⅣ～泥炭層の年代は、16世紀中葉～17世紀前葉である。

調査区内で広範な焼土層は見られなかったが、炭化物を多量に含む層が、Ⅰ層で2枚、Ⅱ層で2枚検出されている。これらの炭化物層は火災に関連すると思われるので、そのおおよその範囲と遺構との関係について説明しておく。1枚目はK1・2のⅠ層、標高7.4m前後で認められ、この層に版築して蔵1の基礎が据えられる。2枚目はL1・2のⅠ層、標高7.1m前後で認められ、この層と1枚目の間に礎石列Ⅰ-1がある。3枚目はM2・3、N2・3のⅡ層、標高7.0m前後で認められ、M3でスタレ状の炭化植物繊維が検出されている。この層より上位には、石垣を基礎とする蔵2、礫集中1・2、礎石列Ⅰ-2・6がある。一方、炭化物層の下位には礎石列Ⅱ-1～4がある。3枚目の炭化物層は、その範囲からみて、漆喰壁の蔵2が焼失した際に堆積したと推定される。4枚目はL2のⅡ層、標高6.7m前後で認められる。スタレ状の炭化植物繊維も検出されており、その下位に石組2、礎石列Ⅱ-6がある。3枚目と4枚目は連続して確認できなかったが、どちらもⅡ層上面（Ⅰ層とⅡ層の間）にあたる位置にあるので、同時期の火災痕跡である可能性も残る。

2 蔵

蔵1

LラインのⅠ層で、東西方向にのびる緑色凝灰岩の石列を確認した。石列の両端は鋼矢板の打設で失われている。どの石も南側の立面がほぼ垂直に整えられており、ノミの痕跡とみられる複数の浅い溝が認められるものもある。石の平面形は、台形、もしくは控えの末端が細い。正面から見ると上端は概ね水平に揃い、隣り合う石同士の間は、隙間があまりない。上述の観察等から、石列は蔵の南壁の基礎にあたる可能性があったので、蔵1として調査したが、蔵の基礎ではなく、後述する溝1の縁に並べられた石である可能性も残る。

基礎とみられる石列は、内側も外側も暗褐色粘質土（土層断面a-a'の1層）で覆われている。内側の1層は、標高7.4m前後の炭化物層（同17層）の上に版築されていることから、蔵1は火災後に建てられたものと推測される。外側の1層は、崩れ落ちた土壁かもしれない。礎石にあたるのは、礎石列Ⅰ-7の可能性が高い。同礎石列の心間距離は1.8m、標高は7m台にある。土層の堆積状況を観察するため、礎石を残しながら掘り下げていたが、豪雨で礎石をのせる土が崩れてしまい、上端の標高を測ることができなかった。なお、蔵1として遺物を取り上げたのは、基礎から北のK1・2である。

陶磁器から推定される蔵1の年代は、18世紀後葉～19世紀中葉である。

蔵2

M1～3、N1～3のⅠ層で確認した。石垣と礎石を基礎とする蔵である。西側と南東側が調査区外にあるが、町道蔵町線に面する間口幅が6.3m、奥行は6.8m以上を測る。

石垣は、二、三段に積み上げられた緑色凝灰岩が、掘方に設置されている。掘方は深さが約1.3mあり、下部は拳大以下の円礫と褐色粘質土が交互に積み重ねられ、上部は裏込石で充填されている。裏込石は拳大以下の円礫が主体であるが、緑色凝灰岩の割石もある。石垣の正面を見ると、石は切込接により隙間なく積まれており、地表に出ている部分はノミで丁寧な削られている。石垣石にはクサ

ビの先端とみられる鉄釘が付着しているものもある。北側の天端石には、上端に煤が付着する。天端石の重さは、蔵2東端のもので140kgある。なお、北東隅の石垣は試掘坑の掘削時に失われている。

礎石にあたるのは、礎石列I-2とみられる。同礎石列は、3個の礎石から成り、上端の標高は7.4mを測る。礎石同士の心間距離は1.8mである。各礎石は、蔵2の1層（土層断面a-a'）で検出されている。蔵2の周囲では棧瓦が出土していることから、少なくとも屋根の一部は棧瓦葺であったと推測される。

土層断面a-a'の5～7層は、炭化物や礫が多く含まれる火災関連の層である。7層には漆喰塊も含まれ、その直下で礎石列II-1・2が検出されている。これらのことを考え合わせると、漆喰を塗籠めた礎石建ちの蔵が火災に遭ったと推定されるので、石垣を基礎とする蔵2は、火災後に建て替えられたものであろう。蔵2の平面と重なる範囲では、礎石列I-6、II-1～4の礎石が、ほぼ同じ場所で繰り返し検出されていることから、蔵の建て替えが複数回行われていたと考えられる。なお、礎石列I-6、II-1～4については、礎石列の項で説明する。また、土層断面b-b'の5・6層が、a-a'の5～7層に対応する炭化物層である。

陶磁器から推定される石垣を基礎とする蔵2の年代は、18世紀後葉～19世紀中葉である。

3 溝

溝1

LラインのI層で確認した。東西方向に連ねられた二列の板材や建材による溝状の区画で、幅は20～30cmを測る。両方向とも調査区外へ続き、西端は街路（現在は町道蔵町線）の側溝付近にあると推定されるので、溝1は街路に面する敷地を区画するものであろう。板材等は杭で押さえられ、所々で礫も用いられる。杭の大半は溝状の区画内にあることから、板材は区画外の土留めの役割も果たすと考えられる。

溝1の東側は板材や建材が一段か二段であるのに対し、西側では四段積み重ねられている。一段目南側では、西側の板材上に緑色凝灰岩が3個積まれている。その東側では、板材上に2個の礎石が置かれており、礎石同士の心間距離は1.8mを測る。東側の礎石からさらに1.8m東には、区画のすぐ外側に置かれた石があり、これら3個の石は直線上に並ぶ。板材上の石は二段目南側にもあるが、これは板の押さえ、または一段目の板を水平にするためのものと推測される。一段目の北側には、蔵1南壁の基礎が溝1と平行に掘えられている。三段目北側の材の下には、板状の緑色凝灰岩が立てた状態で溝の壁面に張り付けられていた。三段目北側の区画外では、複数枚の板が出土しており、その状況も合わせて図示してある。四段目北側の板材上には、拳大以上の礫が並び、その北側には、柱のつた状態の礎石が2か所で見つっている。なお、一段目と三段目の板材や建材には、一部が焼け焦げているものがある。

溝1は幅が20～30cmなのに対し、一段目上端から四段目下端までの深さは約1.1mある。設置のための掘方が認められないことから、溝1は一時期のものではなく、各時期のものが積み重ねられている可能性がある。陶磁器から推定される溝1の年代は、一～三段目が18世紀後葉～19世紀中葉である。四段目はⅢ層に位置することから、17世紀前葉～後葉である。

溝2

M1～3のI層で確認した。東西方向に連ねられた二列の板材や建材による溝状の区画で、幅は30～40cmを測る。西側は調査区外へ続き、西端は街路（現在は町道蔵町線）の側溝付近にあると推

定されるので、溝2は街路に面する敷地を区画するものであろう。板材等は主に板杭で押さえられる。杭の大半は溝状の区画内にあることから、板材は区画外の土留めの役割も果たすと考えられる。

溝2は東側へ行くほど複雑な造りとなり、東端では桶の側板が柵のように設置されている。板材や建材には、一部が焼け焦げているものがある。北側の板材の外側には、大きさ20cm程の礫が、約7mにわたって並ぶ。一方、南側の板材の外側には、直方体の緑色凝灰岩が緑石のように並ぶ。緑石は東側では一段であるが、西側では二段に積み上げられており、各石の両端と中央は板杭で押さえられる。中央よりやや東側に緑石がないのは、試掘坑の掘削で失われたためである。緑石には細かなノミ痕が認められ、大きさは、二段部分の東端上側のもので、長さ約90cm、幅、厚さとも約20cm、重さ49kgを量る。一段部分の緑石は半割されており、長さがこの半分程度である。緑石と蔵2北側の石垣の間は、しまりのある黄褐色土で充填されており、通路として使われていたと推定される。幅は約60cmである。

板材の溝が埋没した後は、北側の板材があった位置に緑色凝灰岩が並べられ、南側の西端には、この並びと向き合うように、やや細長い緑色凝灰岩が緑石の上に置かれている。両者の間には幅約20cmの溝が生じていることから、板材に代えて石で溝状の区画を造り出そうとしたのかもしれない。

陶磁器から推定される溝2の年代は、18世紀後葉～19世紀中葉である。

溝3

L3のⅡ層を掘り下げていたところ、南北方向にのびる石列を確認した。石の大半は、大きさが約20cmである。石を取り上げると、板材と杭が組み合わされた状態で現れ、その周囲で出土していた板材と対になって溝状の区画を形成することが分かった。区画の南端は確認できたが、北側は調査区外へ続くようである。板の押さえには、杭の他に桶の側板や礫が用いられる。

陶磁器から推定される溝3の年代は、17世紀中葉～18世紀前葉である。

溝4

M2～4のⅢ層で確認した。東西方向に連ねられた二列の板材や建材による溝状の区画で、幅は約50～70cmを測る。東側は5ラインの手前辺り、西側は調査区外へ続き、西端は街路（現在は町道蔵町線）の側溝付近にあると推定されるので、溝4は街路に面する敷地を区画するものであろう。区画の東端では、南北方向を向いた幅約30cmの溝状の区画と「L」字形につながる。板材を押さえるために杭が打ち込まれるが、部分的に板の上や外側を礫で固定する。西側は板材が1列しかなく溝状となっていない。蔵2の石垣の掘方を掘削した際、一方の板材が取り除かれたのであろう。板材はないものの、区画内と推定される範囲には、板を押さえるための杭が検出されている。建材には、一部が焼け焦げているものがある。なお、試掘坑の掘削により、3ライン付近で区画が一度途切れている。

陶磁器から推定される溝4の年代は、17世紀前葉～中葉である。

溝5

旧河道より西側の泥炭層で確認した。全体が明らかになっていないうえ、溝状を呈するのは一部であるが、二列に並べられた板材や建材で、幅40～50cmの溝状の区画が造り出されている。中央東側がやや膨らむので、直線ではなく、ゆるやかな弧のような形状で南北に続くのであろう。板材を押さえるための杭は丸木杭が多く、板材の代わりに桶の底板等も用いられる。溝状の部分の内側では、拳大以上の礫がまとまって出土した。

堆積状況の観察では、区画の内外とも泥炭混じりの土で覆われているので、遺構が構築されたのは、泥炭堆積前の黒色粘質土層と判断される。なお、本遺構のすぐ北側、旧河道の肩にあたる部分において、船の部材が並んで出土したので、その状況も合わせて図示してある。

陶磁器から推定される溝5の年代は、16世紀末～17世紀初めである。

4 礎石列

礎石列 I-1

6個の礎石から成り、上端の標高は7.4～7.5mを測る。礎石同士の心間距離は東西方向北側で1.8m、その他は中間の石がなかったため3.6mである。各礎石は標高7.2mの炭化物層よりも上位で出土している。南東隅の礎石は板に半分のった状態で検出され、上面の一部に煤が付着する。付近では、同じ形状の板が検出されており、合わせて図示してある。北西隅の礎石の下には掘り込みがあり、内部に割石が詰まっていた(図IV-3)。北東隅の礎石から約2m東にも掘り込みがあるが、礎石が掘えられておらず、内部には炭化材も見られることから、火災後に瓦礫を埋めた穴と推測される。北側東西方向の並びは、溝1上の礎石列と10～20cmの間隔で近接する。高さは溝1上のものよりやや低い。溝1と2の間の敷地に建てられた間口3.6m、奥行5.4m以上の礎石建物が想定される。

礎石列 I-2

石垣を基礎とする蔵2の礎石と考えられることから、蔵2の本文中で述べてある。

礎石列 I-3

5個の礎石から成り、上端の標高は7.3m前後を測る。礎石同士の心間距離は1.8mであるが、西から2個目と3個目の間のみ、2.6mと広い。

礎石列 I-4

6個の礎石から成り、東端の1個を除き上端の標高は7.2mを測る。礎石列 I-1の上端より約20cm低い。礎石同士の心間距離は、西端の南北間が1.8mであるが、東西方向では、西から1.3m、1.5m、1.2mと揃わない。なお、東端の礎石はさらに3.9m離れており、標高は7.3m弱であるが、列上に位置するのでここに含めた。北方向の軸が座標北から西に約25°傾く。

礎石列 I-5

2個の礎石から成り、上端の標高は7.2mを測る。礎石同士の心間距離は1.8mである。礎石列 I-4と上端の標高は揃う。

礎石列 I-6

蔵2の範囲内に位置する。3個の礎石から成り、上端の標高は7.2m程度を測る。礎石列 I-2の上端より約20cm低い。礎石同士の心間距離は、西端の南北間が1.8mであるが、東西間は2.8mである。検出された高さから、漆喰壁の蔵が焼失し、石垣を基礎とする蔵2が建てられるまでの間に据えられたものである。

礎石列Ⅰ－7

蔵1の礎石の可能性があるので、蔵1の本文中で述べてある。

礎石列Ⅱ－1

蔵2の範囲内に位置する。7個の礎石から成り、上端の標高は、東側で7.1m程度、西側で6.9m程度を測る。礎石同士の心間距離は1.8mであるが、石垣の掘方掘削等により失われた礎石があるため、3.6m、7.2mの部分がある。標高7.1m前後にある炭化物層（蔵2 a-a'の5～7層、b-b'の5・6層）の直下にあるので、本礎石列は、火災に遭った漆喰壁の蔵2の礎石である可能性が高い。石垣を基礎とする蔵2よりも奥行は長い。図中には、同じ高さで検出されたスタレ状の炭化植物繊維の範囲も示してある。

西側の礎石の約2m下では、旧河道に泥炭が厚く堆積している。西側の礎石が東側よりも低くなっているのは、軟弱層である泥炭が沈下したため、その影響を受けたと考えられる。なお、3ライン以东に泥炭層の堆積は認められない。

礎石列Ⅱ－2

蔵2の範囲内に位置する。8個の礎石から成り、上端の標高は6.8～7.1mを測る。礎石列Ⅱ－1・4と同じく、西側が東側よりやや低い。礎石同士の心間距離は1.8mであるが、石垣の掘方掘削等により失われた礎石があるため、3.6m、5.4mの部分がある。標高7.1m前後にある炭化物層（蔵2 a-a'の5～7層、b-b'の5・6層）の直下にあるので、本礎石列も、火災に遭った漆喰壁の蔵2の礎石の可能性が高い。石垣を基礎とする蔵2よりも奥行は長い。礎石列Ⅱ－1とは、ほぼ同じ高さにあるが、位置をややずらして掘えられている。北側の並びでは、礎石の上面と同じ高さで、建材が2本検出されている。

礎石列Ⅱ－3

蔵2の範囲内に位置する。2個の礎石から成り、上端の標高は6.6～6.7mを測る。礎石同士の心間距離は1.8mである。東端の礎石に近接して、長さ約50cmの板材が検出されている。

礎石列Ⅱ－4

蔵2の範囲内に位置する。7個の礎石から成り、上端の標高は東側で6.7～6.8m、西側で6.5m程度を測る。礎石列Ⅱ－1・2と同じく、西側が東側よりやや低い。礎石同士の心間距離は1.8mであるが、石垣の掘方掘削等により失われた礎石があるため、3.6mの部分がある。礎石列Ⅱ－1・2とはほぼ同じ位置の下位で検出されていることから、漆喰壁の蔵が建つ以前の礎石と考えられる。

礎石列Ⅱ－5

2個の礎石から成り、上端の標高は6.5mを測る。礎石同士の心間距離は3.6mで、中間に石があった可能性がある。北方向の軸が座標北から西に約25°傾く。

礎石列Ⅱ－6

7個の礎石から成り、上端の標高は6.4～6.6mを測る。礎石同士の心間距離は1.8mであるが、中間の石がなかったため3.6mの部分がある。北端の礎石は、上端の標高が6.4mとやや低いが、南側の礎

石との心間距離が1.8mであるため、列に加えてある。下位に堆積する泥炭の沈下等が影響しているのかもしれない。また、北側東端の礎石から90cm東に礎石がある。東西方向の列上に位置し、標高も近いので、これも列に加えてある。

なお、礎石列の約20cm上（標高6.7m）で、スダレ状の炭化植物繊維が検出されている。

礎石列Ⅲ-1

3個の礎石から成り、上端の標高は西側が6.4m、東側が6.3mを測る。礎石に柱がのった状態で検出され、柱同士の間距離は1.8mである。東側の柱は角柱であるが、西側の柱は円柱で、2個の礎石にまたがっている。

礎石列Ⅲ-2

2個の礎石から成り、上端の標高は6.3m程度を測る。礎石同士の間距離は1.8mである。北方向の軸が座標北から西に約3°傾く。

礎石列Ⅲ-3

8個の礎石から成り、上端の標高は6.0～6.2mを測る。礎石同士の間距離は1.8mであるが、中間の石がなかったため、3.6m、5.4mの部分がある。北方向の軸が座標北から西に約2.5°傾く。溝4以上の敷地に建てられた間口7.2m、奥行5.4m以上の礎石建物が想定される。

礎石列Ⅲ-4

2個の礎石から成り、上端の標高は6.1mを測る。礎石同士の間距離は1.8mである。北方向の軸が座標北から東に約3°傾く。

5 掘立柱列

掘立柱列Ⅲ-1

M2のⅢ層で、掘立柱3本が直線上に並ぶのを確認した。柱同士の距離は1.8mである。掘方は直径約40cm、深さ約60cmで、底面には沈下防止の石が敷かれる。西端の掘立柱は角柱である。

6 井戸

井戸1

L・M6のI層で確認した。底板のない4個の結桶が積み重ねられ、掘方に埋設されている。いずれの桶も上部と下部が箍で締められる。上から三段目までの桶は井戸側にあたり、側板がほぼ垂直である。四段目の桶は水溜めで、大きさは他の桶の半分程度である。上端の直径が下端の直径よりも大きい。三段目と四段目の境に生じるドーナツ状の隙間には、扁平礫が敷き並べてある。扁平礫は水溜めの底にも敷かれており、浄水の役割を果たすと考えられる。井戸内には、一段目の上位、三段目の上面、四段目の上面に、30cmを超える礫が放り込まれていた。

陶磁器から推定される井戸1の年代は、18世紀後葉～19世紀中葉である。

井戸2

井戸1の調査中に確認した。北側半分が井戸1の掘削時に壊されているが、隅柱を縦板で囲った方

形の本柁井戸と推定される。本柁の内側は横木で押さえられており、板材の一部が焼け焦げているものがある。底面では浄水装置と考えられる礫の集中が検出されている。井戸1の三段目上端付近の掘方から、本井戸の縦板とみられる板材が出土しているの、合わせて図示してある。

陶磁器から推定される井戸2の年代は、17世紀中葉～18世紀前葉である。

井戸3

L3のI層で確認した。底板のない結桶が掘方に埋設されている。桶の上・中・下部が籠で締められており、内部には、礫や近・現代の製品が多量に放り込まれていた。近代以降に設置されたものと考えられる。

井戸4

L・M7のI層で確認した。2個の結桶が積み重ねられ、掘方に埋設されている。井戸内には、近・現代の製品が放り込まれていた。壁面や法面が崩落する恐れがあったので、下段は上部だけしか掘り下げていない。また、掘方も図化できなかった。下段の深さは、引き抜いた側板からの推定である。近代以降に設置されたものと考えられる。

井戸5

L4のI・II層で確認した。底板のない3個の結桶が積み重ねられ、掘方に埋設されている。桶の側板はほぼ垂直で、上部と下部が籠で締められる。三段目の底面には扁平礫が敷かれており、浄水装置と考えられる。井戸内には、三段目の上位に30cmを超える礫が放り込まれていた。

陶磁器から推定される井戸5の年代は、17世紀中葉～18世紀前葉である。

7 樽

樽1

M4のI層で確認した。桶は掘方に埋設されていて、上部は失われているが、開口部に向かってほぼ垂直に立ち上がる。下部は籠で締められており、底板は側板の最下部より4、5cm上にある。板上では、罫木とみられる厚さ数mmの短冊形の木を複数枚検出した。

類似遺構の調査例や罫木があることから、本遺構は便槽の可能性が高い。

樽2・3

L5のI層で確認した。東西に並ぶ2個の結桶が、掘方に埋設されている。西側の桶（以下、樽2という）は正立、東側の桶（以下、樽3という）は倒立しており、両者の中心間の距離は1.05mである。桶は二つとも同じ大きさで、開口部に向かって開く形状である。底板はない。内面下部には浅い溝がめぐる。桶内の上・中部には、どちらも多量の礫が放り込まれている。樽3の1層では、黒漆塗りの下駄が出土した。

樽2・3は、同じ大きさの桶が高さを揃えて埋設されており、内部の埋積状況もよく似ていることから、同時期のものであろう。なお、樽2・3は先に調査した本柁1の中央に位置し、高さが重なる部分もあるので、両者は関連する遺構と考えられる。

陶磁器から推定される樽3の年代は、19世紀前葉～19世紀中葉である。

樽4

L3のⅢ層で確認した。2個の結桶が倒立した状態で積み重ねられ、掘方に埋設されている。上段の桶（以下、一段目という）は、下段の桶（以下、二段目という）よりも一回り大きい。どちらも開口部に向かって開く形状で、上下が箍で締められる。底板はない。一段目の上部では、側板よりも大きい箍が検出されていることから、結桶はもう一段積み重ねられており、樽5が使われなくなった後に側板が抜き取られたのであろう。一段目が二段目よりも一回り大きいため、両者が接する部分の東側に幅約10cmの隙間が生じている。この部分は、厚さ約5cmの小砂利で埋められる。二段目の最下部にも小砂利層があり、厚さは約10cmである。桶内には、一段目、二段目とも20cmを超える礫が放り込まれていた。

底面で検出された小砂利層が浄水装置と考えられることから、本遺構は井戸の可能性が高い。Ⅲ層で確認したが、一段目の上にもう一段結桶があったとみてよいことから、Ⅱ層の遺構と推定される。

樽5

M5・6のⅡ層で確認した。3個の結桶が倒立した状態で積み重ねられていたが、半分以上が鋼矢板の打設により失われており、掘方もわからなかった。桶は、いずれも開口部に向かって開く形状のようで、底板は見つかっていない。上から二段目の桶は、三段目に大きく被さっているが、鋼矢板の打設時に引きずり込まれたのかもしれない。桶内には20cm以下の礫が多量に放り込まれており、上部では赤漆塗りの椀が出土した。

類似遺構の調査例等から、本遺構は井戸の可能性がある。

樽6

N2のⅢ層で確認した。結桶は掘方に埋設されていて、上部がやや失われているが、開口部に向かって開く形状である。下部が箍で締められており、底板はない。覆土には小砂利が多量に含まれる。

陶磁器から推定される樽6の年代は、17世紀後葉である。

樽7

M3のⅢ層で確認した。4個の結桶が倒立した状態で積み重ねられ、掘方に埋設されている。桶はいずれも開口部に向かって開く形状で、上下が箍で締められる。底板はない。上から四段目の桶の底面には直径3cm以下の玉砂利が敷かれる。

底面の玉砂利層が浄水装置と考えられることから、本遺構は井戸の可能性が高い。

樽8

N2のⅢ層で確認した。桶は上部が失われているが、開口部に向かって開く形状である。下部が箍で締められており、底板は側板の最下部より約5cm上にある。掘方は認められなかった。桶内から、赤漆塗りの椀が出土している。

本遺構の用途は不明であるが、すぐ北側で出土した槽と関連する可能性がある。陶磁器から推定される樽8の年代は、17世紀中葉～17世紀後葉である。

8 木枠

木枠 1

L4・5のI層で、方形に組み合わせられた板材を確認した。北側が調査区外にあるが、東西方向の幅は2.0mを測る。西側の板材は銅矢板に引きずり込まれており、本来の位置にはない。木枠内には、20cm以下の角礫や割石が多量に放り込まれており、桶の側板等の木製品も含まれる。

木枠内の礫等を取り上げると、樽2・3、土坑2・3の上端が現れた。土坑2・3は東西方向の板材の下位にあるので、本遺構より前に掘り込まれたものである。樽2・3と木枠1は、位置関係からみて、関連する遺構の可能性がある。

陶磁器から推定される木枠1の年代は、18世紀後半～19世紀中葉である。

9 樹

樹 1

M4・5のI層で確認した。東側の側板はないが、方形の底板1枚と側板3枚が斜状に組み合わせられて出土している。掘方は見つかっていない。

10 石組

石組 1

L4のIII層で確認した。扁平礫が北側の開いた馬蹄形に並べられている。礫の大きさは20cm程度が多い。断面の観察では、馬蹄形の内側がくぼめられているが、焼土は検出されなかった。

石組 2

L2のII層で確認した。標高6.7m前後のスタレ状炭化植物繊維よりも下位にある。扁平礫がほぼ方形に敷き並べられており、礫の大きさは30cm程度が多い。約20cm下で炉1が検出されている。図IV-36で、炉1・2とともに図示してある。

11 配石

配石 1

L2のIII層で確認した。扁平礫が弧状に並べられており、下位に土坑がある。土坑の北側半分は失われているが、平面は楕円形とみられる。底面で桶の底板のような木製品が出土した。

配石 2

L2・3、M2・3の泥炭層で確認した。礫は30cm程度のものも多く見られる。下位で掘り込みや焼土は検出されていない。

12 礫集中

礫集中 1

M3のI層で確認した。礫は土坑内に集積されており、大きさ20cm以下のものが多い。焼けた礫も含まれ、約半分は緑色凝灰岩の割石である。

土坑の平面形は、長軸が南北を向く長方形で、上端の長軸長1.8m、短軸長0.9m、深さ0.7mを測る。覆土2層とした黄橙色粘質土の中央がくぼんでおり、そこに多量の礫が集積されている。

東西方向の土層断面（図IV-12）では、礫集中1の土坑が、蔵2の石垣と同じ面から掘り込まれているので、両者は同時期の遺構と考えられる。陶磁器から推定される礫集中1の年代は、18世紀後半～19世紀中葉である。

礫集中2

M3・4のI層で確認した。礫は1.8×1.5mの範囲で「L」字形に集積されている。礫の大きさは20cm以下のものが多く、焼けた屋根石や瓦も含まれる。焼土粒や炭化物も多量に検出されていることから、火災後の整理で、建物等の角に瓦礫を寄せ集めた結果、「L」字形の集中範囲が形成されたのであろう。

ほぼ同じ高さにある礫集中1と同時期の可能性がある。

礫集中3

L5・6のI層で確認した。礫は土坑内に集積されており、大きさ15cm以下のものが多い。焼けた礫も含まれる。土坑の平面形は楕円形で、上端の長軸長1.5m、短軸長1.3m、深さ0.3mを測る。西側の一部が土坑4と重複しており、断面観察によれば本遺構が新しい。

陶磁器から推定される礫集中3の年代は、18世紀後半である。

礫集中4

L2・3のII層で確認した。礫は1.3×1.1mの範囲に集中しており、大きさ20cm以下のものが多い。焼けた礫も含まれる。掘り込みは検出されなかった。

礫集中5

L4、M4のIII層で確認した。礫は1.7×1.0mの範囲に集中しており、大きさ20cm以下のものが多い。小規模な掘り込みが1か所検出された。

礫集中6

M2、N2のIII層で確認した。礫は1.7×1.3mの範囲に集中しており、大きさ25cm以下のものが多い。掘り込みは検出されなかった。

陶磁器から推定される礫集中6の年代は、17世紀末である。

礫集中7

M4のIII層で確認した。礫は1.6×0.9mの範囲に集中しており、大きさ20cm程度のものが主体である。集中範囲では、底面が皿状の土坑が検出されており、礫は坑内に集積されていたと推測される。坑内からは、長さ20cm程度の薄い柃目板も多量に出土している。

陶磁器から推定される礫集中7の年代は、17世紀後半である。

礫集中8

N2の泥炭層で確認した。礫は1.6×1.6mの範囲に集中しており、大きさ20cm以下のものが多い。桶の底板も出土している。掘り込みは検出されなかった。

13 土坑

土坑 1

M5の地山で確認した。平面形は上端・下端とも長方形、坑底は平坦、壁の立ち上がりは急である。覆土からは礫数点がまとめて出土した。

陶磁器から推定される土坑1の年代は、17世紀後葉～18世紀初めである。

土坑 2

L4・5のⅡ層で確認した。平面形は上端・下端とも隅丸方形さみ、坑底は概ね平坦、壁の立ち上がりは緩やかである。覆土1層には、礫と木製品が多量に含まれる。礫は20cm以上のものが多く、木製品は桶の側板を主体に、底板、下駄、漆器等がある。坑内の東側に木製品、西側に礫がまとめられている。覆土2層には20cm程の礫、覆土3層には桶の側板が、それぞれ多量に含まれる。底面には20cm程度の扁平礫が敷かれている。

土坑2の上には木枠1が設置されているので、本遺構は木枠1より前に掘り込まれている。底面が礫敷であることを考慮すると、素掘り井戸の可能性もある。陶磁器から推定される土坑2の年代は、17世紀後葉である。

土坑 3

L5のⅡ層で確認した。西側の一部を木枠1の調査で掘り下げてしまったが、平面形は、上端・下端とも楕円形とみられる。坑底は中央が浅くくぼみ、立ち上がりは緩やかである。

土坑3の上には木枠1が設置されているので、本遺構は木枠1より前に掘り込まれている。

土坑 4

L5の地山で確認した。平面形は上端・下端とも円形であるが、上端はあまり整わない。坑底は中央がやや盛り上がり、立ち上がりは緩やかである。覆土からは礫数点がまとめて出土した。東側が礫集中3の掘削により失われているので、本遺構は礫集中3より前に掘り込まれた土坑である。

土坑 5

M5の地山で確認した。平面形は上端・下端とも円形、坑底はやや波打つ。覆土からは礫数点が出土した。

14 炉

炉 1・2

炉1は、石組2の約20cm下で確認した。緑色凝灰岩で作られた石廟の屋根を裏返して掘方に設置し、屋根内側のくぼみを炉壁として利用している。掘方と炉壁の隙間には、上部に灰白色の粘土が張り付けられ、下部は2cm以下の小砂利で充填されている。炉壁の南側に隣接して、長軸長0.71m、短軸長0.34m、高さ0.24mの木枠が検出されており、内部から鉄鍋片等が出土している。炉の周囲では溶融銅や鉄滓、銅を溶解した埴場が出土していることから、炉1は銅・鉄鍛冶炉と考えられる。炉壁の長軸は、座標北から約8度西偏する。

炉2は炉1のすぐ西側に位置する。掘方や粘土の張り付けは認められない。

陶磁器から推定される炉1の年代は、17世紀末～18世紀初めである。なお、石廟の屋根は、松前

町内にある光善寺のものと形態・石材が類似している（弘前大学人文学部2010、276頁のF石廟）。

炉3

M2のⅡ層で確認した。溝2の杭により南北が壊されている。炉1とは約3.5m離れているが、ほぼ同じ高さにある。東側に段のある掘方内に、黄橙色の粘土を張り付けて炉壁としている。周囲の出土遺物等から、銅・鉄鍛冶炉の可能性が高い。なお、本遺構の約20cm上に、礎石列Ⅱ-2の礎石がある。

炉4

L3のⅢ層で確認した。にぶい赤褐色の焼土に、灰の集中部が2か所伴う。

検出された状況から、炉5～7とは同時期であろう。陶磁器から推定される遺構の年代は、17世紀後半である。

炉5

L2のⅢ層で確認した。暗赤褐色の焼土に、炭化木片と焼土粒の混在、灰の集中部が伴う。1層には炭化木片がやや多量に、2層には灰の中に長さ2mm程度の骨片が含まれている。

炉6

L2のⅢ層で確認した。暗赤褐色の焼土に、灰の集中部が伴う。

炉7

L3のⅢ層で確認した。暗赤褐色の焼土に、灰の集中部が伴う。1層には骨片や炭化物が多く含まれる。なお、本遺構の約10cm上に、礎石列Ⅲ-3の礎石がある。

15 灰集中

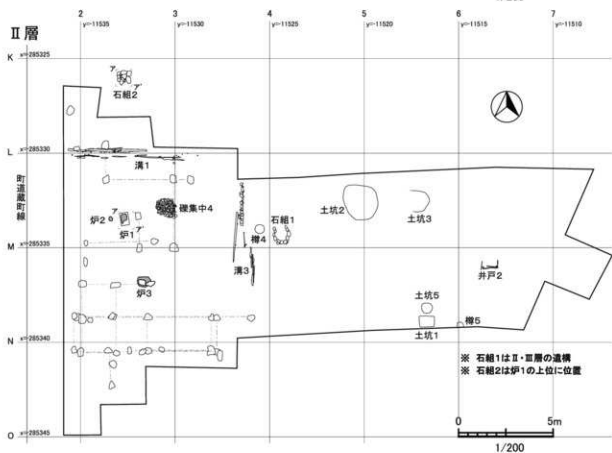
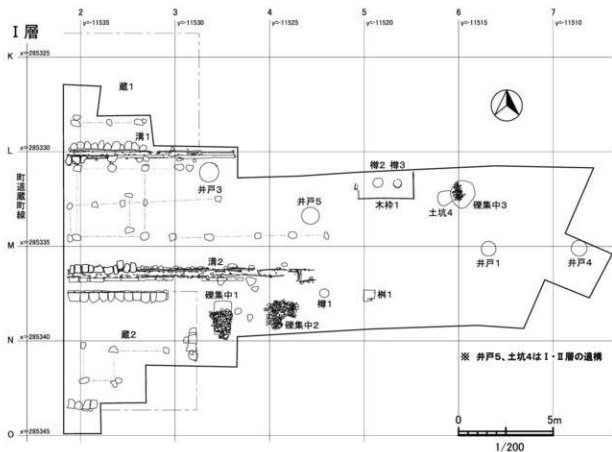
灰集中1

L3・4のⅢ層で確認した。灰の集中部のみで、焼土は検出されていない。1～4層には炭化物や骨片が多く含まれている。なお、本遺構の約30cm上に、石組1がある。

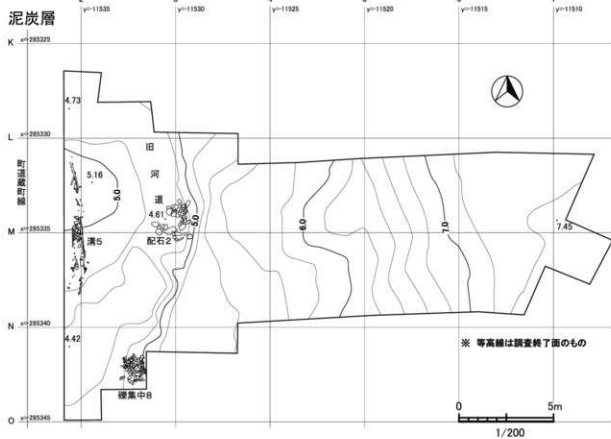
(山中)

引用・参考文献

- 汐留地区遺跡調査会 1996『汐留遺跡』
 江戸遺跡研究会 2001『図説江戸考古学研究事典』柏書房株式会社
 松前町教育委員会 2008『福山城下町遺跡Ⅳ』
 松前町教育委員会 2010『神明石切り場跡Ⅲ 大館遺跡 バッコ沢半屋跡遺跡』
 弘前大学人文学部 2010『近世墓と人口史料による社会構造と人口変動に関する基礎的研究』平成19年度～21年度
 科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究成果報告書

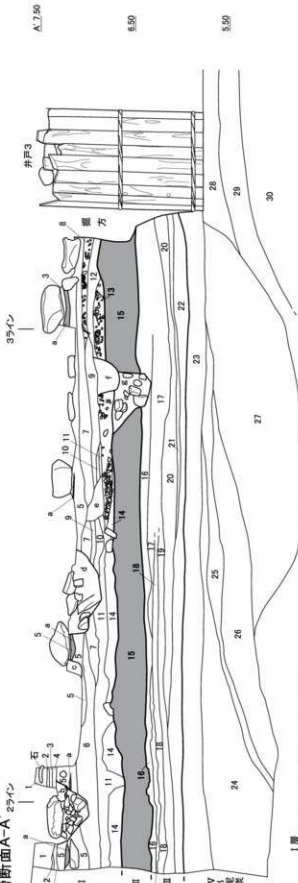


図IV-1 遺構位置図(1)



図IV-2 遺構位置図(2)

土層断面A-A' 2ライン



I 層
 1 10YR5/2 黒褐 砂礫混じりシルト 礫2cm以下
 2 10YR5/1 黒褐 シルト質シルト 砂礫含まず
 3 10YR6/4 黒褐 コレシロ
 4 10YR6/3 黒褐 コレシロ
 5 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 6 2.5Y5/1 灰灰 風化壤土体 粘性弱 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 7 10YR6/4 に近い黄緑 風化壤土体 粘性弱 しまる 小砂利少量
 8 礫大以下の円礫主体
 9 10YR6/3 に近い黄緑 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物多量
 10 10YR6/4 に近い黄緑 風化壤土体 粘性弱 しまる 小砂利少量
 11 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物多量 炭化物少量
 12 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 13 礫大以下の円礫主体
 14 10YR6/3 に近い黄緑 風化壤土体 粘性中 ややしまる 黒褐色土型入
 15 10YR5/2 黒褐 粘性中 ややしまる 小砂利多量 炭化物多量 20cm以下の礫少量

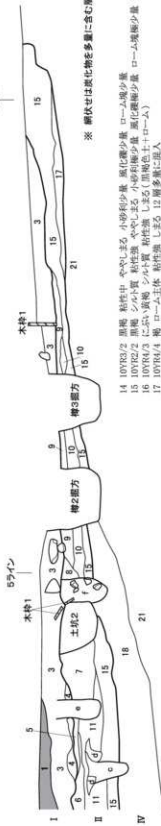
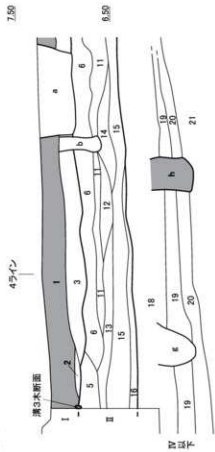
II層
 16 2.5Y4/3 オリーブ褐 シルト質 粘性強 しまる 小砂利多量 炭化物多量
 17 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物多量
 18 10YR6/4 黒 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 19 10YR5/2 黒褐 シルト質 粘性強 ややしまる 3cm以下の礫多量 炭化物多量
 20 10YR6/4 黒 粘土質 粘性強 ややしまる 小砂利多量 炭化物多量
 21 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物多量
 22 10YR6/4 黒 粘土質 粘性強 ややしまる

III層
 23 10YR5/2 黒褐 シルト質 粘性強 ややしまる
 24 10YR6/3 に近い黄緑 粘土質 粘性強 ややしまる
 25 10YR6/3 に近い黄緑 シルト質 粘性強 ややしまる
 26 10YR5/2 黒褐 シルト質 粘性強 ややしまる ローム減少
 27 10YR5/2 黒褐 灰質質 粘性強 ややしまる
 28 10YR5/2 黒褐 粘性中 ややしまる 小砂利多量 炭化物多量
 29 10YR5/1褐色シルトと10YR5/2黒褐シルトの互層
 30 10YR5/4 に近い黄緑 シルト質 粘性強 しまる 地山

IV層
 a 炭化物層
 b 15cm以下の角礫主体
 c 10cm以下の角礫主体
 d 20cm程度角礫主体 炭化物混じる
 e 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量
 f 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量
 g 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量
 h 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 i 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 j 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 k 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 l 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 m 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 n 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 o 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 p 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 q 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 r 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 s 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 t 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 u 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 v 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 w 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 x 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 y 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量
 z 10YR5/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 炭化物少量

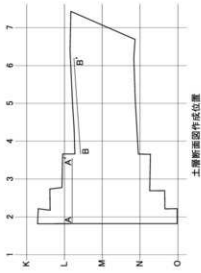
図IV-3 調査区土層断面 (1)

土層断面B-B'



- I 層
1 10YR3/2 黒褐色 粘性中 中やしまる 小砂り少量 炭化腐少量 5~10 cm層少量 炭化物多量 ローム塊少量
2 10YR3/4 黒褐色 シルト質 粘性強 しまる 炭化腐少量 炭化物少量
3 10YR3/2 黒褐色 粘性中 しまる 小砂り少量 炭化腐少量 炭化物少量
4 10YR3/4 黒褐色 シルト質 粘性強 しまる

- II 層
5 10YR3/1 黒褐色 粘性中 中やしまる 小砂り少量 炭化腐少量 炭化物少量 ローム塊少量
6 10YR3/2 黒褐色 粘性中 中やしまる 小砂り少量 炭化腐少量 炭化物少量
7 10YR3/4 黒褐色 粘性中 中やしまる 小砂り少量 炭化腐少量 炭化物少量
8 2.5Y3/4 黄褐色 粘性中 しまる 小砂り少量 炭化腐少量
9 10YR3/3 黒褐色 粘性中 しまる 小砂り少量 炭化腐少量
10 10YR3/2 黒褐色 シルト質 粘性強 しまる 小砂り少量 炭化腐少量
11 4.8YR/2 黒褐色 シルト質 粘性強 中やしまる 小砂り少量 炭化腐少量
12 4.8YR/1 黒褐色 シルト質 粘性強 中やしまる 小砂り少量 炭化腐少量
13 5Y5/3 灰カーブ 砂質 粘性中 しまる 小砂り少量 炭化腐少量



土層断面作成位置

6ライン

B.7.50

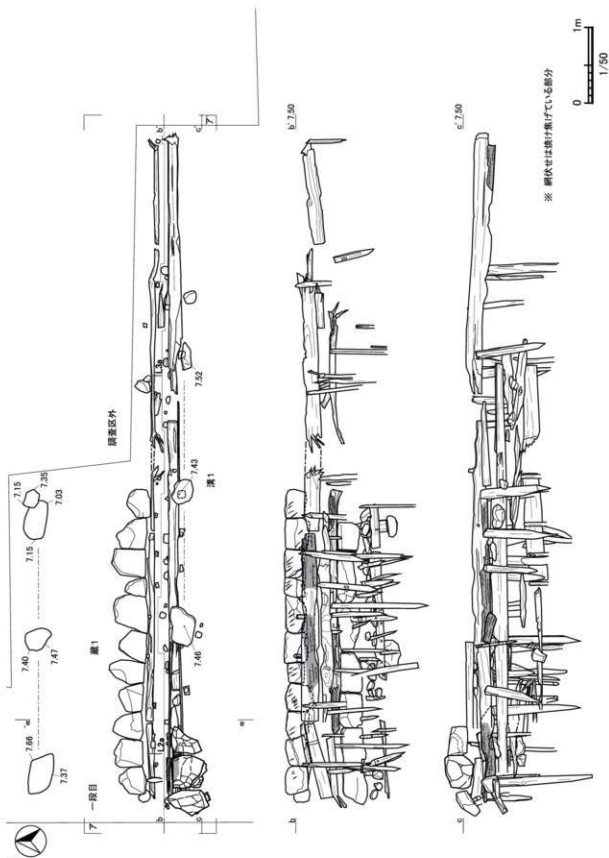
※ 網伏せは炭化物多量に含む層

- 14 10YR3/2 黒褐色 粘性中 中やしまる 小砂り少量 炭化腐少量 ローム塊少量
15 10YR3/2 黒褐色 シルト質 粘性強 中やしまる 小砂り少量 炭化腐少量 炭化物少量
16 10YR3/2 黒褐色 シルト質 粘性強 しまる (黒褐色土+ローム)
17 10YR3/4 黒褐色 シルト質 粘性強 しまる 12層多量に含む層
IV層以下
18 4.8YR/1 黒褐色 粘性中 しまる
19 2.5Y3/1 オリーブ灰 シルト質 中やしまる + 5Y3/2 オリーブ黒 砂質 しまる
20 2.5Y3/1 オリーブ灰 シルト質 + 10YR1/1 黒シルト質の互層
21 10YR3/4 黒 ローム 粘性強 しまる 湧出

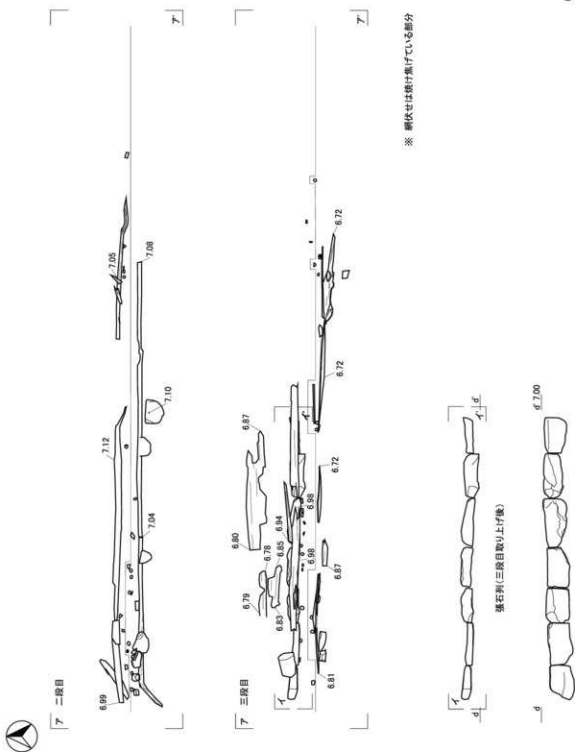
- a 10YR3/2 黒褐色 粘性中 しまる 小砂り少量 炭化腐少量 ローム塊多量
b 10YR3/2 黒褐色 粘性中 中やしまる 小砂り少量 炭化腐少量 炭化腐多量
c 10YR3/1 黒褐色 シルト質 粘性強 しまる 炭化腐多量
d 2.5Y3/4 黄褐色 粘性強 中やしまる 炭化腐多量
e 10YR3/3 黒褐色 粘性中 しまる 小砂り少量 炭化腐少量
f 10YR3/2 黒褐色 シルト質 粘性強 しまる 炭化腐多量
g 10YR3/2 黒褐色 シルト質 粘性強 中やしまる 炭化腐多量
h 10YR3/2 黒褐色 シルト質 粘性強 中やしまる 炭化腐多量



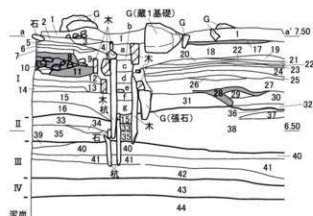
図IV-4 調査区土層断面 (2)



図IV-5 蔵1・溝1 (1)

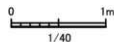


図IV-6 蔵1・溝1 (2)



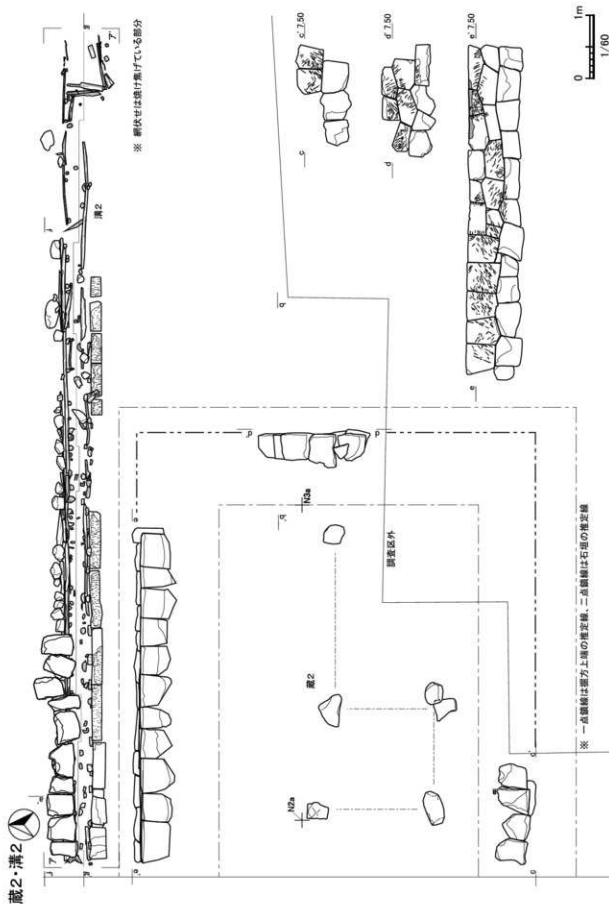
※ Gは緑色凝灰岩
 ※ 網状は炭化物を多量に含む層

- 蔵1**
 1 10YR3/3 暗褐 粘性中 しまる 小砂利多量 10cm以下の礫多量 風化礫多量
- 溝1**
 a 10YR3/3 暗褐 粘性中 しまる 小砂利少量 風化礫少量
 b 10YR2/3 黒褐 砂質 粘性弱 ややしまる 小砂利多量
 c 10YR2/2 黒褐 砂質 粘性弱 ややしまる 小砂利多量
 d 10YR2/1 黒砂質 粘性弱 ややゆるい 小砂利少量
 e 10YR2/3 黒褐 粘性中 ややしまる 小砂利極多量 腐食途中の草本多量
 f 10YR3/4 暗褐 砂質 粘性弱 しまる 3cm以下の礫多量
 g 10YR2/2 黒褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 小砂利少量 風化礫少量
- I層**
 2 5Y6/2 灰オリーブ 風化礫 堅くしまる
 3 10YR3/3 暗褐 粘性中 ややしまる 風化礫多量
 4 10YR5/2 灰オリーブ 粘性弱 しまる 風化礫主体
 5 10YR2/2 黒褐 粘性中 しまる 風化礫少量
 6 10YR5/4 にぶい黄褐 粘土質 粘性中 しまる
 7 10YR4/1 暗緑灰 緑色凝灰岩 堅くしまる
 8 10YR4/4 褐 粘性弱 堅くしまる 小砂利多量 炭化物多量
 9 10YR2/3 黒褐 粘性中 ややゆるい 2~3cmの風化礫多量 炭化物少量
 10 10YR1/3 にぶい黄褐 粘性弱 堅くしまる 炭化物多量 20cm以下の礫多量
 11 10YR3/4 暗褐 粘性弱 しまる 炭化物多量 小風化礫少量
 12 10YR2/3 黒褐 粘性中 ややしまる 炭化物少量 風化礫少量
 13 7.5YR4/4 粗砂 粘性弱 しまる 風化礫少量
 14 10YR4/2 灰黄褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量
 15 10YR3/2 黒褐 粘性中 ややしまる 炭化物少量 風化礫多量 小砂利少量
 16 5Y6/2 灰オリーブ 風化礫 堅くしまる
 17 10YR2/1 黒 粘性中 しまる 小砂利多量 風化礫多量 炭化物多量
 18 10YR2/3 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 風化礫多量
 19 10YR1/1 黒褐 粘性中 しまる 3cm以下の砂利多量
 20 7.5Y6/2 灰オリーブ 粘性弱 しまる 風化礫主体
 21 10YR3/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量
 22 7.5Y6/2 灰オリーブ 粘性弱 しまる 風化礫主体
 23 7.5Y6/2 灰オリーブ 粘性弱 しまる 風化礫主体
 24 10YR3/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量
 25 10YR3/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量 風化礫多量
 26 7.5Y6/2 灰オリーブ 粘性弱 しまる 風化礫主体
 27 10YR2/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量 風化礫少量
 28 10YR2/1 黒砂質 粘性弱 ややしまる 小砂利少量 炭化物多量 風化礫少量
 29 7.5Y6/2 灰オリーブ 粘性弱 しまる 風化礫主体
 30 7.5Y6/2 灰オリーブ 粘性弱 しまる 風化礫主体 + 10YR3/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量 の互層
 31 10YR2/2 黒褐 砂質 粘性弱 ややしまる 5cm以下の砂利極多量
 32 10YR2/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利少量 炭化物少量
- II層**
 33 10YR3/2 黒褐 粘性中 ややしまる 炭化物少量 風化礫多量 小砂利少量
 34 10YR4/2 灰黄褐 粘性中 しまる 風化礫多量
 35 10YR2/3 黒褐 粘性中 ややしまる 小砂利少量 炭化物少量 風化礫少量
 36 10YR3/2 黒褐 粘性中 しまる 風化礫少量 炭化物極多量
 37 10YR3/3 暗褐 粘性中 しまる 小砂利少量 風化礫極多量
 38 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 小砂利多量 風化礫多量 炭化物少量
- III層**
 39 7.5Y5/2 灰オリーブ シルト質 粘性強 ややゆるい 小砂利少量 風化礫多量
 40 10YR2/3 黒褐 シルト質 粘性強 ややしまる 小砂利少量 炭化物少量 + 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 小砂利少量
 41 7.5Y5/2 灰オリーブ シルト質 粘性強 ややゆるい 小砂利少量 風化礫多量 + 2.5Y4/2 暗灰黄 シルト質 粘性強 ややゆるい 小砂利多量 風化礫多量 + 2.5Y3/1 黒褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 小砂利少量 風化礫少量 炭化物少量
 42 10YR1/3 にぶい黄褐 粘土質 粘性強 + 2.5Y3/1 黒褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 小砂利少量 風化礫少量 炭化物少量
- IV層**
 43 10YR2/1 黒 シルト質 粘性強 ややゆるい
- 泥炭層**
 44 10YR3/2 黒褐 泥炭質 粘性中 ややゆるい



図IV-8 蔵1・溝1 (4)

蔵2・溝2



図IV-9 蔵2・溝2 (1)

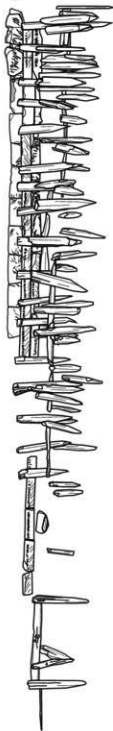


北側石積、南側土上部縁石張り上行儀

h. 2.50



h. 2.50



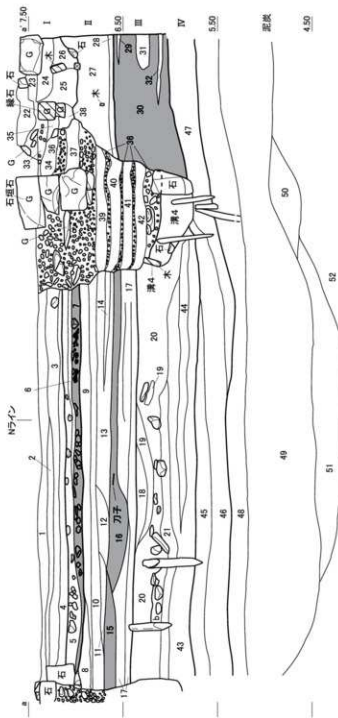
h. 2.50



※ 断伏せは抜く集めている部分



図IV-10 蔵2・溝2 (2)



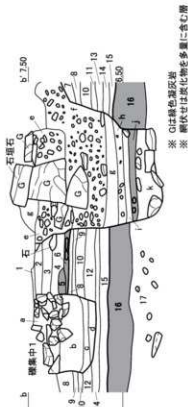
- 観2**
- 1 10YR8/4 褐 粘土質 粘性中 ややしめる 小砂利多量 風化層少量 10cm以下の礫少量
 2 10YR3/2 黒 粘土質 粘性強 ややしめる 小砂利少量 風化層少量
 3 5YR3/2 黒 粘土質 粘性強 ややしめる 小砂利少量 風化層少量
 4 10YR3/2 黒 粘土質 粘性中 ややしめる 小砂利多量 風化層少量 5cm大の角礫少量
- 観2石垣上方**
- 34 10YR8/4 褐 粘土質 粘性強 ややしめる
 36 10YR4/2 灰黄褐 粘性中 ややしめる 風化層主体 風化層少量 礫大以下の礫少量
 37 10YR4/4 褐 粘土質 粘性強 ややしめる
 39 10YR4/4 褐 粘土質 粘性強 ややしめる 5cm以下の礫混じり
 40 10YR4/4 褐 粘土質 粘性強 ややしめる 5cm以下の礫混じり
 41 10YR4/4 褐 粘土質 粘性強 ややしめる 5cm以下の礫混じり
 42 10YR4/4 褐 粘土質 粘性強 ややしめる 5cm以下の礫混じり
 43 10YR4/4 褐 粘土質 粘性強 ややしめる 小砂利少量 風化層少量 10cm以下の礫少量
 44 10YR4/4 褐 粘土質 粘性強 ややしめる 小砂利少量 風化層少量

- 観3**
- 5 10YR4/2 灰黄褐 粘性強 礫中心 風化層20cm以下の角礫主体
 6 10YR2/2 黒 粘土質 粘性強 ややしめる 小砂利少量 風化層少量 20cm以下の角礫少量
 7 10YR4/4 褐 粘土質 粘性強 ややしめる 風化層少量
 22 5YR8/4 黒 粘土質 粘性強 ややしめる 小砂利少量 5cm以下の角礫少量
 23 10YR4/2 灰黄褐 粘性強 ややしめる 小砂利多量 5cm以下の礫少量
 24 10YR8/2 灰黄褐 粘性中 ややしめる 風化層少量 5cm以下の礫少量
 25 10YR2/2 黒 粘土質 粘性中 ややしめる 小砂利少量 風化層少量
 26 10Y2/2 黒 粘土質 粘性中 ややしめる 小砂利少量 風化層少量
 33 10YR3/3 暗褐 シルト質 粘性強 ややしめる 5cm以下の礫少量 小砂利多量
 35 10YR3/3 暗褐 シルト質 粘性強 ややしめる 風化層少量
 38 10YR2/2 暗褐 シルト質 粘性強 ややしめる 風化層少量

観3V-1段に続く

図IV-11 観2・溝2 (3)





※ Oは換氣層状腐
※ 斜伏せは酸化物を多量に含む層

層中1)

- a 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ
 b 7.5Y6/2 灰土カーブ 粘土質 粘性強 ゆがみ
 c 10YR4/3 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 d 10YR4/2 灰黄褐 粘液中 5cm以下 炭化腐多量

層2石垣層下)

- e 7.5Y3/2 黒褐 シルト質 粘性強 ゆがみ 10cm以下の腐少量
 f 2.5Y1/2 黒灰黄 粗砂質 粘性弱 10cm以下の腐少量
 g 10YR4/4 黒黄褐 粗砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 h 10YR5/4 黒黄褐 粘土質 粘性強 ややゆがみ
 i 10YR4/1 黒灰 シルト質 粘液中 小砂り少量 炭化腐多量 炭化物多量
 j 10YR4/1 黒灰 粗い砂質 粘性弱 ゆがみ 10cm以下の腐少量 炭化腐多量
 k 2.5Y4/1 黒灰 粘土質 粘液中 小砂り少量 炭化腐少量
 l 10YR6/4 黒 粘土質 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 m 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 n 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 o 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 p 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 q 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 r 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 s 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 t 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 u 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 v 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 w 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 x 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 y 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 z 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量

層3)

- 1 10YR3/2 黒褐 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 2 10YR6/2 灰土カーブ 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 3 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 4 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 5 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 6 10YR3/1 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 5cm以下の腐少量
 7 10YR3/2 黒褐 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 8 10YR6/2 灰土カーブ 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 9 10YR4/3 黒褐 砂質 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 10 10YR4/2 灰黄褐 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 11 10YR6/2 灰土カーブ 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 12 10YR6/2 灰土カーブ 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 13 2.5Y3/4 黒褐 粗い砂質 粘性弱 10cm以下の腐少量 炭化腐少量
 14 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 15 2.5Y1/2 黒灰黄 粗砂質 粘性弱 10cm以下の腐少量 炭化腐少量
 16 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 17 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量



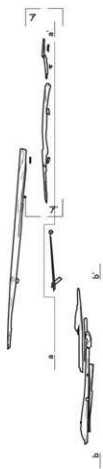
図IV-11a-b

- 層1) 10YR5/3 黒黄褐 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 9 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 10 5Y8/2 灰土カーブ 炭化腐主体 粘液中 炭化腐多量
 11 10YR6/6 暗黄褐 炭化腐主体 粘液中 炭化腐少量
 12 10YR3/2 黒褐 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 13 2.5Y3/4 黒褐 炭化腐主体 粘液中 小砂り少量 炭化腐少量
 14 10YR4/2 灰黄褐 粘液中 小砂り少量 炭化腐少量 炭化腐少量
 15 10YR3/2 黒褐 砂質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 16 2.5Y3/3 黒土カーブ 粗砂質 粘性弱 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐多量
 17 2.5Y3/3 黒褐 炭化腐主体 粘液中 小砂り少量 炭化腐多量
 18 10YR2/2 黒褐 ややゆがみ 炭化腐少量 炭化腐少量
 19 10YR2/2 黒土カーブ 炭化腐主体 粘液中 小砂り少量 炭化腐少量
 20 10YR2/2 黒褐 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量 炭化腐少量
 21 5Y5/2 灰土カーブ 炭化腐主体 粘液中 炭化腐少量 20cm以下の腐少量
 22 10YR4/2 灰黄褐 炭化腐主体 粘液中 炭化腐少量
 23 10YR2/2 黒褐 粘液中 ややゆがみ 炭化腐少量 小砂り少量
 24 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 炭化腐少量 小砂り少量
 25 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 26 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 27 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 28 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 29 10YR4/4 黒 粘土質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 30 10YR2/2 黒褐 粘液中 ややゆがみ 炭化腐少量 炭化腐少量
 31 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 32 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 33 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 炭化腐少量 炭化腐少量
 34 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 35 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 36 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 37 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 38 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 39 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 40 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 41 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 42 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 43 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 44 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 45 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 46 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 47 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 小砂り少量
 48 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘液中 ややゆがみ 4400ローム域入、やや炭化
 49 10YR3/2 黒褐 粗砂質 粘液中 ややゆがみ 4400ローム域入、やや炭化
 50 10YR2/2 黒褐 粗砂質 粘液中 ややゆがみ 4400ローム域入、やや炭化
 51 10YR2/2 黒褐 粗砂質 粘液中 ややゆがみ 4400ローム域入、やや炭化
 52 10YR2/2 黒土カーブ(灰土)粘液中10YR3/2(黒褐)粘液中10YR4/1(黒灰)粘液中の互層

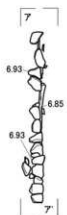
図IV-12 層2・層3(4)



14a



14a

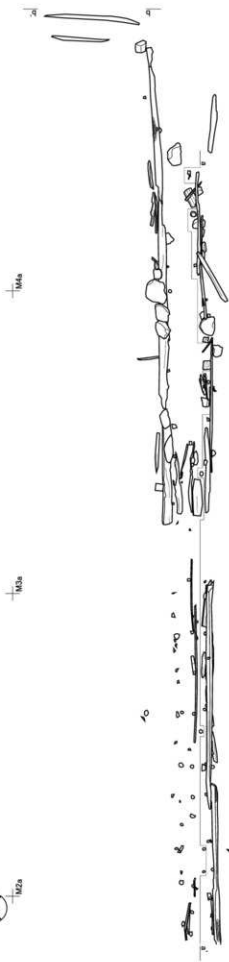


石列出土状況



図IV-13 溝3

溝4



M2a

M3a

M4a



6.8.00



6.8.00

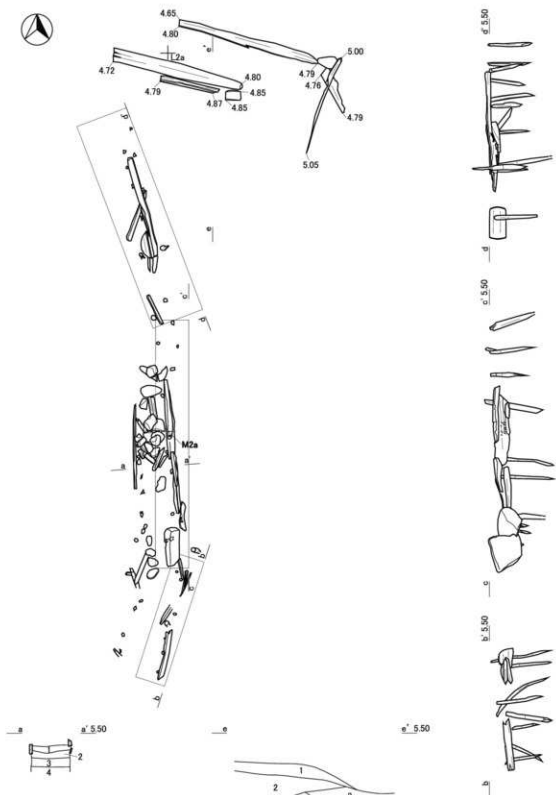
※ 網状では復元集けている部分



IV 遺構

図IV-14 溝4

溝5



溝5

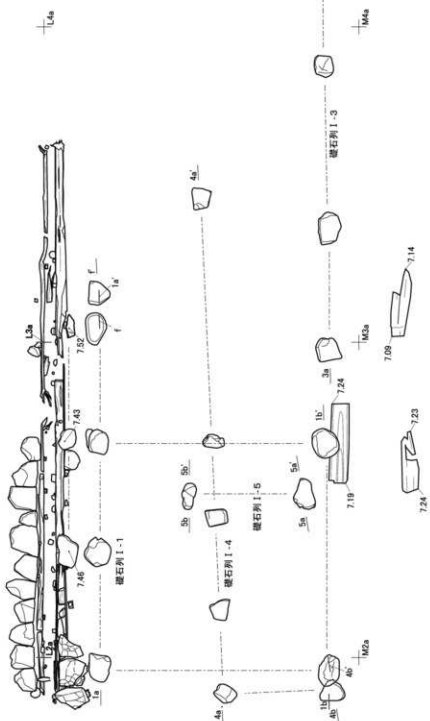
- 1 10YR2/1 黒 粘質土 ややしまる 泥炭混じり
- 2 10YR2/1 黒 粘質土 ややしまる
- 3 10YR3/1 黒褐 砂(4より細から) ややしまる
- 4 10YR4/1 褐灰 砂 しまる

- 1 10YR3/3 暗褐 シルト質 粘強 ややしまる 腐食途中の草本多数 やや泥炭化
- 2 2.5GY5/1 オリーブ灰シルト質と10YR3/4 暗褐シルトの互層
- 3 2.5Y4/2 暗灰黄 砂質 粘弱 しまる
- 4 10YR2/2 黒褐 シルト質 粘強 ややしまる



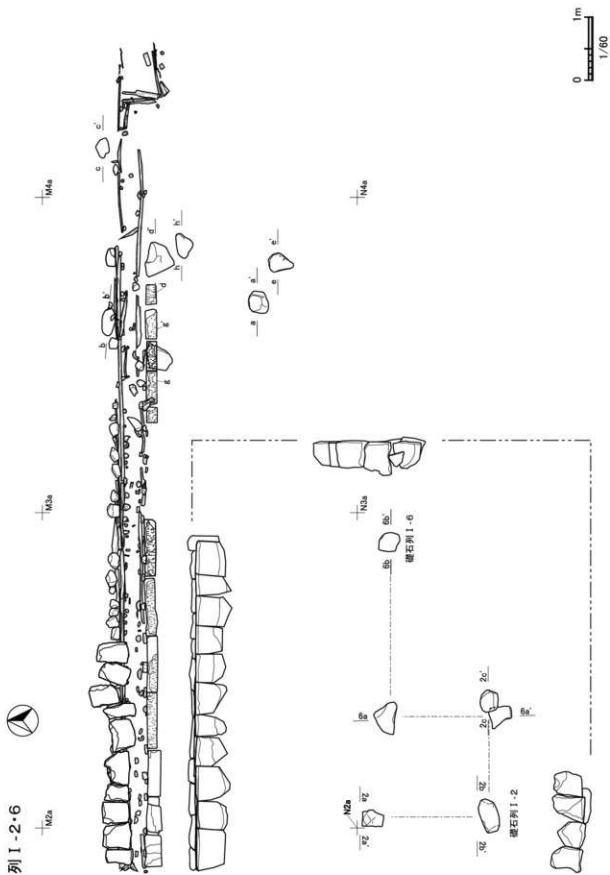
図IV-15 溝5

礎石列 I-1・3~5・7

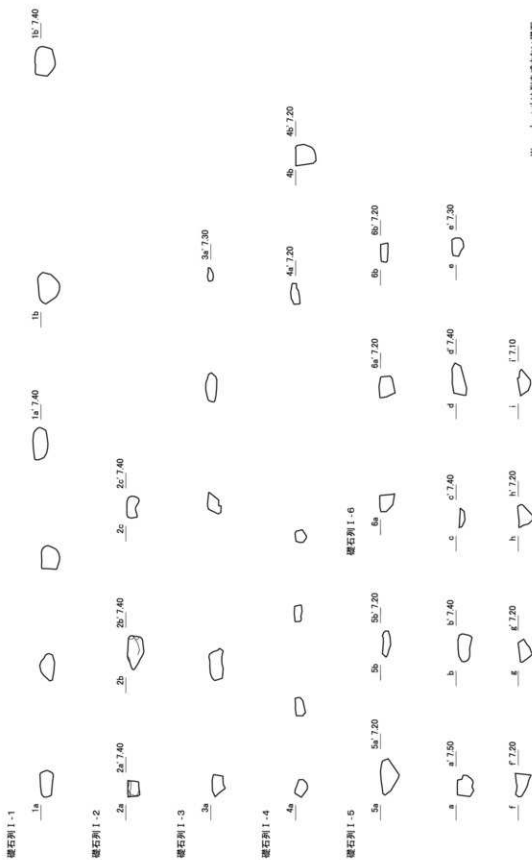


圖IV-16 I層礎石列 (1)

礎石列 I-2·6

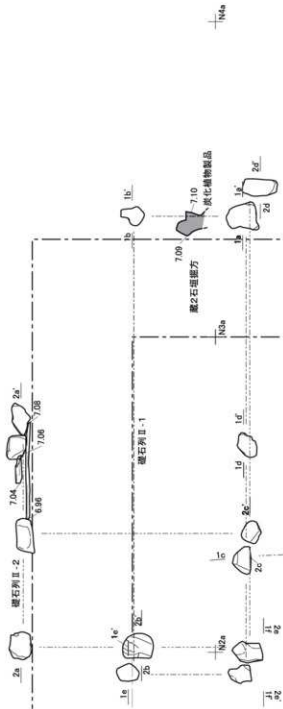


圖IV-17 I層礎石列(2)



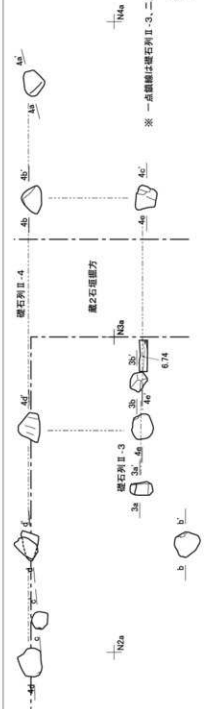
図IV-18 I層礎石列 (3)

磁石列 II - 1・2



※ 一点磁石は磁石列 II - 1, 二点磁石は磁石列 II - 2

磁石列 II - 3・4



※ 一点磁石は磁石列 II - 3, 二点磁石は磁石列 II - 4

図IV-20 II層磁石列 (2)

礎石列 II-1



礎石列 II-2



礎石列 II-3



礎石列 II-4



礎石列 II-5



礎石列 II-6

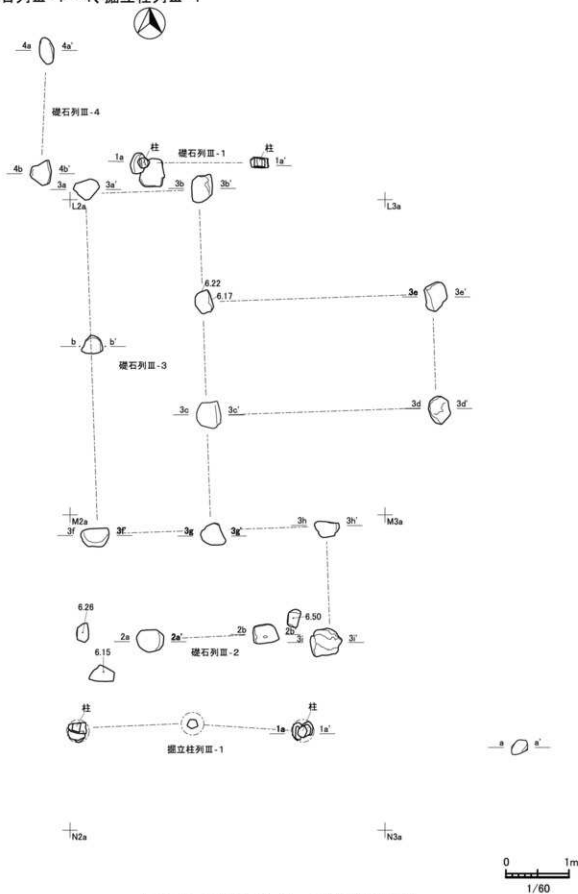


* a'-i' ~ d'-i' は別を成さない礎石



図IV-21 II層礎石列 (3)

礎石列Ⅲ-1~4、掘立柱列Ⅲ-1



圖IV-22 Ⅲ層礎石列(1)、Ⅲ層掘立柱列(1)

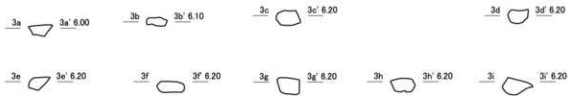
礎石列Ⅲ-1



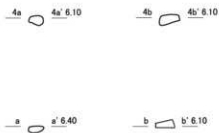
礎石列Ⅲ-2



礎石列Ⅲ-3



礎石列Ⅲ-4



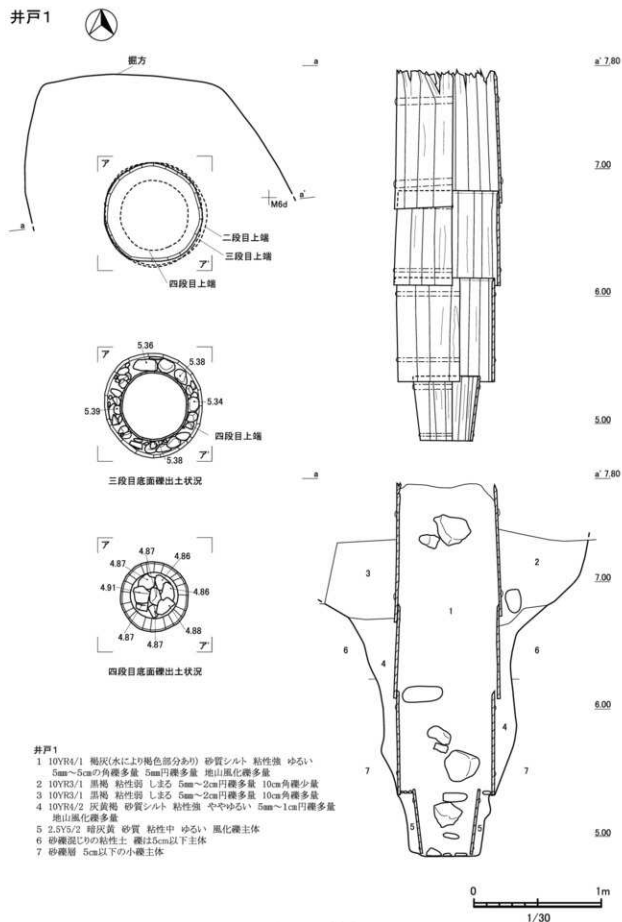
※ a-a'・b-b'は列を成さない礎石

掘立柱列Ⅲ-1



図Ⅳ-23 Ⅲ層礎石列(2)、Ⅲ層掘立柱列(2)

井戸1

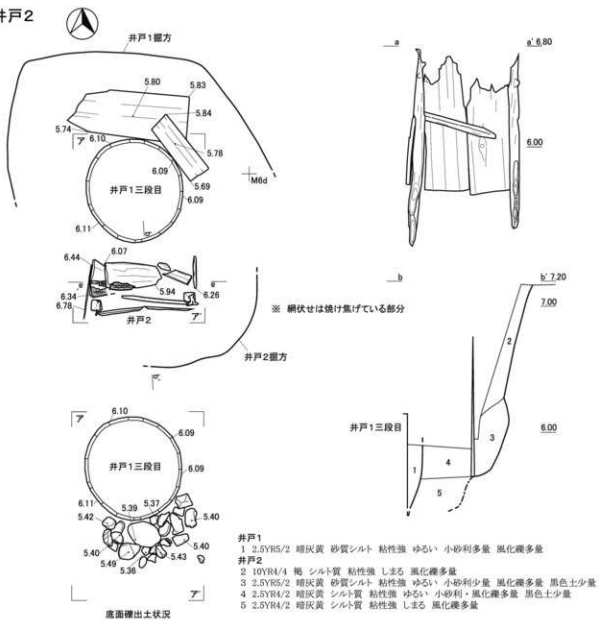


井戸1

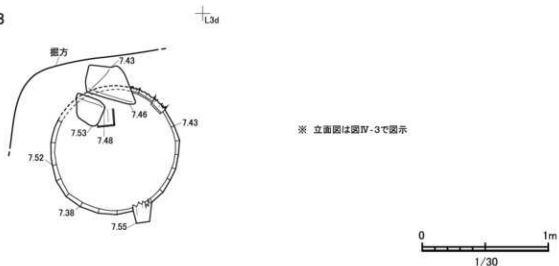
- 1 10YR4/1 褐灰(水により褐色部分あり) 砂質シルト 粘性強 ゆるい
5mm~5cmの角礫多量 5mm円礫多量 地山風化礫多量
- 2 10YR3/1 黒褐 粘性弱 しまる 5mm~2cm円礫多量 10cm角礫少量
- 3 10YR3/1 黒褐 粘性弱 しまる 5mm~2cm円礫多量 10cm角礫多量
- 4 10YR4/2 灰黄褐 砂質シルト 粘性強 ややゆるい 5mm~1cm円礫多量
地山風化礫多量
- 5 2.5Y5/2 暗灰黄 砂質 粘性中 ゆるい 風化礫主体
- 6 砂礫面じりの粘性土 礫は5cm以下主体
- 7 砂礫層 5cm以下の小礫主体

図IV-24 井戸1

井戸2

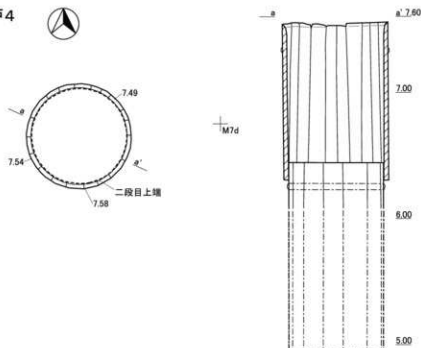


井戸3

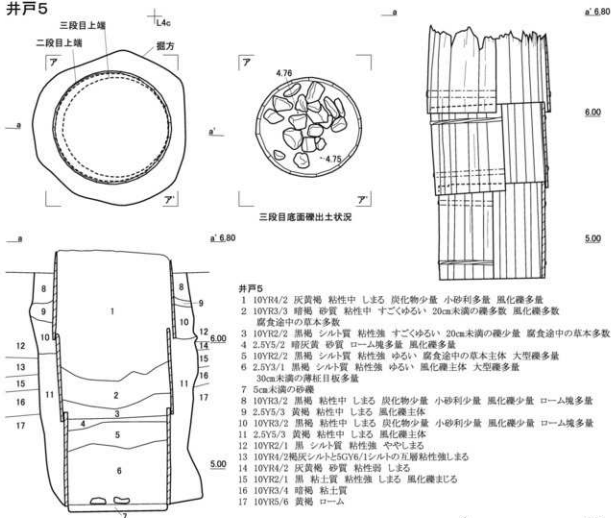


図IV-25 井戸2・3

井戸4



井戸5



図IV-26 井戸4・5

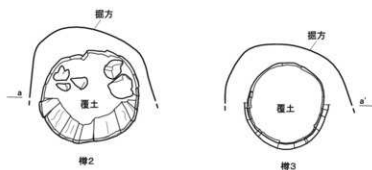
樽1



樽1

樽内堆積物 10YR3/1 黒褐 粘中 ややしまる 炭化物少量 地山風化礫多量
 I 10YR3/1 黒褐 粘中 しまる 炭化物少量 地山風化礫多量
 I 10YR3/2 黒褐 粘中 ややしまる 炭化物多量 風化礫多量 10cmの角礫少量

樽2・3



L5b



7.30

樽2

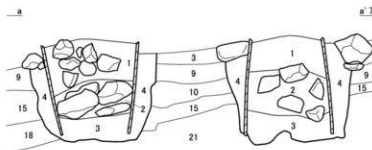
1 10YR4/4 褐 砂質 粘性弱
 ややゆるい 小砂利多量
 風化礫少量 20cm大の礫多量
 2 10YR3/1 黒褐 シルト質
 粘性強 ゆるい 40cm大の礫多量
 3 10YR4/2 灰黄褐 シルト質
 粘性強 ややゆるい
 小砂利多量
 (2層+ローム)
 4 10YR3/2 黒褐 粘性中
 ややしまる 風化礫少量

樽3

7.30

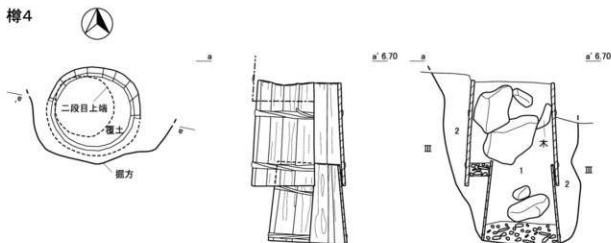
1 10YR4/4 褐 砂質 粘性弱
 ややゆるい 小砂利多量
 風化礫少量
 2 10YR3/1 黒褐 シルト質
 粘性強 ゆるい
 20cm大の礫多量
 薄板目板多量
 3 10YR4/2 灰黄褐 シルト質
 粘性強 ややゆるい
 小砂利多量
 (2層+ローム)
 4 10YR3/2 黒褐 粘性中
 ややしまる 風化礫少量

※ 掘方外の3・9・10・15・18・21層の
 土層註記は、図IV-4に示してある



図IV-27 樽1～3

樽4



樽4

- 1 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘性強 すぐゆるい 小砂利多数 炭化物少量
 2 10YR3/2 黒褐 粘性中 ややゆるい 風化礫少量 5mm~5cmのローム塊少量

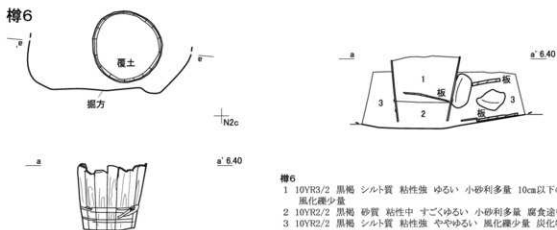
樽5



樽5

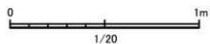
- 1 10YR3/3 暗褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 小砂利少量 炭化物少量 風化礫少量

樽6



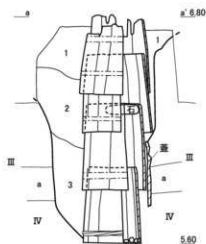
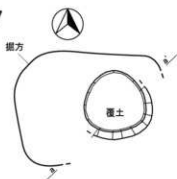
樽6

- 1 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘性強 ゆるい 小砂利多量 10cm以下の礫多量 風化礫少量
 2 10YR2/2 黒褐 砂質 粘性中 すぐゆるい 小砂利多量 腐食途中の草本多量
 3 10YR2/2 黒褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 風化礫少量 炭化物少量



図IV-28 樽4~6

樽7



N3d

樽7

樽内地積物 10YR2/2 黒褐 シルト質 粘性強 ゆるい 小砂利多量 腐食途中の草本類多量 幅2cmの薄板目板多量 四段目底面に3cm以下の玉砂利

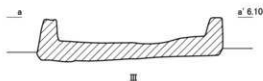
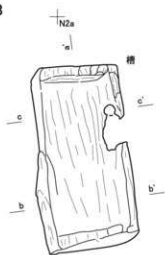
1 10YR2/3 黒褐 粘性中 ややしまる 小砂利多量 風化礫多量

2 10YR3/3 暗褐 シルト質 粘性強 ややしまる 3cm以下の風化礫多量 20cm以下の大型礫多量

3 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘性強 ややしまる

a 10YR4/1 褐灰 シルト質 粘性強 ややしまる

樽8



樽8

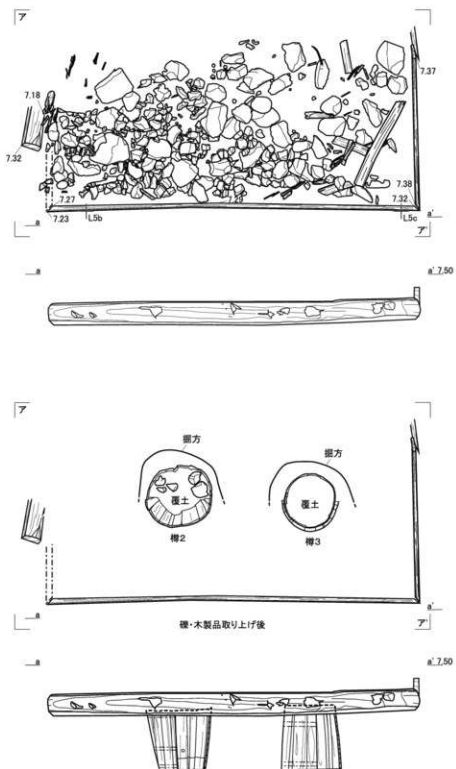
1 10YR2/2 黒褐 砂質 粘性中 ややゆるい 小砂利少量 風化礫少量 腐食途中の草本多量

III 10YR2/2 黒褐 粘性中 ややしまる 小砂利少量 風化礫少量 20cm大の礫多量



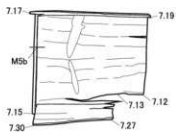
図IV-29 樽7・8

木枠1

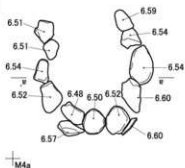


図IV-30 木枠1

樹1



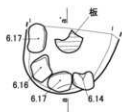
石組1



石組1

- 1 10YR4/2 灰黄褐 粘性中 堅くしまる 炭化物少量 風化礫多量 ローム塊少量
- 2 10YR4/1 褐灰 粘性中 堅くしまる 炭化物少量 風化礫少量 ローム塊多量
- III 10YR2/2 黒褐 シルト質 ややゆるい 風化礫少量

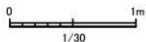
配石1



配石1

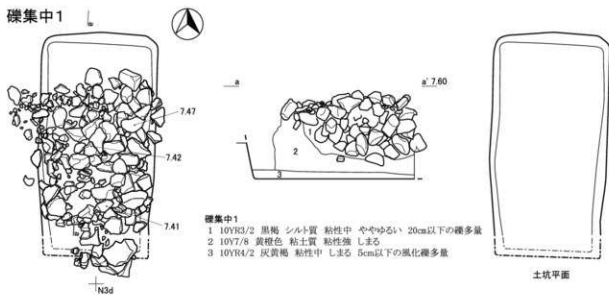
- 1 2.5GY4/1 暗オリーブ灰 粘性強 ややしまる
- 2 10YR5/6 黄褐 粘土質 粘性中 しまる
- 3 10YR2/2 黒褐 粘性中 ややしまる 炭化物多量

配石2



図IV-31 樹1、石組1、配石1・2

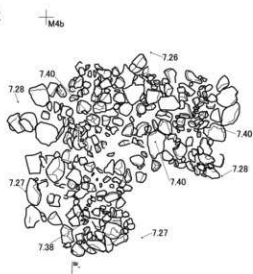
礫集中1



礫集中1

- 1 10YR3/2 黒褐 シルト質 粘性中 ややゆるい 20cm以下の礫多量
- 2 10Y7/8 黄褐色 粘土質 粘性強 しまる
- 3 10YR4/2 灰黄褐 粘性中 しまる 5cm以下の風化礫多量

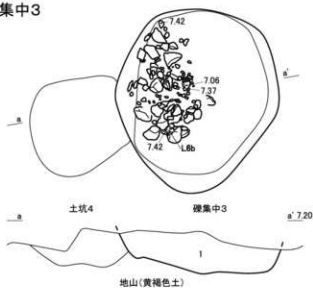
礫集中2



礫集中2

- 1 焼土粒と炭化物多量
- 2 10YR3/4 暗褐 炭化物多量
- 1 7.5Y6/2 灰オリーブ シルト 粘性強 ややゆるい
1.5cm以下の風化礫を多量に含む

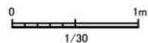
礫集中3



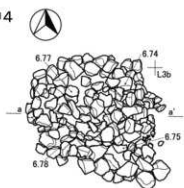
礫集中3

- 1 10YR3/4 暗褐 粘性中 しまる 炭化物少量 風化礫少量
1~5cm礫少量 1~3cmローム塊少量 小砂り少量

図IV-32 礫集中1~3



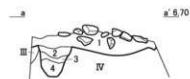
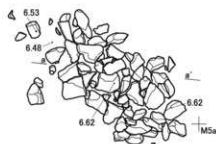
礫集中4



礫集中4

- 1 2.5Y3/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 風化礫多量
- 2 2.5Y5/4 黄褐 粘性中 しまる 小砂利多量 風化礫多量
- 3 2.5Y3/2 黒褐 粘性中 しまる 小砂利多量 風化礫多量
- 4 2.5Y5/4 黄褐 粘性中 しまる 小砂利多量 風化礫多量

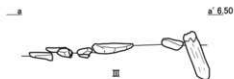
礫集中5



礫集中5

- 1 10YR3/2 黒褐 粘性中 ややゆるい 風化礫少量 炭化物少量 ローム地少量
- 2 10YR5/2 灰黄褐 シルト質 粘性強 ゆるい 小砂利少量 風化礫少量
- 3 10YR2/1 黒 シルト質 粘性強 ゆるい
- 4 10YR3/1 黒褐 シルト質 粘性強 ゆるい 小砂利少量

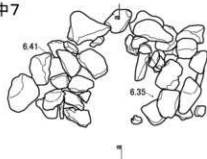
礫集中6



礫集中6

- III 10YR2/2 黒褐 粘性中 ややしまる 小砂利少量 風化礫少量 20cm大の礫多量

礫集中7



礫集中7

- I 10YR2/3 黒褐 粘性中 ややゆるい 小砂利少量 風化礫少量 20cm薄板目板多量

N4a

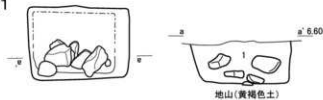


図IV-33 礫集中4～7

礫集中8



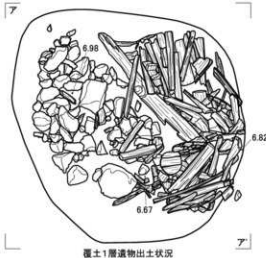
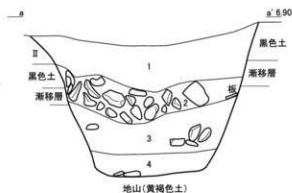
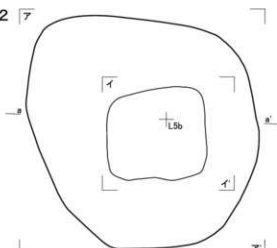
土坑1



土坑1

- 10YR3/2 黒褐色 シルト質 粘性強
ゆるい、小砂利多量 風化物少量
1~2cmローム塊少量

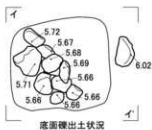
土坑2



覆土1層遺物出土状況



覆土3層遺物出土状況



底面礫出土状況

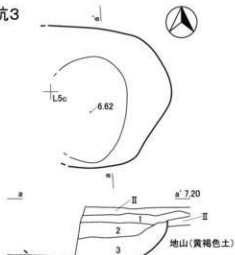
土坑2

- 10YR3/3 暗褐色 粘性中 しまる 小砂利多量 風化礫多量
ローム塊少量 20cm以上の織と木製品(下駄・漆器・樽)を投げ込んでいる
- 10YR3/2 黒褐色 粘性中 ゆるい 小砂利多量 風化礫多量
ローム塊少量 20cm大の織物多量
- 10YR3/1 黒褐色 シルト質 粘性強 ゆるい 小砂利多量 風化礫少量
20cm大の織少量 樽割板多数
- 5cm未満の海砂利 底に20cm大の扁平礫



図IV-34 礫集中8、土坑1・2

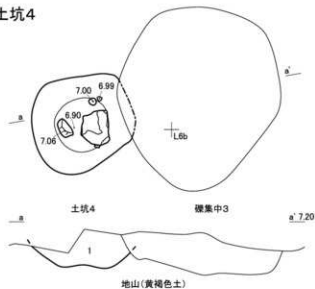
土坑3



土坑3

- 1 2.5Y5/4 黄褐 砂質 粘性弱 小砂利少量 風化礫多量
- 2 2.5Y4/6 オリーブ褐 粘性弱 ややしまる 小砂利少量 風化礫多量
- 3 10YR3/3 暗褐 シルト質 粘性弱 ゆるい ローム塊多量
- II 10YR3/3 暗褐 粘性中 しまる 小砂利少量 風化礫少量 炭化物少量

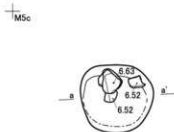
土坑4



土坑4

- 1 10YR3/4 暗褐 粘性中 ややしまる 小砂利多量 風化礫少量

土坑5

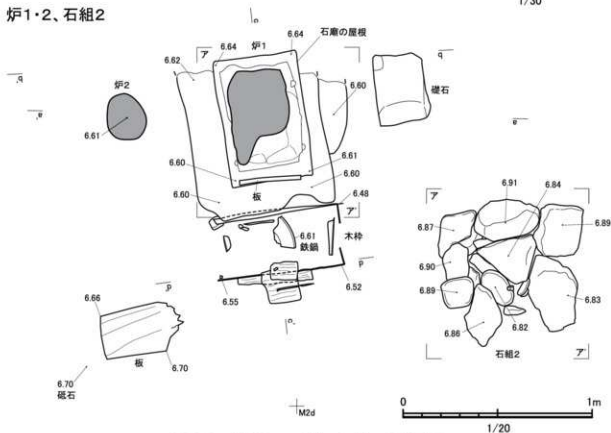


土坑5

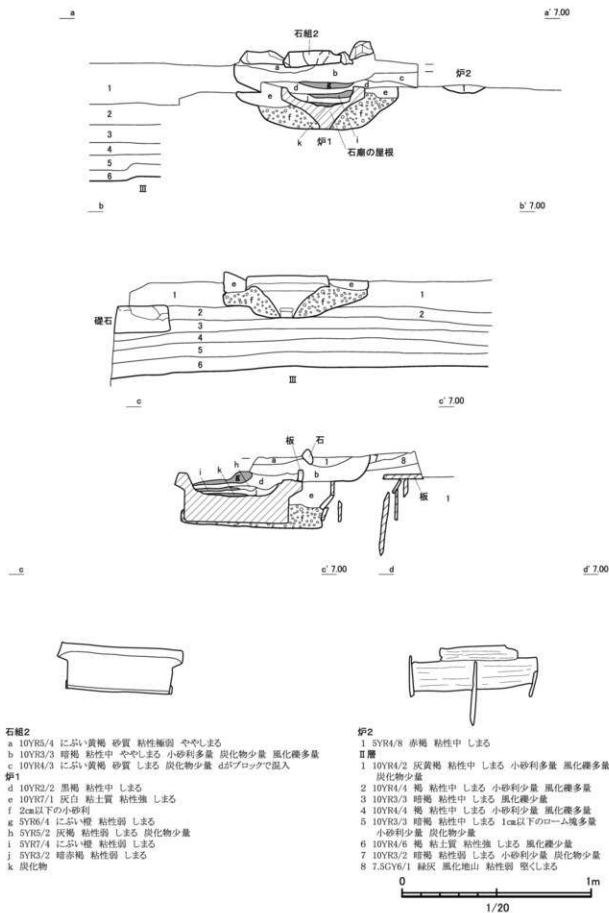
- 1 10YR4/3 にぶい黄褐 シルト質 粘性強 ゆるい ローム塊多量



炉1・2、石組2

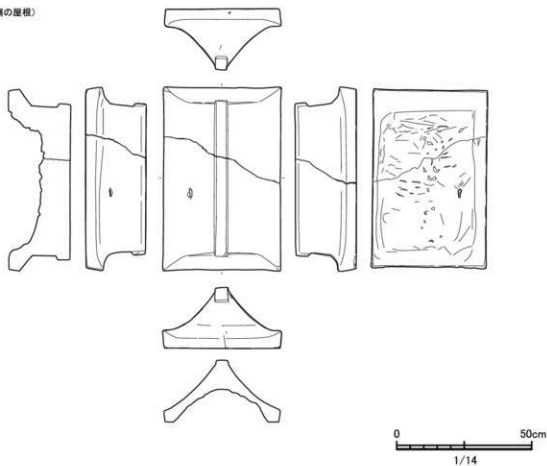


図IV-35 土坑3～5、炉1・2 (1)、石組2 (1)

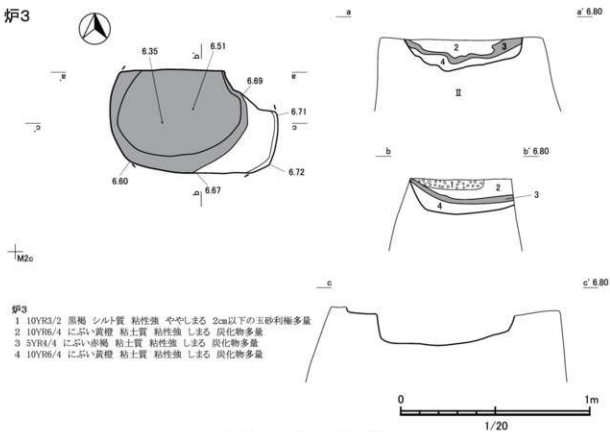


図IV-36 炉1・2 (2)、石組2 (2)

炉1炉壁(石層の層様)

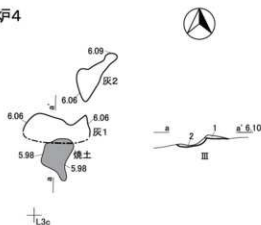


炉3



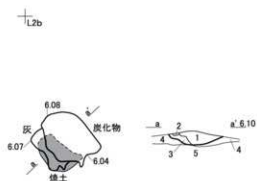
図IV-37 炉1・2 (3)、炉3

炉4



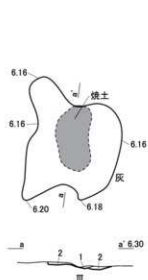
- 炉4
 1 10YR4/1 褐灰 灰 ゆるい
 2 5YR4/3 にぶい赤褐 焼土 ややしまる
 III 10YR3/1 黒褐 粘土質シルト しまる

炉5



- 炉5
 1 10YR3/1 黒褐粘土質と10YR4/2 灰黄褐粘土質が混在 しまる
 1cm前後の灰がやや多量 焼土粒が少量混じる
 2 2.5Y4/2 暗灰黄 灰 しまる 長さ2mm程度の骨片が少量混じる
 3 5YR3/2 暗赤褐 焼土 堅くしまる
 III層
 4 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘質土 しまる 10YR3/1 黒褐が混じる
 5 10YR3/1 黒褐 粘質土 ややしまる

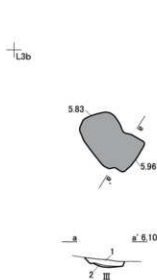
炉6



※ 灰層を掘り下げてから実測

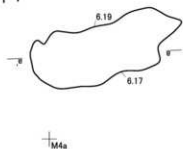
- 炉6
 1 5YR2/2 黒褐 粘性中 しまる 炭化物多量
 2 2.5YR3/6 暗赤褐 粘性中 しまる

炉7



- 炉7
 1 2.5GY6/1 オリーブ灰 粘性中 しまる 骨片 炭化物多量
 2 2.5YR3/4 暗赤褐 粘性中 しまる
 III 10YR2/1 黒 粘性強 しまる

灰集中1



- 灰集中1
 1 10YR6/2 灰黄褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 炭化物多量 小骨片多量
 2 10YR5/1 褐灰 シルト質 粘性強 ややゆるい 炭化物多量 小骨片多量
 3 10YR6/2 灰黄褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 炭化物多量 小骨片多量
 4 5YR4/4 にぶい赤褐 シルト質 粘性強 ややゆるい 炭化物多量 小骨片少量



図IV-38 炉4~7、灰集中1

表IV-1 遺構一覧

遺構	層位	規模(m)	発掘からの確定年代	備考
竪1	I	「基礎」長さ(412)、幅0.53、高さ0.40	18世紀後半～19世紀前半	緑色凝灰岩の基礎
竪2	I	6.3×0.68、「北側石垣」高さ0.90	18世紀後半～19世紀前半	溝4を切る。緑色凝灰岩の石垣、壁で覆った遺構壁
溝1	I	「一段目」0.92×0.30、「二段目」(6.76)×0.28、	18世紀後半～19世紀前半	
		「三段目」(5.82)×0.28、「四段目」(3.72)×0.36、		
		「三段目直下段石列」長さ3.72、幅0.34、高さ0.40		
溝2	I	(13.10)×0.30	18世紀後半～19世紀前半	溝3を切る。緑色凝灰岩の線石
溝3	II	(5.36)×0.28	17世紀中葉～18世紀前半	
溝4	II	(14.94)×0.72、「付属部分」1.57×0.30	17世紀前半～17世紀後半	
溝5	泥炭	(6.90)×0.68(長さは南端と北端の板石の直線長)	16世紀末～17世紀初め	
礎石列Ⅰ-1	I	36×5.4	(18世紀中葉～19世紀中葉)	竪1礎石?
礎石列Ⅰ-2	I	1.8×1.8	(18世紀中葉～19世紀中葉)	竪2礎石(石垣)
礎石列Ⅰ-3	I	-×8.0	(18世紀中葉～19世紀中葉)	
礎石列Ⅰ-4	I	1.8×7.9	(18世紀中葉～19世紀中葉)	
礎石列Ⅰ-5	I	1.8×-	(18世紀中葉～19世紀中葉)	
礎石列Ⅰ-6	I	1.8×2.8	(18世紀中葉～19世紀中葉)	
礎石列Ⅰ-7	I	-×3.6	(18世紀中葉～19世紀中葉)	竪2礎石
礎石列Ⅱ-1	II	1.8×7.2	(17世紀中葉～18世紀前半)	竪2礎石(遺構壁)
礎石列Ⅱ-2	II	3.6×7.2	(17世紀中葉～18世紀前半)	竪2礎石(遺構壁)
礎石列Ⅱ-3	II	-×1.8	(17世紀中葉～18世紀前半)	竪2礎石
礎石列Ⅱ-4	II	1.8×9.0	(17世紀中葉～18世紀前半)	竪2礎石
礎石列Ⅱ-5	II	-×3.6	(17世紀中葉～18世紀前半)	
礎石列Ⅱ-6	II	5.4×4.5	(17世紀中葉～18世紀前半)	L2の穴状構造物壁より下段
礎石列Ⅲ-1	III	-×1.8	(17世紀前半～18世紀後半)	
礎石列Ⅲ-2	III	-×1.8	(17世紀前半～18世紀後半)	
礎石列Ⅲ-3	III	7.2×5.4	(17世紀前半～18世紀後半)	
礎石列Ⅲ-4	III	1.8×-	(17世紀前半～18世紀後半)	
掘立柱列Ⅲ-1	III	-×3.6	(17世紀前半～18世紀後半)	
井戸1	II	0.75×0.92	18世紀中葉～19世紀中葉	井戸2を切る。結構四段
井戸2	II	(0.50)×(0.90)×1.11(覆板高さ)	17世紀前半～18世紀前半	庭敷
井戸3	I	1.03×1.75	近代以降	結構二段
井戸4	I	0.84×2.61	近代以降	結構二段
井戸5	I・II	0.92×2.01	17世紀中葉～19世紀後半	結構三段
棟1	I	0.46×0.28	(18世紀中葉～19世紀中葉)	礎構
棟2	I	0.52×0.50	(18世紀中葉～19世紀中葉)	
棟3	I	0.38×0.50	19世紀前半～19世紀中葉	
棟4	II	0.45×0.87	(17世紀後半～18世紀前半)	井戸、結構二段、竪上段抜き取り
棟5	II	0.24×0.67	(17世紀後半～18世紀前半)	井戸、結構二段
棟6	III	0.38×0.34	17世紀後半	
棟7	III	0.30×1.22	(17世紀前半～18世紀後半)	井戸、結構四段
棟8	III	0.57×0.31	17世紀中葉～17世紀後半	
木枠1	I	2.96×(1.86)×0.31	18世紀後半～19世紀中葉	土境2・3の上段
石垣1	II	(0.95)×(0.92)×0.18	(18世紀中葉～19世紀中葉)	
石垣2	II	0.98×0.96	(17世紀後半～18世紀前半)	庭敷中1の上段
石垣3	II	0.79×0.76	(17世紀後半～18世紀前半)	御1の上段
配石1	III	(0.51)×(0.51)、「土境」(0.52)×0.71/(0.50)×0.64/0.10	(17世紀前半～18世紀後半)	土境あり
配石2	泥炭	2.50×2.47	(16世紀末～17世紀初め)	
礎集中1	I	1.68×1.22、「土境」(1.80)×0.92/(1.65)×0.84/0.72	18世紀後半～19世紀中葉	土境あり
礎集中2	I	1.84×1.54	(18世紀中葉～19世紀中葉)	
礎集中3	I	0.96×0.68、「土境」1.46×1.30/1.30×1.05/0.32	18世紀後半	土境4を切る。土境あり
礎集中4	II	1.32×1.10	(17世紀後半～18世紀前半)	
礎集中5	III	1.68×1.02	(17世紀前半～18世紀後半)	
礎集中6	III	1.65×1.28	17世紀前半	
礎集中7	III	1.58×0.94、「土境」溝さ0.29	17世紀後半	土境あり
礎集中8	泥炭	1.60×1.60	(16世紀中葉～17世紀前半)	
土境1	II	0.82×0.58×0.66×(0.48)×0.34	17世紀後半～18世紀初め	
土境2	II	1.87×1.84×0.68×0.74×1.22	17世紀後半	
土境3	II	1.12×(1.65)×0.84×(0.57)×0.35	(17世紀後半～18世紀前半)	裏掘り井戸?
土境4	I・II	(0.79)×0.77×0.44×0.42×0.30	(17世紀後半～19世紀中葉)	
土境5	II	0.58×0.54×0.50×(0.40)×0.09	(17世紀後半～18世紀前半)	
御1	II	「石垣基礎」0.69×0.44×0.23、「木枠」0.71×0.34×0.24	17世紀末～18世紀初め	御殿跡?、御座は石垣の屋根
御2	II	0.25×0.22×0.08	(17世紀後半～18世紀前半)	御殿跡?P
御3	II	「扉方」0.88×(0.56)×0.18	(17世紀後半～18世紀前半)	御殿跡?、約20m以上に礎石列Ⅱ-2
御4	III	「礎上」0.31×0.28×0.02、「扉1」0.54×0.24×0.02、「扉2」0.45×0.22×-/	17世紀後半	
御5	III	「扉1」0.48×0.46×0.11、「礎上」0.38×0.22×0.09	(17世紀前半～18世紀後半)	
御6	III	「礎上」0.52×0.20×0.02、「扉」0.99×0.78×-/	(17世紀前半～18世紀後半)	
御7	III	0.52×0.38×0.08	(17世紀前半～18世紀後半)	約10m以上に礎石列Ⅱ-3
御集中1	III	1.21×0.51×0.08	(17世紀前半～18世紀後半)	

●竪・礎石列・掘立柱列は掘立柱・貫行、溝は長さ×幅、棟枠井戸・棟は竪上段の土境直径/幅×重ねた高さ、木枠井戸・木枠・例は長軸長×短軸長/高さ、礎集中・配石・石垣は長軸長×短軸長、土境は上端長軸長×短軸長/下端長軸長×短軸長/溝土、御・御集中は長軸長×短軸長/厚さ

●確定年代のうち、丸括弧で括弧つものは、発掘から確定される各層位の年代

図版IV-1



準備工事



表土除去作業

準備状況 (1)

図版Ⅳ-2



ベルトコンベアー設置



調査開始

準備状況 (2)・調査開始

図版IV-3



包含層調査



木製品の調査



遺構調査



遺構調査

調査状況 (1)

図版Ⅳ-4



調査状況



調査状況

調査状況 (2)

図版IV-5



蔵1



蔵1西側セクション



溝1張石



蔵1・溝1

溝1杭列

図版IV-6



蔵2



蔵2西側セクション



蔵2

蔵2

図版IV-7



蔵2東側セクション



溝2杭列

蔵2・溝2

図版IV-8



溝4



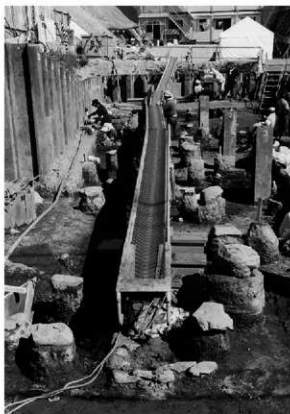
溝3



溝5

溝3～5

図版IV-9



礎石列



礎石・柱



礎石セクション



礎石セクション

礎石建物

図版IV-10



井戸1



井戸1水溜



井戸2



井戸5

井戸1・2・5

図版IV-11



樽1



樽4



樽2・樽3

樽1～4



樽3漆塗下駄

図版IV-12



樽5漆塗椀



樽6



樽7



樽8

樽5~8

図版IV-13



木柱1



木柱1・枅1

枅1

図版IV-14



石組1



石組2



配石1



配石2



礫集中1



礫集中2

石組1・2、配石1・2、礫集中1・2

図版IV-15



礫集中3



礫集中4



礫集中5



礫集中6



礫集中7漆塗椀



礫集中8

礫集中3～8

図版IV-16



灰集中1セクション



土坑1



土坑2



土坑3



土坑4



土坑2セクション



土坑5

灰集中1・土坑1～5

図版IV-17



炉1



炉1焼土セクション



炉1付属木枠

炉1



炉1焼土完掘



炉2



炉3



炉5



炉4



炉7

炉2～5・7

図版IV-19



肥前染付小瓶



肥前大鉢



肥前染付大鉢



肥前染付火入



肥前中碗

陶磁器出土状況



簪



小刀



銅製品



天秤皿



鏡



柄鏡

鉄・非鉄製品出土状況

図版IV-21



箱物板



礎石・板



樽底板



横槓



漆塗椀

木製品出土状況 (1)



露卯下駄



連齒下駄



連齒下駄



連齒下駄 (溝5)



十能 (土坑2)

木製品出土状況 (2)

図版IV-23



槽



縄

木製品出土状況 (3)

図版IV-24



掘立柱



掘立柱



船部材



低湿部完掘

木製品出土状況 (4)・低湿部完掘状況

V 遺物

1 概要

陶磁器・土器、陶磁製品・土製品、鉄製品・非鉄製品、石器、石製品・ガラス製品、骨角製品、漆塗木製品・素木製品などが出土した。

主な種類は、肥前・肥前系・豊前を含む北部九州陶磁器、京信楽を含む関西系陶磁器、美濃瀬戸系陶磁器、中国産輸入磁器(龍泉窯系・景德鎮系・漳州窯系)、風炉・火鉢などの瓦質土器・土師質土器・瓦(石州産)・管状錘・磁製戸車など。鏡・管・煙管・銭(寛永通宝、箱館通宝、中国銭)や鉄鍋・卸金・釘・鋸・鋤・鑿・鉋・下駄・桶樽(墨書ありを含む)・浮子・箸・燭台・羽子板・傘轆轤・三味線の駒、井戸枠・建材・船材などが出土しており、樹種の特徴は、漆塗り木製品には本州産材、桶枠井戸はスギ、大型建材・大型井戸枠(井戸2・5)はヒノキアスナロが多い。詳細点数は各集計表参照。

2 陶磁器・土器、土陶磁製品

(1) 資料整理について

資料は室内作業によって、完形・ほぼ完形・接着破片・未接着破片が生じた。観察表・個体破片集計表を記入するに当たり、器形分類や個体の定義名称について「内藤町遺跡」東京都建設局・新宿区内藤町遺跡調査会(1992)、森本伊知郎「近世陶磁器の考古学」雄山閣(2009)を参考に下記条件を設定した。

・胎土・産地・年代について

胎土：磁質、陶質(炆器質を含む)、半磁半陶質(灰色胎土・貫入の入った器表、集計表では陶胎染付を含んで集計)、土器質(土師質・瓦質を含む)

制作地：波佐見を含んで肥前系・瀬戸美濃系(全国的に多器種を供給する広範的供給地)、京信楽系・越前・中国(遠隔地へは特定器種を供給する選択的供給地)を表の項目とした。

年代：生産地(窯跡編年)における年代を主とし、中国製磁器など一部は消費地年代を採用した。

・器種について

器種は形態・法量を分類項目とした。口縁部が開く形態は口径/器高、口縁部が閉じる形態は器高によって分類した。

具体名として以下がある。小坏・碗・皿・鉢、瓶(潤德利・仏花瓶)・壺・鬘油壺・甕・袋物(線香筒・香炉・火入れ・灰吹き)、蓋・蓋物(段重・合子)、搦鉢、土瓶(急須)・土鍋・注水、猪口・薄手酒盃・紅猪口、紅皿・天目台、仏飯器、鬘盤、散蓮華、灯明皿、植木鉢、火鉢・七厘・焔炉・焼塩壺などがある。

・個体資料とは完形・接着破片の内、個体数・法量復元可能、器種・文様判別可能な資料とした

小型軽質量という性質を持つ器種の口縁部～底部がある下記について4/8以上を個体とする

磁器：猪口・小坏・碗・皿・鉢・蓋物・蓋・仏飯器・香炉・火入れ、

陶器：碗・皿・鍋・香炉・火入れ・灯火具

大型重質量という性質を持つ器種の口縁部～底部がある下記について3/8以上を個体とする

磁器：壺・德利 陶器：鉢・搦鉢・壺・甕・德利・土瓶

表V-2-1 器種分類

		口径	
碗	125<口径/器高≤151	小杯	50mm未満
		小碗	50mm以上～91mm未満
		中碗	91mm以上～120mm未満
		大碗	120mm以上～150mm未満
皿	口径/器高<320	極小皿	76mm未満
		小皿	76mm以上～136mm未満
		五寸皿	136mm以上～167mm未満
		中皿	167mm以上～258mm未満
鉢・楕鉢	151<口径/器高≤320	大皿	258mm以上
		小鉢	136mm未満
		中鉢	136mm以上～258mm未満
		大鉢	258mm以上
		器高	
壺	151≤口径/器高	小壺	100mm未満
		中壺	100mm以上～240mm未満
		大壺	240mm以上
瓶	151≤口径/器高	小瓶	200mm未満
		中瓶	200mm以上～240mm未満
		大瓶	240mm以上
甕	151≤口径/器高	小甕	120mm未満
		中甕	120mm以上～340mm未満
		大甕	340mm以上

(2) 表について

遺構出土磁器4,716点(内海揚り2,112点)・陶器2,127点(内海揚り809点)・土器139点、包含層出土磁器11,016点(内海揚り2,131点)・陶器7,528点(内海揚り845点)・土器508点、表採など磁器57点・陶器13点、遺構出土陶磁土製品174点、含層出土陶磁土製品190点である。

破片集計(表V-2-2～9-12)：集計の単位は「片」である。海揚り陶磁器を除いた1辺が3cm以上について器種に分けて集計し、3cm未満は器種不明として集計した。なお、蔵2出土として掘りあげられた遺物の内、「覆土1層・砂利層・たき」は蔵2に伴う遺構遺物、他は「覆土2＝包含層I層、3～5層＝包含層II層、6層＝包含層III層・泥炭層＝包含層泥炭層・試掘坑＝包含層I～泥炭層」である。

個体集計(表V-2-10-11-13-14)：図化・非図化について集計した。集計単位は「個」である。個体資料の帰属遺構・層位は最多破片数の遺構・層位に帰属させ、同数の破片数がある場合は面積の多いほうに帰属させた。

観察表(表V-2-15～24-39)：図化について記載した。制作地・年代、品質などについては佐賀県立陶磁文化館 大橋康二の鑑定を受け、記述については鈴木に責任がある。

「年代」は以下のように表記した。

- ・ローマ数字は肥前・肥前系産地の時期区分であり、大橋康二「肥前陶磁」ニューサイエンス社(1989)、「九州陶磁の編年」九州近世陶磁学会(2000)に従った。それが細分された場合はローマ数字の後に「～の内」とし、丸括弧内は対応する西暦を10年単位で表した、例えば「1760」は60年代である。

- ・他産地については西暦を略記した。例えば「18c・2/3」は「18世紀中葉」の略記である。

1/2・2/2：前半・後半、1/3・2/3・3/3：前葉・中葉・後葉、1/8・8/8：初末

1/4・2/4・3/4・4/4：第1四半期・第2四半期・第3四半期・第4四半期

規格など表(表V-2-25～27)：図化遺物について記載した。規格のうちアンダーライン数値は図上反転復元によって得られた数値である。丸括弧数値は残存計測値である。遺存量は同心円プレートを用いて計測し、完形を8/8で表し、各部位ごとに0/8～8/8で示した。作図方法は実測図の作図手順を示した。

接合関係表(表V-2-28～36-40)：図化遺物について記載した。点数の単位は「片」である。点数の未接合は同一個体ではあるが接着点になかった接着破片の内訳点数を示してある。

- ・破片資料とは、未接着破片と上記4/8・3/8未満の接着破片

- ・個体資料の扱い

掲載個体：実測図・観察表を作成し、陶磁器・土器、器種器形に記述するもの。出土地点ごとに個体集計し、下記非図化個体と合算する。

非掲載個体：個体のうち図化・観察しないもの。陶磁器・土器、器種器形・出土地点ごとに個体で集計し、掲載個体と合算表に示す。

- ・未接着破片の扱い

陶磁器・土器、器種、出土地点ごとに破片集計する。

(3) 出土傾向について

破片出土数は、遺構では蔵2→溝2の順、包含層ではI→II→III→IV→泥炭層の順で多く、I層で急増・III層で急減する。個体資料数は、溝1・溝2が多く、包含層ではI→II→III→IV→泥炭層の順で多く、I層で急増・III層で急減する。遺構出土量は蔵1・2とそれに付帯する溝1・2が多く、包含層出土量は遺構数が多いI層が多い。破片出土と個体資料数はほぼ同じ傾向がある。出土陶磁器から考えられる包含層の時期は、I層：18世紀中葉～19世紀中葉、II層：17世紀後葉～18世紀前葉、III層：17世紀前葉～17世紀後葉、IV層：17世紀前葉、泥炭層：16世紀中葉～17世紀前葉である。

器種については、破片は染付碗皿鉢破片・陶器壺甕瓶破片が多く、個体は、碗皿鉢は肥前陶磁器、壺甕挿鉢は肥前陶器が、土瓶土鍋は京信楽陶器が多い。主要組成の変化は、16世紀中葉～17世紀前葉：瀬戸美濃陶器+中国産磁器+越前陶器挿鉢、17世紀中葉～19世紀前葉：肥前陶器+京信楽陶器+肥前磁器、19世紀前葉～中葉：肥前陶器+京信楽陶器+肥前磁器+瀬戸磁器、である。

特記すべきは、猪口・紅猪口がI層に多いこと、九谷産の可能性がある磁器や九州南部産・南越産の可能性ある陶器が出土したこと、青森県悪戸焼がないこと、銅鍛冶用増場が出土したこと、である。

3 鉄製品・非鉄製品

(1) 鉄製品

鉄製品は、遺構出土574点・包含層出土1,393点、である。

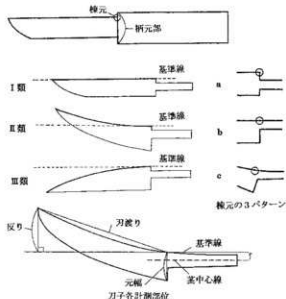
掲載製品の観察・計測値については表V3-8・9に示し、その出土層・点数については表V3-12に示した。載と非掲載の総破片については出土位置ごとの点数を表V3-5・6に示してある。

【刀類】については小刀が主に出土したので、小野哲也「刀子からマキリへ」『北大史学 40号』(2000)の分類基準(表3-1における「名称」「棟元形」)計測方法を基本にし、これに当たらない「棟元形」については新たに分類を加えた。新たに加えた「棟元形a'・b'」とは区が茎に対して斜めに接続するa・bのことで、「棟元形d」とは区が棟側にあり刀側にはほとんどないもの、ことである。

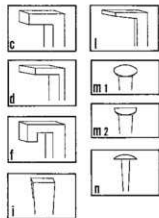
分類属性がそろった小刀・包丁の内、I類(20点)の内a(11点)・a'(5点)・b'(3点)・d(1点)、II類(7点)の内a(3点)・a'(1点)・b'(1点)・d(1点)、III類(6点)の内a(4点)・a'(1点)・b'(1点)であった。3点が分類不能であった。

【釘】については時期が近世であるため、金箱文夫「近世の釘」『物質文化43号』(1984)の分類基準(表3-4における「名称」「頭部形状」)を基本とし、これに当たらない頭部形状については新たに分類を加えた。

金箱分類に当たる「名称」としては「折釘・平折釘・二重折釘・平釘・頭巻釘」があり「頭部形状」としては「c・d・f・i・l・m1・m2」があった。新たに加えた「頭部形状」分類は「c'・c''・d'・f'」であり、「c'」とはcに



図V-3-1 小刀分類



図V-3-2 釘分類

べて頭部厚が薄く、頭部巾は脚部巾に比べて広い、「c」とはciに比べて頭部厚が薄く、頭部巾はc'に比べて狭い、「d」とはdiに比べて頭部厚が薄く、頭部巾は脚部巾に比べて広い、「r」とはriに比べて頭部厚が厚い、である。折釘にはc・c'・c、平折釘にはd・d'、二重折釘にはf、平釘にはh・f'、頭巻釘にはm1・m2がある。

分類属性がそろった釘の内、c(20点)・d(27点)・f(5点)・f'(3点)・l(33点)・m1(3点)・m2(100点)、c'(50点)・c''(43点)・d'(34点)・f'(16点)、301点が分類不能釘であった。

【鏝】基部断面によって分類した。基部断面が方形または縦長を「角鏝」、基部断面が横長を「板鏝」、なお基部・脚部がともに断面が横長なもの(V-3-14の151~154)は従来「平鏝」と呼ばれていた。所謂木工鏝には基部と脚部が接続する部分に「丸味」があるので、基部と脚部が接続する部分についても3形態「角あり・隅丸・丸」に細分した。「角あり」とは接続部分の「内かど・外かど」とともに90度の角度がつくもの(例えばV-3-14の149)。「隅丸」とは接続部分の「内かど」には90度の角度がつき、「外かど」にはアールがつくもの(例えばV-3-13の142)。「丸」とは接続部分の「内かど・外かど」とともにアールがつくもの(例えばV-3-13の145)。

分類属性が揃った鏝の内、板鏝は「角あり」13点・「隅丸」6点・「丸」1点、角鏝は「角あり」3点・「隅丸」20点・「丸」1点、8点が分類不能であった。

(2) 非鉄製品

非鉄製品は遺構出土357点・包含層出土791点である。掲載製品の観察・計測値については表V-3-11-12に示し、その出土層・点数については表V-3-13に示した。掲載と非掲載の総破片については出土位置ごとの点数を表V-3-5・7に示してある。非鉄金属のうち銅釘・煙管・銭については細分基準を設けた。

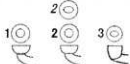
【銅釘】は時期が近世であることから、前掲鉄釘の分類基準を基本にし、これに当たらない頭部形状については新たに分類を加えた。

金箱分類に当たる「名称」としては「折釘・平折釘・二重折釘・平釘・蟹目釘」があり、新たに加えた名称「太鼓鉾・平鉾」があった。「頭部形状」としては「c・d・f・f'(1点)・r・n」があった。新たに加えた「頭部形状」

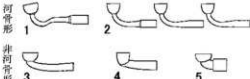
1:火皿小孔の有無



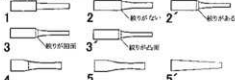
2:火皿と脂返しとの接合部の形態



3:脂返しの側面形態



4:肩形態(例示は吸口)



図V-3-3 煙管分類

分類は「p・q」であり、「p」とは頭部が半円錐形、「q」とは頭部が平たい円盤、である。折釘にはc、平折釘にはd'、二重折釘にはf、平釘にはh、蟹目釘にはnがある。

分類属性がそろった銅釘の内、c(1点)・d'(2点)・f(2点)・f'(2点)・p(32点)・q(2点)・n(1点)、9点が分類不能であった。

【煙管】は、部位呼称については古泉弘「銅製品」[江戸]都立一ツ橋高校内遺跡調査団(1985)に従った。分類属性は東北大学埋蔵文化財センター「(4) 金属 煙管」[東北大学埋蔵文化財調査年報6 東北大学埋蔵文化財調査室(1993)]を参考にしたが、当てはまらない事例があるので新設した。

表V-3-10下段表の数値項目については項目下欄に測定箇所を記した(例えば、「火皿径」下欄の「前後」とは火皿の雁首側=前、吸口側=後。「雁首小口径」下欄の「上下」とは火皿を上に向けた場合の上=上、その反対側の下=下)。

形態に係わる非数値項目は以下
の内容である。

「火皿小孔」:有(1)・無(0)

「火皿と油返の接合」:補強帯あり
(1)・補強帯がなく水平に接合され
接合部の上面観が円(2)・補強帯が
なく水平に接合され接合部の上面
観が楕円(2)・補強帯がなく斜めに
接合され接合部の上面観が楕円(3)

表V-3-1 煙管部位相関

		火皿・油返の接合					肩構造								
		無肩	1	2	2	3	無肩	1	2	2	3	3'	4	5	5'
無 肩 形 状	1														
	2	4	47	6											
	3		5	12	2								0/19		
	4			3	12									0/15	
	5				1	1									
		*肩構造					肩構造								
		数字	数字	有肩例数	無肩例数			1	2	2	3	3'	4	5	5'
								4/0	3/0	4/0	3/2	1/6	0/79		

「脂返」:河骨形で脂返が下方へ彎曲(1)・河骨形で脂返が上方へ彎曲(2)・非河骨形で脂返が僅かに彎曲(3)・非河骨形で彎曲しない(4)・非河骨形で脂返短く彎曲しない(5)

「肩」:脂返・吸口と肩は別材で、それらの接合には円盤を充填し径差を埋める(1)・脂返または吸口と肩は別材で、それらの接合には肩を絞る、肩の絞りが無い(2)と絞りが有る(2')がある・脂返または吸口と肩は一材で、肩の絞りが凹面(3)と凸面(3')がある・肩がなく一材で、沈線によって肩が痕跡的に表現される(4)・肩がなく一材、小口と口付の間が絞られる(5)と絞りが無い(5')がある。

表V-3-1は分類属性がそろった雁首と吸口について集計した。雁首については、「脂返2+接合2」「脂返3+接合2」「脂返4+接合3」が多く、「脂返2+有肩2」「脂返2+無肩5」「脂返3+無肩5」「脂返4+無肩5」「脂返5+有肩3」が多い。吸口については「有肩は2~3の構造」「無肩は5の構造」が多い。

従って、雁首「脂返2+有肩2」+吸口「有肩2」・雁首「脂返5+有肩3」+吸口「有肩3」、雁首「脂返2+無肩5」+吸口「無肩5」・「脂返3+無肩5」+吸口「無肩5」・「脂返4+無肩5」+吸口「無肩5」の組み合わせが多い。

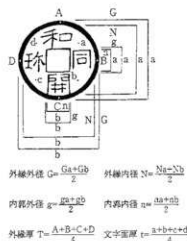
その他非数値項目については、その項目の有無について記した。「鍍金」の項目にある「金」とは金色鍍金「銀」とは銀色鍍金のことであり、鍍金鉱物名ではない。太字の「金」「銀」は雁首・吸口の全面に鍍金が見られることをあらわし、普通字はそれがまばらに残存していることをあらわす。

【銭】は、文字などの細分は川根正教「寛永通宝銅銭の様式分類」「出土銭貨研究」(2001)を参考に、計測方法は「金属製品の観察と実測」「発掘調査の手引き」文化庁文化財部記念物課(2010)に従った。

計測は径・厚について上下・左右を測定し算出した。数値項目は、「外縁径」の「外縁平均=G」「内径平均=N」、「内径径」の「外径平均=g」「内径平均=n」、「厚さ」の「外縁厚平均=T」「文字面厚平均=t」である。鑄期・鑄地・文字細分については表V-3-2・3にその内容を記した。

表V-3-3には細分集計を載せた。新寛永一文背文字なし→古寛永一文→新寛永一文背文字あり、の順に多い。古寛永一文の細分においては「二草点永b・芝銭」「四草点b・長崎銭」が多く、新寛永一文背文字ありの細分においては「跳永・四ッ宝銭」「進永・不旧手銭」「中永・不旧手銭」が多く、新寛永一文背文字ありの細分においては「文b」亀戸銭」「元」高津銭」が多い。

【銅板】について、銅板には鍍・輝・切痕・溶融部分・腐食や釘穴・鍍金があることから「金具・金具片・切片」に分類した。延圧による周縁の鍍・輝や切痕のあるものは、遺構出土は77%(27点/35点)、包含層出土は74%(109点/147点)と高率を占めるので、素材加工後の残片や修繕の残片である。また、厚さが最大249mm最小0.07mm平均0.51mm最頻



図V-3-4 銭計測

いる。3は内外面とも赤色漆であり、高台内は黒色漆である。口縁部を欠くが、他は良好に残存する。4は内外面とも朱色漆であり、口縁部に凸線が施されている。高台内は黒色漆であり、ほぼ中央に朱色漆で点が付されている。5は内外面ともに赤色漆であり、口縁部を欠くが他は良好に残存する。高台内に黒色漆で「竹」が書かれている。6は内外面とも暗赤色漆である。高台畳付は全面欠損し、高台内に線刻がある。7は内面赤色漆、外面黒色漆である。8は内外面とも朱色漆、高台内は黒色漆の猪口である。9は内外面ともに朱色漆である。高台内は黒色漆であり、朱色漆で文字が書かれている。10は内外面とも朱色漆であり、高台内に線刻がある。口縁部は欠損している。11は内面赤色漆、外面黒色漆であり、口唇部より約2cm下に凸線が施されている。12は内面赤色漆、外面黒色漆であり、高台内に朱色漆で「-」が書かれている。13は内面赤色漆、外面黒色漆である。14は内面赤色漆、外面黒褐色漆である。高台内に線刻があり、畳付はほぼ残存するが漆はほとんど欠落している。15は内面赤色漆、外面黒褐色漆であり、外面の3方向に「丸に竹文」が描かれているが、色彩が抜けており詳細は不明である。高台はほとんど欠損している。16は内面赤色漆、外面黒色漆であり、外面の3方向に金箔を使用した「丸に桐文」が描かれている。高台は欠損しており、高台内には線刻がある。17は内面赤色漆、外面黒色漆であり、外面に赤色漆で竹文様？が描かれている。18は内外面とも赤色漆である。口縁部、底部とも欠損しているが、やや大型の椀である。19は内面赤色漆、外面黒色漆である。高台を打ち欠き、側面に径3～4mmの孔を4つ穿っていることから、杓子に転用したと考えられる。高台内には線状に細く盛り上がった文様が施されている。20は内面赤色漆、外面黒色漆である。高台は欠損しているが、盃の様な形状である。21は内面赤色漆、外面黒色漆の椀蓋である。22は内面赤色漆、外面黒色漆であり、外面に「丸に竹文」らしき文様が描かれているが、色彩が抜けており詳細は不明である。23は内面赤色漆、外面は削られており、高台は削り落とされている。穿孔されている痕跡があるが、土圧による変形が激しいため詳細は不明である。二次加工されていることから杓子等に転用されたと考えられる。24は内外面とも赤色漆である。高台は欠損している。25は内外面とも赤色漆であり、高台内に赤色漆で屋号の「山に一」が書かれている。

漆塗六角蓋(26)：外面は黒色漆、内面は赤色漆である。表に円形の圧痕がある。裏の蓋受けが木釘で留められているが、右の蓋受けの約2/3が剥離している。

漆塗隅切箱物蓋(27)：内外面ともに黒色漆であり、表面に微細な傷が多数付いている。内面には四周に厚さ6mmほどの銅板を廻らし、木釘で留めている。外面に屋号の「山に久」が書かれている。

漆塗箱物(28)：両面ともに赤色漆であり、格子状の多数の刻みが付いている。

漆塗箸(29～32)：29は朱色漆である。30は赤色漆と黒色漆に塗り分けられている。31は黒褐色漆に金箔を散らしている。32は黒色漆である。

漆塗杓子(33)：皿形の表は赤色漆、裏と柄は黒色漆である。

漆塗櫛(34-35)：34は地の赤色漆に乳白色の「車輪文」が描かれている。35は黒色漆であり、歯部分の一部に朱色漆が残っている。

漆塗部材(36-37)：36は4面に朱色漆が塗られている。37は3面に黒色漆が塗られているが、下面には塗られていないため、他の部材の上に乗っていたと考えられる。

漆塗下駄(38)：台部に黒色漆が塗られている陰卵下駄である。台部の裏面は一部漆が残存する。歯下面には使用時の砂粒が貫入している。

漆附着曲物底板(39)：底板全面に黒色と白色の附着物があり、底板と銅板の間にも入り込んでいる。分析の結果、黒色附着物は漆と判明した。白色附着物は不明であるが、変漆の可能性がある。漆を溜めていたと考えられる。

船部材・船用具(40～54)：40～43は和船の部材である。40-41は板のはぎ合わせのための縫釘が打たれ

ている。42は側板の縁に取り付けられていたと考えられる。43は舷側板であるが、溝4の横板に転用され、多数の釘が打たれている。44～47は板綴船の舷側板である。46の縦じ孔には縄が残存する。44・45は溝5、46は溝1、47は溝4の横板にそれぞれ転用されている。48・49は船部材と考えたが、他の構造物の部材の可能性もある。50は切断された軸(軸)であり、溝5の横板に転用されている。51は櫂で溝2の横板に転用されている。52は櫂の持手、53・54は車櫂受台部軸である。

建築部材(55～63)：55・56は火災に遭った家屋の梁を溝1の横木に転用したものである。57は木枠1の構築材である。58・60は溝1、61～63は溝2の横木に転用されている。

柱(64～66)：66は断面が円形、65・66は断面四角の掘立柱である。ほぼ1.8mの間隔で並んでいた。

杭(67～99)：断面形で丸杭・角杭・平杭・割杭と分類した。67・68は丸杭、69～76・79は角杭、77・78・80～87は平杭、88～97は割杭である。68～72・77～85・88～91は柄孔等があることから建築部材を溝道構の杭に転用したものである。84・85は敷居(鴨居)の転用である。91には「△とー」の線刻がある。

井戸枠材(98～103)：98・99は井戸2の隅杭、100～103は井戸2の枠板である。

槽(104)：大型のカツラの木を分割し、縁を残して削り貫いている。端部に排水口と思われる孔があることから、水作業台と考えられる。孔に掛けて中央部が使用により窪んでいる。

曲物(105～110)：105は曲物側板であり、桜皮で縫われている。106～109は底板(蓋)、107は破損部分を桜皮で補修している。110は把手である。

桶(111～114)：111は棹釣瓶の桶軸、112・113・114は把手である。

樽(115～126)：115は底板、板目と柁目の2枚の板を合せている。116～125の栓は定形のものに掲載した。126は蓋の補強材で木釘孔が3ヶ所ある。

箱物(127・128)：箱物の側板である。127は食器類の収納箱であろう。表面に半円の線刻がある。128は両面に多数の刃物痕があり、縁に木釘孔がある。

浮子(129～145)：129～143は両端を細く削り先端に突起を作り出し、表面のみ突起下部に抉りを入れている。129～133は表面に線刻がある。144・145は「アバ」と呼ばれ、通常は焼印と墨書で所有者が記されるが、出土品には見られない。両端の2つの孔に紐を通して鯨の刺網に付けられる。

下駄(146～210)：146～171は連歯下駄、172～174は連歯下駄の歯部である。175～184は露卯下駄、185～196は露卯下駄差歯である。197は除卯下駄台でほぼ全体が焼けている。198～204・206～209は除卯下駄差歯である。205は不明差歯である。210は草履下駄である。160・166・174・208は歯の破損を釘で補修している。152・163・166・170・178・190・191・202・206は歯下面に釘が打たれ、また178は使用時の砂粒が貫入している。

食具(211～223)：211・212は杓子、213・214・215は筥である。223は串である。箸(216～222)は全937点出土中、完形品138点をA～G型に分類し、各1点ずつ掲載した。

A型(216)：断面円形で端部的一方又は両方が鋭く先細る。37点出土。

B型(217)：断面円形で両端がやや先細る。33点出土。

C型(218)：断面円形で加工が丁寧である。太さに差が無いが、又は一方が若干先細る。11点出土。

D型(219)：断面方形で両端が先細る。4点出土。

E型(220)：断面方形で両端が斜めに削られ、太さに差が無いが、一方が先細る。長さ16cm前後で短い。15点出土。

F型(221)：断面が楕円で端部的一方、又は両方が鋭く先細る。21点出土。

G型(222)：は断面楕円で両端がやや先細る。17点出土。

道具類(224～240)：224～227はマキリである。224・225は刃部がほぼ残存する。226・227は柄で中子が残存し、226には「入に一」の線刻がある。228・229は刃物又は道具の柄である。230はマキリの樹皮製鞘である。231は彫金用の金槌で「入」の線刻がある。232は曲がり鉈で「入に二」の線刻がある。223は錐である。錐身は一辺約3mmの正方形で途中で折れ曲がり、先端は欠損している。幅4mmの凹みがあり、口金痕の可

能性がある。234・235は砥石台で、長方形の材の中央部を浅く削り貫いている。樹種は共にモミ属。236は十能で皿形の約1/3が欠損している。237は横樋で中央部が使用により帯状に窪んでいる。238は灰掻きである。先端部を粗い櫛歯状に作り出し、中央部にかけて少し窪んでいる。239は断面滴形で端部に貫通孔が一つある。網等を編む時の錘と考えられる。240は竹製の扁釘である。

燭台(241～246)：241～243は燭台の台座、中央に支柱を立てるための孔がある。241は両面に多数の羽物痕があり、表面に焼印の様な痕がある。242は両面に生漆が塗られている。243は表面の四周に厚さ1cmの側板を廻らして木釘で留めている。244は小型の台座に細い棒状の支柱が立てられている。245は支柱上部に葉の様な繊維状のものが残存しており、巻き付けていた痕跡がある。支柱の周辺に褐色の付着物が盛り上がり表面の約半分を被い、底面まで回り込んでいる。分析の結果、付着物は漆と判明したことから、漆を精製するための漆工道具の可能性もある。246は生漆を塗った2枚の板を漆で張り合わせており、縁に木釘が打たれている。

その他の木製品(247～260)：247は装飾が施された台などの脚である。249は鳥形である。尾の一部を欠損しているがほぼ完形である。羽の表現と思われる刻みが左側面に6本、右側面に1本みられる。首下に羽の表現の境界線と見られる刻みがある。248は表面に黒色漆が塗られ、側面と裏面は焼けている。円形の鉄製金具が取り付けられており、箆筋の一部と考えられる。250は羽子板である。柄の約半分が欠損しており、柄基部付近の側面に朱色漆が一部残存している。251は竹笛である。指穴は4個確認された。お祭りなどに使用される横笛の「篠笛」の可能性もある。252は独奏である。八角形の線刻の中心に径3mmの孔が穿たれ、十字の線刻が付けられている。鼠の齧った痕がある。253は白木の横櫛である。歯はほぼ欠損している。254・255は和傘のロクロである。254は黒色漆が塗られている。両方とも約1/2が欠損し、樹種はエゴノキ属である。256は柄杓の部材である。257は引き戸等に取り付けられる把手と考えられる。258は用途不明の線刻入り材であるが、×と×の間に10本の刻みがあり、数量を表現している可能性がある。259は表面の両端に溝が付けられ、裏面の孔に材が挟められている。用途は不明である。260は円形の孔に縄、方形の孔に軸を通して何かを連結するか、吊るす道具(部材)であろう。

文字資料(261～279)：261～265は焼印があるもの。261～264は屋号、265は「改譜」。266～279は墨書のあるもの。266は表「座□(附カ、頭カ)□□」、裏「如何御世話/[]」。267は「(屋号)木 □」。268は「三」。269は表「御役所」、裏「内」。270は表「御城下□/浅井利三部殿□□(山カ)□(部カ)七三郎」、裏「□(彦カ)七□(秤カ)荷物」。福山城下住人への荷札と思われる。271は「武(カ)右(カ)衛(カ)門(カ)/[]」271は表「御髪結箱」、裏「御髪結箱」。他の文字は不明であるが、書かれている方向が異なるため、転用された可能性がある。275は「□/本□(花押)」。276は文字不明。277は「(屋号)二」。273は「(屋号)大和や/権[](兵衛カ)」。279は「□らふ」。

(2) 樹種同定の結果について

樹種同定は(財)元興寺文化財研究所、バリノ・サーヴェイ株式会社、当センター(菊池)が掲載木製品293点、非掲載木製品21点の計314点について行った。詳細な報告はそれぞれ樹種同定(1)・漆脈分析、樹種同定(2)、樹種同定(3)としてⅥ章に記す。

結果は針葉樹186点(イチイ2点、モミ属18点、マツ属9点、スギ68点、ヒノキ亜科9点、ヒノキ科7点、アスナロ(ヒノキアスナロ)74点)、広葉樹119点(サワグルミ1点、カバノキ属3点、ハンノキ属1点、ブナ属20点、カツラ3点、モクレン属45点、アジサイ属1点、ツバキ属1点、イヌノキ1点、カエデ属3点、トチノキ3点、エゴノキ属2点、コナラ属5点、クリ7点、ケヤキ4点、イヌエンジュ1点、キハダ属1点、ハ

リギリ17点)、タケ亜科8点である。

傾向が特徴的なものを記す。漆塗碗は25点のうちブナ属が19点(ケヤキ3点、トチノキ3点)である。漆膜分析でブナ材は汎用品、トチノキ材は中級品、ケヤキ材は高級品と考えられる結果がでている。建材・柱・杭・井戸枠の大型木製品は49点のうち36点がアスナロ(ヒノキアスナロ)である。ヒノキアスナロは本遺跡のある北海道南部に自生しており、寛永16(1639)年の福山城修造には、すべて上ノ国の「檜樹」(あすなろ)を用いたとの記録がある。曲物6点、樽(底板・側板・栓)24点は全てスギである。浮子は17点のうちアスナロ15点(スギ2点)である。下駄台・差歯は74点のうちモクレン属44点、ハリギリ14点(アスナロ7点、スギ3点、コナラ属2点、クリ・カバノキ属・キハダ・カツラ各1点)である。

井戸1から3点、井戸5から2点の側板を抽出したところ、井戸1の水溜はスギ、他はアスナロである。樽1・樽4・樽5・樽7・樽8から各2点、樽2・樽3・樽6から各1点を抽出したところ全てスギである。

(菊池)

参考文献

- 石井謙治『和船1』財団法人法政大学出版局(1995年)
 秋田裕毅(大橋信弥編)『井戸』財団法人法政大学出版局(1995年)
 秋田裕毅『下駄』財団法人法政大学出版局(2002年)
 石村真一『樽・樽Ⅱ』財団法人法政大学出版局(1997年)
 小泉和子『桶と樽 船役の日本史』財団法人法政大学出版局(2000年)
 江戸遺跡研究会【編】『図説 江戸考古学研究辞典』柏書房(2001年)
 東北歴史資料館『宮城県の桶職』(1995年)
 東京都埋蔵文化財センター『汐留遺跡Ⅳ』(2006年)
 『松前町史』松前町(1984年)
 (財)北海道埋蔵文化財センター『ユカンボシC15遺跡(1)・(3)・(5)・(6)』北理調報128-146-176-192

7 動植物遺存体

動植物遺存体は遺構(蔵1・2、溝1・2・4、井戸3・5、樽3、炉1)。ただし、蔵2の覆土2は包含層Ⅰ層(蔵2土層堆積図の層名5～7)、蔵2の3～5層=包含層Ⅱ(蔵2土層堆積図の層名8～17)層、蔵2の6層=包含層Ⅲ層(蔵2土層堆積図の層名18～44)、泥炭層=包含層泥炭層(蔵2土層堆積図の層名48・49)、試掘坑=包含層Ⅰ～泥炭層である。包含層から手掘りによって取り上げられたものと、灰集中1・炉1～7・樽1～3土層の水篩選別によって得られた資料がある。土層の水篩選別資料についてはⅥ章-9-13で述べる。

(1) 手掘り植物遺存体

未炭化オニグルミと未炭化ウメの内果皮が出土した。オニグルミ:蔵1・1層、井戸1・覆土4層、蔵2・6層、L2・Ⅰ層、L2・Ⅱ層、M3・Ⅲ層から各1点。ウメ:溝1・覆土1層、L2・Ⅰ層、M3・Ⅰ層から各1点。
 クルミ科Juglandaceae クルミ属Juglans オニグルミailanthifolia
 バラ科Rosaceae サクラ属Prunus ウメmume

(鈴木)

(2) 手掘り動物遺存体

【貝類】23種が認められた。ハマグリが最も多く平均殻長64mmの大型を中心とする。次いでアワビ類、ホタテが多く、いずれも大型個体主体である。ユキノカサガイも目立ったが、ホタテなどに付着していたものの可能性がある。アサリ・ヒメエゾボラ・クボガイ・マガキ・ヤマトシジミ・イガイ類・ウバガイなど日常的に消費される種は少なかった。エソタマキガイ・ピノスガイ・シラトリガイ類は混獲されたものであろう。イタヤガイには貝杓子に使われたものがあつた。貝類はいずれも津軽海峡沿岸から噴火湾で入手可能なものが出土してい

る。その内、ハマグリは「亀田に多い」と『松前志』に記載されており、函館市汐泊川河口周辺では現生打ち上げ貝を採集することができる。

大型のハマグリ・アワビ・ホタテガイを主とすること、常食の貝類(アサリ・ヒメエゾボラ・ヤマトシジミ、クボガイ)が少ないこと、小型の貝類・混獲されたとみられる貝類が少ないことから、日常的に利用された貝類というよりも、宴席や料亭など非日常的に出た貝類残渣と推定される。

【魚類】非常に少なく、フサカサゴ科の一種の主鰓蓋骨、擬鎖骨、肩甲骨が各1点、サメ類の椎骨1点、魚種不明の鱗刺4点があった。サメ類の椎骨は中央に穿孔があり、「根付」とみられる。

【鳥類】少ないながらも5種が確認できた。アホウドリ類の尺骨が2点あり、その内、1点は加工されていた。骨製品素材として入手されたのかもかもしれない。ほかに、コハクチョウ?・ウミガラス類?・キジ科の一種があった。キジ科の一種はニワトリとみられる。

【哺乳類】7種確認された。イヌは、最小4個体はあり、成獣とみられる。ネコは、最小4個体はある。成獣と若獣があり、大きさはほぼ現代の家猫と同大とみられる。エゾシカは、鋸挽き痕跡が残る角片、足根骨頭、脛骨の断片からなり、限定的な部位に偏る。骨製品素材を得た残片だった可能性もある。

【海獣類】オットセイは尺骨が2点あり、最小2個体となる。若い雌の個体とみられる。ニホンアシカは摩耗の激しい上顎犬歯が1点あった。クジラ類は断片が1点で、叩き切り痕が一端に残る。

【ヒト】最小3個体はある。いずれも断片的なもので、長骨の骨端は全て欠損している。上流からの流れ着きかもしれない。

同定に際して、金子浩昌・茂原信の両氏に指導をいただいた。

(福井淳一)

引用・参考文献

- 阿部常樹「江戸遺跡出土ハマグリサイズの解釈に関する試論」『國學院大學考古学資料簡記要第18輯』(2002)
 右代啓規『海洋資源の利用と古環境』『島と海と森の環境史』文一総合出版(2011)
 福井淳一「天寧1遺跡出土の無脊椎動物」『釧路町天寧1遺跡』北海道埋蔵文化財センター(2008)
 北海道大学北方圏貝類研究会『北海道大学北方生物圏フィールド科学センター白尻水産実験所付近の貝類』(2009)
 西本豊弘『動物遺存体』『史跡上之國勝山館跡Ⅲ・Ⅳ』上ノ国町教育委員会(1982・1983)

表V-7-1 出土動物遺存体分類

動物群	Phylum	種名	学名	動物群	Phylum	種名	学名				
軟体動物門	MOLLUSCA	腹足類	Class Gastropoda		脊椎動物門	VERTEBRATA	軟骨魚類	Class Chondrichthyes			
			エノシカサザイ	<i>Arcaea (Nivortectis) patula</i>				中ノ類	<i>Elasmobranchii</i> ord.		
			カサガイ類	<i>Patellidae</i> or <i>Actinoidae</i> gen.			硬骨魚類	Class Osteichthyes			
			アロアリヒ(オニアリヒ)	<i>Neritica discus discus</i> or <i>Neritica discus harrisi</i>				フサカサゴ科の一種	<i>Scorpaenidae</i> gen.		
			アボガイ	<i>Chlorostoma erythroneurum</i> (Lillje)			鳥類	Class Aves			
			アホウコ	<i>Epupa himalayana</i>				コハクチョウ?	<i>Cygnus columbianus?</i>		
			トシヤク	<i>Thais (Ocenebra) brevis</i>				アホウドリ類	<i>Diomedea</i> sp.		
			イシコ	<i>Thais (Ocenebra) chinensis</i>				ウミガラス類	<i>Uria</i> sp.		
			シメノシガラ	<i>Nephtys (Herbstia) arctica</i>				キジ科の一種	<i>Phasianidae</i> gen.		
		二枚貝類	Class Bivalvia						フルギ?	<i>Gryllus?</i>	
							イボイ	<i>Modiolus conicus</i>	哺乳類	Class Mammalia	
							エゾイボイ	<i>Ctenostrius pygmaeus</i>		イヌ	<i>Canis familiaris</i>
							ムラサキ・インコガイ	<i>Saxidomus (Mollusca) nigra</i>		ニホンアシカ	<i>Ursus arctos japonicus</i>
							イボイ	<i>Modiolus</i> gen.		オットセイ	<i>Callorhinus ursinus</i>
							エゾイボイ	<i>Glycymeris (Glycymeris) japonica</i>		フサカサゴ	<i>Scorpaenidae</i> gen.
							マサカ	<i>Conus</i> sp.		エゾシカ	<i>Cervus nippon japonicus</i>
							イボイ	<i>Pecten ulicatus</i>		ネコ	<i>Felis catus</i>
							ホトガイ	<i>Musculopsis japonica</i>			
							ヤマトシジミ	<i>Cardium japonica</i>			
	クボガイ	<i>Pseudocardium sibiricum</i>									
	シラトイボイ類	<i>Margarita</i> gen.									
	シメノシガラ	<i>Mercenaria stapanianii</i>									
	ウナムササキ	<i>Saxidomus parvulus</i>									
	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>									
	ハマグリ	<i>Meretrix lunata</i>									



図V-2-1 磁器 (1)



图V-2-2 磁器 (2)



図V-2-3 磁器(3)



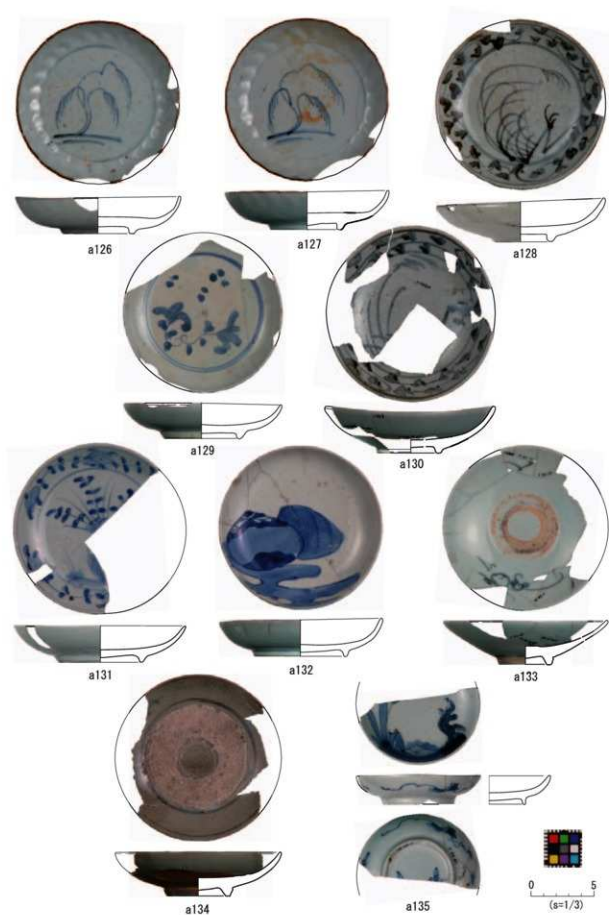
图 V-2-4 磁器 (4)



圖V-2-5 磁器 (5)



图V-2-6 磁器 (6)



圖V-2-7 磁器 (7)



图V-2-8 磁器 (8)



図V-2-9 磁器 (9)

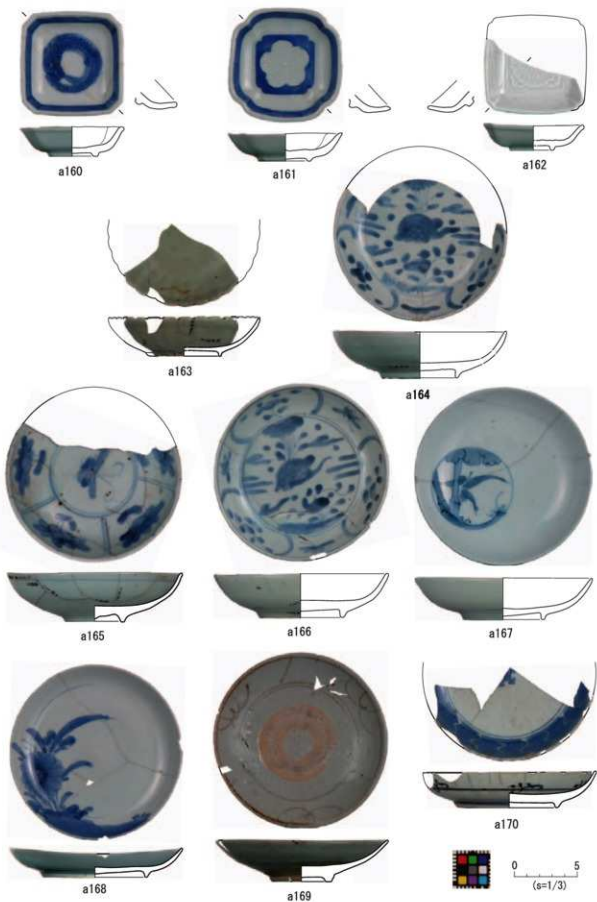


图 V-2-10 磁器 (10)



図V-2-11 磁器 (11)



图 V-2-12 磁器 (12)



図V-2-13 磁器 (13)



图V-2-14 磁器 (14)



图V-2-15 磁器 (15)



图 V-2-16 磁器 (16)



図V-2-17 磁器 (17)

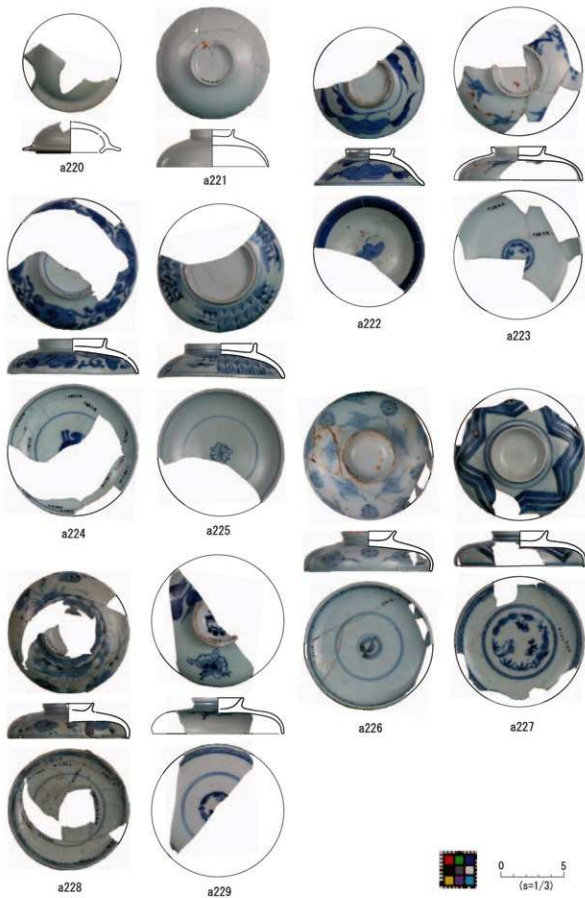
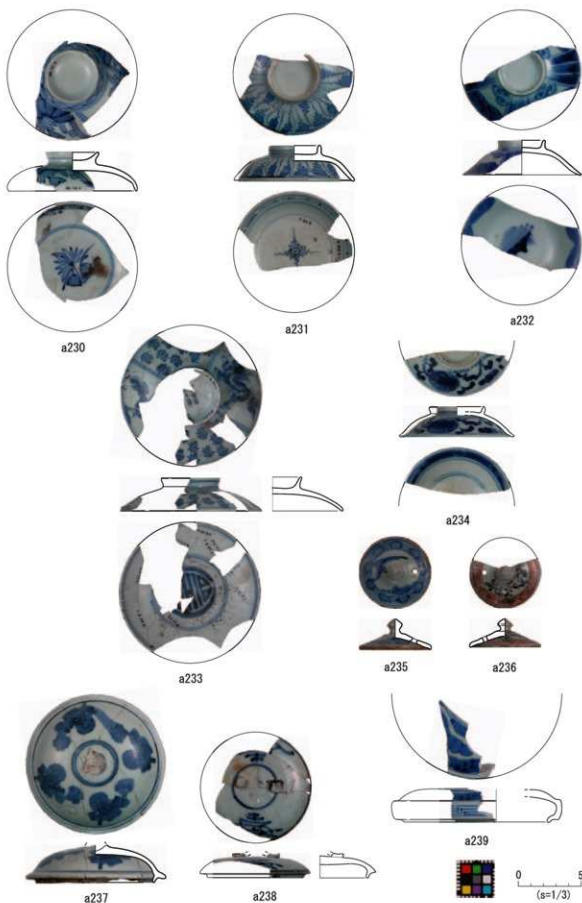


图 V-2-18 磁器 (18)



图V-2-19 磁器 (19)



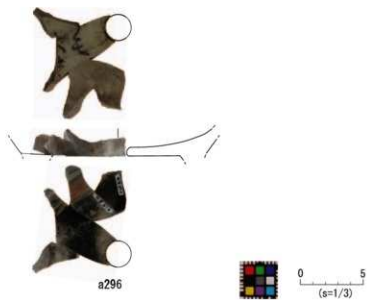
图 V-2-20 磁器 (20)



圖V-2-21 磁器 (21)



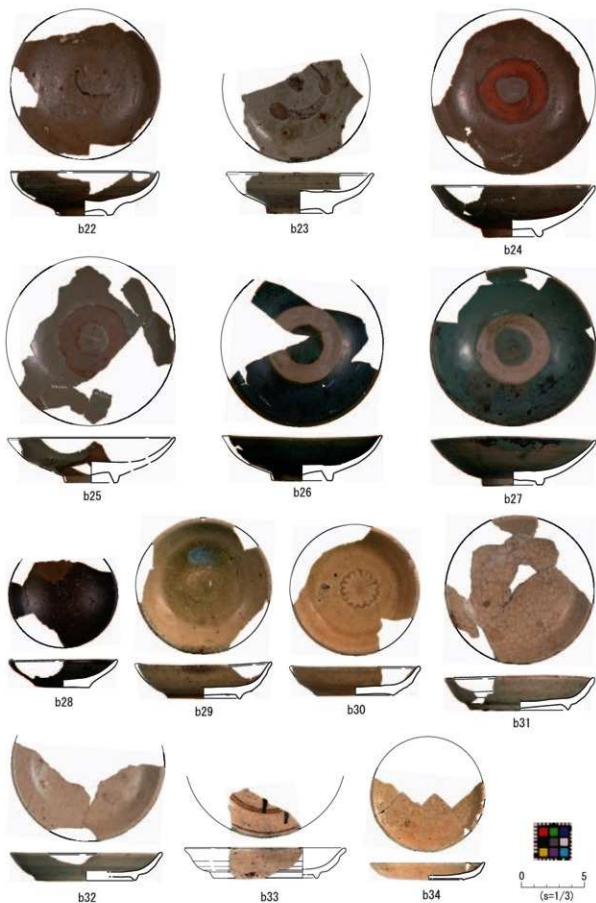
图 V-2-22 磁器 (22)



图V-2-23 磁器 (23)



图V-2-24 陶器 (1)



圖V-2-25 陶器 (2)



图 V-2-26 陶器 (3)



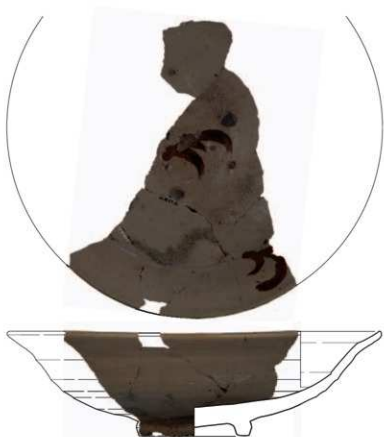
圖V-2-27 陶器 (4)



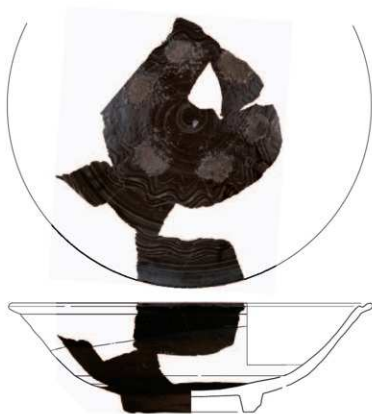
圖 V-2-28 陶器 (5)



圖V-2-29 陶器 (6)



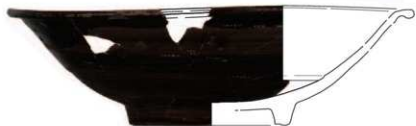
b64



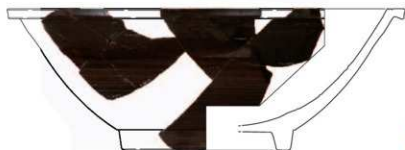
b65



图V-2-30 陶器 (7)



b66



b67



0 5
(s=1/3)

圖V-2-31 陶器 (8)



b68

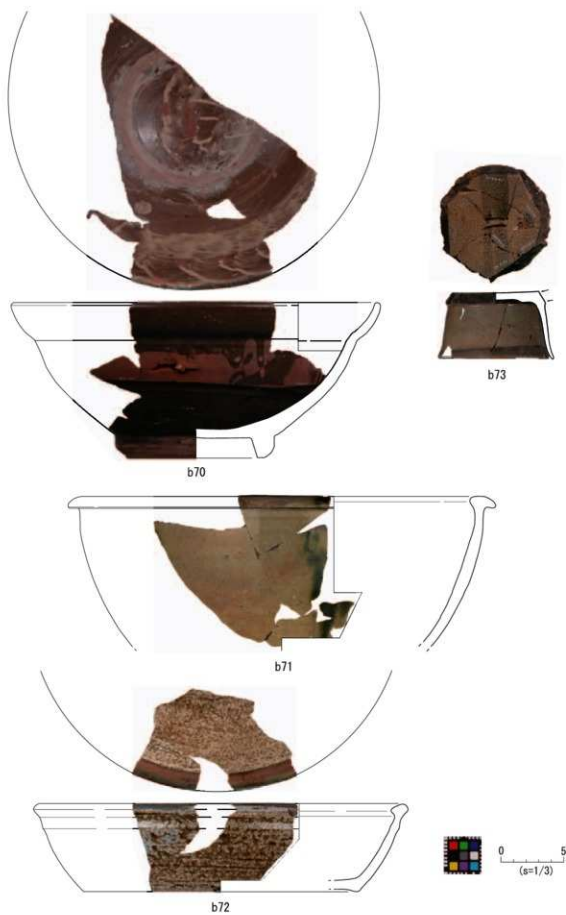


0 5
(s=1/3)

图V-2-32 陶器 (9)



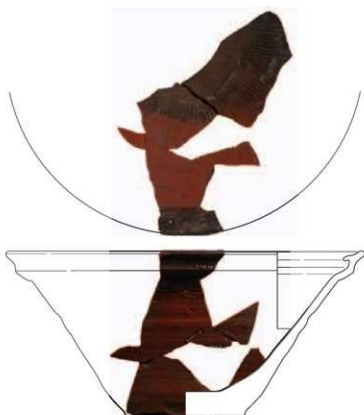
图V-2-33 陶器 (10)



圖V-2-34 陶器 (11)



图V-2-35 陶器 (12)



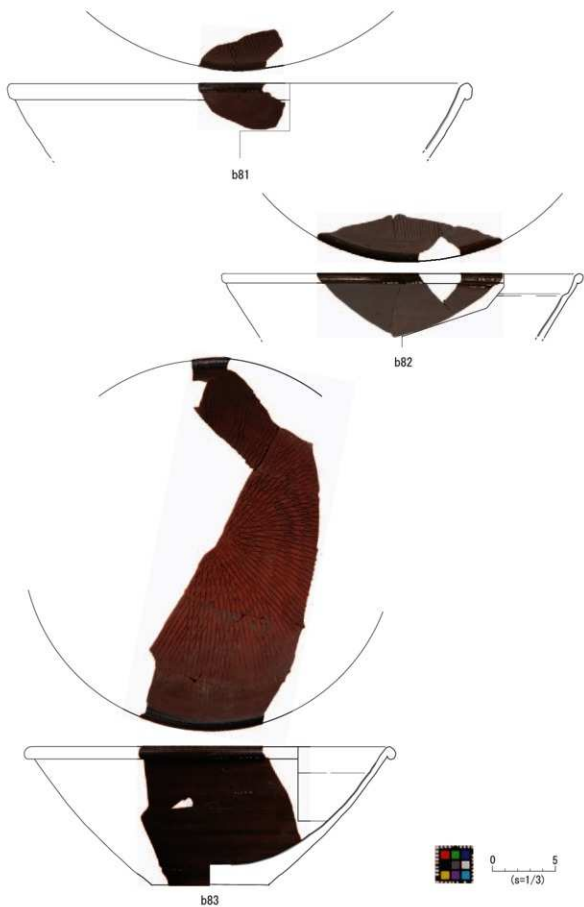
b79



b80



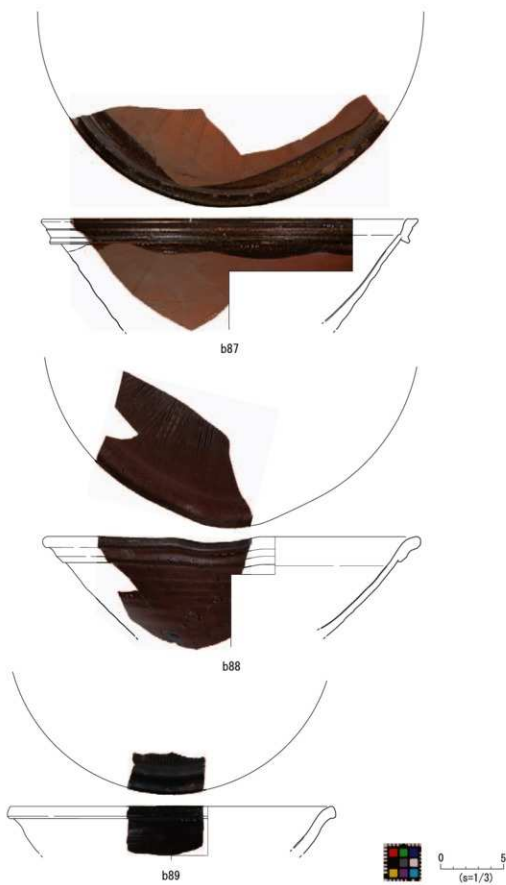
圖V-2-36 陶器 (13)



図V-2-37 陶器 (14)



圖 V-2-38 陶器 (15)



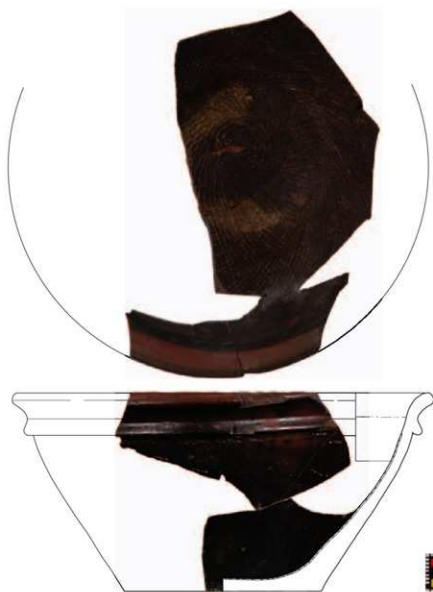
図V-2-39 陶器 (16)



图V-2-40 陶器 (17)



b92



b93



0 5
(s=1/3)

図V-2-41 陶器 (18)



图V-2-42 陶器 (19)



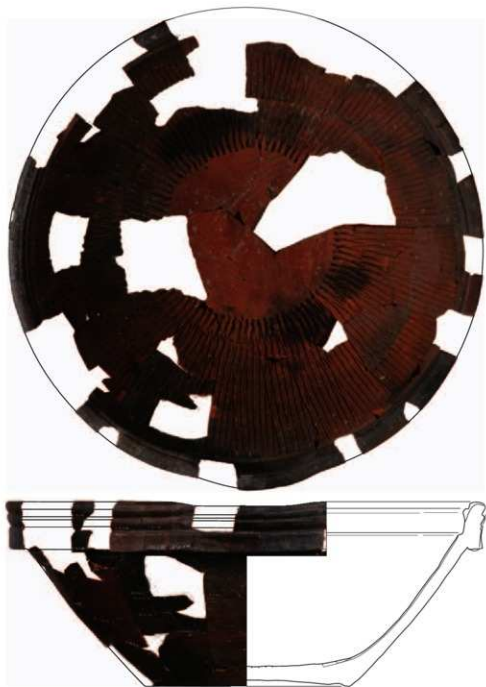
b97



b99



図V-2-43 陶器 (20)

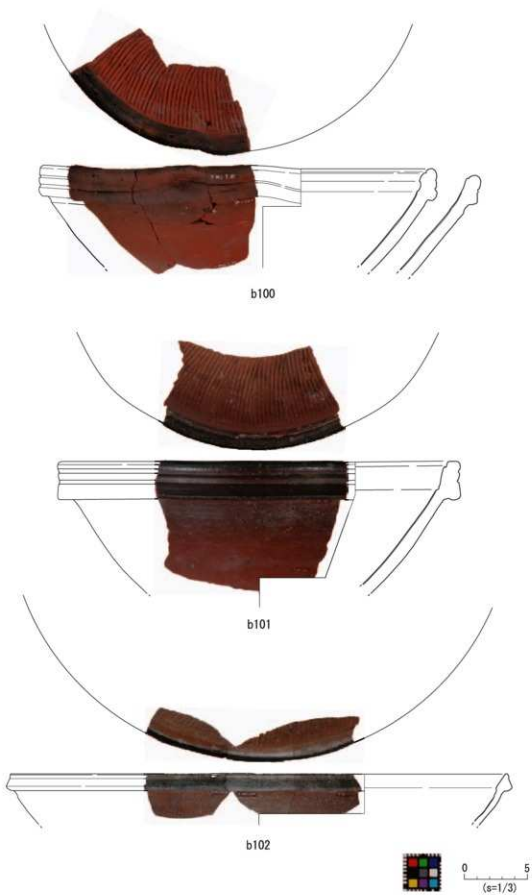


b98



0 5
($\times=1/3$)

图V-2-44 陶器 (21)



図V-2-45 陶器 (22)

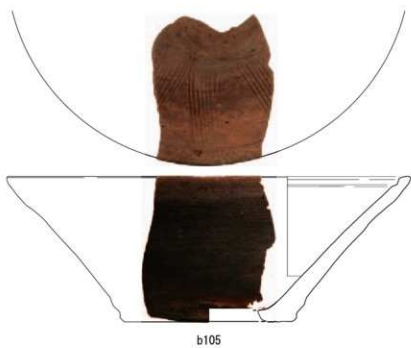
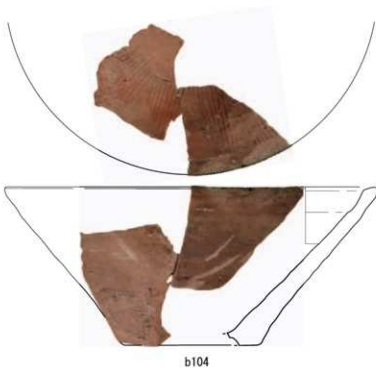
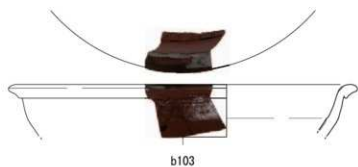
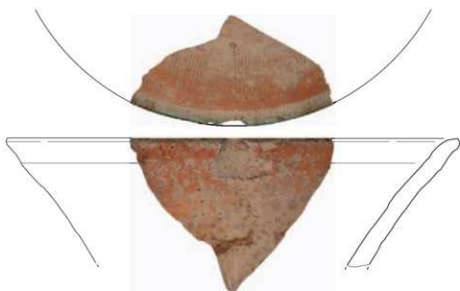


圖 V-2-46 陶器 (23)



b106



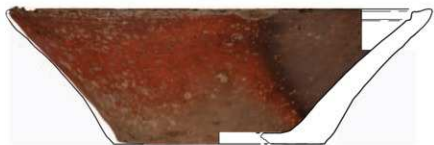
b107



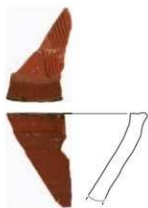
b109



図V-2-47 陶器 (24)



b108



b110



b112



b111



0 5
(s=1/3)

圖 V-2-48 陶器 (25)



b113



b114



b115



b116



b117



b118



b119



b120



b121



b122



圖V-2-49 陶器 (26)

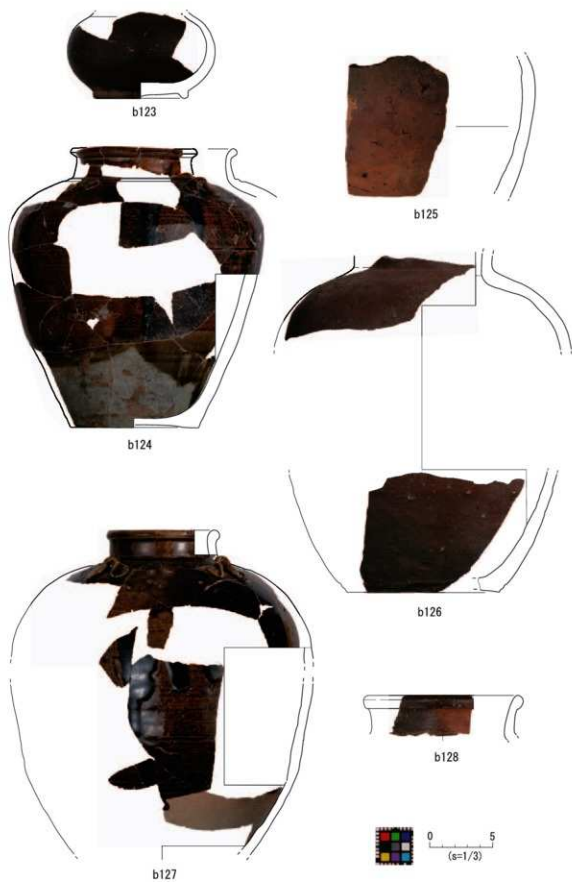


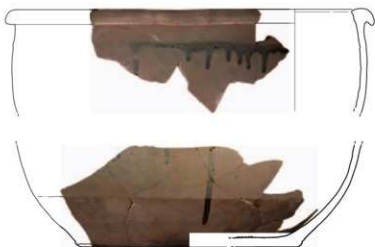
圖 V-2-50 陶器 (27)



図V-2-51 陶器 (28)



圖 V-2-52 陶器 (29)



b146

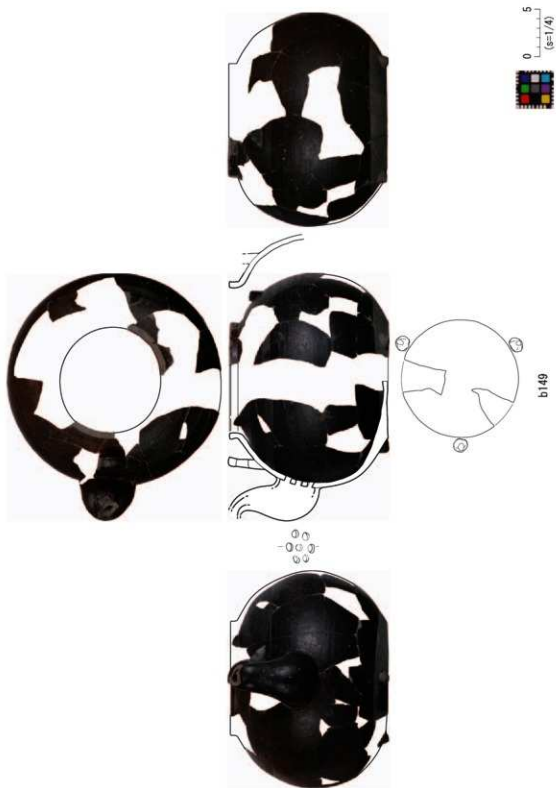


b147

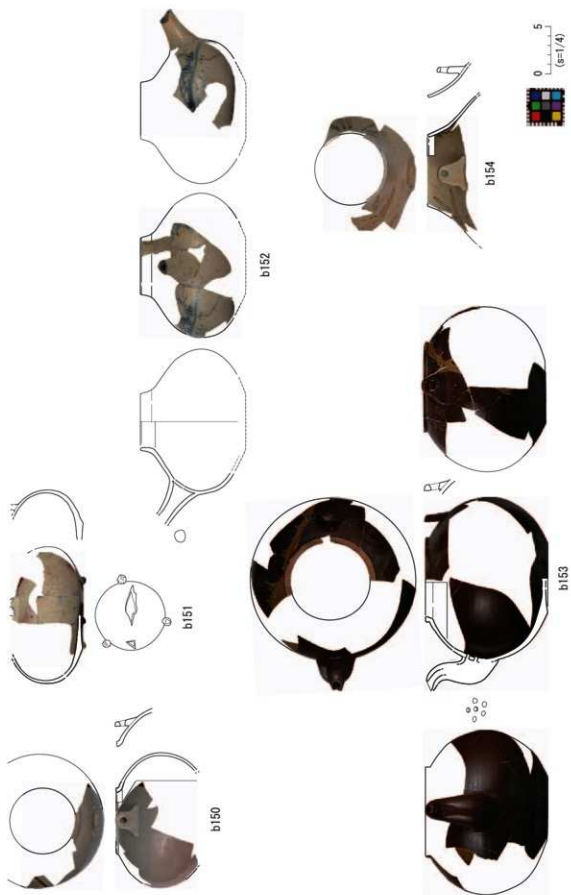


b148

図V-2-53 陶器 (30)



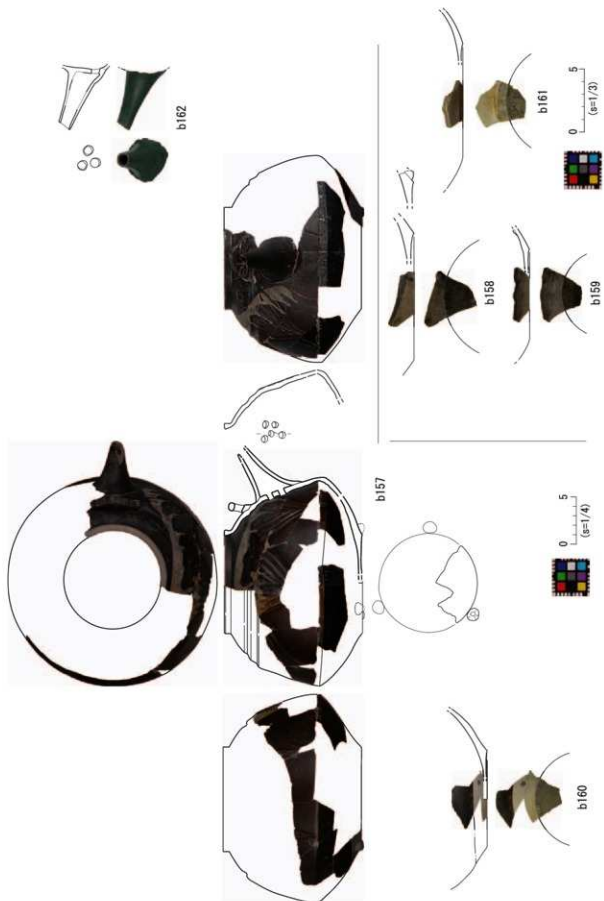
图V-2-54 陶器 (31)



图V-2-55 陶器 (32)



图V-2-56 陶器 (33)



图V-2-57 陶器 (34)

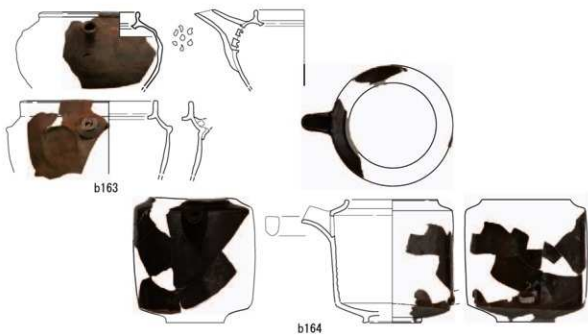
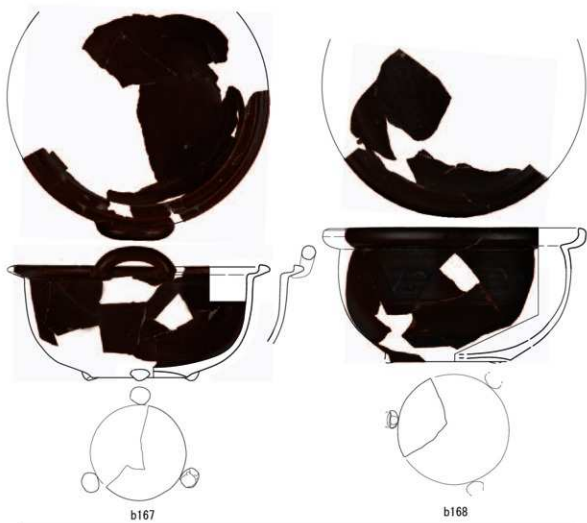
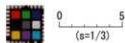
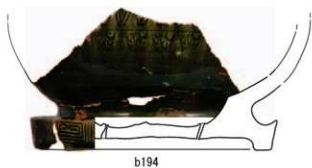
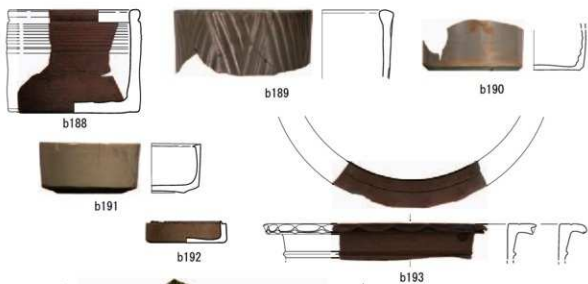
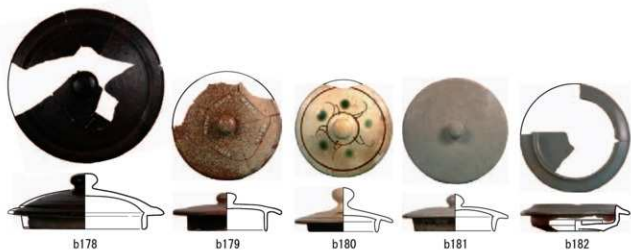


圖 V-2-58 陶器 (35)



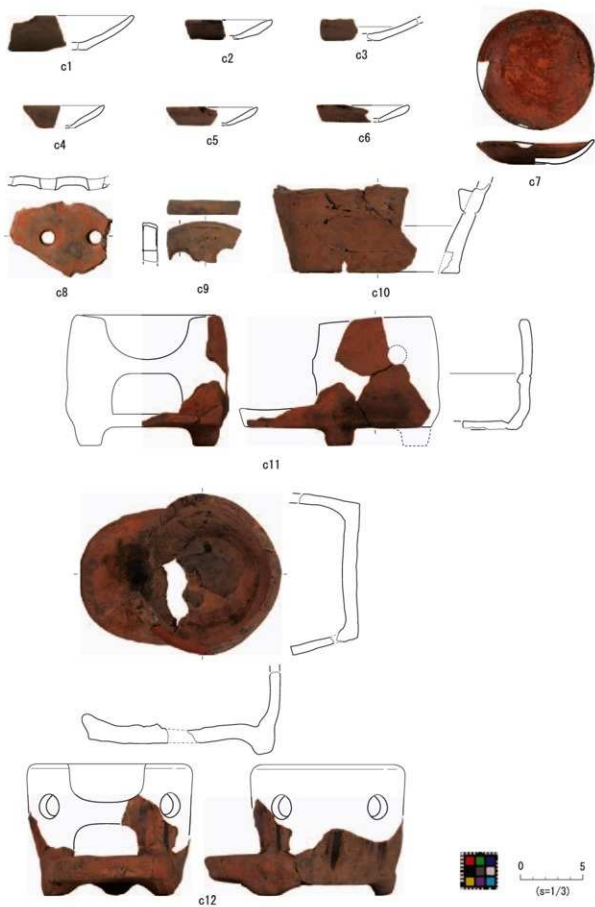
图V-2-59 陶器 (36)



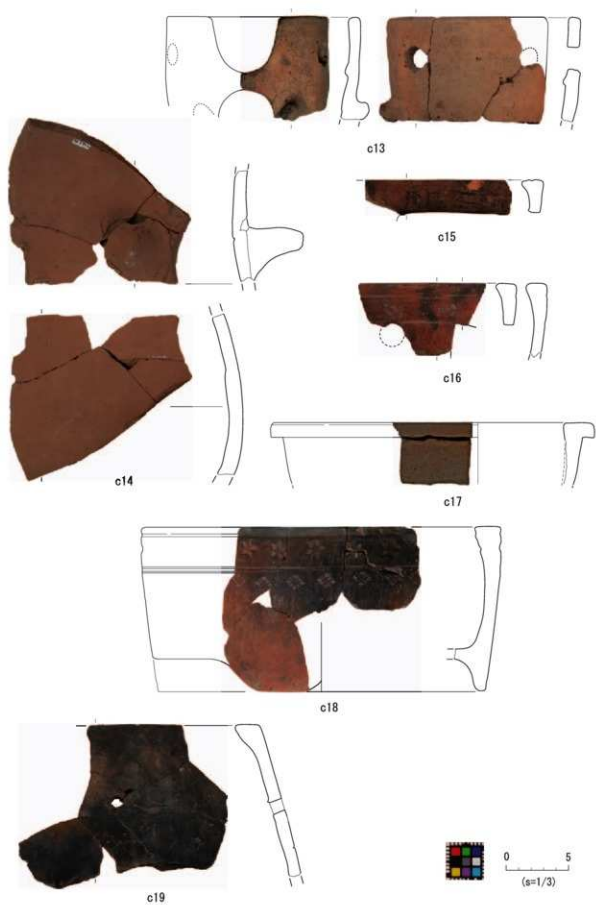
图V-2-60 陶器 (37)



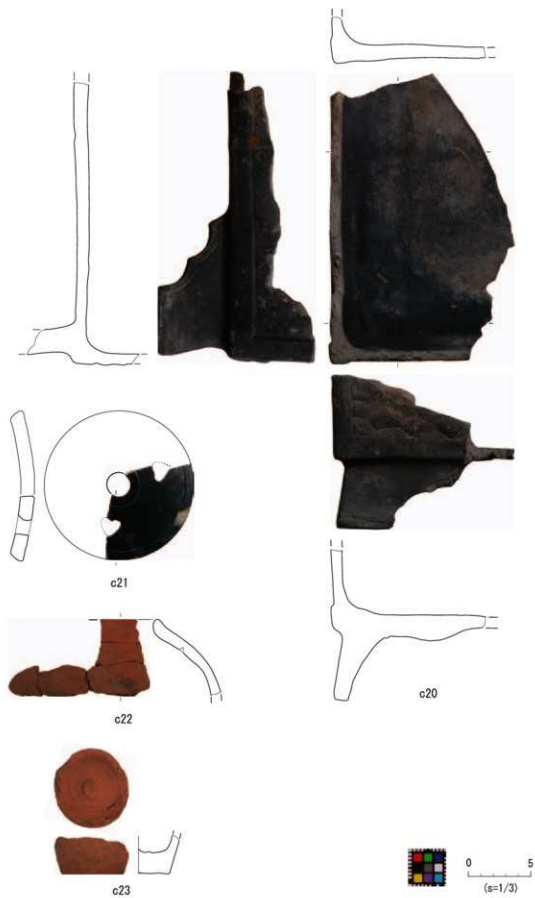
図V-2-61 陶器 (38)



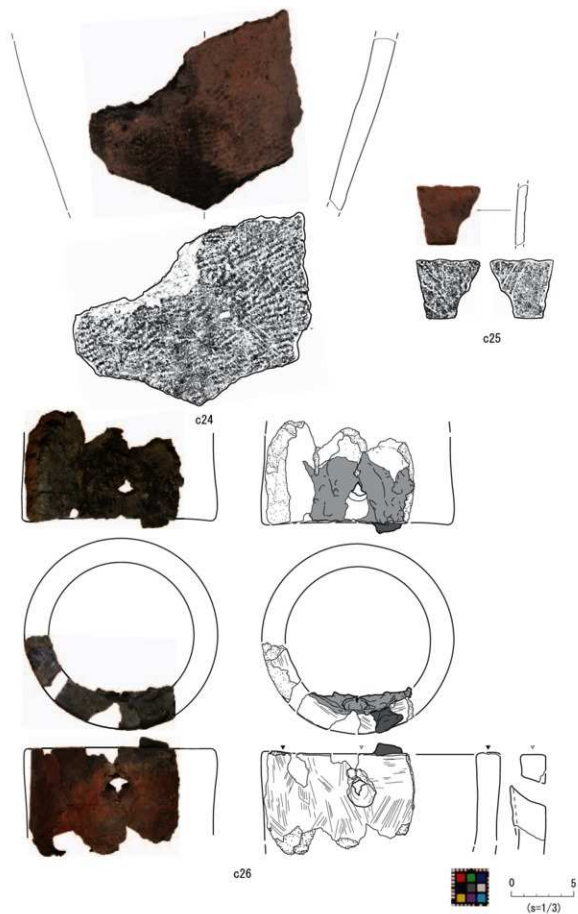
圖V-2-62 土器 (1)



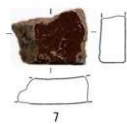
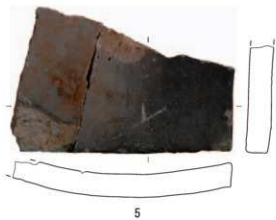
圖V-2-63 土器 (2)



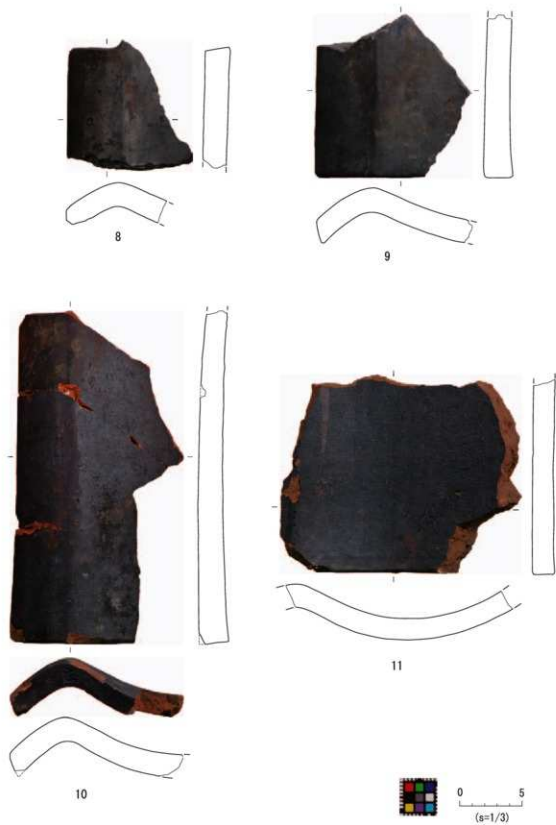
圖V-2-64 土器 (3)



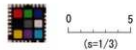
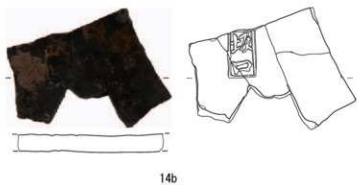
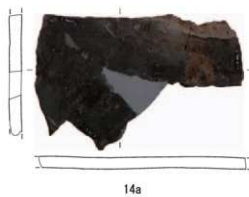
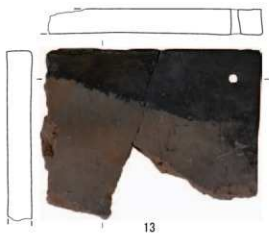
圖V-2-65 土器 (4)



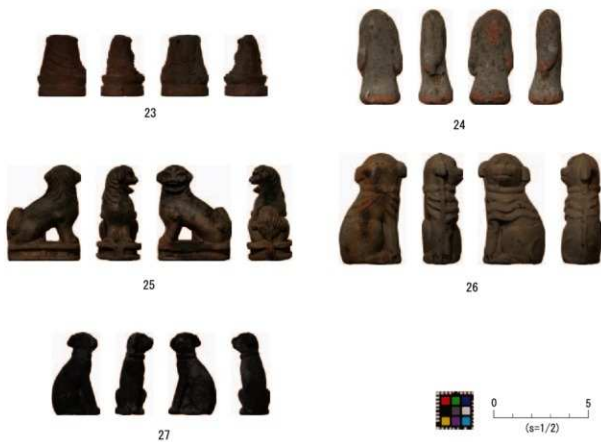
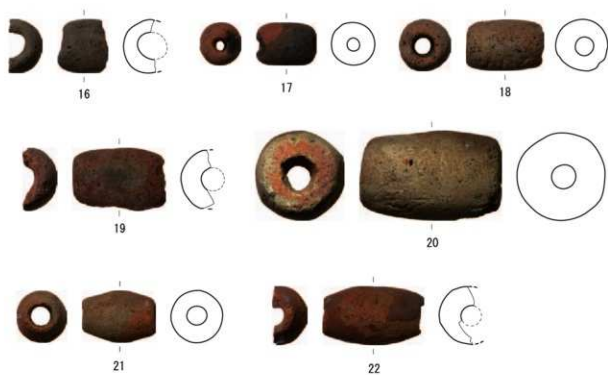
図V-2-66 土陶磁製品 (1)



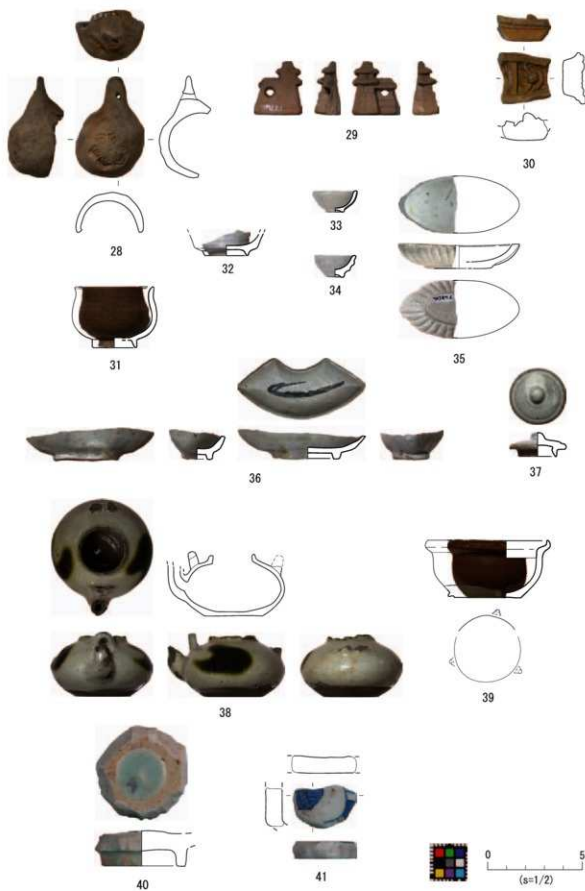
图V-2-67 土陶磁製品 (2)



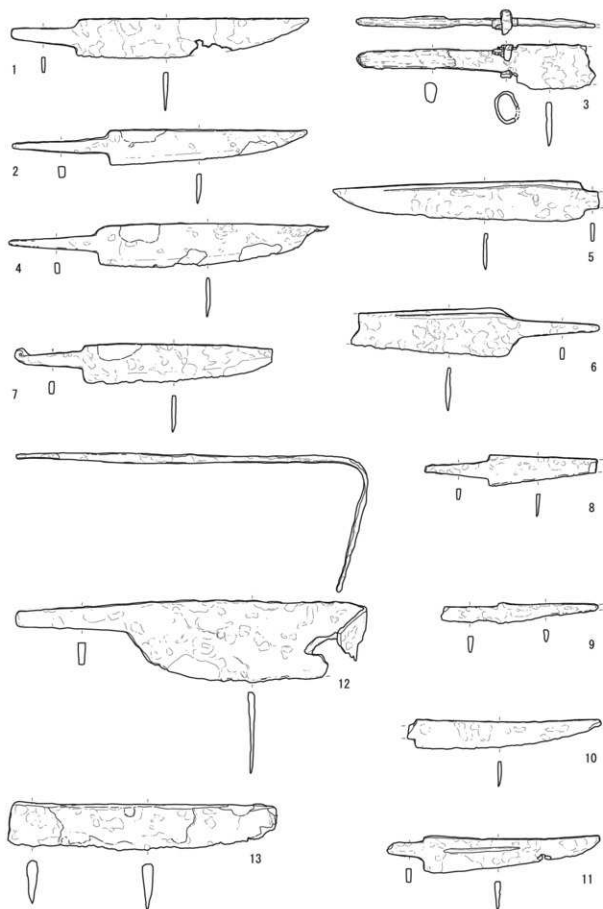
図V-2-68 土陶磁製品 (3)



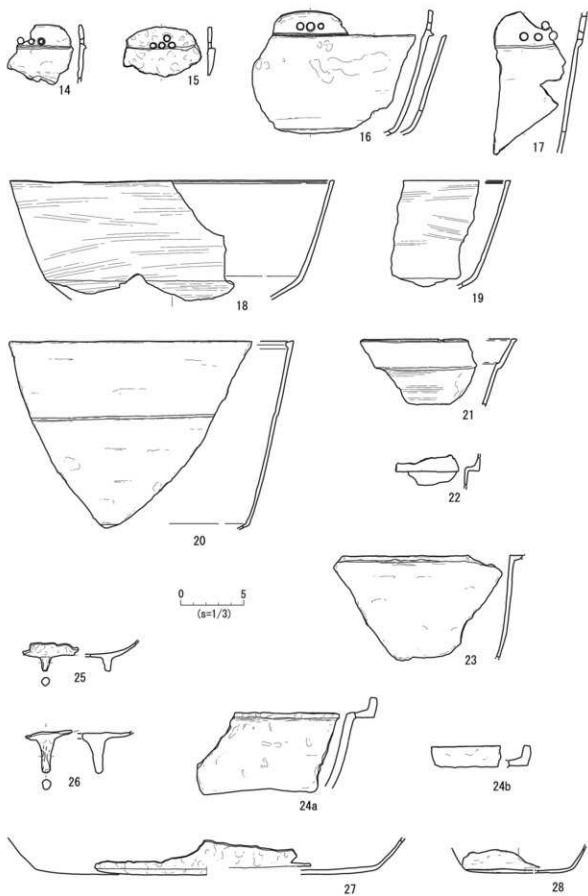
图V-2-69 土陶磁製品(4)



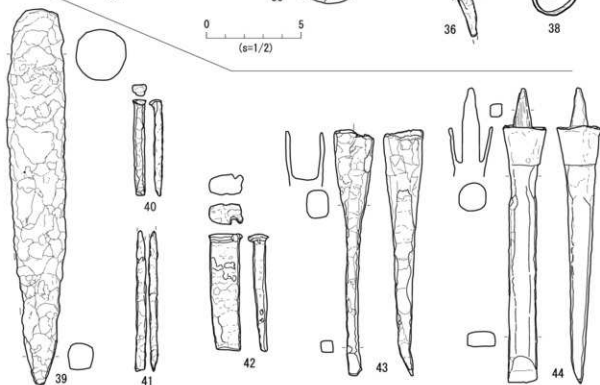
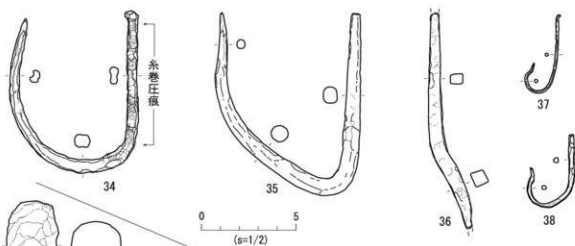
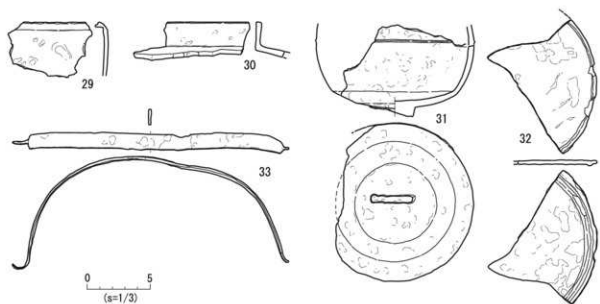
图V-2-70 土陶磁製品 (5)



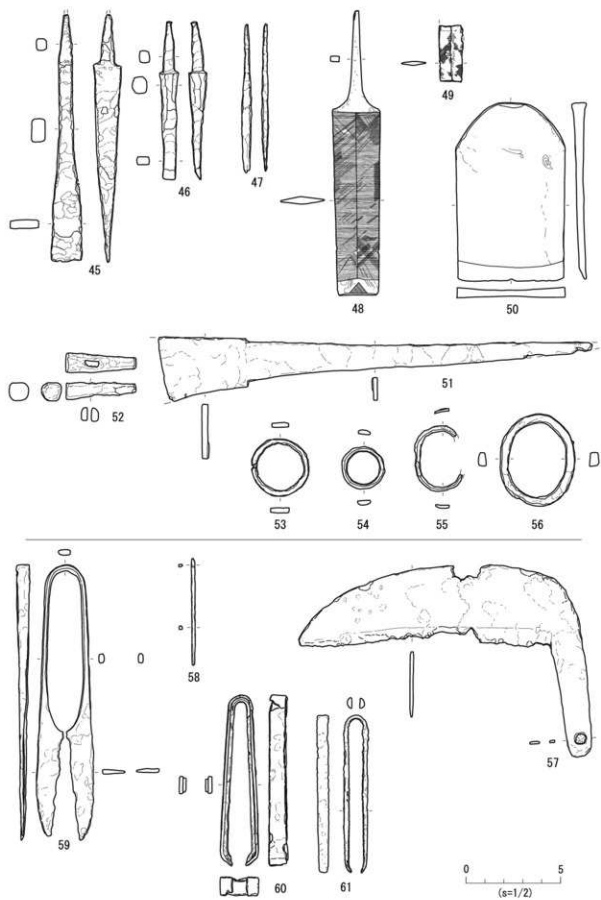
图V-3-5 铁製品 (1)



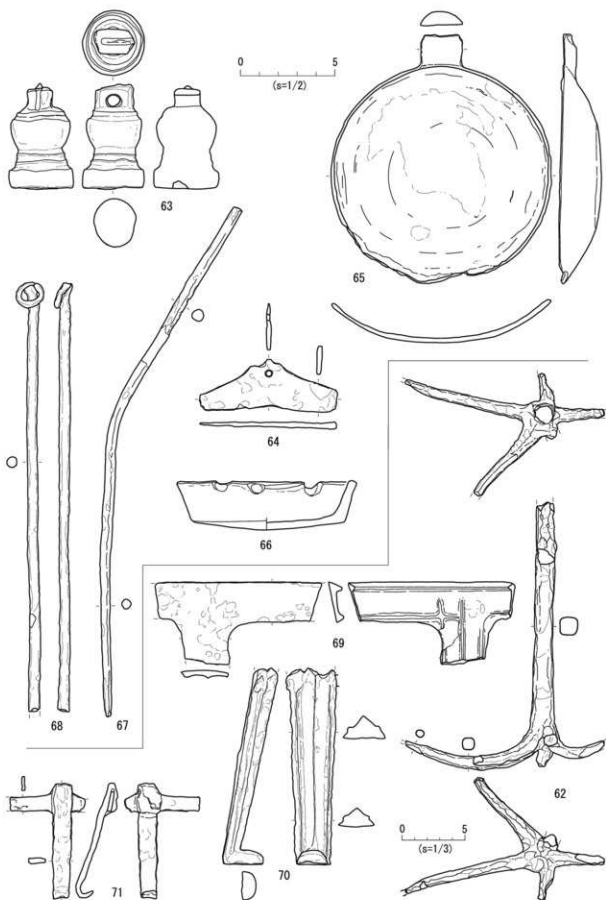
図V-3-6 鉄製品 (2)



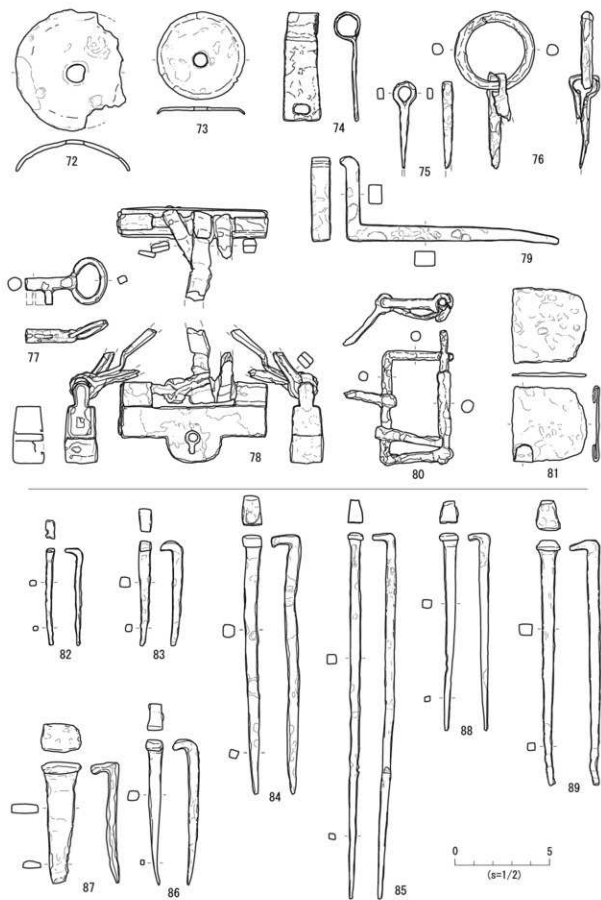
図V-3-7 鉄製品 (3)



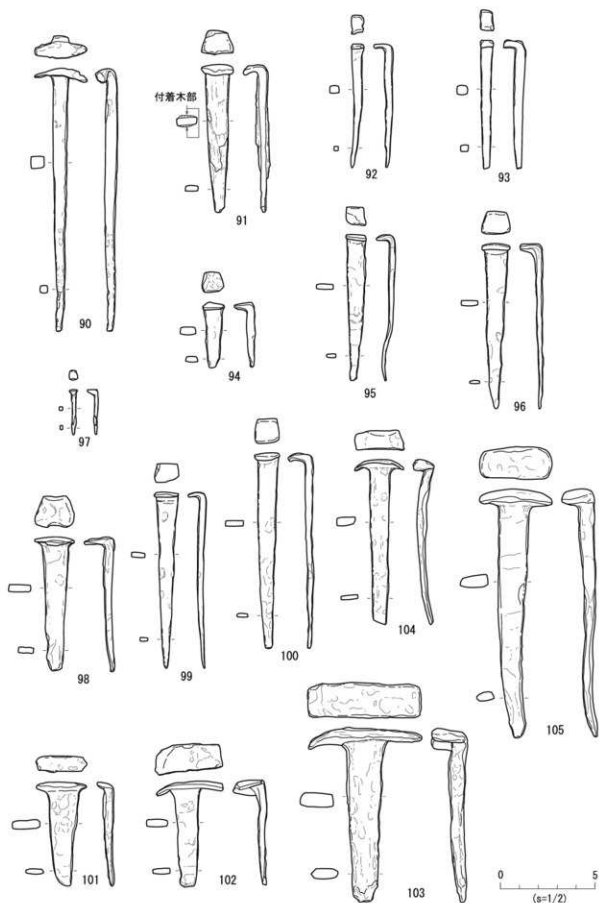
图V-3-8 铁制品 (4)



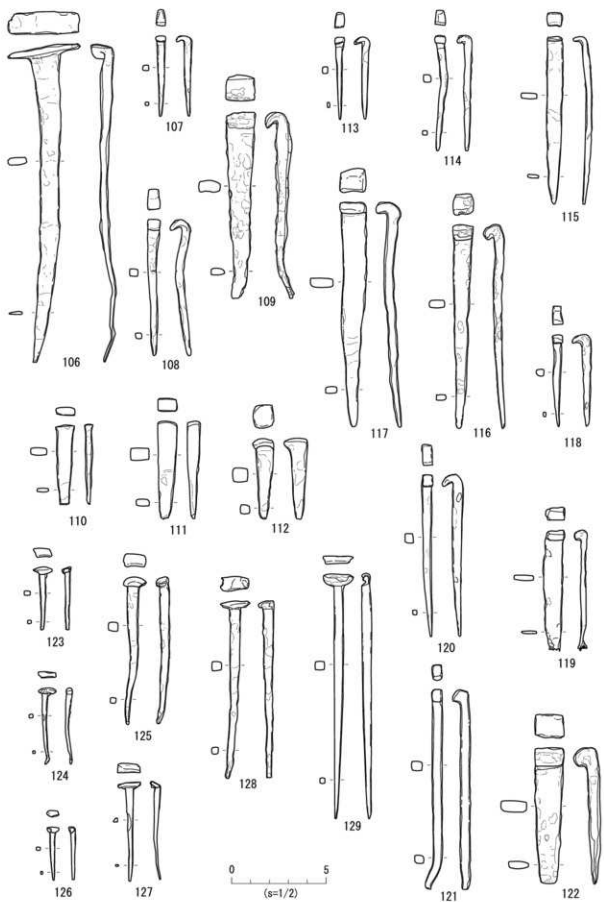
图V-3-9 铁製品 (5)



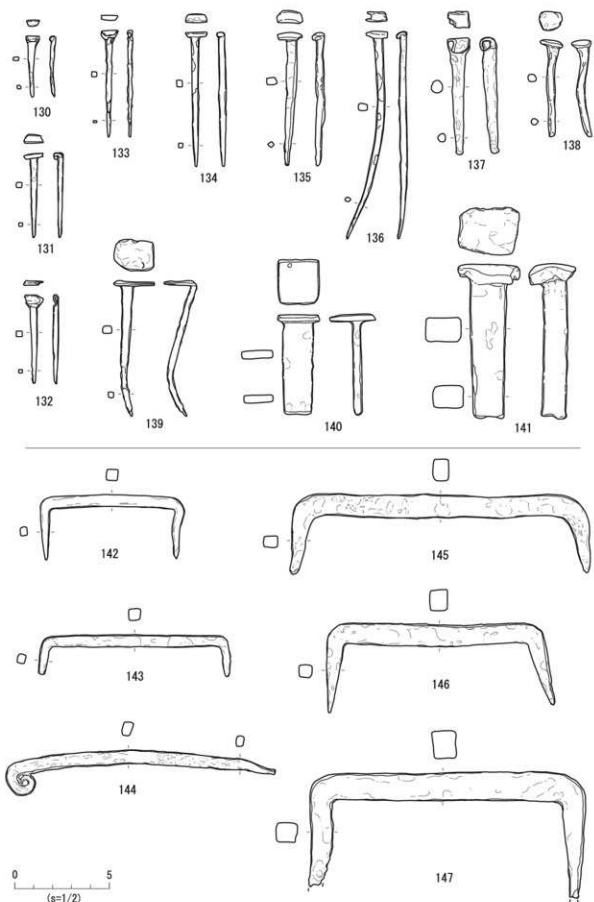
図V-3-10 鉄製品(6)



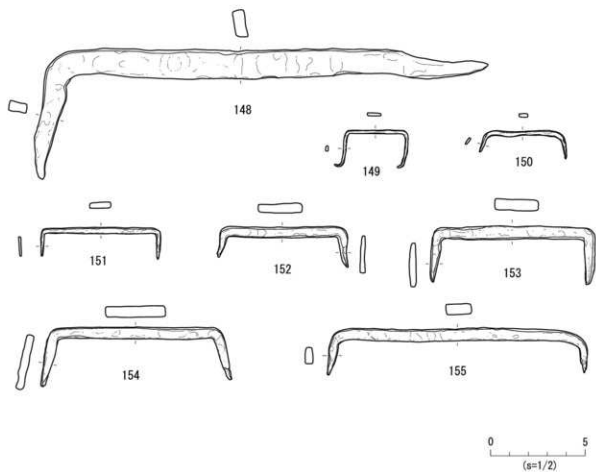
図V-3-11 鉄製品 (7)



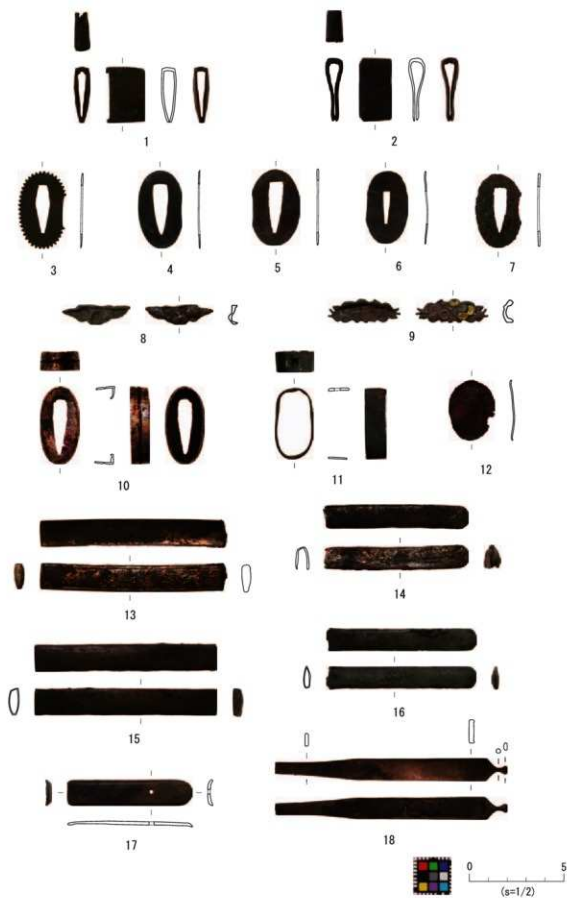
図V-3-12 鉄製品 (8)



图V-3-13 鉄製品 (9)



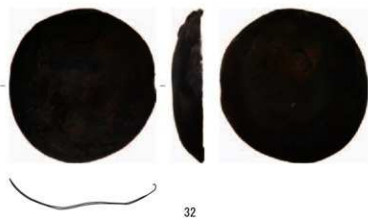
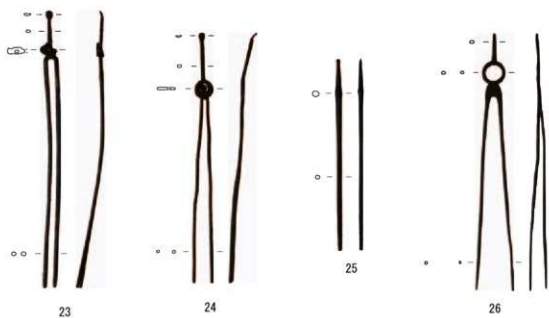
图V-3-14 鉄製品 (10)



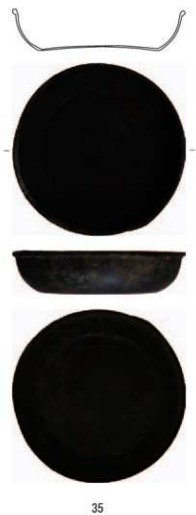
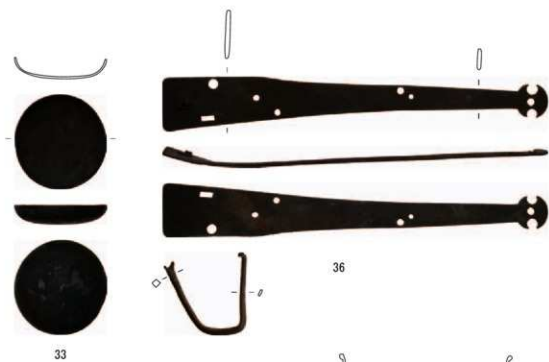
圖V-3-15 非鉄製品 (1)



圖 V-3-16 非鐵製品 (2)



図V-3-17 非鉄製品 (3)



図V-3-18 非鉄製品 (4)

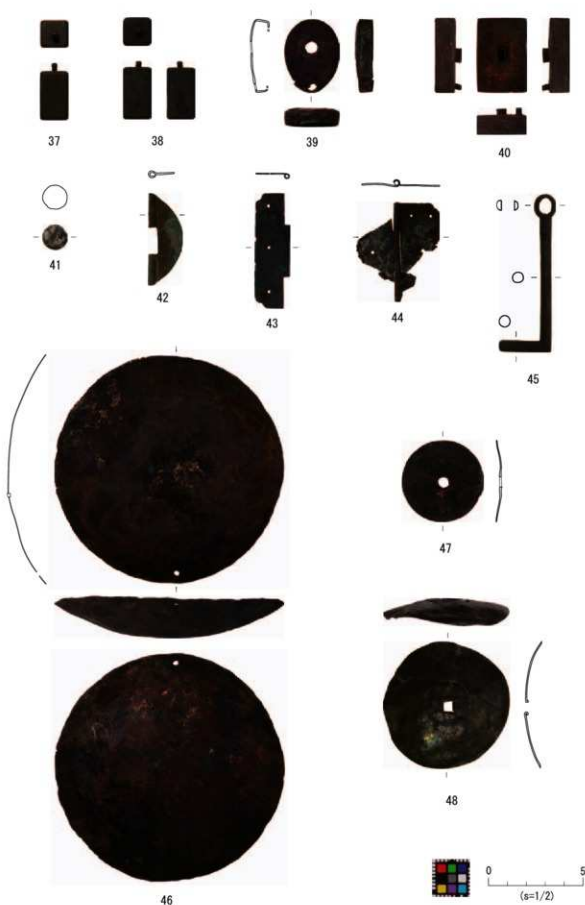
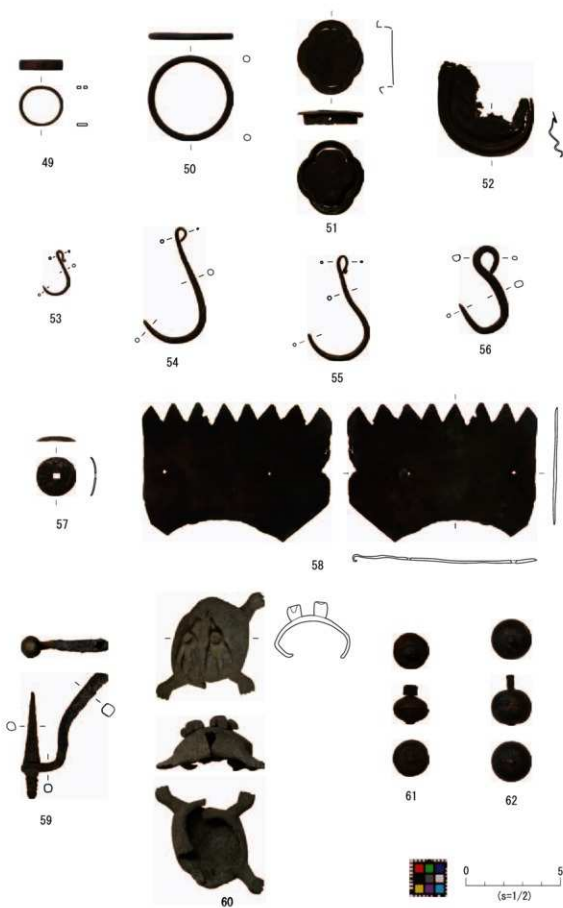


圖 V-3-19 非鉄製品 (5)



圖V-3-20 非鉄製品 (6)

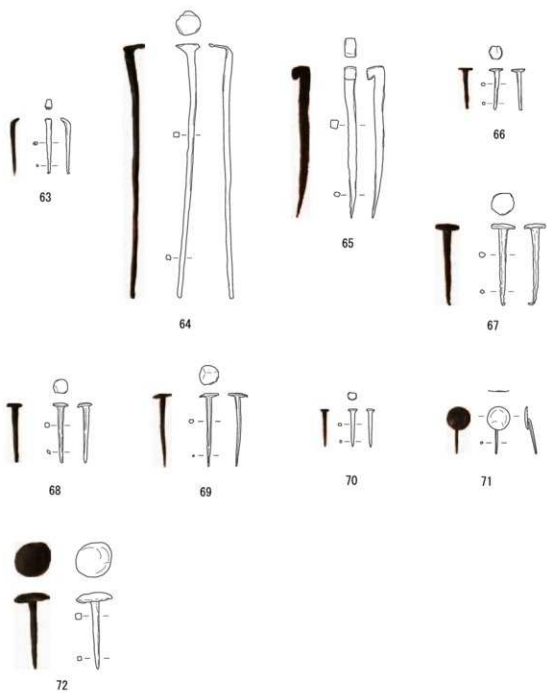
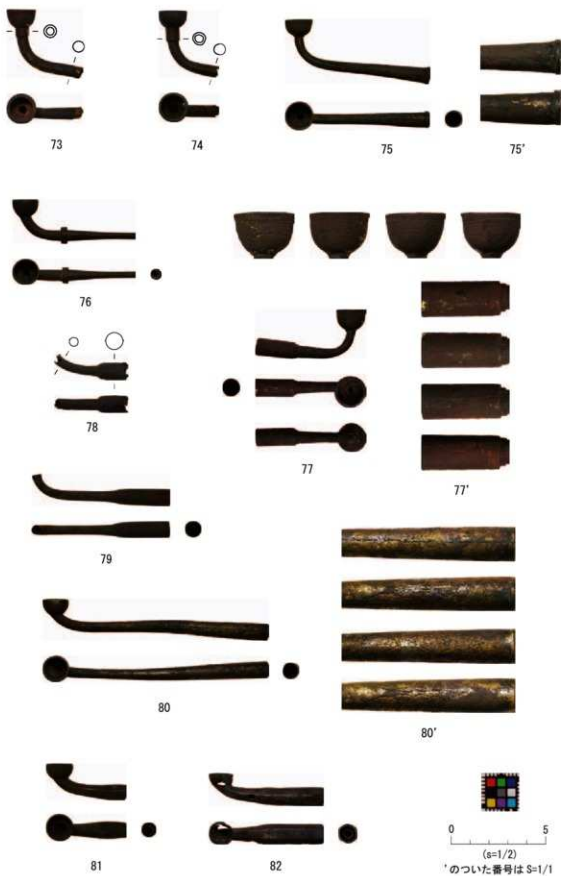


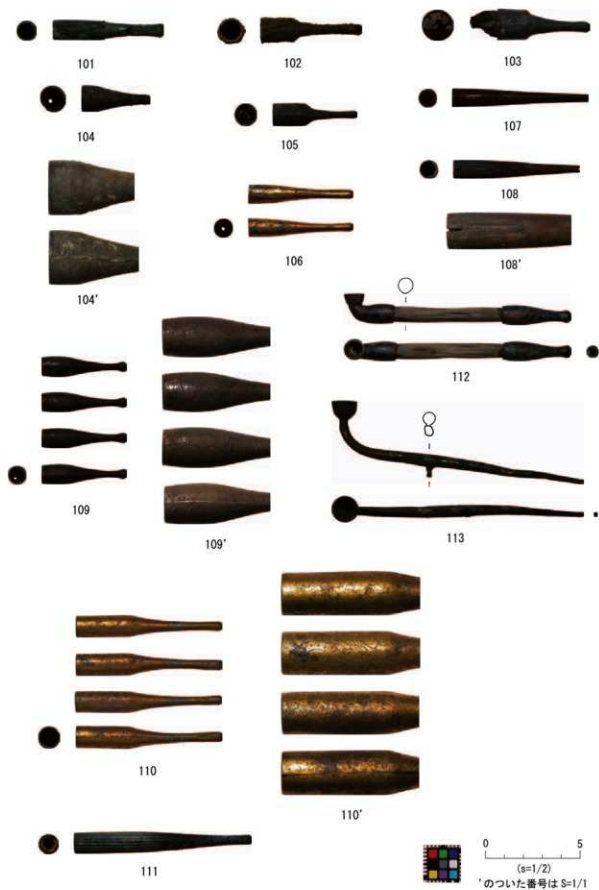
圖 V-3-21 非鉄製品 (7)



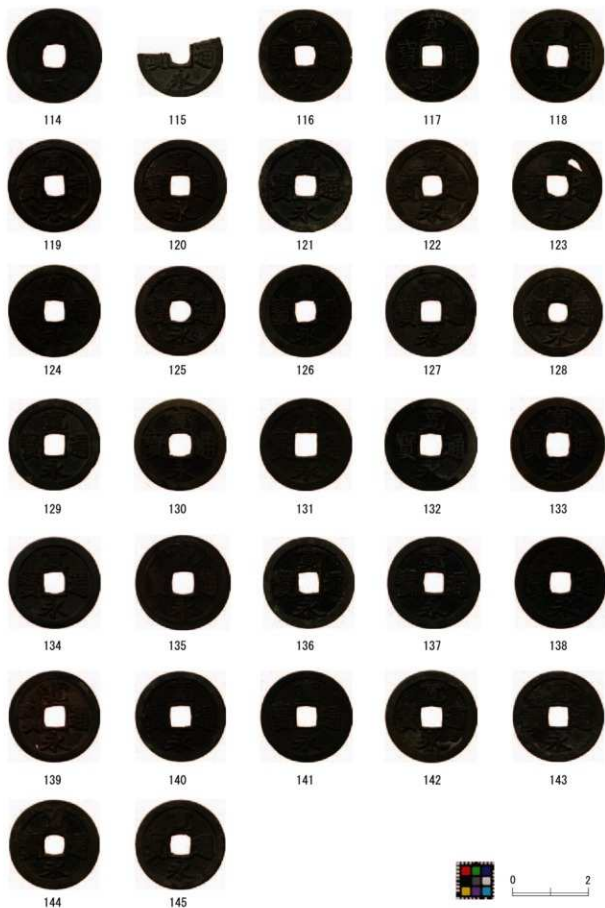
図V-3-22 非鉄製品 (8)



図 V-3-23 非鉄製品 (9)



図V-3-24 非鉄製品 (10)



図V-3-25 非鉄製品 (11)

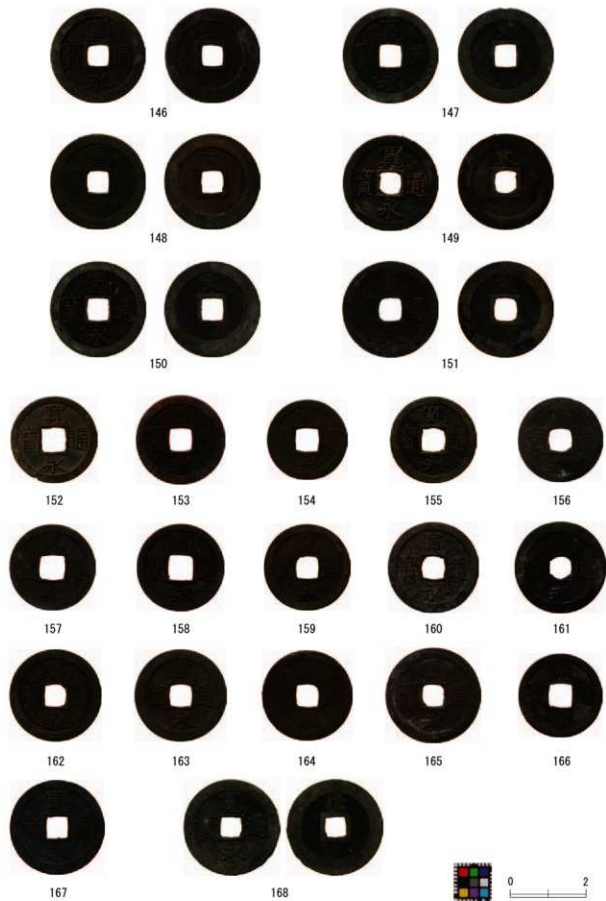
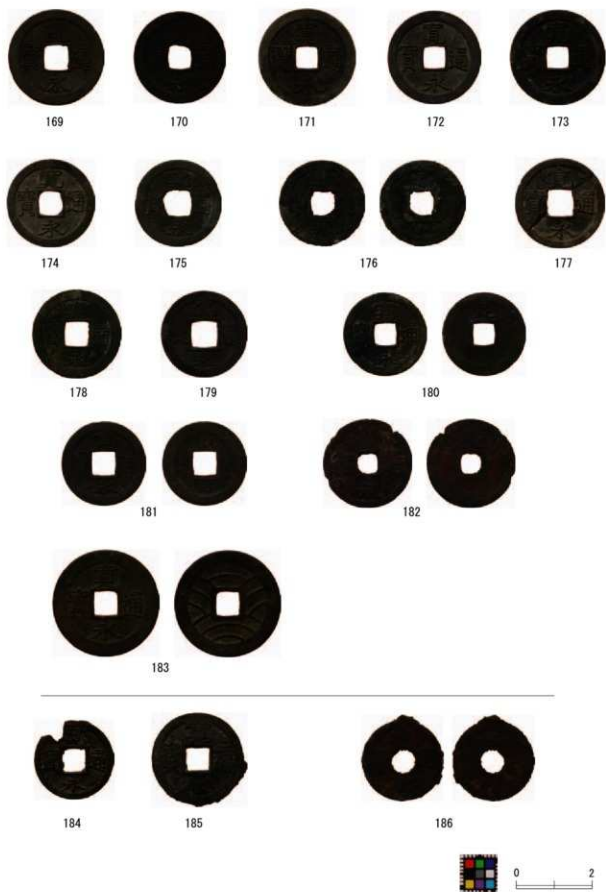
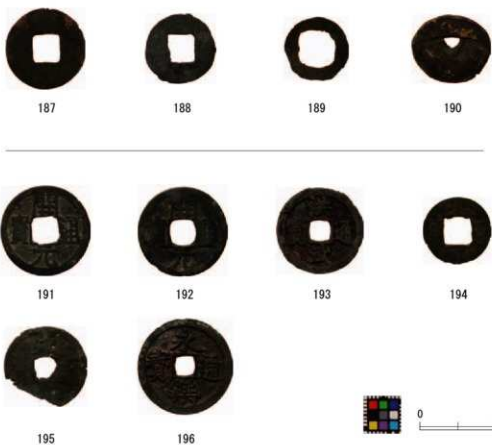


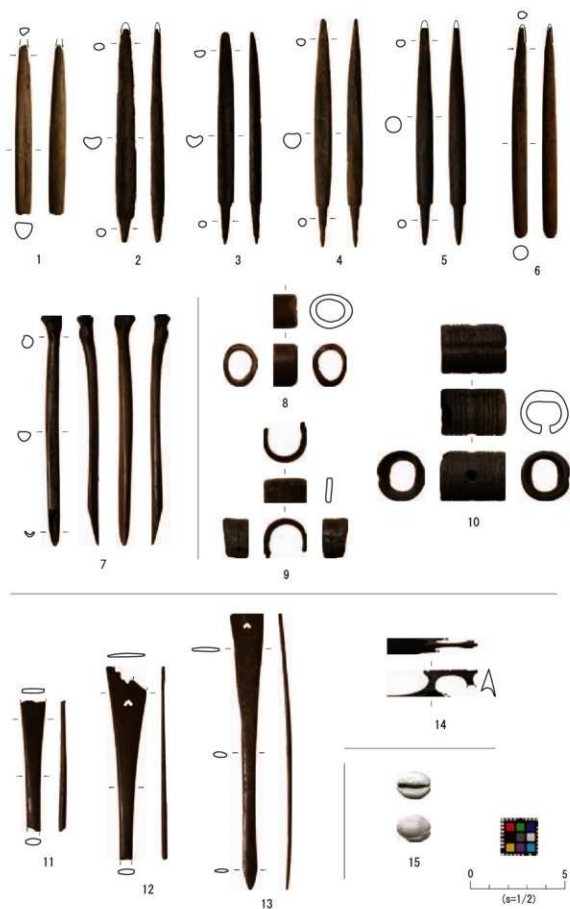
图 V-3-26 非鉄製品 (12)



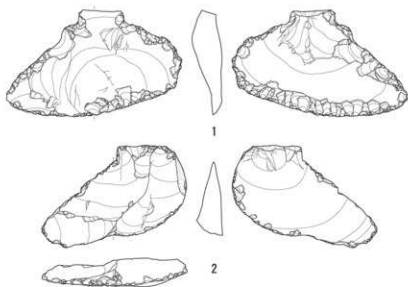
図V-3-27 非鉄製品 (13)



図V-3-28 非鉄製品 (14)



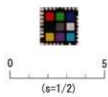
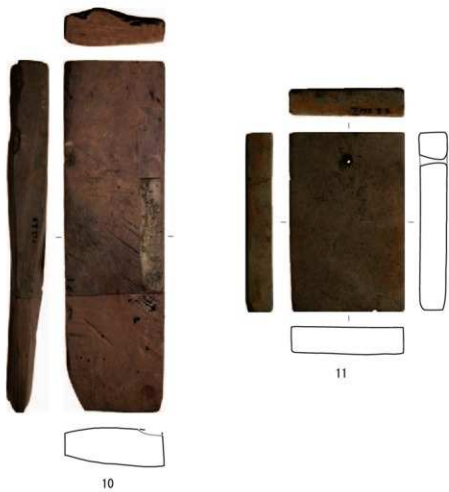
圖V-4-1 骨角製品



図V-5-1 石器・石製品 (1)



図V-5-2 石器・石製品 (2)



図V-5-3 石器・石製品 (3)

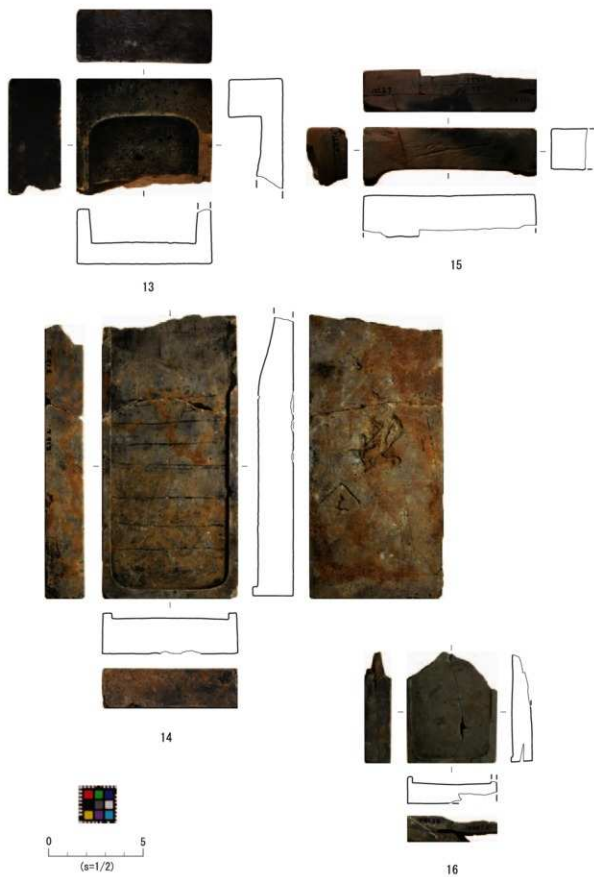
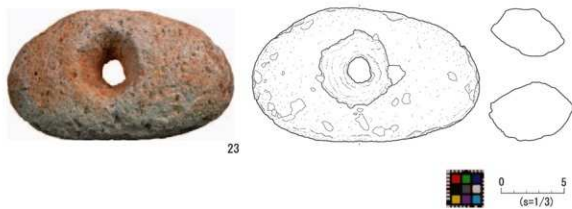
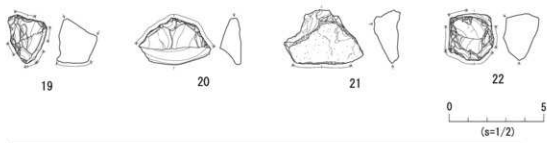


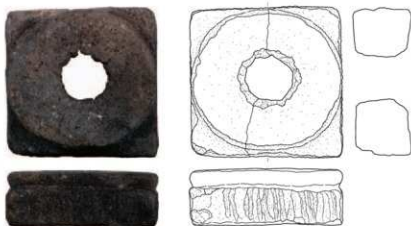
圖 V-5-4 石器・石製品 (4)



図V-5-5 石器・石製品 (5)



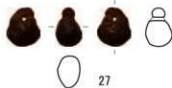
24



25

0 5
(s=1/3)

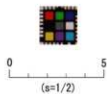
26



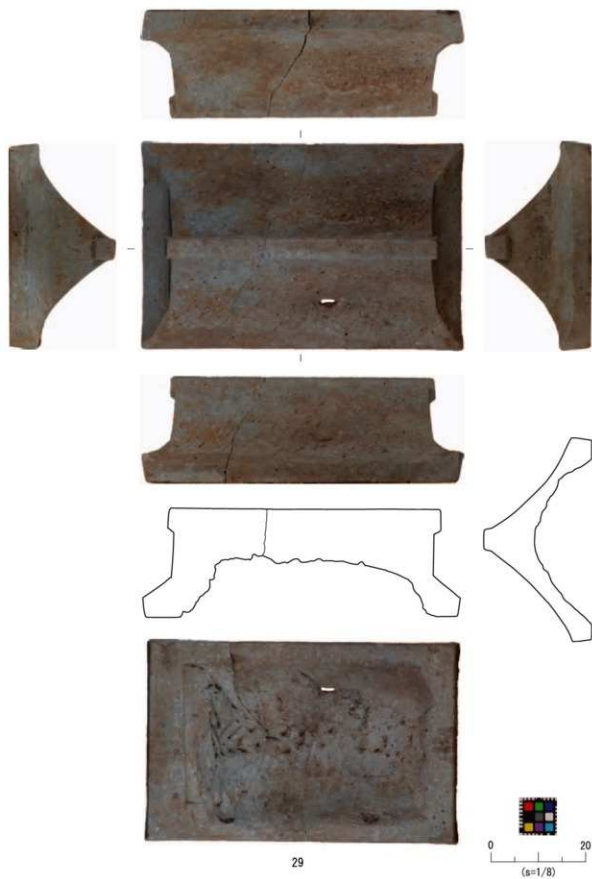
27



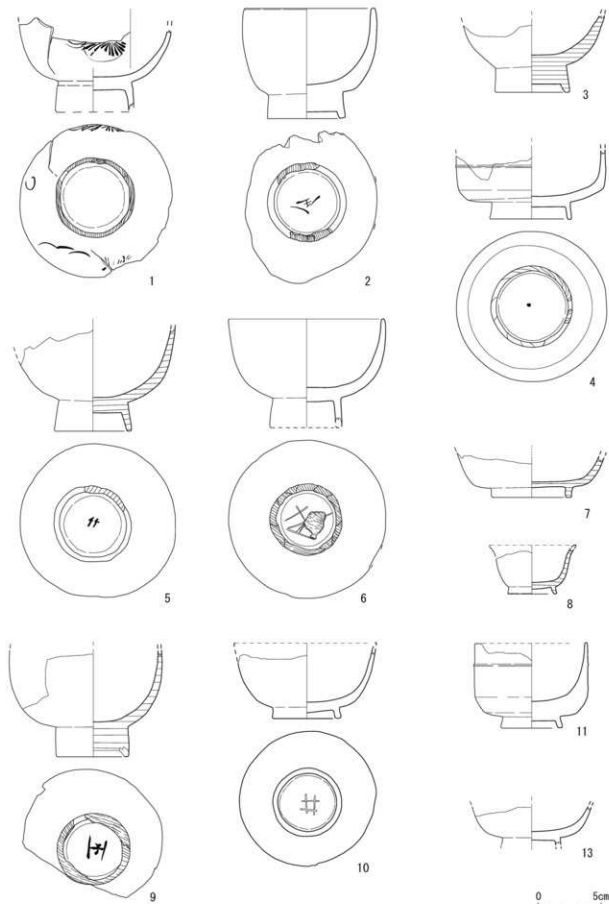
28

0 5
(s=1/2)

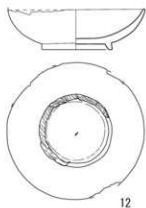
図V-5-6 石器・石製品 (6)



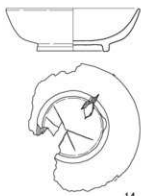
図V-5-7 石器・石製品 (7)



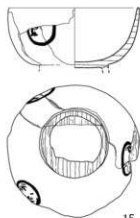
木製品 (1)



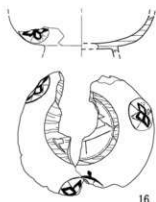
12



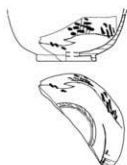
14



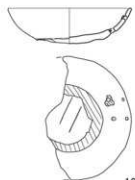
15



16



17



19



21



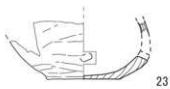
18



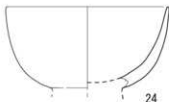
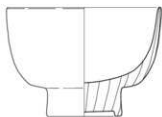
20



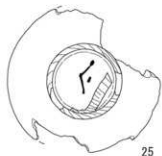
22



23



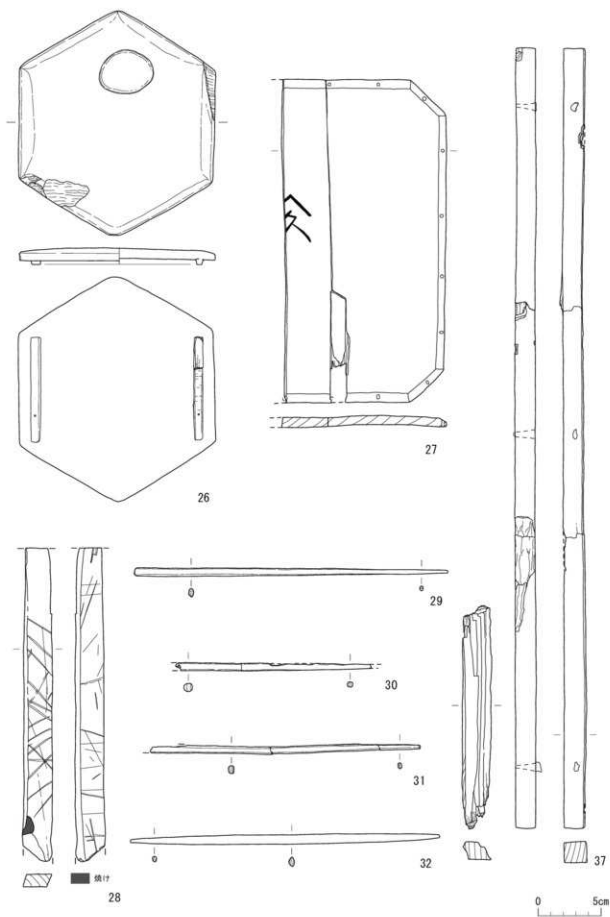
24



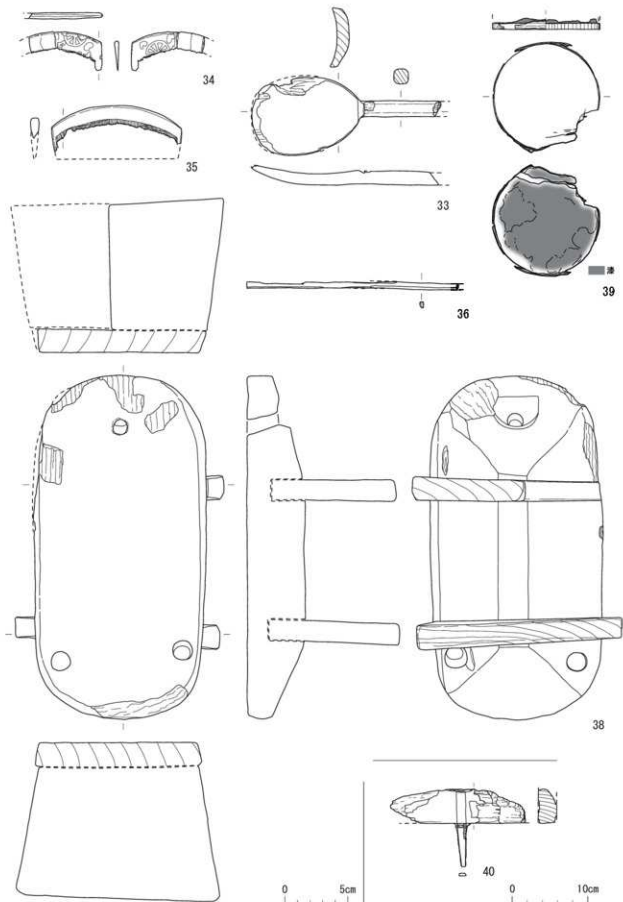
25

0 5cm

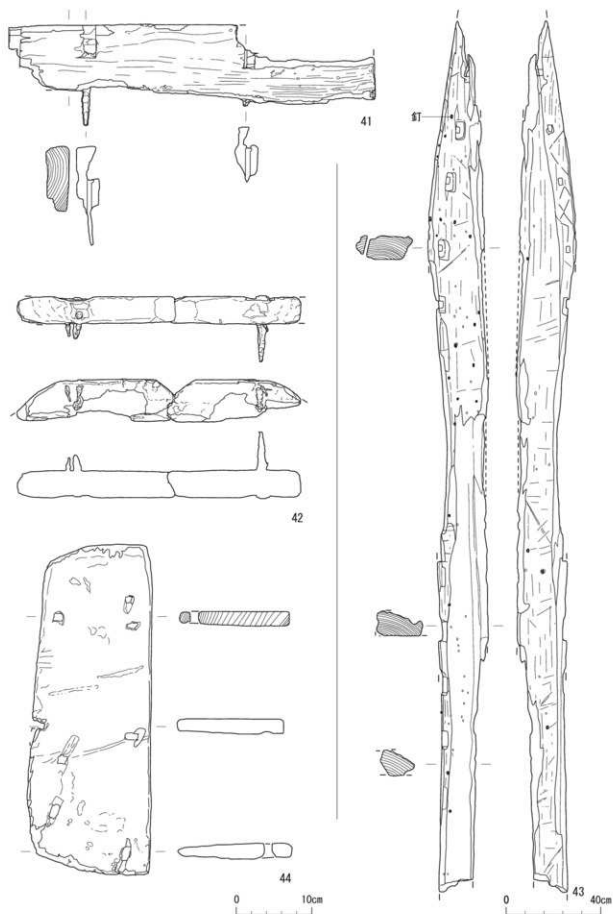
木製品 (2)



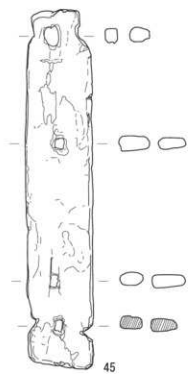
木製品 (3)



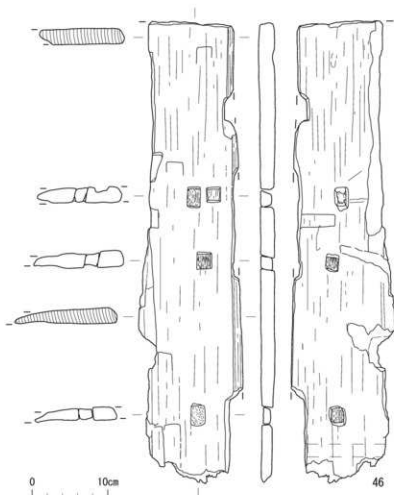
木製品 (4)



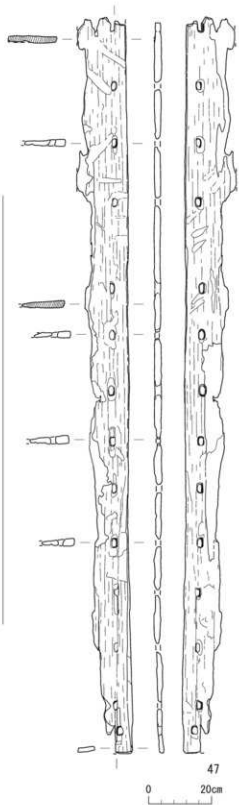
木製品 (5)



45



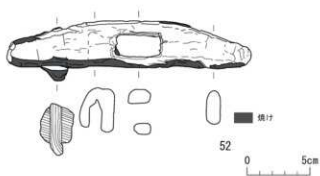
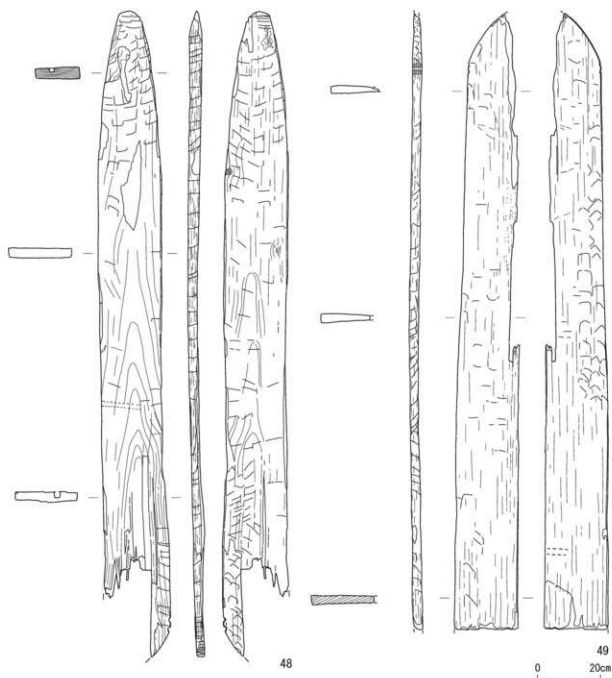
46



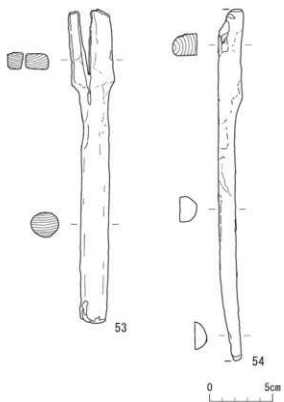
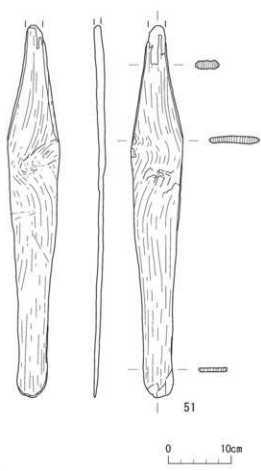
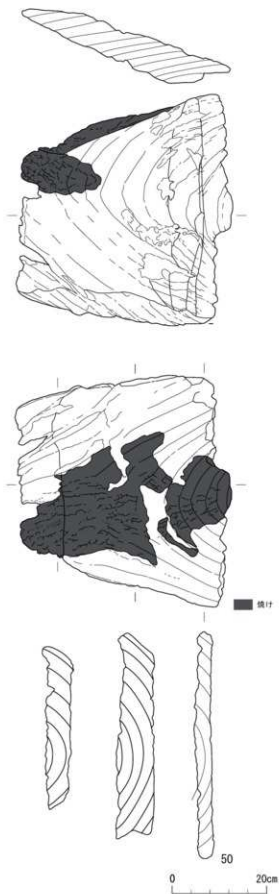
47

0 20cm

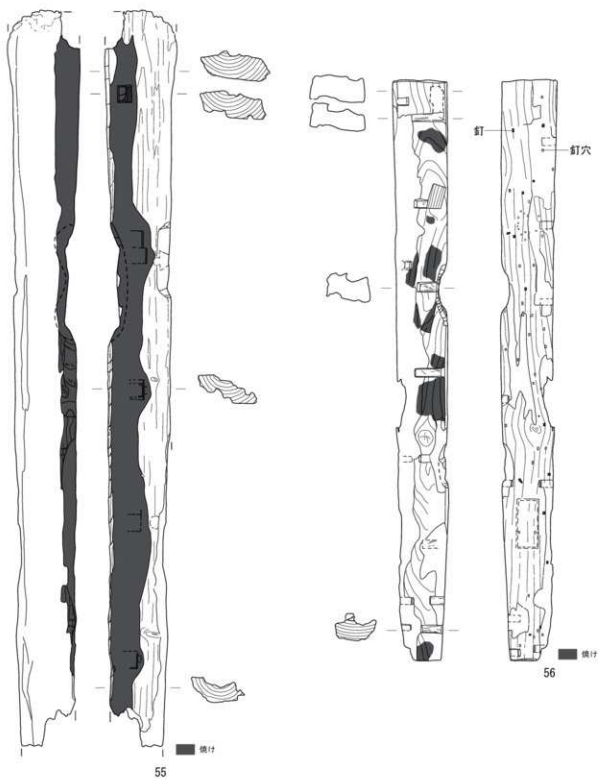
木製品 (6)



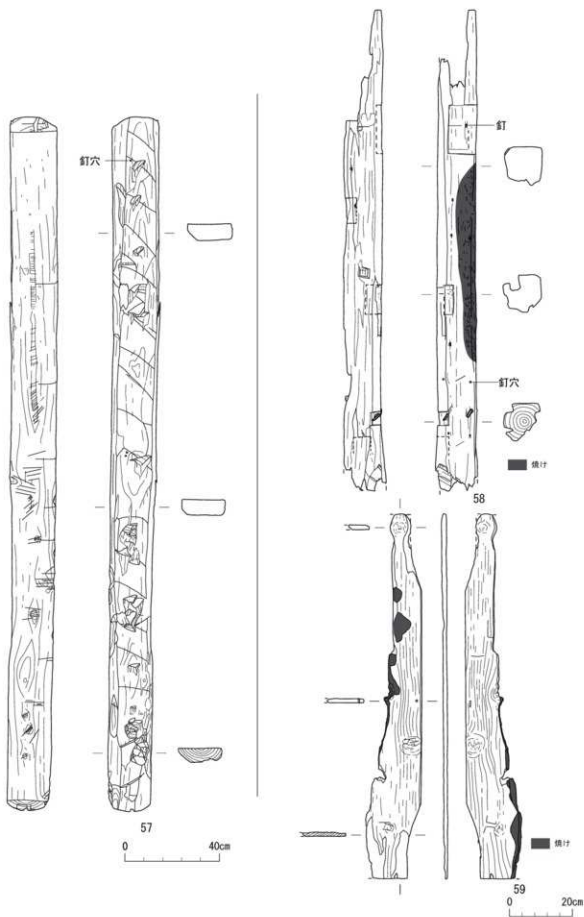
木製品 (7)



木製品 (8)



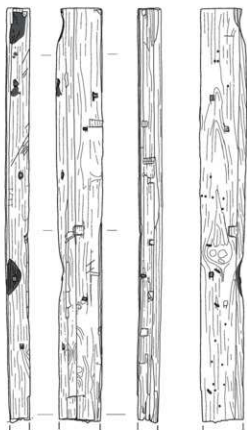
木製品 (9)



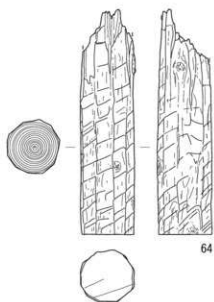
木製品 (10)



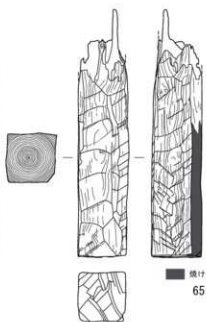
60



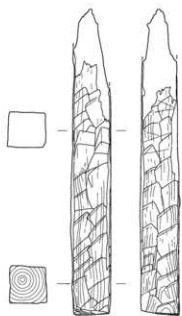
横計
61



64

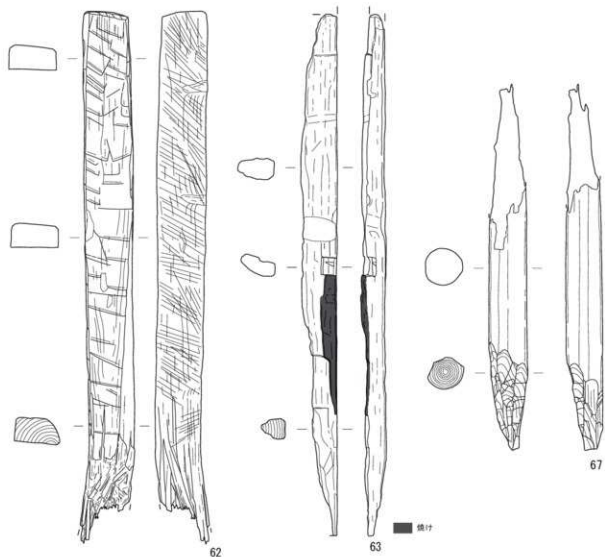


横計
65

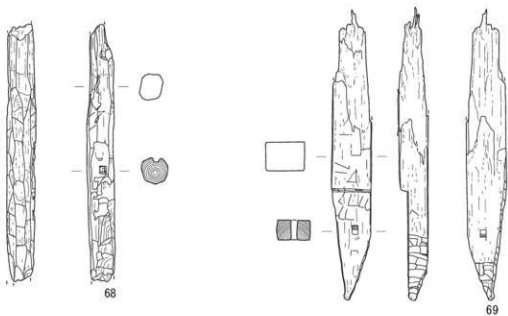


66

0 20cm

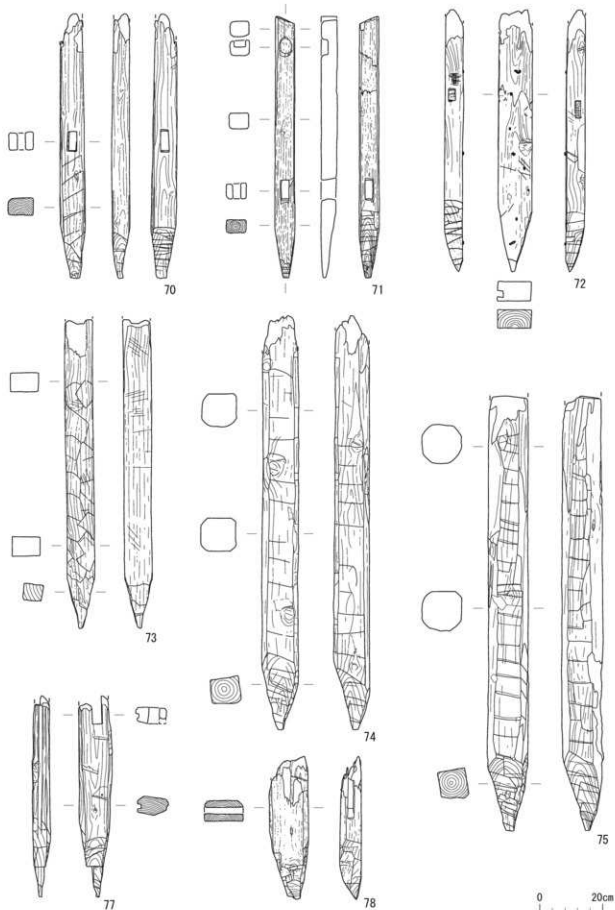


67

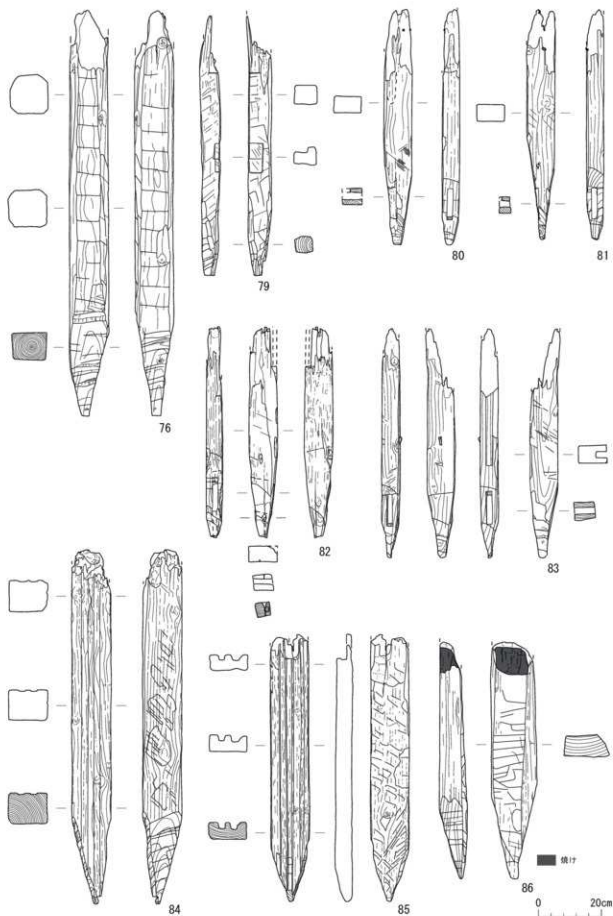


0 20cm

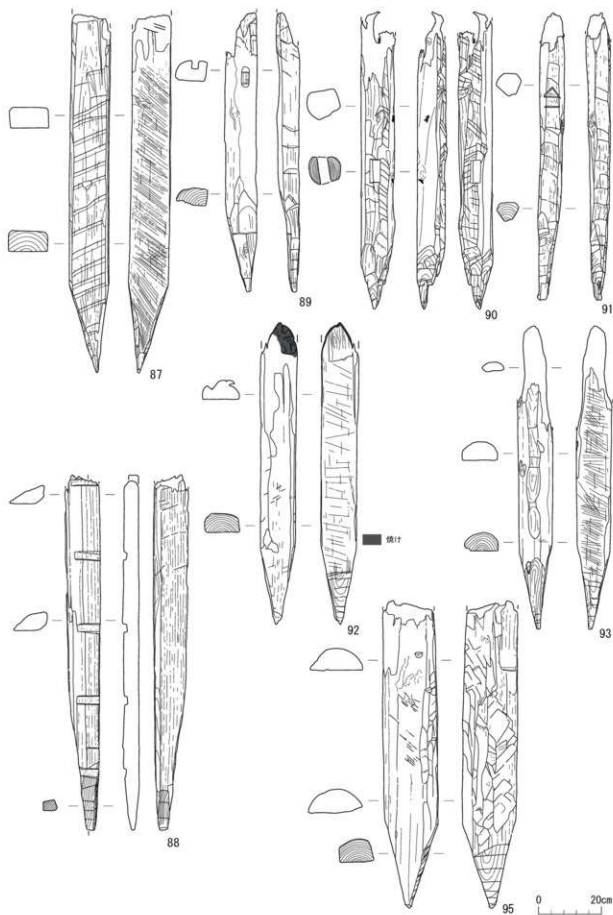
木製品 (12)



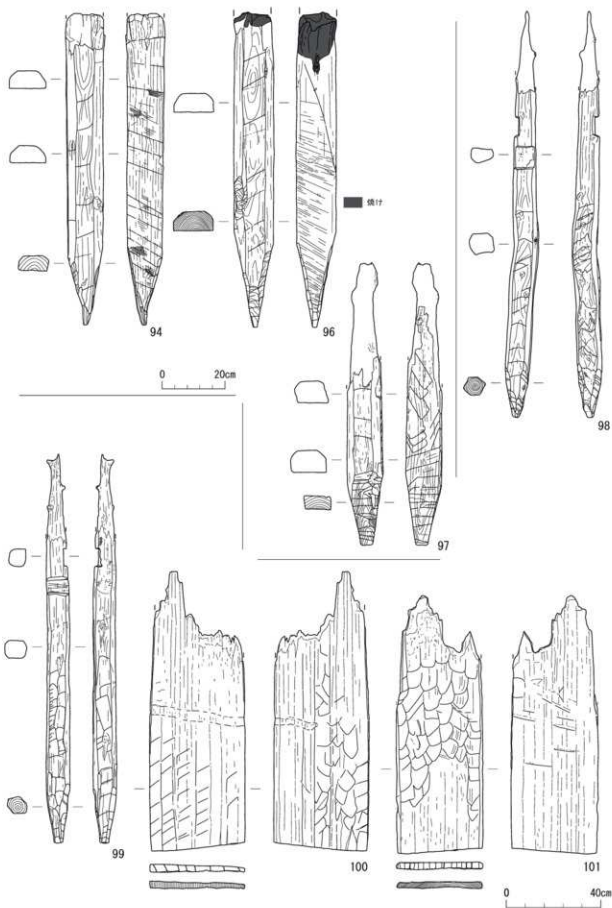
木製品 (13)



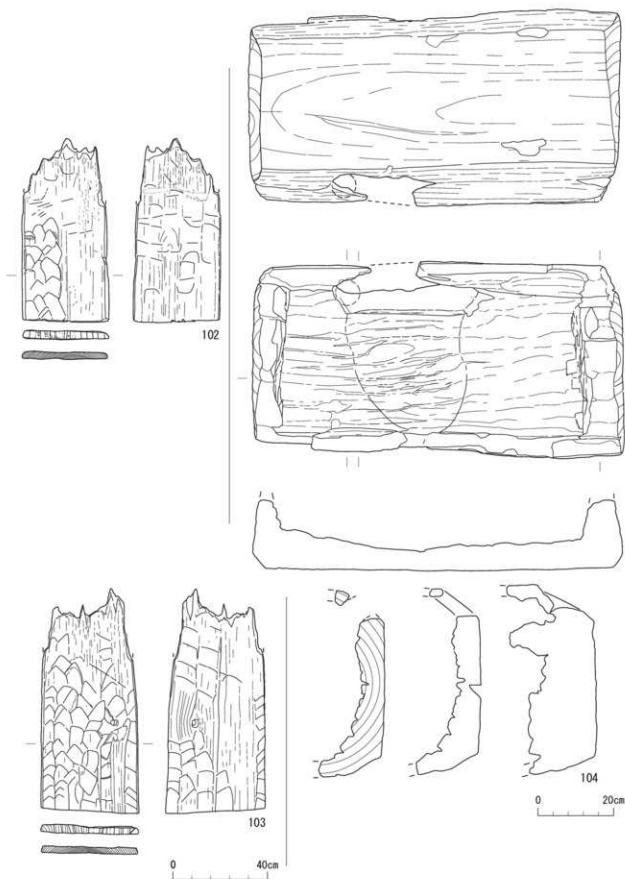
木製品 (14)



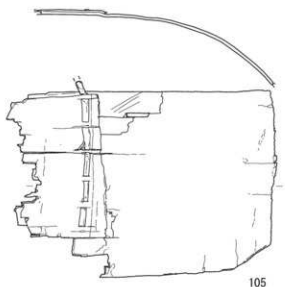
木製品 (15)



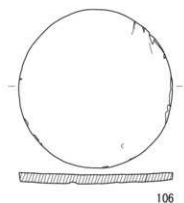
木製品 (16)



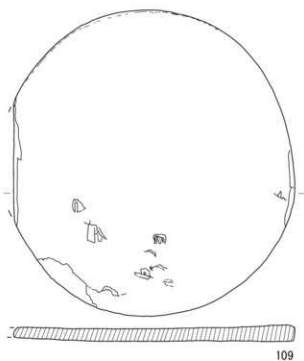
木製品 (17)



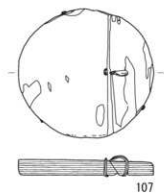
105



106



109



107



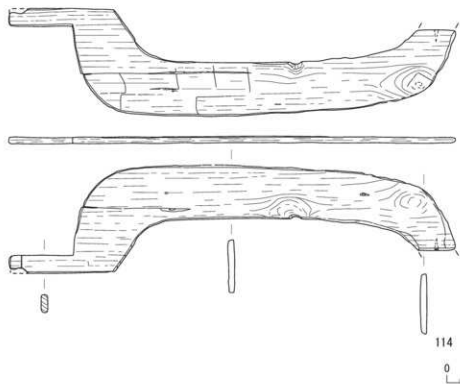
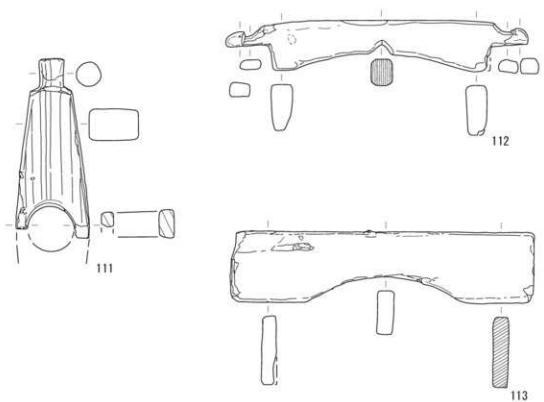
108



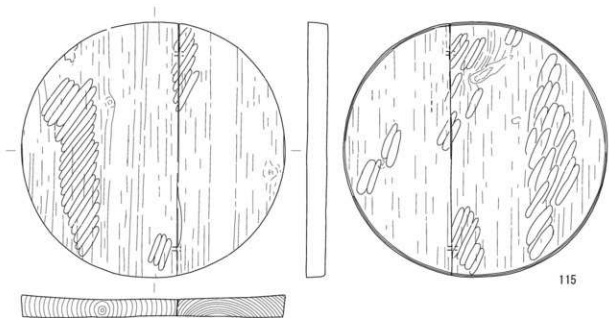
110



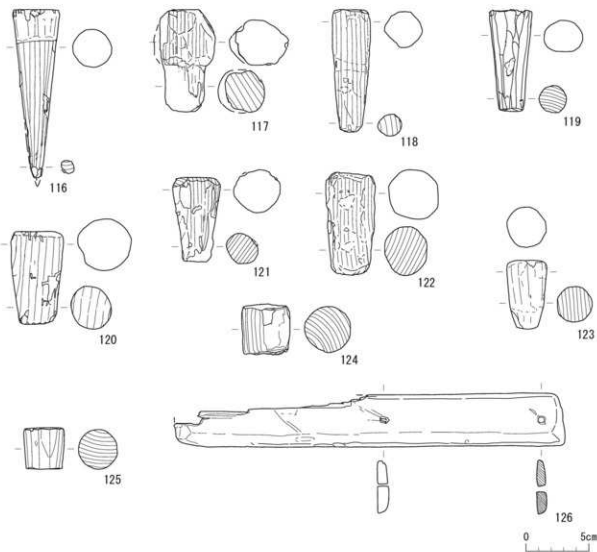
木製品 (18)



木製品 (19)

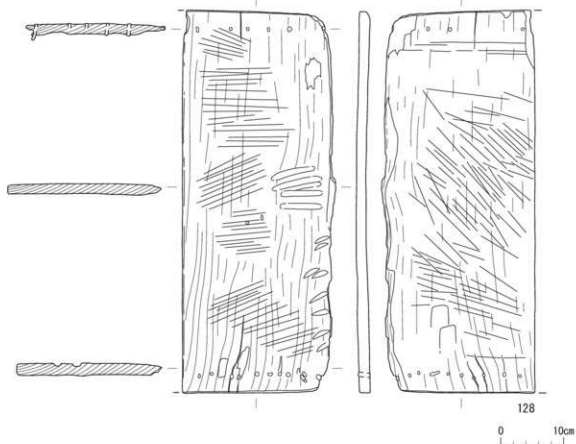
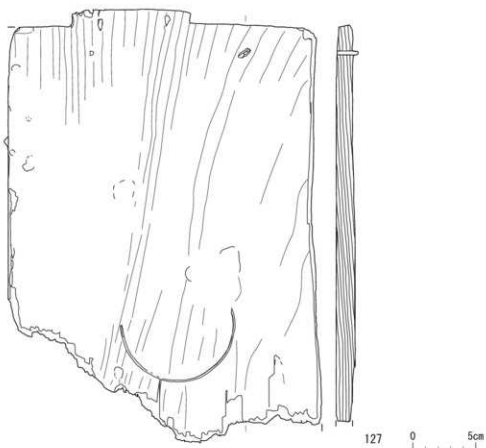


0 10cm

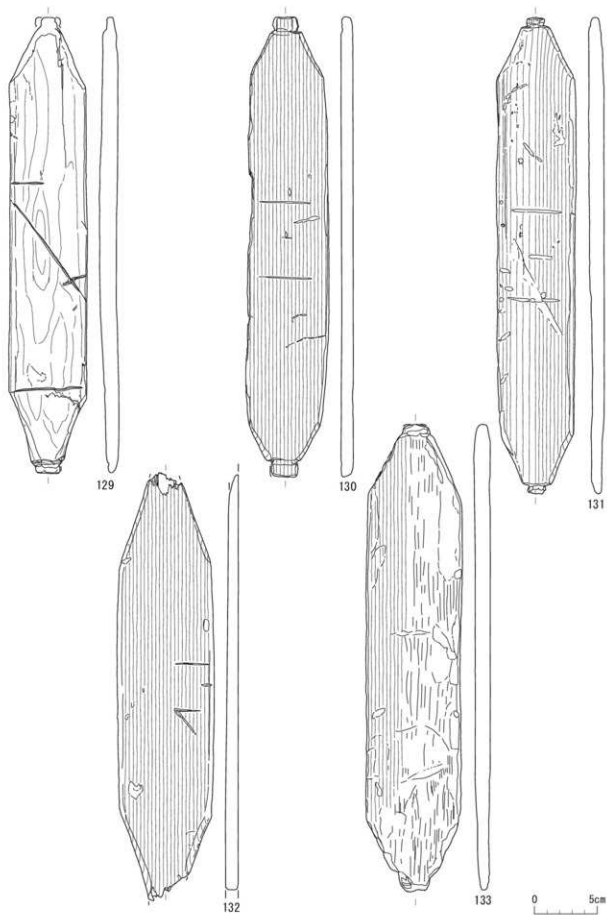


0 5cm

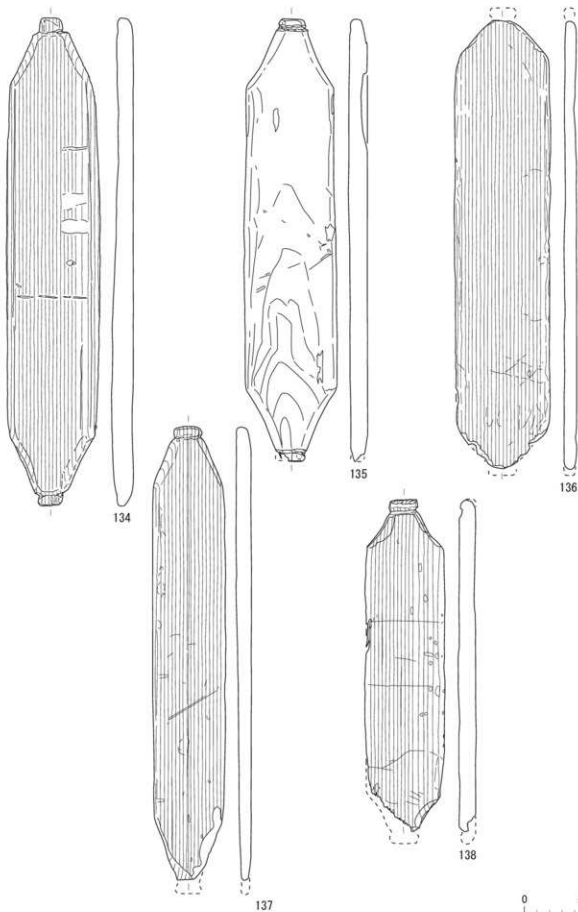
木製品 (20)



木製品 (21)

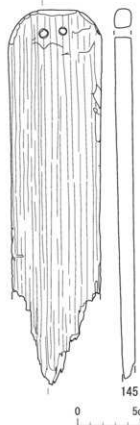
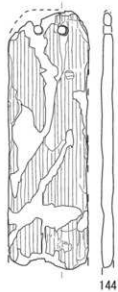
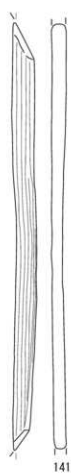
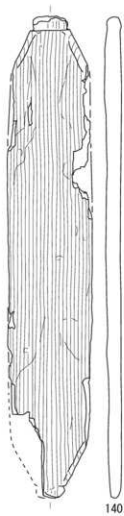
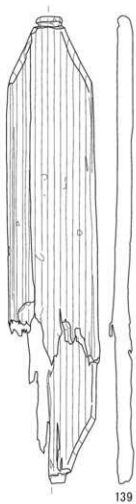


木製品 (22)

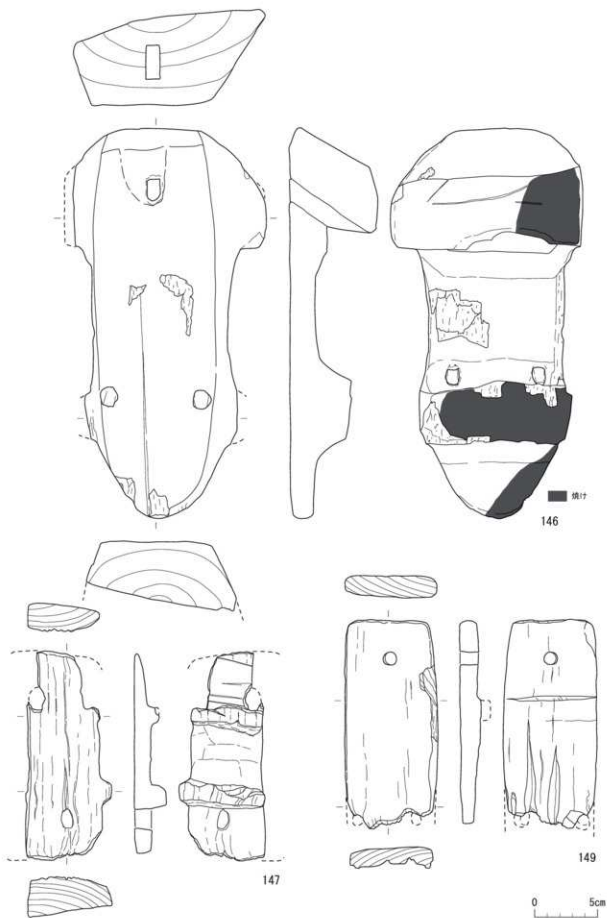


木製品 (23)

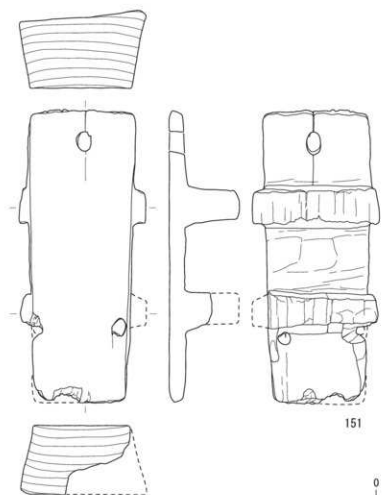
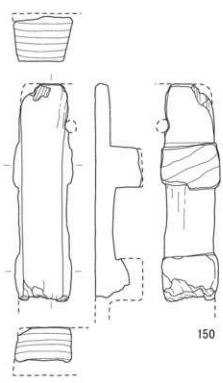
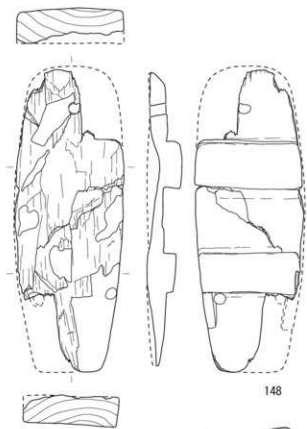
0 5cm



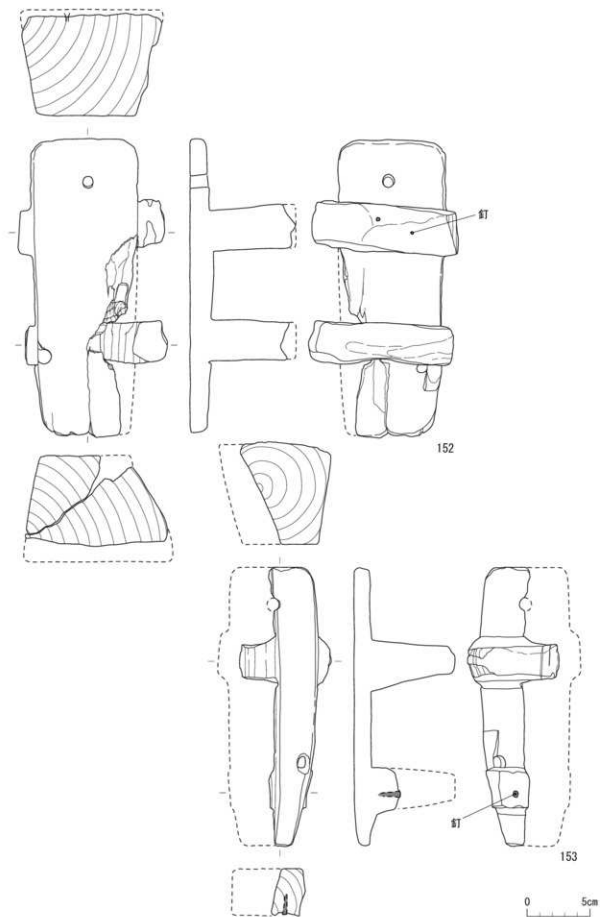
木製品 (24)



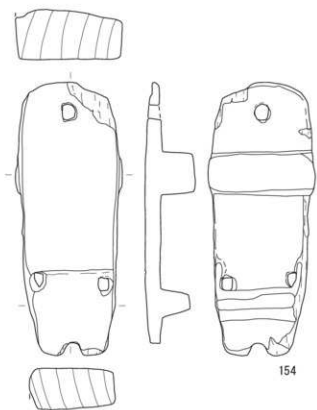
木製品 (25)



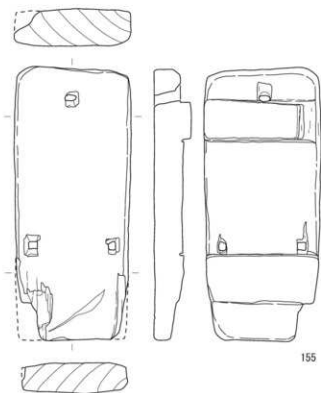
木製品 (26)



木製品 (27)



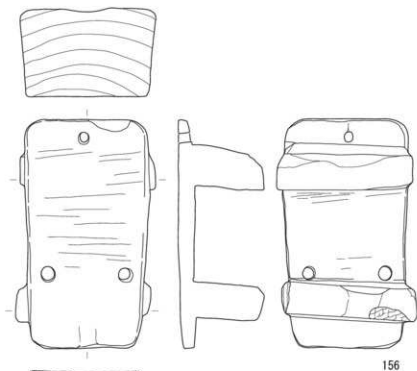
154



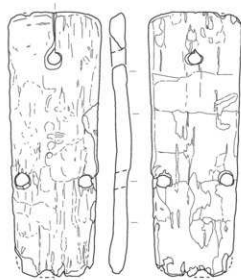
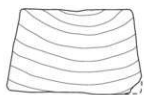
155



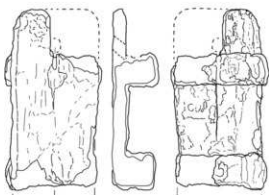
木製品 (28)



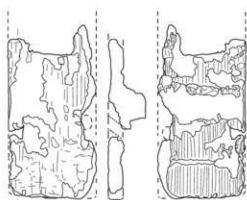
156



159

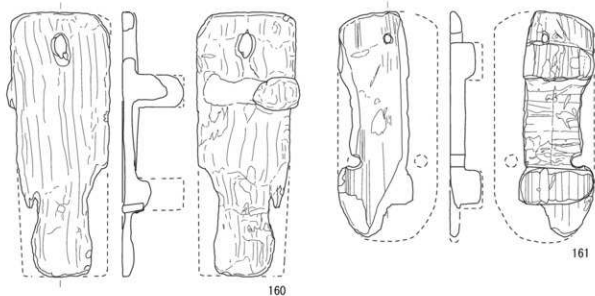


157



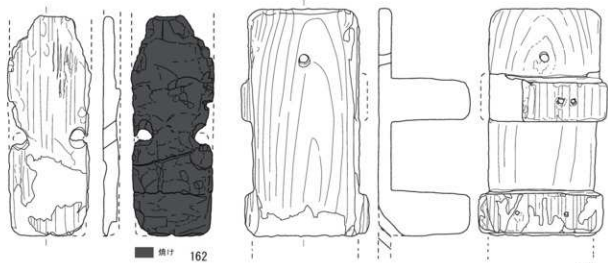
158





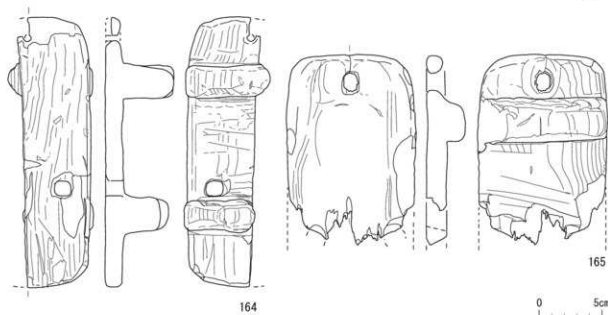
160

161



■ 補修 162

163

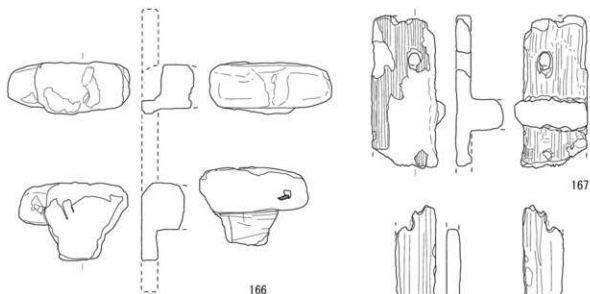


164

165

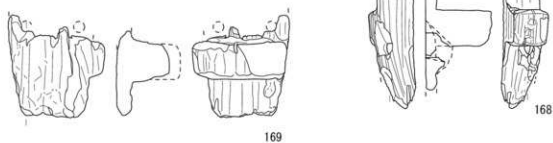
0 5cm

木製品 (30)



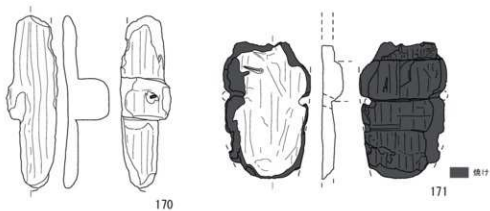
166

167



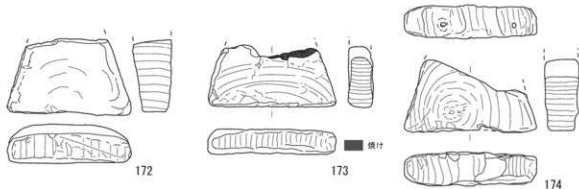
169

168



170

171

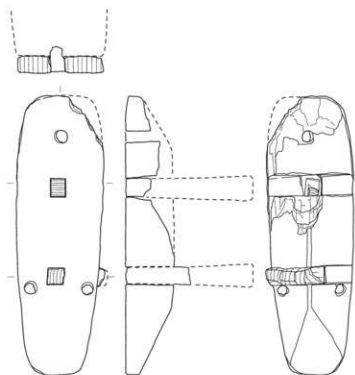


172

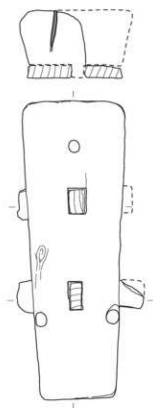
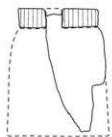
173

174

0 5cm



175

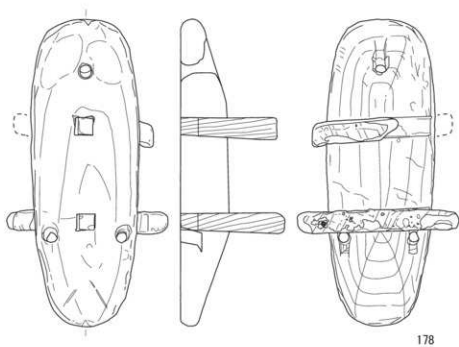
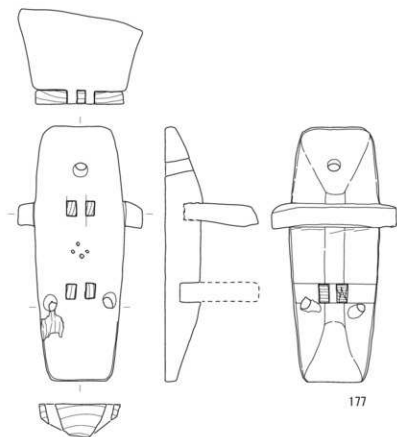


釘

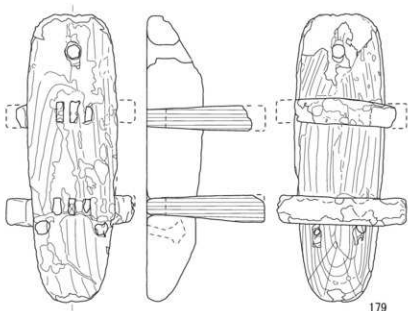
176

0 5cm

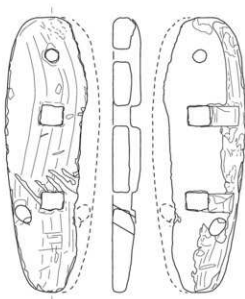
木製品 (32)



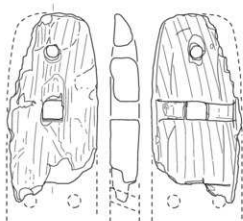
0 5cm



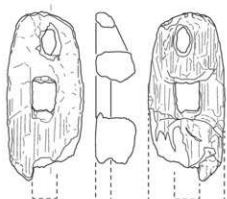
179



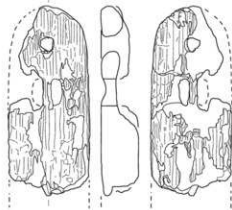
180



181



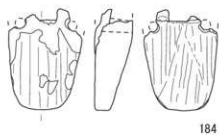
182



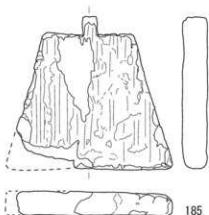
183



木製品 (34)



184



185

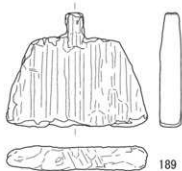


186

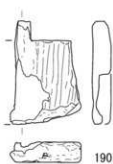


187

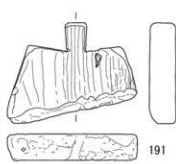
188



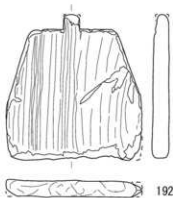
189



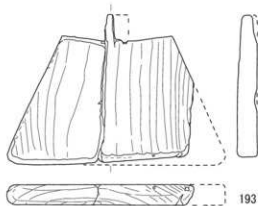
190



191



192

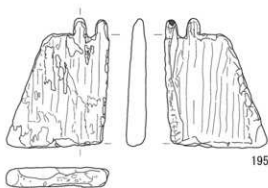


193





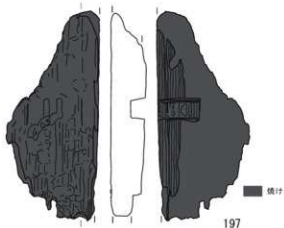
194



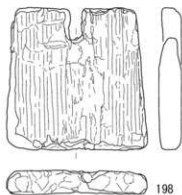
195



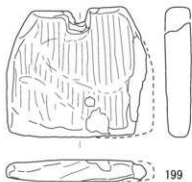
196



197



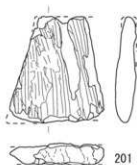
198



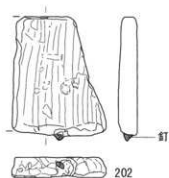
199



200



201

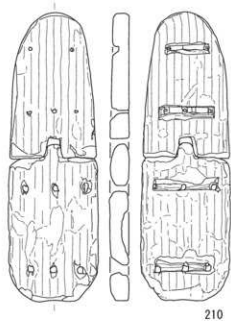
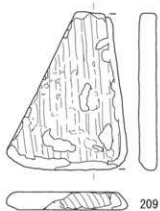
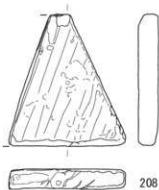
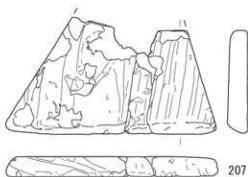
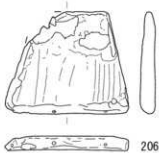
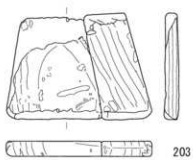


釘

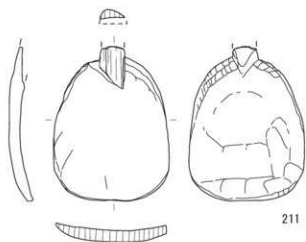
202

0 5cm

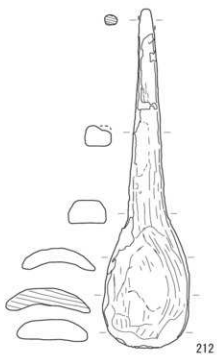
木製品 (36)



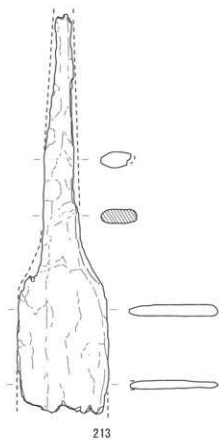
0 5cm



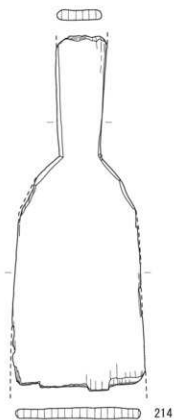
211



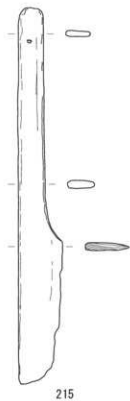
212



213



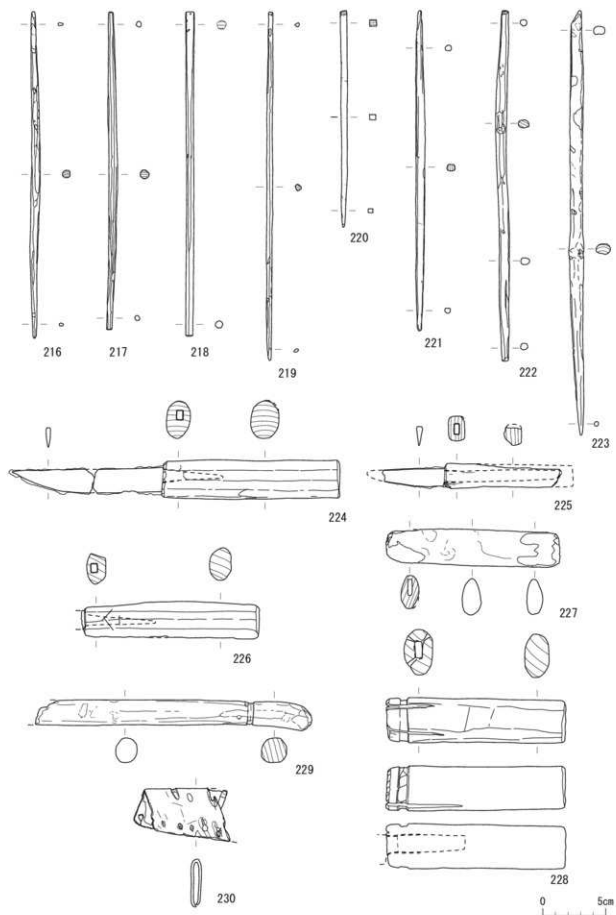
214



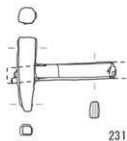
215



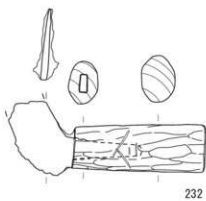
木製品 (38)



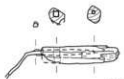
木製品 (39)



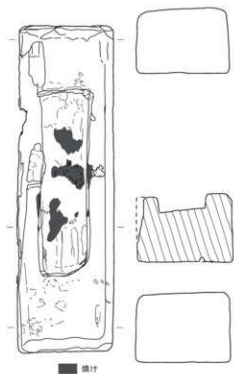
231



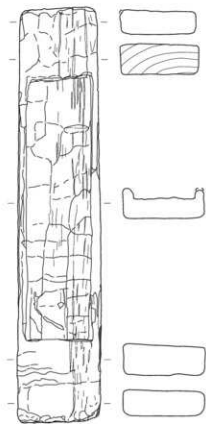
232



233



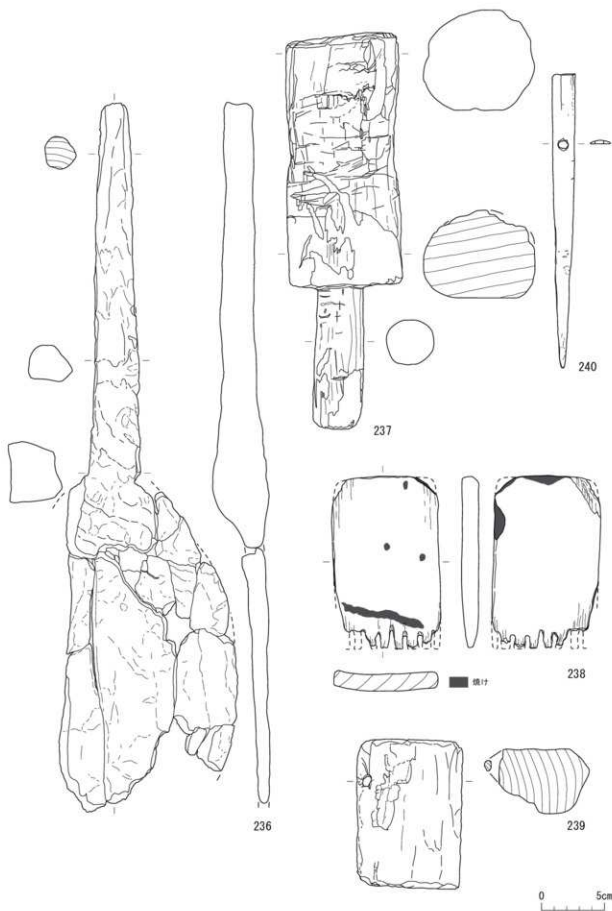
234



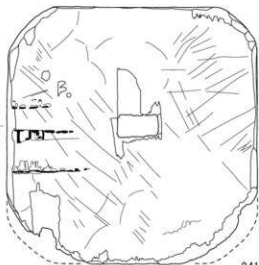
235



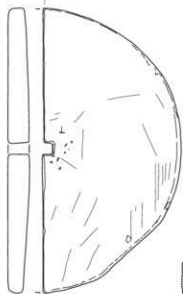
木製品 (40)



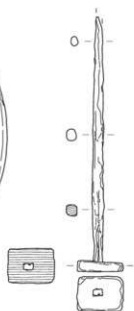
木製品 (41)



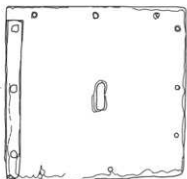
241



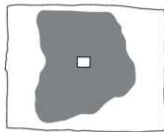
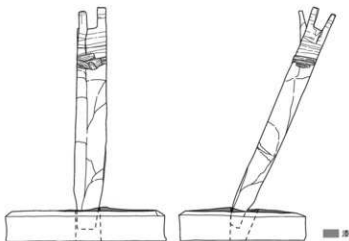
242



244



243

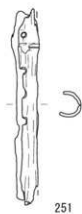
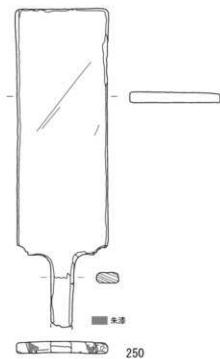
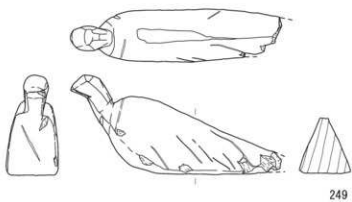
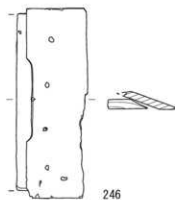
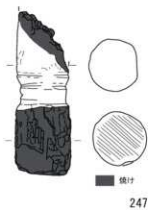
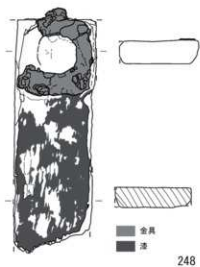


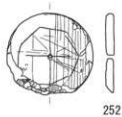
上面様式図

245

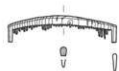


木製品 (42)





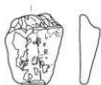
252



253



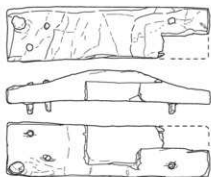
254



255



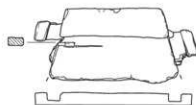
256



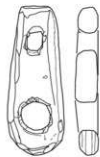
257



258



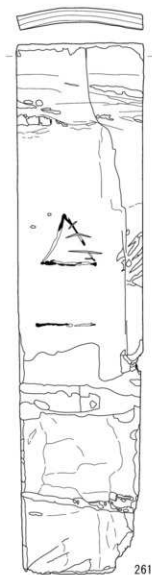
259



260



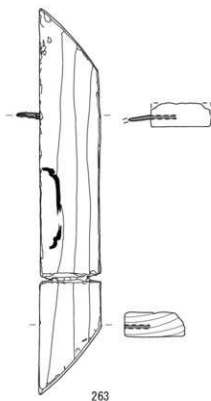
木製品 (44)



261



262

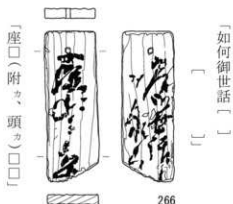


263





265

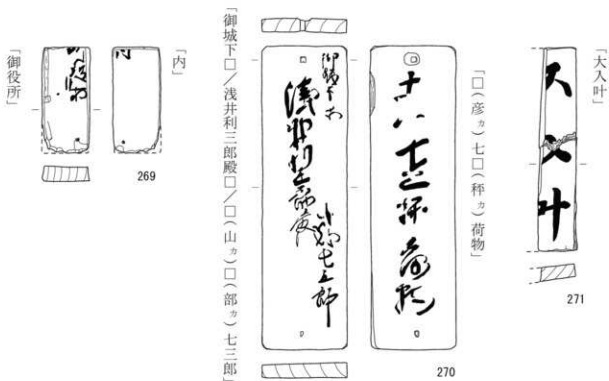


266



267

268

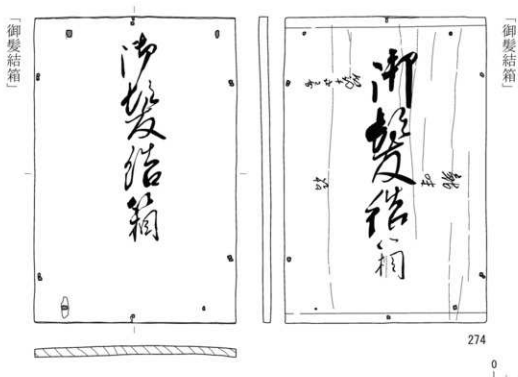
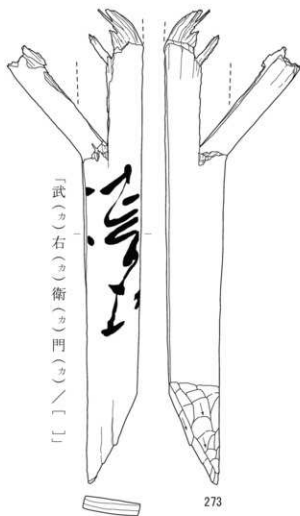


269

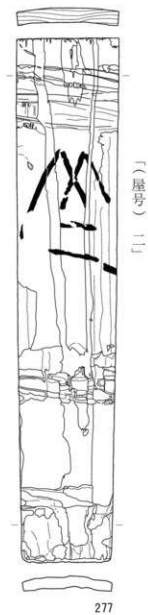
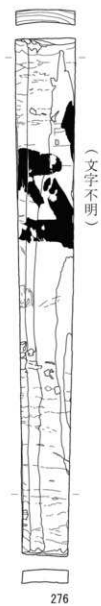
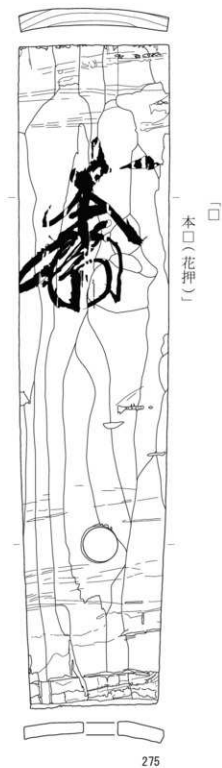
270

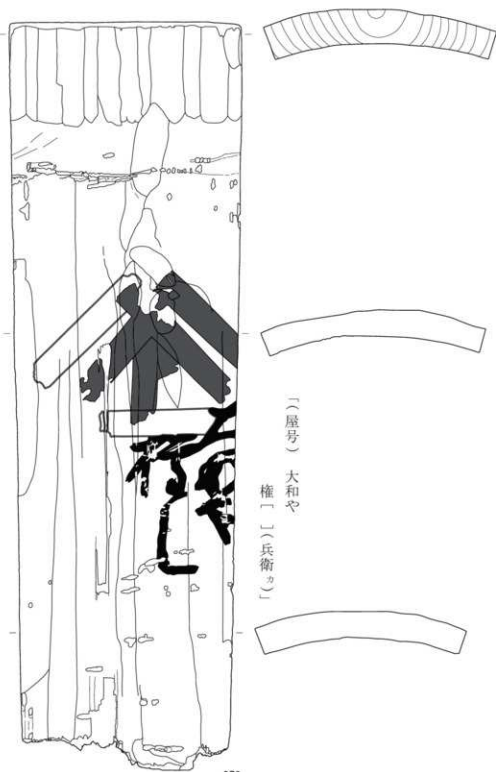
271

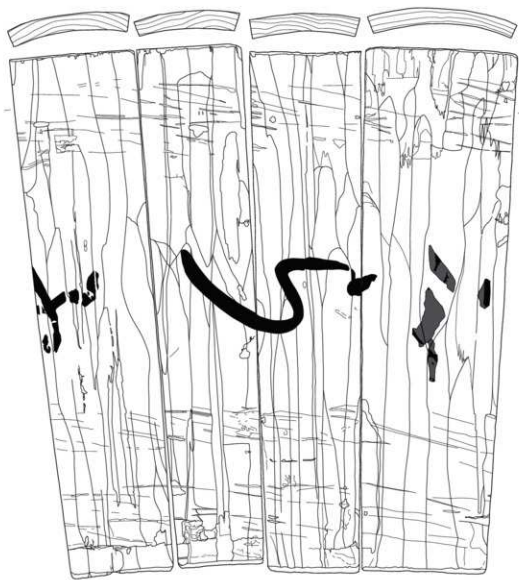




木製品 (47)







「五」

279



木製品 (50)

表V-2-3 磁器遺構破片集計 (2)

遺構層別	1-10 層別										11-15 層別	16-20 層別	21-25 層別	26-30 層別	31-35 層別	36-40 層別	41-45 層別	46-50 層別	51-55 層別	56-60 層別	61-65 層別	66-70 層別	71-75 層別	76-80 層別	81-85 層別	86-90 層別	91-95 層別	96-100 層別	101-105 層別	106-110 層別	111-115 層別	116-120 層別	121-125 層別	126-130 層別	131-135 層別	136-140 層別	141-145 層別	146-150 層別	151-155 層別	156-160 層別	161-165 層別	166-170 層別	171-175 層別	176-180 層別	181-185 層別	186-190 層別	191-195 層別	196-200 層別	201-205 層別	206-210 層別	211-215 層別	216-220 層別	221-225 層別	226-230 層別	231-235 層別	236-240 層別	241-245 層別	246-250 層別	251-255 層別	256-260 層別	261-265 層別	266-270 層別	271-275 層別	276-280 層別	281-285 層別	286-290 層別	291-295 層別	296-300 層別	301-305 層別	306-310 層別	311-315 層別	316-320 層別	321-325 層別	326-330 層別	331-335 層別	336-340 層別	341-345 層別	346-350 層別	351-355 層別	356-360 層別	361-365 層別	366-370 層別	371-375 層別	376-380 層別	381-385 層別	386-390 層別	391-395 層別	396-400 層別	401-405 層別	406-410 層別	411-415 層別	416-420 層別	421-425 層別	426-430 層別	431-435 層別	436-440 層別	441-445 層別	446-450 層別	451-455 層別	456-460 層別	461-465 層別	466-470 層別	471-475 層別	476-480 層別	481-485 層別	486-490 層別	491-495 層別	496-500 層別	501-505 層別	506-510 層別	511-515 層別	516-520 層別	521-525 層別	526-530 層別	531-535 層別	536-540 層別	541-545 層別	546-550 層別	551-555 層別	556-560 層別	561-565 層別	566-570 層別	571-575 層別	576-580 層別	581-585 層別	586-590 層別	591-595 層別	596-600 層別	601-605 層別	606-610 層別	611-615 層別	616-620 層別	621-625 層別	626-630 層別	631-635 層別	636-640 層別	641-645 層別	646-650 層別	651-655 層別	656-660 層別	661-665 層別	666-670 層別	671-675 層別	676-680 層別	681-685 層別	686-690 層別	691-695 層別	696-700 層別	701-705 層別	706-710 層別	711-715 層別	716-720 層別	721-725 層別	726-730 層別	731-735 層別	736-740 層別	741-745 層別	746-750 層別	751-755 層別	756-760 層別	761-765 層別	766-770 層別	771-775 層別	776-780 層別	781-785 層別	786-790 層別	791-795 層別	796-800 層別	801-805 層別	806-810 層別	811-815 層別	816-820 層別	821-825 層別	826-830 層別	831-835 層別	836-840 層別	841-845 層別	846-850 層別	851-855 層別	856-860 層別	861-865 層別	866-870 層別	871-875 層別	876-880 層別	881-885 層別	886-890 層別	891-895 層別	896-900 層別	901-905 層別	906-910 層別	911-915 層別	916-920 層別	921-925 層別	926-930 層別	931-935 層別	936-940 層別	941-945 層別	946-950 層別	951-955 層別	956-960 層別	961-965 層別	966-970 層別	971-975 層別	976-980 層別	981-985 層別	986-990 層別	991-995 層別	996-1000 層別	1001-1005 層別	1006-1010 層別	1011-1015 層別	1016-1020 層別	1021-1025 層別	1026-1030 層別	1031-1035 層別	1036-1040 層別	1041-1045 層別	1046-1050 層別	1051-1055 層別	1056-1060 層別	1061-1065 層別	1066-1070 層別	1071-1075 層別	1076-1080 層別	1081-1085 層別	1086-1090 層別	1091-1095 層別	1096-1100 層別	1101-1105 層別	1106-1110 層別	1111-1115 層別	1116-1120 層別	1121-1125 層別	1126-1130 層別	1131-1135 層別	1136-1140 層別	1141-1145 層別	1146-1150 層別	1151-1155 層別	1156-1160 層別	1161-1165 層別	1166-1170 層別	1171-1175 層別	1176-1180 層別	1181-1185 層別	1186-1190 層別	1191-1195 層別	1196-1200 層別	1201-1205 層別	1206-1210 層別	1211-1215 層別	1216-1220 層別	1221-1225 層別	1226-1230 層別	1231-1235 層別	1236-1240 層別	1241-1245 層別	1246-1250 層別	1251-1255 層別	1256-1260 層別	1261-1265 層別	1266-1270 層別	1271-1275 層別	1276-1280 層別	1281-1285 層別	1286-1290 層別	1291-1295 層別	1296-1300 層別	1301-1305 層別	1306-1310 層別	1311-1315 層別	1316-1320 層別	1321-1325 層別	1326-1330 層別	1331-1335 層別	1336-1340 層別	1341-1345 層別	1346-1350 層別	1351-1355 層別	1356-1360 層別	1361-1365 層別	1366-1370 層別	1371-1375 層別	1376-1380 層別	1381-1385 層別	1386-1390 層別	1391-1395 層別	1396-1400 層別	1401-1405 層別	1406-1410 層別	1411-1415 層別	1416-1420 層別	1421-1425 層別	1426-1430 層別	1431-1435 層別	1436-1440 層別	1441-1445 層別	1446-1450 層別	1451-1455 層別	1456-1460 層別	1461-1465 層別	1466-1470 層別	1471-1475 層別	1476-1480 層別	1481-1485 層別	1486-1490 層別	1491-1495 層別	1496-1500 層別	1501-1505 層別	1506-1510 層別	1511-1515 層別	1516-1520 層別	1521-1525 層別	1526-1530 層別	1531-1535 層別	1536-1540 層別	1541-1545 層別	1546-1550 層別	1551-1555 層別	1556-1560 層別	1561-1565 層別	1566-1570 層別	1571-1575 層別	1576-1580 層別	1581-1585 層別	1586-1590 層別	1591-1595 層別	1596-1600 層別	1601-1605 層別	1606-1610 層別	1611-1615 層別	1616-1620 層別	1621-1625 層別	1626-1630 層別	1631-1635 層別	1636-1640 層別	1641-1645 層別	1646-1650 層別	1651-1655 層別	1656-1660 層別	1661-1665 層別	1666-1670 層別	1671-1675 層別	1676-1680 層別	1681-1685 層別	1686-1690 層別	1691-1695 層別	1696-1700 層別	1701-1705 層別	1706-1710 層別	1711-1715 層別	1716-1720 層別	1721-1725 層別	1726-1730 層別	1731-1735 層別	1736-1740 層別	1741-1745 層別	1746-1750 層別	1751-1755 層別	1756-1760 層別	1761-1765 層別	1766-1770 層別	1771-1775 層別	1776-1780 層別	1781-1785 層別	1786-1790 層別	1791-1795 層別	1796-1800 層別	1801-1805 層別	1806-1810 層別	1811-1815 層別	1816-1820 層別	1821-1825 層別	1826-1830 層別	1831-1835 層別	1836-1840 層別	1841-1845 層別	1846-1850 層別	1851-1855 層別	1856-1860 層別	1861-1865 層別	1866-1870 層別	1871-1875 層別	1876-1880 層別	1881-1885 層別	1886-1890 層別	1891-1895 層別	1896-1900 層別	1901-1905 層別	1906-1910 層別	1911-1915 層別	1916-1920 層別	1921-1925 層別	1926-1930 層別	1931-1935 層別	1936-1940 層別	1941-1945 層別	1946-1950 層別	1951-1955 層別	1956-1960 層別	1961-1965 層別	1966-1970 層別	1971-1975 層別	1976-1980 層別	1981-1985 層別	1986-1990 層別	1991-1995 層別	1996-2000 層別	2001-2005 層別	2006-2010 層別	2011-2015 層別	2016-2020 層別	2021-2025 層別	2026-2030 層別	2031-2035 層別	2036-2040 層別	2041-2045 層別	2046-2050 層別	2051-2055 層別	2056-2060 層別	2061-2065 層別	2066-2070 層別	2071-2075 層別	2076-2080 層別	2081-2085 層別	2086-2090 層別	2091-2095 層別	2096-2100 層別	2101-2105 層別	2106-2110 層別	2111-2115 層別	2116-2120 層別	2121-2125 層別	2126-2130 層別	2131-2135 層別	2136-2140 層別	2141-2145 層別	2146-2150 層別	2151-2155 層別	2156-2160 層別	2161-2165 層別	2166-2170 層別	2171-2175 層別	2176-2180 層別	2181-2185 層別	2186-2190 層別	2191-2195 層別	2196-2200 層別	2201-2205 層別	2206-2210 層別	2211-2215 層別	2216-2220 層別	2221-2225 層別	2226-2230 層別	2231-2235 層別	2236-2240 層別	2241-2245 層別	2246-2250 層別	2251-2255 層別	2256-2260 層別	2261-2265 層別	2266-2270 層別	2271-2275 層別	2276-2280 層別	2281-2285 層別	2286-2290 層別	2291-2295 層別	2296-2300 層別	2301-2305 層別	2306-2310 層別	2311-2315 層別	2316-2320 層別	2321-2325 層別	2326-2330 層別	2331-2335 層別	2336-2340 層別	2341-2345 層別	2346-2350 層別	2351-2355 層別	2356-2360 層別	2361-2365 層別	2366-2370 層別	2371-2375 層別	2376-2380 層別	2381-2385 層別	2386-2390 層別	2391-2395 層別	2396-2400 層別	2401-2405 層別	2406-2410 層別	2411-2415 層別	2416-2420 層別	2421-2425 層別	2426-2430 層別	2431-2435 層別	2436-2440 層別	2441-2445 層別	2446-2450 層別	2451-2455 層別	2456-2460 層別	2461-2465 層別	2466-2470 層別	2471-2475 層別	2476-2480 層別	2481-2485 層別	2486-2490 層別	2491-2495 層別	2496-2500 層別	2501-2505 層別	2506-2510 層別	2511-2515 層別	2516-2520 層別	2521-2525 層別	2526-2530 層別	2531-2535 層別	2536-2540 層別	2541-2545 層別	2546-2550 層別	2551-2555 層別	2556-2560 層別	2561-2565 層別	2566-2570 層別	2571-2575 層別	2576-2580 層別	2581-2585 層別	2586-2590 層別	2591-2595 層別	2596-2600 層別	2601-2605 層別	2606-2610 層別	2611-2615 層別	2616-2620 層別	2621-2625 層別	2626-2630 層別	2631-2635 層別	2636-2640 層別	2641-2645 層別	2646-2650 層別	2651-2655 層別	2656-2660 層別	2661-2665 層別	2666-2670 層別	2671-2675 層別	2676-2680 層別	2681-2685 層別	2686-2690 層別	2691-2695 層別	2696-2700 層別	2701-2705 層別	2706-2710 層別	2711-2715 層別	2716-2720 層別	2721-2725 層別	2726-2730 層別	2731-2735 層別	2736-2740 層別	2741-2745 層別	2746-2750 層別	2751-2755 層別	2756-2760 層別	2761-2765 層別	2766-2770 層別	2771-2775 層別	2776-2780 層別	2781-2785 層別	2786-2790 層別	2791-2795 層別	2796-2800 層別	2801-2805 層別	2806-2810 層別	2811-2815 層別	2816-2820 層別	2821-2825 層別	2826-2830 層別	2831-2835 層別	2836-2840 層別	2841-2845 層別	2846-2850 層別	2851-2855 層別	2856-2860 層別	2861-2865 層別	2866-2870 層別	2871-2875 層別	2876-2880 層別	2881-2885 層別	2886-2890 層別	2891-2895 層別	2896-2900 層別	2901-2905 層別	2906-2910 層別	2911-2915 層別	2916-2920 層別	2921-2925 層別	2926-2930 層別	2931-2935 層別	2936-2940 層別	2941-2945 層別	2946-2950 層別	2951-2955 層別	2956-2960 層別	2961-2965 層別	2966-2970 層別	2971-2975 層別	2976-2980 層別	2981-2985 層別	2986-2990 層別	2991-2995 層別	2996-3000 層別
	遺構層別	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

表V-2-26 磁器・陶器・土器 規格(2)

図 No.	規格(mm, g)	用途	遺存量	作製方法	
a190	230 34 30	409	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a191	202 30 30	79	口一底1/9	正断面 左右端に転写	
a192	208 40 30	207	口一底1/9	正断面 左右端に転写	
a193	202 53 30	207	口一底1/9	正断面 左右端に転写	
a194	232 177 860	113	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a194	(13)	12	1底面のみ	正断面 左右端に転写	
a195	611 117	42	底面のみ	最大丸形断面左右端に転写	
磁器・鉢・罎					
a196	182 96 39	184	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a197	182 103 236	226	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a198	180 68 90	184	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a199	222 220	38	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a200	184 62 94	289	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a201	252 217	31	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a202	181 232	39	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a203	158 72 94	236	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a204	198 72 91	268	口一底1/9	断面一併転写	
a205	197 94 77	946	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a206	272 84 129	397	口一底1/9	断面一併転写	
a207	222 59 124	142	口一底1/9	正断面 左右端に転写	
a208	189 81 124	117	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
磁器・茶・鉢					
a209	(72)	53	47	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写
a210	102 100 75	790	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a211	99 172 95	42	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a212	1194	19	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a213	(111)	43	134	口一底1/9・底1/9	断面一併転写
a214	38 119 41	181	口一底1/9	断面一併転写	
a215	68 210 79	389	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a216	31 102	80	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a217	(2)	18	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a218	(25)	38	79	口一底1/9・底1/9	断面一併転写
a219	(60)	43	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
磁器・壺					
a220	71 242	23	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写、断面一併転写	
a221	89 30 35	44	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a222	89 29 39	42	口一底1/9	断面一併転写	
a223	102 27 34	38	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a224	104 28 34	53	口一底1/9	断面一併転写	
a225	101 38 42	53	口一底1/9	断面一併転写	
a226	100 32 42	43	口一底1/9・底1/9	口一底1/9・底1/9	
a227	103 28 45	46	口一底1/9	断面一併転写	
a228	29 40 43	33	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a229	104 29 41	33	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a230	101 31 42	38	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a231	38 28 41	41	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a232	29 28 28	28	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a233	111 27 47	47	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a234	92 24 42	28	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a235	57 25 11	38	底面		
a236	95 13 12	18	口一底1/9・底1/9	口一底1/9・底1/9	
a237	110 226	182	口一底1/9・底1/9	口一底1/9・底1/9	
a238	208 126	126	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a239	131 262	78	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
磁器・壺口					
a240	70 62 43	31	口一底1/9		
a241	73 67 66	49	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a242	61 66 48	47	口一底1/9	断面一併転写	
a243	73 62 55	37	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a244	74 69 53	53	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a245	64 48 38	38	口一底1/9	口一底1/9	
a246	78 38 23	28	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a247	36 37 24	36	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a248	73 41 27	48	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a249	79 42 29	38	口一底1/9	正断面 左右端に転写	
a250	65 29 28	44	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a251	63 22 14	14	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a252	77 140	18	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a253	79 50 21	28	口一底1/9	正断面断面左右端に転写、断面一併転写	
a254	74 24 24	24	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a255	60 40 32	18	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a256	61 47 21	21	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a257	83 39 23	17	口一底1/9・底1/9	口一底1/9・底1/9	
a258	62 25	4	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a259	61 13 20	20	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a260	62 10	2	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a261	78 32 34	48	底面		
a262	64 30 30	38	口一底1/9・底1/9	口一底1/9・底1/9	
a263	67 28 30	48	口一底1/9・底1/9	口一底1/9・底1/9	
a264	60 30 28	23	口一底1/9	口一底1/9	
a265	61 14 28	28	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a266	68 15 19	17	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a267	68 17 15	8	底面		
a268	69 14 15	16	底面		
a269	64 19 12	12	底面		
a270	68 116	44	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a271	60 112	37	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
磁器・土の壺					
a272	142 60	27	口一底1/9・底1/9	正断面 左右端に転写	
a273	81 58 40	181	口一底1/9・底1/9	口一底1/9・底1/9	
a274	(2)	50	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a275	(11)	43	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a276	(43)	35	60	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写、断面一併転写
a277	88 60	39	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a278	78 127	17	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写	

図 No.	規格(mm, g)	用途	遺存量	作製方法
a279	80 240	39	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写
a280	70 230	23	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写
a281	24 102	42	口一底1/9	正断面断面左右端に転写
a282	75 41	60	口一底1/9	正断面断面左右端に転写
a283	110 68 65	100	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写
a284	101 73	74	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写、断面一併転写
a285	113 72 72	230	口一底1/9	正断面 左右端に転写
a286	61 171 11	22	底面のみ	最大丸形断面左右端に転写
a287	60 70 18	18	口一底1/9	正断面断面左右端に転写
a288	66 54	62	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写
a289	55 29	53	口一底1/9	正断面断面左右端に転写
a290	15 13	13	口一底1/9	正断面断面左右端に転写
a291	122 30 113	27	口一底1/9	正断面断面左右端に転写
a292	110 31 21	21	口一底1/9	正断面断面左右端に転写
a293	122 59 25	25	口一底1/9	断面一併転写
a294	58 39 25	25	底面	
a295	(43)	18	口一底1/9	正断面断面左右端に転写
a296	(26)	70	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写
陶器・鉢				
a1 71	42 28	64	口一底1/9	断面一併転写
a2 73	42 25	25	口一底1/9	断面一併転写
a3 104	60 61	230	底面	
a4 110 65 42	181	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a5 82 44 42	40	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a6 100 73 69	180	口一底1/9	断面一併転写	
a7 111 111 43	53	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a8 98 60 51	68	口一底1/9	断面一併転写	
a9 98 57 32	68	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a10 105 62 62	20	口一底1/9	正断面断面左右端に転写、断面一併転写	
a11 98 47 52	10	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a12 107 40 53	11	口一底1/9	断面一併転写	
a13 100 52 38	72	口一底1/9	断面一併転写	
a14 97 51 34	88	口一底1/9	断面一併転写	
a15 98 57 63	60	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a16 110 57	43	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a17 91 43 38	28	口一底1/9	断面一併転写	
a18 100 40	17	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a19 103 67 38	142	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a20 111 60 34	37	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
陶器・壺				
a21 117 30 40	130	口一底1/9	断面一併転写	
a22 117 32 32	92	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a23 120 40 41	142	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a24 130 38 42	120	口一底1/9	断面一併転写	
a25 127 38 38	111	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a26 116 30 40	120	口一底1/9	断面一併転写	
a27 120 41 41	120	口一底1/9	断面一併転写	
a28 108 29 58	110	口一底1/9	断面一併転写	
a29 104 24 60	94	口一底1/9	口一底1/9	
a30 118 26 75	108	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a31 121 22 79	98	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a32 120 24 82	10	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a33 91 14 36	34	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a34 101 35 51	100	口一底1/9	口一底1/9	
a35 89 25 62	24	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a36 113 43 50	66	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a37 120 42 52	8	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a38 120 40 34	120	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a39 124 36 41	142	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a40 124 36 53	66	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a41 120 38 54	68	口一底1/9・底1/9	正断面断面左右端に転写	
a42 120 39 28	70	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a43 79 33 30 50	100	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a44 124 28 33	104	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a45 113 26 30	130	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a46 130 23	19	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a47 117 43 28	44	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a48 115 43 28	44	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a49 140 32 32	94	口一底1/9	断面一併転写	
a50 167 42 52	140	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a51 108 38 58	120	口一底1/9・底1/9	断面一併転写	
a52 182 53 58	214	口一底1/9	正断面断面左右端に転写、断面一併転写	
a53 101 20	底面のみ			
陶器・壺口				
a54 88 79 60	130	口一底1/9	断面一併転写	
a55 132 103	308	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a56 131 106 87	300	口一底1/9	断面一併転写	
a57 110 81 80	200	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a58 111 90	81	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a59 176 65 69	361	口一底1/9	断面一併転写	
a60 182 61 69	137	口一底1/9・底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a61 208 129 116	1,023	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a62 206 83 87	439	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	
a63 209 87	439	口一底1/9	断面一併転写	
a64 323 82 123	486	口一底1/9	断面一併転写	
a65 112 112 130	330	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a66 304 98 118	1,068	口一底1/9	口一底1/9	
a67 322 152 182	2,300	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a68 295 179 118	440	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a69 110 120	200	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写、断面一併転写	
a70 281 70 218	120	口一底1/9	最大丸形断面左右端に転写	
a71 102 60	140	口一底1/9	正断面断面左右端に転写	

表V-2-27 磁器・陶器・土器 規格 (3)

図 No.	規格(mm, g)			遺存量	作因方法	
	口径	高さ	重量			
陶器・磁器						
B70	301	530	980	10	最大厚部断面全周に配写	
B71	257	128	110	82	正断面全周全周に配写、断面一部分合成	
B72	190	98(2)	10	20	正断面全周全周に配写	
B73	160	140	20	10	正断面全周全周に配写	
B74	201	80	10	10	正断面全周全周に配写	
B75	287	131	95	200	正断面全周全周に配写、断面一部分合成	
B76	214	114	114	80	20	最大厚部断面全周に配写、断面一部分合成
B77	209	100	10	10	最大厚部断面全周に配写	
B78	250	150	10	10	正断面全周全周に配写	
B79	207	111	30	60	20	最大厚部断面全周に配写
B80	261	170	10	10	正断面全周全周に配写	
B81	209	100	20	10	最大厚部断面全周に配写	
B82	202	80	10	10	最大厚部断面全周に配写	
B83	202	80	210	10	最大厚部断面全周に配写	
B84	303	180	140	10	最大厚部断面全周に配写	
B85	282	130	10	10	正断面全周全周に配写	
B86	202	130	20	10	正断面全周全周に配写、断面一部分合成	
B87	202	80	210	10	最大厚部断面全周に配写	
B88	303	180	140	10	最大厚部断面全周に配写	
B89	282	130	10	10	正断面全周全周に配写	
B90	202	130	20	10	正断面全周全周に配写、断面一部分合成	
B91	202	80	210	10	最大厚部断面全周に配写	
B92	303	180	140	10	最大厚部断面全周に配写	
B93	282	130	10	10	正断面全周全周に配写	
B94	202	130	20	10	正断面全周全周に配写、断面一部分合成	
B95	218	118	120	60	断面一部分合成	
B96	282	148	144	130	20	断面一部分合成
B97	209	104	10	10	最大厚部断面全周に配写	
B98	317	180	200	10	正断面全周全周に配写	
B99	320	190	370	10	正断面全周全周に配写	
B100	302	157	10	10	正断面全周全周に配写	
B101	308	167	10	10	正断面全周全周に配写	
B102	299	127	100	20	正断面全周全周に配写、断面一部分合成	
B103	284	118	152	30	正断面全周全周に配写	
B104	326	180	203	10	最大厚部断面全周に配写、断面一部分合成	
B105	209	112	10	10	最大厚部断面全周に配写	
B106	252	108	138	140	10	最大厚部断面全周に配写
B107	264	150	10	10	正断面全周全周に配写、断面一部分合成	
B108	410	170	10	10	正断面全周全周に配写	
B109	473	170	120	67	正断面全周全周に配写	
B110	164				遺存品のみ	
陶器・磁器						
B111	80	80	80	10	正断面全周全周に配写	
B112	54	74	38	80	20	正断面全周全周に配写
B113	38	101	71	72	20	正断面全周全周に配写
B114	70	84	77	270	10	最大厚部断面全周に配写
B115	92	84	74	100	10	正断面全周全周に配写
B116	154	243	128	80	20	正断面全周全周に配写
B117	107	170	71	20	正断面全周全周に配写	
B118	122	187	118	140	10	正断面全周全周に配写
B119	82	134	71	30	20	正断面全周全周に配写
B120	126	118	118	30	10	正断面全周全周に配写
B121	60	71	100	10	正断面全周全周に配写	
B122	104	100	71	100	10	正断面全周全周に配写
B123	104	100	120	147	10	正断面全周全周に配写
B124	100	112	110	10	正断面全周全周に配写	
B125	117	173	122	490	10	最大厚部断面全周に配写
B126	92	216	80	20	正断面全周全周に配写	
B127	127	120	100	10	正断面全周全周に配写	
B128	110	160	110	10	正断面全周全周に配写	
B129	140	140	79	500	10	最大厚部断面全周に配写
B130	1140	120	120	10	断面一部分合成	
B131	43	190	100	10	断面一部分合成	
B132	128	138	40	30	断面一部分合成	
B133	221	111	91	20	最大厚部断面全周に配写、断面一部分合成	
陶器・土器						
B134	200	300	170	10	最大厚部断面全周に配写	
B135	206	320	1,020	10	最大厚部断面全周に配写、断面一部分合成	
B136	265	279	112	2,200	10	最大厚部断面全周に配写
B137	300	110	71	11	正断面全周全周に配写	
B138	320	224	371	10	正断面全周全周に配写	
B139	294	319	174	2,800	10	断面一部分合成
B140	272	308	138	2,400	10	正断面全周全周に配写
B141	219	201	118	1,077	10	正断面全周全周に配写
B142	221	80	117	11	正断面全周全周に配写	
B143	120	120	110	10	最大厚部断面全周に配写	
B144	231	230	110	10	正断面全周全周に配写	
B145	231	213	137	1,200	10	正断面全周全周に配写
B146	280	318	230	1,100	10	正断面全周全周に配写
B147	308	420	175	5,873	10	正断面全周全周に配写
B148	120				遺存品のみ	
陶器・土器・瓦器						
B149	121	172	123	1,833	10	断面一部分合成
B150	71	80	87	10	最大厚部断面全周に配写、断面一部分合成	
B151	80	79	140	10	断面一部分合成	
B152	80	177	43	10	最大厚部断面全周に配写	
B153	80	131	40	10	正断面全周全周に配写	
B154	76	153	14	10	最大厚部断面全周に配写	
B155	64	80	76	132	10	断面一部分合成
B156	89	114	21	10	最大厚部断面全周に配写	
B157	119	148	109	318	10	断面一部分合成
B158	114	130	106	10	正断面全周全周に配写	
B159	115	82	80	10	正断面全周全周に配写	
B160	120	120	41	10	正断面全周全周に配写	
B161	110	96	11	10	遺存品のみ	
B162					遺存品のみ	
B163	160				最大厚部断面全周に配写	
B164	79	98	40	118	10	断面一部分合成

図 No.	規格(mm, g)			遺存量	作因方法
	口径	高さ	重量		
陶器・土器					
B165	138	42	73	207	正断面全周全周に配写
B166	202	80	87	202	最大厚部断面全周に配写
B167	166	130	20	20	最大厚部断面全周に配写
B168	211	130	207	202	正断面全周全周に配写
B169	128	120	108	20	最大厚部断面全周に配写
B170	149	123	122	27	最大厚部断面全周に配写
B171	149	123	122	27	最大厚部断面全周に配写
B172	117	17	34	50	断面一部分合成
B173	47	32	26	10	最大厚部断面全周に配写
B174	94	28	48	170	断面一部分合成
B175	109	37	48	140	最大厚部断面全周に配写
B176	141	27	41	10	最大厚部断面全周に配写
B177	122	51	51	10	最大厚部断面全周に配写
B178	122	43	97	130	最大厚部断面全周に配写
B179	86	31	40	100	最大厚部断面全周に配写
B180	77	30	34	100	最大厚部断面全周に配写
B181	63	29	43	60	断面一部分合成
B182	79	21	31	24	最大厚部断面全周に配写
B183	79	20	34	40	最大厚部断面全周に配写
B184	80	20	41	40	最大厚部断面全周に配写
B185	82	21	49	40	最大厚部断面全周に配写
B186	81	20	43	10	断面一部分合成
B187	82	21	44	10	最大厚部断面全周に配写
陶器・土器					
B188	113	82	80	131	正断面全周全周に配写
B189	112	54	140	11	断面一部分合成
B190	680	279	73	10	正断面全周全周に配写
B191	79	40	102	60	断面一部分合成
B192	51	12	20	10	正断面全周全周に配写
B193	228	220	60	10	最大厚部断面全周に配写
B194	51	120	110	11	最大厚部断面全周に配写
B195	114	23	49	110	正断面全周全周に配写
B196	191				遺存品のみ
B197	40	63	53	230	断面一部分合成
B198	38	68	35	30	正断面全周全周に配写
土器					
c1	130	28	24	10	正断面全周全周に配写
c2	120	130	10	10	正断面全周全周に配写
c3	10	10	10	10	正断面全周全周に配写
c4	100	140	11	10	正断面全周全周に配写
c5	100	130	10	10	正断面全周全周に配写
c6	120	110	10	10	正断面全周全周に配写
c7	90	17	48	10	正断面全周全周に配写
c8					遺存品のみ
c9	120	110	10	10	正断面全周全周に配写
c10	120	120	210	10	正断面全周全周に配写
c11	110	110	10	10	正断面全周全周に配写
c12	410	110	10	10	正断面全周全周に配写
c13	120	210	10	10	正断面全周全周に配写
c14	25	110	10	10	正断面全周全周に配写
c15	180	120	60	10	正断面全周全周に配写
c16	180	130	10	10	正断面全周全周に配写
c17	200	200	40	10	最大厚部断面全周に配写
c18	200	121	200	20	最大厚部断面全周に配写
c19	200	121	270	10	最大厚部断面全周に配写
c20	81	10	10	10	正断面全周全周に配写
c21	120	117	10	10	正断面全周全周に配写
c22	140	100	60	10	正断面全周全周に配写
c23	130	130	40	10	正断面全周全周に配写
c24					遺存品のみ
c25	134	83	30	10	最大厚部断面全周に配写

表V-2-28 土陶磁器接合表(1)

図No.	検出地点名	層位名	遺物No.	取り上げ日付	点数 接合 未接合
磁器-小坏、破					
a1	L3	F	13	2005/9/21	1
	M3	F	8	2005/9/2	1
	M3	破	27	2005/10/14	1
a2	L2	F	10	2005/9/20	1
	M2	破	19	2005/10/16	2
	M3	F	3	2005/9/21	1
a3	N3	破	19	2005/11/23	2
	M3	F	7	2005/9/9	2
	M3	F	10	2005/9/19	2
a4	M3	F	11	2005/9/21	1
	M3	破	33	2005/10/15	6
	M3	F	23	2005/10/5	4
a5	M3	破	65	2005/11/17	1
	M3	F	13	2005/9/16	1
	M3	破	20	2005/10/7	1
a6	M4	F	4	2005/9/17	1
	M3	F	20	2005/9/20	1
	M4	F	9	2005/9/9	1
a7	M4	破	13	2005/9/16	4
	L3	F	2	2005/9/26	1
	M3	F	1	2005/9/23	1
a8	M3	破	21	2005/10/20	1
	M3	F	1	2005/9/19	1
	M3	破	21	2005/10/20	1
a9	M3	破	18	2005/9/13	2
	M3	破	21	2005/10/22	4
	M3	破	28	2005/9/30	2
a10	L3	F	38	2005/10/15	1
	L3	破	37	2005/10/19	1
	M4	破	18	2005/9/14	4
a11	L2	F	19	2005/9/16	1
	L2	F	7	2005/9/17	1
	M2	F	5	2005/9/23	1
a12	L2	F	58	2005/10/25	2
	L2	F	1	2005/9/23	1
	L3	F	1	2005/9/24	2
a13	井戸内	磁器	1	2005/10/1	1
	L3	破	17	2005/10/17	1
	井戸内	磁器	17	2005/10/17	1
a14	L4	破	19	2005/9/17	1
	M4	破	19	2005/9/16	1
	L4	破	19	2005/10/23	1
a15	L4	破	11	2005/10/23	1
	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	38	2005/9/30	2
a16	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a17	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a18	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a19	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a20	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a21	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a22	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a23	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a24	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a25	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a26	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a27	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a28	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a29	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a30	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a31	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a32	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a33	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a34	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a35	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a36	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a37	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a38	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a39	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a40	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a41	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a42	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a43	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a44	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a45	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a46	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a47	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a48	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a49	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a50	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a51	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a52	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a53	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a54	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a55	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a56	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a57	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a58	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a59	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a60	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a61	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a62	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a63	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a64	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a65	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a66	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a67	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a68	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a69	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a70	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a71	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a72	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a73	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1
a74	L4	破	21	2005/9/17	1
	M4	破	28	2005/9/30	2
	L4	破	21	2005/9/17	1

表V-2-29 土陶磁器接合表 (2)

図No.	焼出地点名	層位名	遺物No.	取り上げ日付	点数	未接合	
a06	M4	B	13	2009/10/13	1	0	
			14	2009/10/13	1	0	
			M2	15	2009/09/27	2	0
a08	M3	B	24	2009/08/18	1	0	
			M3	24	2009/08/18	2	0
			M3	32	2009/11/11	2	0
a10	焼1	H4-F	4	2009/09/22	1	0	
			L3	4	2009/09/26	2	0
a11	焼2	東原野利	40	2009/10/29	1	0	
			M2	28	2009/08/19	1	0
			M3	33	2009/09/24	1	0
			M3	39	2009/08/15	1	0
			M3	44	2009/08/19	1	0
a12	M3	B	49	2009/08/21	2	0	
			L3	47	2009/11/20	1	0
a13	L3	B	6	2009/0/6	1	0	
			L2	30	2009/10/13	1	0
a14	M3	B	16	2009/09/15	2	0	
			M3	23	2009/09/24	2	0
a15	焼2	H4-F	1	2009/0/2	1	0	
			M1	1	2009/0/2	1	0
a16	焼1	焼上土	1	2009/08/27	1	0	
			M2	1	2009/0/2	3	0
a17	L2	B	7	2009/0/7	1	0	
			M2	7	2009/0/7	1	0
a18	L2	B	1	2009/0/2	1	0	
			M3	1	2009/08/5	4	0
a19	M3	B	28	2009/08/13	1	0	
			M3	1	2009/0/6	1	0
a20	焼1	焼上土	4	2009/09/21	1	0	
			M1	1	2009/0/2	1	0
a21	M4	B	2	2009/09/26	3	0	
			M4	1	2009/0/6	1	0
a22	焼2	焼上土	3	2009/09/16	1	0	
			M3	6	2009/09/21	1	0
a23	M3	B	16	2009/11/17	1	0	
			M4	1	2009/0/6	1	0
a24	焼中下	焼上土	1	2009/09/15	24	0	
			L3	13	2009/09/22	2	0
a25	L3	B	13	2009/09/26	2	0	
			M3	1	2009/09/14	2	0
a26	M3	B	7	2009/08/15	1	0	
			不詳	7	2009/08/15	1	0
a27	焼中下	焼上土	1	2009/09/15	4	0	
			M2	1	2009/09/23	1	0
a28	M4	B	1	2009/0/6	4	0	
			M4	1	2009/09/19	3	0
a29	M3	B	3	2009/0/9	1	0	
			焼1	焼上土	1	2009/0/9	3
a30	L3	B	1	2009/09/25	1	0	
			L3	1	2009/09/26	1	0
a31	焼1	焼上土	15	2009/11/2	1	0	
			焼2	1	2009/09/16	1	0
a32	L2	B	7	2009/0/7	1	0	
			L4	1	2009/09/25	1	0
a33	M3	B	4	2009/09/26	1	0	
			M3	9	2009/0/3	1	0
a34	M3	B	9	2009/0/3	1	0	
			焼1	焼上土	1	2009/08/15	1
a35	焼1	焼上土	1	2009/08/15	1	0	
			L3	1	2009/08/27	1	0
a36	L3	B	4	2009/09/26	1	0	
			M2	1	2009/09/2	1	0
a37	M3	B	7	2009/0/7	2	0	
			M3	1	2009/09/19	3	0
a38	M3	B	1	2009/0/6	1	0	
			L3	1	2009/09/27	1	0
a39	M2	B	1	2009/09/2	1	0	
			M3	1	2009/09/23	1	0
a40	焼1	焼上土	1	2009/08/14	5	0	
			焼2	東原野利	42	2009/10/20	1
a41	L3	B	1	2009/0/6	1	0	
			L3	1	2009/09/28	1	0
a42	L3	B	1	2009/0/6	1	0	
			L3	1	2009/09/13	1	0
a43	M2	B	9	2009/0/6	2	0	
			M2	1	2009/09/16	2	0
a44	M3	B	13	2009/09/26	1	0	
			M3	16	2009/08/28	2	0
a45	M3	B	22	2009/08/15	1	0	
			M3	24	2009/09/27	1	0
a46	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a47	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a48	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a49	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a50	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a51	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a52	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a53	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a54	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a55	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a56	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a57	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a58	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a59	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a60	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a61	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a62	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a63	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a64	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a65	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a66	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a67	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a68	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a69	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a70	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a71	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a72	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a73	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a74	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a75	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a76	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a77	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a78	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a79	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a80	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a81	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a82	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a83	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a84	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a85	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a86	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a87	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a88	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a89	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a90	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a91	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a92	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a93	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a94	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a95	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a96	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a97	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a98	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a99	M3	B	24	2009/08/13	1	0	
			M3	24	2009/08/13	1	0
a100	M3	B	24	2009/08/			

表V-2-30 土陶磁器接合表(3)

図No.	検出地点名	層位名	遺物No.	取り上げ日付	点数	未接合
*139	M3	I	3	2008/9/3	1	0
			4	2008/9/3	1	0
			5	2008/10/28	4	0
*140	L2	II	4	2008/9/27	1	0
			5	2008/9/28	1	0
			23	2008/9/28	2	0
*141	L3	I	42	2008/10/27	1	0
			43	2008/10/27	1	0
			44	2008/10/28	1	0
*142	L3	II	39	2008/9/27	1	0
			40	2008/10/15	1	0
			41	2008/11/9	2	0
*143	M2	IV	84	2008/11/11	1	0
			85	2008/11/11	1	0
			86	2008/11/11	1	0
*144	M2	I	2008/9/23	2	0	
			2008/9/23	2	0	
			2008/9/23	1	0	
*145	M2	II	2008/9/23	1	0	
			2008/9/23	1	0	
			2008/9/23	1	0	
*146	L4	I	2	2008/9/24	1	0
			3	2008/9/24	1	0
			4	2008/9/24	1	0
*147	L3	II	17	2008/10/5	1	0
			18	2008/10/12	2	0
			19	2008/10/12	2	0
*148	M3	II	31	2008/10/13	1	0
			32	2008/10/13	1	0
			33	2008/10/13	1	0
*149	M3	I	9	2008/9/19	1	0
			10	2008/9/19	1	0
			11	2008/9/19	1	0
*150	M2	I	14	2008/9/25	1	0
			15	2008/9/25	1	0
			16	2008/9/25	1	0
*151	M2	II	17	2008/9/25	1	0
			18	2008/9/25	1	0
			19	2008/9/25	1	0
*152	L4	I	2	2008/9/24	1	0
			3	2008/9/24	1	0
			4	2008/9/24	1	0
*153	L4	II	2	2008/9/24	1	0
			3	2008/9/24	1	0
			4	2008/9/24	1	0
*154	L3	I	2	2008/9/23	1	0
			3	2008/9/23	1	0
			4	2008/9/23	1	0
*155	L2	I	2	2008/9/28	1	0
			3	2008/9/28	1	0
			4	2008/9/28	1	0
*156	M2	II	24	2008/10/19	1	0
			25	2008/10/19	1	0
			26	2008/10/19	1	0
*157	L2	I	4	2008/9/27	1	0
			5	2008/9/25	2	0
			6	2008/9/25	2	0
*158	M2	I	2	2008/9/23	1	0
			3	2008/9/23	1	0
			4	2008/9/23	1	0
*159	M4	II	18	2008/9/7	1	0
			19	2008/10/7	1	0
			20	2008/10/7	1	0
*160	M2	I	2008/12/2	1	0	
			2008/12/2	1	0	
			2008/12/2	1	0	
*161	M3	I	18	2008/9/7	1	0
			19	2008/10/7	1	0
			20	2008/10/7	1	0
*162	M2	II	11	2008/11/11	1	0
			12	2008/10/15	1	0
			13	2008/10/15	2	0
*163	L2	II	23	2008/9/29	2	0
			24	2008/9/29	2	0
			25	2008/9/29	2	0
*164	L3	II	18	2008/10/19	1	0
			19	2008/10/19	1	0
			20	2008/10/19	1	0
*165	M2	I	2008/9/7	1	0	
			2008/10/15	1	0	
			2008/10/15	1	0	
*166	M4	II	19	2008/9/16	1	0
			20	2008/9/16	1	0
			21	2008/9/16	1	0
*167	M4	I	29	2008/10/18	1	0
			30	2008/10/18	1	0
			31	2008/10/18	1	0
*168	M4	II	29	2008/10/18	1	0
			30	2008/10/18	1	0
			31	2008/10/18	1	0
*169	M4	I	29	2008/10/18	1	0
			30	2008/10/18	1	0
			31	2008/10/18	1	0
*170	L3	I	39	2008/9/23	1	0
			40	2008/9/23	1	0
			41	2008/9/23	1	0
*171	L3	II	8	2008/9/8	1	0
			9	2008/9/8	1	0
			10	2008/9/8	1	0
*172	L4	I	2	2008/9/24	4	0
			3	2008/9/24	4	0
			4	2008/9/24	4	0
*173	M3	I	8	2008/9/8	3	0
			9	2008/9/8	3	0
			10	2008/9/8	3	0
*174	M3	II	8	2008/9/8	3	0
			9	2008/9/8	3	0
			10	2008/9/8	3	0
*175	L2	I	2	2008/9/23	6	0
			3	2008/9/23	6	0
			4	2008/9/23	6	0
*176	L4	I	2	2008/9/24	9	0
			3	2008/9/24	9	0
			4	2008/9/24	9	0
*177	M3	I	79	2008/10/29	1	0
			80	2008/10/29	1	0
			81	2008/10/29	1	0
*178	L2	I	5	2008/9/30	1	0
			6	2008/9/30	1	0
			7	2008/9/30	1	0
*179	M2	I	6	2008/11/23	1	0
			7	2008/11/23	1	0
			8	2008/11/23	1	0
*180	M4	II	45	2008/9/29	1	0
			46	2008/9/29	1	0
			47	2008/10/12	1	0
*181	M2	I	36	2008/11/26	1	0
			37	2008/11/26	1	0
			38	2008/11/26	1	0
*182	M2	II	5	2008/9/23	1	0
			6	2008/9/23	1	0
			7	2008/9/23	1	0
*183	L3	I	14	2008/9/23	1	0
			15	2008/9/23	1	0
			16	2008/9/23	1	0
*184	L3	II	14	2008/9/23	1	0
			15	2008/9/23	1	0
			16	2008/9/23	1	0
*185	M2	I	2008/11/13	1	0	
			2008/11/13	1	0	
			2008/11/13	1	0	
*186	M4	II	15	2008/9/14	1	0
			16	2008/9/14	1	0
			17	2008/9/14	1	0
*187	M4	I	2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
*188	L2	I	39	2008/10/19	1	0
			40	2008/10/19	1	0
			41	2008/10/19	1	0
*189	M2	I	2008/10/22	1	0	
			2008/10/22	1	0	
			2008/10/22	1	0	
*190	M2	II	41	2008/11/18	1	0
			42	2008/11/18	1	0
			43	2008/11/18	1	0
*191	L3	I	11	2008/9/6	1	0
			12	2008/9/6	1	0
			13	2008/9/6	1	0
*192	M2	I	2008/9/23	1	0	
			2008/9/23	1	0	
			2008/9/23	1	0	
*193	L3	I	11	2008/9/6	1	0
			12	2008/9/6	1	0
			13	2008/9/6	1	0
*194	M2	I	2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
*195	M2	II	2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
*196	M2	I	2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
*197	L3	I	11	2008/9/6	1	0
			12	2008/9/6	1	0
			13	2008/9/6	1	0
*198	M2	I	2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
*199	M2	II	2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
*200	M2	I	2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	
			2008/11/18	1	0	

表V-2-32 土陶磁器接合表(5)

図No.	検出地点名	層位名	遺物No.	取り上げ日付	点数 検出 合計	点数 未接 合	
M1	L2	I	M1	2	2008/9/1	1	
			M2	北朝御料	15	2008/9/30	1
			M3	東	97	2008/10/28	1
M2	L2	II	M4	東	97	2008/10/28	1
			M5	東	97	2008/10/28	1
M3	M4	IV	M6	西	16	2008/11/24	1
			M7	東	10	2008/11/24	1
M4	L2	III	M8	東	3	2008/10/14	1
			M9	東	34	2008/10/14	1
			M10	東	30	2008/10/19	1
M5	L2	III	M11	東	2	2008/9/9	1
			M12	東	2	2008/9/9	1
			M13	東	34	2008/10/14	1
M6	L2	III	M14	東	1	2008/10/6	1
			M15	東	38	2008/10/13	1
			M16	東	36	2008/10/13	1
M7	L2	III	M17	東	1	2008/10/28	1
			M18	東	4	2008/9/27	1
			M19	東	11	2008/10/19	1
M8	L2	III	M20	東	13	2008/9/13	1
			M21	東	13	2008/9/13	1
			M22	東	9	2008/9/22	1
M9	L2	III	M23	東	4	2008/9/22	1
			M24	東	18	2008/9/28	1
			M25	東	13	2008/9/22	1
M10	L2	III	M26	東	15	2008/9/23	1
			M27	東	17	2008/9/27	1
			M28	東	1	2008/11/9	1
M11	L2	III	M29	東	1	2008/10/5	1
			M30	東	5	2008/9/21	1
			M31	東	1	2008/9/6	1
M12	L2	III	M32	東	1	2008/9/6	1
			M33	東	11	2008/9/19	1
			M34	東	6	2008/9/23	1
M13	L2	III	M35	東	6	2008/9/21	1
			M36	東	13	2008/9/14	1
			M37	東	4	2008/9/23	1
M14	L2	III	M38	東	1	2008/9/21	1
			M39	東	1	2008/9/21	1
			M40	東	9	2008/9/6	1
M15	L2	III	M41	東	2	2008/9/20	1
			M42	東	4	2008/9/1	1
			M43	東	1	2008/9/1	1
M16	L2	III	M44	東	6	2008/9/2	1
			M45	東	13	2008/9/14	1
			M46	東	2	2008/9/20	1
M17	L2	III	M47	東	1	2008/9/21	1
			M48	東	1	2008/9/21	1
			M49	東	0	2008/9/2	1
M18	L2	III	M50	東	1	2008/9/19	1
			M51	東	1	2008/9/19	1
			M52	東	7	2008/9/23	1
M19	L2	III	M53	東	9	2008/9/1	1
			M54	東	4	2008/10/28	1
			M55	東	3	2008/9/21	1
M20	L2	III	M56	東	0	2008/9/2	1
			M57	東	1	2008/9/19	1
			M58	東	1	2008/9/19	1
M21	L2	III	M59	東	39	2008/9/13	1
			M60	東	1	2008/9/21	1
			M61	東	1	2008/9/21	1
M22	L2	III	M62	東	13	2008/9/13	1
			M63	東	9	2008/9/13	1
			M64	東	6	2008/9/2	1
M23	L2	III	M65	東	13	2008/9/13	1
			M66	東	9	2008/9/13	1
			M67	東	36	2008/10/1	1
M24	L2	III	M68	東	3	2008/9/19	1
			M69	東	3	2008/9/19	1
			M70	東	3	2008/9/19	1
M25	L2	III	M71	東	1	2008/9/23	1
			M72	東	1	2008/9/23	1
			M73	東	1	2008/9/23	1
M26	L2	III	M74	東	1	2008/9/23	1
			M75	東	1	2008/9/23	1
			M76	東	1	2008/9/23	1
M27	L2	III	M77	東	1	2008/9/23	1
			M78	東	1	2008/9/23	1
			M79	東	1	2008/9/23	1
M28	L2	III	M80	東	1	2008/9/23	1
			M81	東	1	2008/9/23	1
			M82	東	1	2008/9/23	1
M29	L2	III	M83	東	1	2008/9/23	1
			M84	東	1	2008/9/23	1
			M85	東	1	2008/9/23	1
M30	L2	III	M86	東	1	2008/9/23	1
			M87	東	1	2008/9/23	1
			M88	東	1	2008/9/23	1
M31	L2	III	M89	東	1	2008/9/23	1
			M90	東	1	2008/9/23	1
			M91	東	1	2008/9/23	1
M32	L2	III	M92	東	1	2008/9/23	1
			M93	東	1	2008/9/23	1
			M94	東	1	2008/9/23	1
M33	L2	III	M95	東	1	2008/9/23	1
			M96	東	1	2008/9/23	1
			M97	東	1	2008/9/23	1
M34	L2	III	M98	東	1	2008/9/23	1
			M99	東	1	2008/9/23	1
			M100	東	1	2008/9/23	1
M35	L2	III	M101	東	1	2008/9/23	1
			M102	東	1	2008/9/23	1
			M103	東	1	2008/9/23	1
M36	L2	III	M104	東	1	2008/9/23	1
			M105	東	1	2008/9/23	1
			M106	東	1	2008/9/23	1
M37	L2	III	M107	東	1	2008/9/23	1
			M108	東	1	2008/9/23	1
			M109	東	1	2008/9/23	1
M38	L2	III	M110	東	1	2008/9/23	1
			M111	東	1	2008/9/23	1
			M112	東	1	2008/9/23	1
M39	L2	III	M113	東	1	2008/9/23	1
			M114	東	1	2008/9/23	1
			M115	東	1	2008/9/23	1
M40	L2	III	M116	東	1	2008/9/23	1
			M117	東	1	2008/9/23	1
			M118	東	1	2008/9/23	1
M41	L2	III	M119	東	1	2008/9/23	1
			M120	東	1	2008/9/23	1
			M121	東	1	2008/9/23	1
M42	L2	III	M122	東	1	2008/9/23	1
			M123	東	1	2008/9/23	1
			M124	東	1	2008/9/23	1
M43	L2	III	M125	東	1	2008/9/23	1
			M126	東	1	2008/9/23	1
			M127	東	1	2008/9/23	1
M44	L2	III	M128	東	1	2008/9/23	1
			M129	東	1	2008/9/23	1
			M130	東	1	2008/9/23	1
M45	L2	III	M131	東	1	2008/9/23	1
			M132	東	1	2008/9/23	1
			M133	東	1	2008/9/23	1
M46	L2	III	M134	東	1	2008/9/23	1
			M135	東	1	2008/9/23	1
			M136	東	1	2008/9/23	1
M47	L2	III	M137	東	1	2008/9/23	1
			M138	東	1	2008/9/23	1
			M139	東	1	2008/9/23	1
M48	L2	III	M140	東	1	2008/9/23	1
			M141	東	1	2008/9/23	1
			M142	東	1	2008/9/23	1
M49	L2	III	M143	東	1	2008/9/23	1
			M144	東	1	2008/9/23	1
			M145	東	1	2008/9/23	1
M50	L2	III	M146	東	1	2008/9/23	1
			M147	東	1	2008/9/23	1
			M148	東	1	2008/9/23	1
M51	L2	III	M149	東	1	2008/9/23	1
			M150	東	1	2008/9/23	1
			M151	東	1	2008/9/23	1
M52	L2	III	M152	東	1	2008/9/23	1
			M153	東	1	2008/9/23	1
			M154	東	1	2008/9/23	1
M53	L2	III	M155	東	1	2008/9/23	1
			M156	東	1	2008/9/23	1
			M157	東	1	2008/9/23	1
M54	L2	III	M158	東	1	2008/9/23	1
			M159	東	1	2008/9/23	1
			M160	東	1	2008/9/23	1
M55	L2	III	M161	東	1	2008/9/23	1
			M162	東	1	2008/9/23	1
			M163	東	1	2008/9/23	1
M56	L2	III	M164	東	1	2008/9/23	1
			M165	東	1	2008/9/23	1
			M166	東	1	2008/9/23	1
M57	L2	III	M167	東	1	2008/9/23	1
			M168	東	1	2008/9/23	1
			M169	東	1	2008/9/23	1
M58	L2	III	M170	東	1	2008/9/23	1
			M171	東	1	2008/9/23	1
			M172	東	1	2008/9/23	1
M59	L2	III	M173	東	1	2008/9/23	1
			M174	東	1	2008/9/23	1
			M175	東	1	2008/9/23	1
M60	L2	III	M176	東	1	2008/9/23	1
			M177	東	1	2008/9/23	1
			M178	東	1	2008/9/23	1
M61	L2	III	M179	東	1	2008/9/23	1
			M180	東	1	2008/9/23	1
			M181	東	1	2008/9/23	1
M62	L2	III	M182	東	1	2008/9/23	1
			M183	東	1	2008/9/23	1
			M184	東	1	2008/9/23	1
M63	L2	III	M185	東	1	2008/9/23	1
			M186	東	1	2008/9/23	1
			M187	東	1	2008/9/23	1
M64	L2	III	M188	東	1	2008/9/23	1
			M189	東	1	2008/9/23	1
			M190	東	1	2008/9/23	1
M65	L2	III	M191	東	1	2008/9/23	1
			M192	東	1	2008/9/23	1
			M193	東	1	2008/9/23	1
M66	L2	III	M194	東	1	2008/9/23	1
			M195	東	1	2008/9/23	1
			M196	東	1	2008/9/23	1
M67	L2	III	M197	東	1	2008/9/23	1
			M198	東	1	2008/9/23	1
			M199	東	1	2008/9/23	1
M68	L2	III	M200	東	1	2008/9/23	1
			M201	東	1	2008/9/23	1
			M202	東	1	2008/9/23	1
M69	L2	III	M203	東	1	2008/9/23	1
			M204	東	1	2008/9/23	1
			M205	東	1	2008/9/23	1
M70	L2	III	M206	東	1	2008/9/23	1
			M207	東	1	2008/9/23	1
			M208	東	1	2008/9/23	1
M71	L2	III	M209	東	1	2008/9/23	1
			M210	東	1	2008/9/23	1
			M211	東	1	2008/9/23	1
M72	L2	III	M212	東	1	2008/9/23	1
			M213	東	1	2008/9/23	1
			M214	東	1	2008/9/23	1
M73	L2	III	M215	東	1	2008/9/23	1
			M216	東	1	2008/9/23	1
			M217	東	1	2008/9/23	1
M74	L2	III	M218	東	1	2008/9/23	1
			M219	東	1	2008/9/23	1
			M220	東	1	2008/9/23	1
M75	L2	III	M221	東	1	2008/9/23	1
			M222	東	1	2008/9/23	1
			M223	東	1	2008/9/23	1
M76	L2</						

表V-2-33 土陶磁器接合表 (6)

図№	焼出地点名	層位名	遺物№	取上げ日付	点合	未接合	
142	L2	Ⅱ	36	2003/09/28	1		
	L2	Ⅱ	31	2003/08/17	1		
	L2	Ⅰ	39	2003/08/14	4		
	L2	Ⅰ	41	2003/08/15	1		
	L2	Ⅰ	40	2003/08/15	1		
	L2	Ⅱ	44	2003/08/19	1		
	L2	Ⅱ	47	2003/08/27	1		
	L2	Ⅱ	29	2003/08/18	1		
	L2	Ⅱ	26	2003/08/19	2		
	L2	Ⅰ	8	2003/08/20	1		
144	L2	Ⅰ	1	2003/08/25	2		
	L2	Ⅱ	38	2003/08/19	1		
	L2	Ⅱ	15	2003/08/23	2		
	L2	Ⅱ	26	2003/08/19	1		
	M2	Ⅱ	23	2003/08/19	2		
	M2	Ⅱ	62	2003/08/26	1		
	M2	Ⅱ	22	2003/08/26	1		
	L2	Ⅱ	17	2003/08/18	1		
	遺2	6	26	2003/08/12	1		
	遺2	9	69	2003/08/25	1		
145	遺4	遺土	4	2003/08/12	1		
	L4	Ⅱ	15	2003/08/14	1		
	M2	Ⅱ	20	2003/08/16	1		
	M2	Ⅱ	23	2003/08/24	1		
	M2	Ⅱ	26	2003/08/27	1		
	M2	Ⅱ	17	2003/08/16	1		
	L2	Ⅰ	17	2003/08/27	1		
	L2	Ⅱ	17	2003/08/18	1		
	M2	Ⅱ	25	2003/08/24	2		
	M2	Ⅱ	27	2003/08/12	2		
146	M2	Ⅱ	11	2003/08/13	1		
	遺2	19	2003/08/19	1			
	遺2	遺土	20	2003/08/22	1		
	L4	Ⅱ	18	2003/08/16	1		
	M2	Ⅱ	26	2003/08/16	1		
	M2	Ⅱ	25	2003/08/24	1		
	M2	Ⅱ	14	2003/08/14	11		
	M4	Ⅱ	15	2003/08/15	2		
	M4	Ⅱ	33	2003/08/26	2		
	L2	Ⅰ	9	2003/08/9	4		
147	L2	Ⅰ	13	2003/08/22	1		
	M2	Ⅱ	20	2003/08/19	1		
	M2	Ⅱ	49	2003/08/23	1		
	M4	Ⅱ	23	2003/08/23	1		
	M2	Ⅱ	15	2003/08/15	1		
	L2	Ⅰ	17	2003/08/27	1		
	M2	Ⅱ	2	2003/08/2	2		
	L2	Ⅰ	41	2003/08/15	2		
	M2	Ⅱ	38	2003/08/12	12		
	M2	Ⅱ	43	2003/08/18	1		
148	M2	Ⅱ	33	2003/08/26	2		
	遺2	1	2003/08/1	1			
	遺2	遺土	12	2003/08/24	1		
	遺2	遺土	20	2003/08/17	1		
	遺2	5	21	2003/08/9	1		
	遺2	5	32	2003/08/14	1		
	遺2	北城神所	29	2003/08/18	1		
	遺2	7	64	2003/08/26	3		
	遺2	北城神所	73	2003/08/12	1		
	遺2	遺土	12	2003/08/21	1		
149	L2	Ⅰ	27	2003/08/28	1		
	L2	Ⅱ	26	2003/08/12	3		
	L2	Ⅱ	49	2003/08/12	1		
	L2	Ⅱ	63	2003/08/12/0	1		
	L2	Ⅱ	25	2003/08/13	1		
	M2	Ⅱ	16	2003/08/27	1		
	M2	Ⅱ	19	2003/08/27	1		
	M2	Ⅱ	32	2003/08/12/2	1		
	M2	Ⅱ	32	2003/08/12/0	1		
	M2	Ⅱ	36	2003/08/27	2		
150	M2	Ⅱ	38	2003/08/12	1		
	M2	Ⅱ	49	2003/08/23	1		
	M4	Ⅱ	29	2003/08/26	3		
	N2	Ⅱ	25	2003/08/26	1		
	遺2	遺土	14	2003/08/26	1		
	遺2	5	80	2003/08/25	1		
	遺2	遺土	14	2003/08/26	2		
	遺1	遺土	4	2003/08/26	1		
	L2	Ⅱ	23	2003/08/18	1		
	M4	Ⅱ	15	2003/08/15	1		
151	遺2	北城神所	63	2003/08/18	3		
	M2	遺土	1	2003/08/19	1		
	M2	遺土	32	2003/08/17	1		
	M2	Ⅱ	47	2003/08/20	1		
	赤川	遺土	3	2003/08/14	1		
	M4	Ⅱ	15	2003/08/15	1		
	M2	Ⅱ	1	2003/08/23	6		
	M2	Ⅱ	12	2003/08/18	1		
	M2	Ⅱ	6	2003/08/20	1		
	M2	遺土	1	2003/08/29	1		
152	L2	Ⅰ	7	2003/08/21	2		
	M2	Ⅱ	2	2003/08/26	1		
	M6	Ⅱ	4	2003/08/1	1		
	L2	Ⅰ	41	2003/08/15	2		
	M2	Ⅱ	38	2003/08/26	1		
	遺2	6	49	2003/08/27	1		
	遺1	遺土	9	2003/08/28	1		
	K2	Ⅱ	11	2003/08/11/19	1		
	L2	Ⅰ	41	2003/08/15	1		
	M2	Ⅱ	27	2003/08/12/0	1		
153	M2	Ⅱ	40	2003/08/21	1		
	M4	Ⅱ	26	2003/08/26	1		
	M2	Ⅱ	17	2003/08/18	1		
	M2	Ⅱ	47	2003/08/20	1		
	M2	Ⅱ	23	2003/08/26	1		
	M2	Ⅱ	11	2003/08/18	1		
	M2	Ⅱ	47	2003/08/20	22		
	陶器・磁器						
	154	L2	Ⅱ	12	2003/08/25	2	
		L2	Ⅱ	13	2003/08/13	1	
L2		Ⅱ	79	2003/08/10	1		
L2		Ⅱ	90	2003/08/11/19	1		
M2		Ⅱ	47	2003/08/17	1		
遺1		遺土	2	2003/08/18/26	1		
遺4		遺土	2	2003/08/18/1	1		
M2		Ⅱ	61	2003/08/9	2		
M2		Ⅱ	65	2003/08/9	1		
M2		Ⅱ	46	2003/08/12	1		
155	M2	Ⅱ	30	2003/08/25	1		
	遺4	遺土	1	2003/08/12	1		
	M2	Ⅱ	37	2003/08/25	1		
	M2	Ⅱ	69	2003/08/26	1		
	M2	Ⅱ	40	2003/08/26	1		
	N2	Ⅱ	17	2003/08/22	2		
	L2	Ⅱ	12	2003/08/25	2		
	L2	Ⅱ	13	2003/08/21	1		
	L2	Ⅱ	79	2003/08/10	1		
	L2	Ⅱ	90	2003/08/11/19	1		
156	N2	Ⅱ	17	2003/08/22	2		
	L2	Ⅱ	12	2003/08/25	2		
	L2	Ⅱ	13	2003/08/21	1		
	L2	Ⅱ	79	2003/08/10	1		
	L2	Ⅱ	90	2003/08/11/19	1		
	M2	Ⅱ	47	2003/08/17	1		
	遺1	遺土	2	2003/08/18/26	1		
	遺4	遺土	2	2003/08/18/1	1		
	M2	Ⅱ	61	2003/08/9	2		
	M2	Ⅱ	65	2003/08/9	1		
157	M2	Ⅱ	46	2003/08/12	1		
	M2	Ⅱ	30	2003/08/25	1		
	遺4	遺土	1	2003/08/12	1		
	M2	Ⅱ	37	2003/08/25	1		
	M2	Ⅱ	69	2003/08/26	1		
	M2	Ⅱ	40	2003/08/26	1		
	N2	Ⅱ	17	2003/08/22	2		
	L2	Ⅱ	12	2003/08/25	2		
	L2	Ⅱ	13	2003/08/21	1		
	L2	Ⅱ	79	2003/08/10	1		
158	L2	Ⅱ	70	2003/08/9	1		
	M2	Ⅱ	11	2003/08/26	1		
	L2	Ⅱ	12	2003/08/25	2		
	L2	Ⅱ	13	2003/08/26	1		
	L4	Ⅱ	24	2003/08/9	3		
	M2	Ⅱ	34	2003/08/7	1		
	M2	Ⅱ	37	2003/08/12	1		
	M2	Ⅱ	38	2003/08/12	1		
	M2	Ⅱ	40	2003/08/12	1		
	M2	Ⅱ	71	2003/08/25	1		
159	遺4	遺土	11	2003/08/11/19	1		
	土粒2	遺土	6	2003/08/29	1		
	L2	Ⅱ	45	2003/08/27	1		
	L4	Ⅱ	1	2003/08/9	1		
	L4	Ⅱ	39	2003/08/12	3		
	L4	Ⅱ	40	2003/08/21	3		
	M2	Ⅱ	72	2003/08/17	1		
	M2	Ⅱ	49	2003/08/19	1		
	M2	Ⅱ	62	2003/08/26	1		
	M4	Ⅱ	62	2003/08/18	1		
160	M4	Ⅱ	62	2003/08/26	1		
	遺4	遺土	10	2003/08/1	1		
	L2	Ⅰ	47	2003/08/29	1		
	L4	Ⅱ	30	2003/08/9	1		
	M2	Ⅱ	73	2003/08/24	1		
	M4	Ⅱ	68	2003/08/17	1		
	遺1	遺土	2	10	2003/08/25	1	
	L2	Ⅱ	27	2003/08/12	1		
	遺1	遺土	9	118	2003/08/26	1	
	M2	Ⅱ	9	10	2003/08/13	1	
161	M2	Ⅱ	74	2003/08/27	1		
	遺1	遺土	13	2003/08/26	1		
	L2	Ⅰ	44	2003/08/27	1		
	L2	Ⅱ	40	2003/08/27	1		
	L2	Ⅱ	40	2003/08/13	4		
	L4	Ⅱ	32	2003/08/31	1		
	L2	Ⅱ	68	2003/08/31	1		
	L2	Ⅱ	45	2003/08/27	1		
	M2	Ⅱ	32	2003/08/14	1		
	L4	Ⅱ	23	2003/08/9	1		
162	M2	Ⅱ	31	2003/08/7	1		
	遺2	遺土	101	2003/08/9	4		
	遺2	5	118	2003/08/1	1		
	遺2	5	121	2003/08/12	1		
	M2	Ⅱ	9	2003/08/26	1		
	赤川	遺土	3	2003/08/14	1		
	L2	Ⅱ	40	2003/08/9	3		
	L2	Ⅱ	80	2003/08/13	1		
	L2	Ⅱ	86	2003/08/19	1		
	遺1	遺土	2	2003/08/12/2	1		
163	赤川	遺土	11	2003/08/14	1		
	M2	Ⅱ	1	2003/08/26	1		
	L2	Ⅱ	1	2003/08/26	1		
	L2	Ⅱ	6	2003/08/26	1		
	L2	Ⅱ	46	2003/08/26	2		
	L2	Ⅱ	35	2003/08/27	1		
	M2	Ⅱ	42	2003/08/21	1		
	M2	Ⅱ	41	2003/08/21	1		
	L2	Ⅱ	40	2003/08/21	1		
	164	M2	Ⅱ	71	2003/08/17	1	
M2		Ⅱ	74	2003/08/27	1		
M4		Ⅱ	30	2003/08/13	1		
M2		Ⅱ	79	2003/08/10	1		
M2		Ⅱ	90	2003/08/11/19	1		
K2		Ⅱ	29	2003/08/29	1		
L2		Ⅱ	27	2003/08/27	1		
L2		Ⅱ	42	2003/08/23	1		
M4		Ⅱ	62	2003/08/26	1		
M2		Ⅱ	62	2003/08/12	1		
165	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
	M2	Ⅱ	60	2003/08/23	2		
166	遺2	北城神所	148	2003/08/19	1		
	遺2	遺土	1	2003/08/24	1		
	遺2	遺土	1	2003/08/24	1		
	遺2	遺土	1	2003/08/24	1		
	遺2	遺土	1	2003/08/24	1		
	遺2	遺土	1	2003/08/24	1		
	遺2	遺土	1	2003/08/24	1		
	遺2	遺土	1	2003/08/24	1		
	遺2	遺土	1	2003/08/24	1		
	遺2	遺土	1	2003/08/24	1		
167	遺2	遺土	114	2003/08/30	2		
	遺2	遺					

表V-2-35 土陶磁器接合 (8)

国名	輸出地点名	届位名	産物No.	取上げ日付	接合	未接合	国名	輸出地点名	届位名	産物No.	取上げ日付	接合	未接合	国名	輸出地点名	届位名	産物No.	取上げ日付	接合	未接合				
140	鹿島中1	備上	1	2000/0/15	1		147	NS	日	12	2000/0/25	1		154	備上	備上	4	2000/0/21	2					
	L1	E	1	2000/0/6	1			備上	北條研利	84	2000/0/1/8	1			備上	備上	2	2000/0/15	1					
	L1	E	2	2000/0/7	1			備上	備上	1	2	2000/0/15	1			L2	E	8	2000/0/22	4				
	L1	日	5	2000/0/9	1			備上	備上	14	2000/0/1/4	1			L2	E	8	2000/0/27	3					
	L1	E	1	2000/0/11	1			L2	E	1	2000/0/9/8	1			L2	E	1	2000/0/21	1					
	L2	E	6	2000/0/20	2			MS	日	20	2000/0/2/8	1			M2	E	2	2000/0/25	3					
	L2	E	7	2000/0/13	2			MS	日	49	2000/0/0/21	1			M2	E	3	2000/0/26	2					
	L2	日	20	2000/0/27	3			MS	E	16	2000/0/0/18	1			M2	E	4	2000/0/27	6					
	L2	E	2	2000/0/28	2			MS	備上	154	2000/0/1/1/8	1			M2	E	8	2000/0/30	1					
	M2	E	1	2000/0/23	1			陶器・土磁器・漆器・注大				L2	E		2	2000/0/25	1		備上	備上	9	2000/0/2/12	1	
M2	E	2	2000/0/25	4		L2	E	4	2000/0/28	1		L2	E	3	2000/0/27	34		備上	北條研利	1	2000/0/1/19	1		
M2	E	4	2000/0/27	18		L2	E	0	2000/0/29	1		L2	E	0	2000/0/30	1		L2	E	5	2000/0/27	1		
M2	E	5	2000/0/30	3		L2	E	1	2000/0/31	1		L2	E	1	2000/0/31	1		L2	E	5	2000/0/27	10		
M2	E	11	2000/0/10	1		L2	E	1	2000/0/7	1		L2	E	7	2000/0/21	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M2	E	18	2000/0/29	1		L2	E	1	2000/0/9/8	4		L2	E	14	2000/0/9	1		L2	E	14	2000/0/9	1		
M2	E	30	2000/0/18/9	4		L2	E	13	2000/0/9/8	2		M2	E	3	2000/0/28	1		L2	E	3	2000/0/28	1		
M2	備上	20	2000/1/1/15	1		L2	日	31	2000/0/0/1/2	1		L2	E	2	2000/0/25	1		L2	E	2	2000/0/25	1		
M3	E	2	2000/0/25	2		L2	E	39	2000/0/0/1/4	4		L2	E	5	2000/0/27	1		L2	E	5	2000/0/27	1		
M3	E	13	2000/0/9/9	2		L2	E	1	2000/0/2/25	1		L2	E	6	2000/0/30	1		M2	E	2	2000/0/25	1		
備上	備上	3	2000/0/12	1		L2	E	4	2000/0/2/28	2		L2	E	6	2000/0/30	1		MS	日	2	2000/0/25	1		
備上	備上	9	2000/0/12	2		M2	E	13	2000/0/7	4		L2	E	7	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/25	1		
L1	E	1	2000/0/6	1		M2	日	24	2000/0/0/6	4		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	3	2000/0/25	1		
L1	E	7	2000/0/31	1		備上	日	45	2000/0/0/20	1		L2	E	3	2000/0/27	10		L2	E	3	2000/0/27	10		
M2	E	2	2000/0/25	2		備上	日	86	2000/0/0/22	2		L2	E	7	2000/0/21	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M2	E	14	2000/0/27	6		備上	日	27	2000/0/0/22	1		L2	E	14	2000/0/9	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M2	E	15	2000/0/27	1		備上	日	41	2000/0/0/25	1		L2	E	14	2000/0/9	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M2	日	19	2000/0/0/6	1		備上	日	60	2000/0/0/27	1		L2	E	2	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M2	E	30	2000/0/18/9	1		備上	備上	18	2000/0/1/4	2		L2	E	5	2000/0/27	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M3	E	3	2000/0/28	1		備上	日	7	2000/0/0/25	1		L2	E	6	2000/0/30	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M3	備上	20	2000/1/14	1		備上	日	7	2000/0/0/25	1		M2	E	2	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
備上	備上	3	2000/0/29	1		備上	日	43	2000/0/0/21	1		MS	日	2	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
備上	備上	9	2000/0/12	2		備上	日	48	2000/0/0/18/9	3		MS	日	2	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L1	E	1	2000/0/6	1		備上	日	48	2000/0/0/18/9	3		MS	日	2	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L1	E	7	2000/0/31	1		備上	日	54	2000/0/0/21	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M2	E	3	2000/0/25	1		備上	日	61	2000/0/0/25	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M2	E	11	2000/0/10	1		備上	日	12	2000/0/0/24	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M2	E	18	2000/0/29	1		備上	日	20	2000/0/0/28	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L2	E	2	2000/0/25	5		備上	日	62	2000/0/0/21	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L2	E	3	2000/0/25	1		備上	日	50	2000/0/0/22	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L2	E	8	2000/0/27	2		備上	日	61	2000/0/0/25	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L1	E	1	2000/0/6	1		備上	日	96	2000/0/1/1/16	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L1	E	7	2000/0/31	1		備上	日	8	2000/0/0/28	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
M2	E	1	2000/0/23	1		M2	日	20	2000/0/0/28	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L1	E	1	2000/0/6	1		L2	E	4	2000/0/9/8	14		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L1	E	3	2000/0/23	1		L2	E	8	2000/0/1/5	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L1	E	3	2000/0/25	1		L2	E	8	2000/0/1/26	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L2	E	5	2000/0/27	1		M2	日	15	2000/0/0/22	4		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L2	E	7	2000/0/29	1		M4	E	7	2000/0/0/21	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
L2	E	14	2000/0/18/9	6		L2	E	7	2000/0/0/21	1		L2	E	3	2000/0/25	1		L2	E	7	2000/0/21	10		
146	水舟1	備上	6	2000/0/0/7	1		L1	E	1	2000/0/9/8	1		L1	E	1	2000/0/9/8	1		L1	E	1	2000/0/9/8	1	
	L4	E	24	2000/0/18/25	4		M2	E	2	2000/0/25	9		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	L4	E	2	2000/0/24	4		M2	日	18	2000/0/2/25	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	L4	日	20	2000/0/18/25	4		L2	E	2	2000/0/28	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	L4	日	17	2000/0/18/25	1		M2	E	1	2000/0/28	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	M2	E	1	2000/0/25	1		M2	E	1	2000/0/28	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	水舟1	備上	6	2000/0/0/7	1		M2	E	2	2000/0/28	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	L4	E	2	2000/0/24	1		M2	E	3	2000/0/28	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	L4	日	23	2000/0/18/25	4		備上	日	25	2000/0/2/22	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	L4	E	12	2000/0/14	1		備上	日	15	2000/0/0/2	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
L4	日	17	2000/0/18/9	4		備上	日	4	2000/0/9/21	2		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		
147	備上	北條研利	32	2000/0/1/4	1		M2	E	1	2000/0/28	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	L2	E	11	2000/0/7	1		M2	E	1	2000/0/28	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1		L1	E	2	2000/0/9/8	1	
	L2	E	1	2000/0/9																				

表V-2-36 磁器・陶器・土器接合 (9)

図No.	検出地点名	層位名	遺物No.	取り上げ日付	点数 接合	未接合
M02	L2	I	15	2016/9/9	2	
			53	1	4	2016/9/16
M03	溝1	層土4	4	2016/10/21	1	
M04	M4	I	9	2016/9/9		1
M05	M3	I	29	2016/10/3	1	
			42	5	2016/9/23	4
M06	溝2	層土1	6	2016/9/23	1	
			4	2016/9/23	1	
			5	2016/9/23	1	
M07	L4	I	6	2016/9/29	4	
陶器						
火入、音羽、音子						
M08	M3	II	46	2016/10/20	1	
			47	2016/10/20	1	
M09	溝2	層土1	46	2016/10/20	3	
			4	2016/9/21	2	
			17	2016/11/3	1	
M10	M7	I	26	2016/10/9	2	
M10	井戸1	層土4	9	2016/9/29	2	
M11	M4	I	26	2016/9/9	2	
M12	溝1	層土1	1	2016/9/9	1	
陶器・埴土器、釘穴埋まり						
M12	水野1	層土1	2	2016/9/13		1
M14	L2	I	13	2016/9/9	6	
M15	水野1	層土1	4	2016/9/22	2	
M16	L2	I	29	2016/9/29	4	
M17	N3	I	1	2016/9/23	1	

図No.	検出地点名	層位名	遺物No.	取り上げ日付	点数 接合	未接合
土器						
e7	溝1	層土2	1	2016/10/19	1	
			10	2016/10/9	1	
e8	M2	層	19	2016/10/9	1	
e9	M3	II	23	2016/9/9	1	
e4	M8	II	8	2016/9/16	1	
e5	M3	II	23	2016/10/20	1	
e6	N3	層	3	2016/10/27	1	
e7	L2	I	2	2016/9/26	2	
	L3	I	1	2016/9/26	2	
e8	溝1	I	13	2016/10/20	1	
e9	M2	I	1	2016/9/26	1	
e10	溝2	層土1	5	2016/10/23	1	
			27	2016/9/25	1	
			11	2016/9/25	1	
	M2	I	9	2016/9/25	4	
	M3	II	11	2016/9/22	1	
	L2	I	1	2016/9/25	1	
e11	M2	I	4	2016/9/10	1	
	M4	II	7	2016/9/13	1	
	M5	II	8	2016/9/22	2	
e12	M4	I	3	2016/9/9	4	
	M4	I	3	2016/9/13	1	
	L2	I	2	2016/9/21	2	
e13	L2	I	26	2016/9/26	1	

図No.	検出地点名	層位名	遺物No.	取り上げ日付	点数 接合	未接合
e14	L2	I	20	2016/9/27	2	
			22	2016/9/21	1	
e15	溝2	層土1	6	2016/9/21	1	
			18	2016/9/14	1	
e16	溝1	層土1	4	2016/9/23	1	
			18	2016/9/23	3	
e17	溝2	層土2	7	2016/9/21	1	
			23	2016/10/13	2	
e18	L2	I	3	2016/9/21	1	
			22	2016/9/21	1	
			9	2016/10/26	4	
			14	2016/10/26	1	
			19	2016/9/25	1	
e19	溝2	I	24	2016/10/22	1	
			19	2016/9/27	1	
e20	井戸6	層土3	2	2016/12/2	1	
			11	2016/9/22	1	
e21	M2	II	2	2016/11/9	1	
			4	2016/9/20	1	
			13	2016/10/13	2	
e22	L2	I	13	2016/10/13	2	
			16	2016/11/26	1	
e23	M4	I	19	2016/9/9	1	
e24	溝1	埴器	4	2016/11/3	1	
e25	溝1	6	26	2016/11/11	1	
e26	L2	II	3	2016/10/1	1	

表V-2-37 焼継ぎ・漆継ぎ・墨書集計

焼継ぎ	遺構			漆継ぎ	包含層			墨書	遺構			その他
	I	II	その他		I	II	紀戻		その他	I	II	
磁器碗	1	1	17	磁器碗		1		磁器鉢		2		
磁器鉢	1	2	1	磁器碗	2			陶器碗	8		1	
磁器蓋	1			磁器鉢				陶器皿	1			
焼継ぎ磁器碗目79は表入の可能性大												
				磁器蓋	1		1	陶器鉢	1			
				磁器香炉			2	陶器蓋	1			
				磁器蓋附?	1	1	1	陶器器物	1			
				磁器蓋附?				*陶器碗は京焼き・京焼き字し。				

表V-3-8 鉄製品観察 (1)

品名	分類	名称	存在状況	種	線定形	線定厚	寸法	定規	万尺/ 定規	尺口	尺口/万尺 ×100	備考
1	小刀	I	刃部一側欠失	平線	a	2.71	121	19	6.3	1	0.83	19.9
2	小刀	I	刃部	平線	a	4.8	103	19	5.5	1	0.97	21.7
3	小刀	I	刃先部刃部欠失	平線	a	3.28	—	24	—	—	—	24.7
4	小刀	II	刃先欠失	平線	a	2.14	—	21	—	—	—	24.7
5	小刀	III	基欠失	平線	a	2.57	131	19	7.0	3	2.30	18.9
6	小刀	III	刃部一側刃部欠失	平線	a	2.38	—	21	—	—	—	18.9
7	小刀	III	刃部欠失	平線	a	2.55	—	—	—	—	—	18.9
8	小刀	III	刃先欠失	平線	a	2.42	—	14	—	—	—	7.7
9	小刀	II	刃先一側欠失	平線	d	2.91	—	11	—	—	—	4.1
10	小刀	II	基欠失	平線	a	2.72	96	15	6.3	6	4.08	12.1
11	小刀	II	基欠失	丸線	a	3.89	95	19	3.0	5	5.36	16.4
12	包丁	I	刃先部刃部欠失	平線	b	6.25	—	32	—	—	—	92.4
13	包丁	I	刃先一側部欠失	線線	—	—	—	—	—	—	—	63.4
品名	分類	名称	存在状況	線存在高 (mm)	線長 (mm)	備考						
14	鉄線	包丁		(43)	23.5							
15	鉄線	包丁		(39)	21.1							
16	鉄線	口線一側部1/4径部欠失		(95)	144.4	線定口径20mm						
17	鉄線	包丁		(26)	57.3							
18	鉄線	口線一側部1/4径部欠失		(95)	322.1	線定口径20mm、1.2.3.5.7寸、遺物No.1に結合						
19	鉄線	口線7/8径一側部欠失		(94)	82.4	線定口径600mm						
20	鉄線	口線一側部7/8径部欠失	(148)	281.2	線定口径920mm、1.0.3.5.遺物No.2に結合							
21	鉄線	口線7/8径一側部欠失	(32)	51.6	線定口径600mm							
22	鉄線	口線部部	(22)	17.2								
23	鉄線	口線一側部7/8径部欠失		(77)	117.6	線部割600mm						
24	鉄線	口線一側部	(72)	225.4	口径100mm以上で線高の浅い部、1/2径部							
25	鉄線	底部一側	(22)	22.7	底面立ち上り部、小径部							
26	鉄線	底部一側	(32)	18.5								
27	鉄線	口線一側部1/4径部欠失		(77)	197.0	線定線径70mm						
28	鉄線	口線一側部1/4径部欠失		(18)	17.6	線定線径66mm						
29	鉄線	口線7/8径一側部欠失	(43)	25.0	線定口径200mm、基部?							
30	鉄線	口線7/8径一側部欠失	(92)	57.3	線定口径500mm							
31	鉄線	口線1/4径部欠失	(75)	415.2	文字部口							
32	鉄線	底面	(86)	81.5	V字凹部の蓋?							
33	線片手	刃部		(62)	42.8	径230mm、巾13mm						
品名	分類	名称	存在状況	最大長、最大幅 (mm)	線長 (mm)	備考						
34	高脚鉋	口字	完形	86, 38	41.4	基部断面: 長方形、先端部半円字、高脚状						
35	高脚鉋	口字	完形	99, 39	62.4	基部断面: 口字、先端部半円						
36	鉋	先端欠失	(114), 23	24.4	基部断面: 長方形、先端部: 長方形							
37	鉋	完形	42, 20	0.9	軸断面: 円形、先端部: 円形、基部断面: 円形							
38	鉋	丸先欠失	39, 25	1.7	軸断面: 方形、先端部: 圓錐形、基部断面: 方形							
39	鉋	一部表面割傷	200, 31	623.4	基部断面: 円形、基部断面: 圓錐形							
40	鉋	完形	51, 7	4.2	基部断面: 方形、基部断面: 圓錐形							
41	鉋	完形	(74), 9	6.1	基部断面: 方形、基部断面: 圓錐形							
42	鉋	先端欠失	62, 18	29.5	基部断面: 長方形、基部断面: 圓錐形							
43	鉋	完形	(130), (21)	49.5	鋼材基部							
44	鉋	完形	107, 23	130.7	鋼材-鋼材基部							
45	鉋	完形	(130), 17	58.5	鋼材基部							
46	鉋	完形	83, 19	19.8	鋼材基部							
47	鉋	完形	(76), 5	4.4								
48	鉋	完形	151, 25	41.6	鋼材断面: 見える							
49	鉋	基部部欠失	(90), (13)	2.9	小径、鋼材断面: 見える							
50	鉋	完形	84, 58	153.4	基部断面: 圓錐形							
51	鉋	刃部欠失	(230), (24)	53.5								
52	鉋	完形	37, 16	11.2	(金工用)							
53	鉋	完形	36, 30	8.4	円筒(工具の口部)							
54	鉋	完形	23, 23	3.3	円筒(工具の口部)							
55	鉋	一部欠失	35, (20)	3.9	円筒(工具の口部)							
56	鉋	完形	(60), (60)	18.6	円筒(工具の口部)							
57	鉋		(190), (162)	54.1	断面: 長方形、最大長、最大幅は断面について							
58	鉋	先端欠失	—, 57, 7	0.9								
59	柱止め	完形	146, 39	26.0								
60	柱止め	完形	95, 25	17.7	大型の内側に小型の凸部が接着							
61	柱止め	完形	84, 20	9.8								
62	鉋	基部部-鋼材一部欠失	(213), (138)	276.1	鋼材が木							
63	分銅	完形	56, 34	176.3	鋼材用							
64	火打金	端部欠失	(20), (170)	12.3								
65	釣子	基部部欠失	132, 117	148.8	鋼造品							
66	取板	完形	26, 95	211.8	鋼造品							
67	鉋	完形	278, 8	40.3	中央で曲がる							
68	鉋	先端欠失	(227), 15	31.8								
69	玉鉋	輪部	(96), (133)	128.5	鋼造品							
70	玉鉋	輪部	(156), 49	207.7	鋼造品							
71	玉鉋	輪部-鋼材の一部	92, (60)	47.5								
72	釘頭	一部表面欠失	64, (58)	19.4	乳金物							
73	釘頭	完形	46, 46	7.7	乳金物							
74	釘頭	完形	64, 38	9.4								
75	釘頭	完形	(83), 42	5.8								
76	丸線	完形	(60), 13	13.4	鋼釘付							
77	釘	(基部欠失)	42, 29	5.0								
78	釘	完形	440, 25	11.5	鋼釘付							
79	釘	完形	116, 47	67.8								
80	釘	完形	(71), (56)	21.4								
81	釘	一部表面欠失	45, 40	9.0	鋼釘付							

表V-3-9 鉄製品観察 (2)

図号	分類	名称	存在状況	断面形状	基礎断面形	脚部断面形	全高 (mm)	高さ (10%)	備 考
82	鉄釘	板釘	尖頭	c	四角	四角	51	2.4	
83	鉄釘	板釘	脚端欠失	c	四角	四角	55	6.1	
84	鉄釘	板釘	尖頭	c	四角	四角	193	29.9	
85	鉄釘	板釘	尖頭	c	四角	四角	137	26.1	
86	鉄釘	板釘	尖頭	c	長方	四角	77	11.2	脚部欠失
87	鉄釘	板釘	脚端欠失	c	長方	長方	64	20.3	
88	鉄釘	板釘	尖頭	c'	長方	四角	104	13.0	
89	鉄釘	板釘	脚端欠失	e'	四角	四角	129	30.3	
90	鉄釘	板釘	脚端欠失	e'	四角	四角	129	24.0	
91	鉄釘	板釘	脚端欠失	e'	長方	長方	75	19.3	
92	鉄釘	板釘	尖頭	e''	長方	四角	66	6.9	
93	鉄釘	板釘	脚端欠失	e''	四角	四角	66	9.9	
94	鉄釘	板釘	尖頭	d	長方	長方	34	6.4	
95	鉄釘	板釘	尖頭	d	長方	長方	78	9.0	
96	鉄釘	板釘	尖頭	d	長方	長方	88	14.4	
97	鉄釘	板釘	尖頭	d'	四角	四角	24	0.3	
98	鉄釘	板釘	脚端欠失	d'	長方	長方	71	29.3	
99	鉄釘	板釘	尖頭	d'	長方	長方	93	14.3	
100	鉄釘	板釘	脚端欠失	d'	長方	長方	104	16.0	
101	鉄釘	板釘	尖頭	d'	長方	長方	55	17.0	
102	鉄釘	板釘	脚端欠失	d'	長方	長方	37	16.9	長方形断面
103	鉄釘	板釘	脚端欠失	d'	長方	長方	93	83.6	長方形断面
104	鉄釘	板釘	脚端欠失	d'	長方	長方	86	20.6	長方形断面
105	鉄釘	板釘	尖頭	d'	長方	長方	132	56.4	長方形断面
106	鉄釘	板釘	尖頭	d'	長方	長方	187	42.6	長方形断面
107	鉄釘	板釘	尖頭	f	四角	四角	43	3.2	
108	鉄釘	板釘	尖頭	f	四角	四角	72	7.3	基部欠失
109	鉄釘	板釘	尖頭	f	長方	長方	99	30.3	脚部欠失
110	鉄釘	平釘	脚端欠失	i	長方	長方	42	5.1	
111	鉄釘	平釘	尖頭	i	長方	長方	53	12.0	
112	鉄釘	平釘	尖頭	i	四角	四角	43	11.4	
113	鉄釘	平釘	尖頭	i	四角	長方	43	3.0	
114	鉄釘	平釘	尖頭	i	四角	四角	61	3.6	
115	鉄釘	平釘	尖頭	i	長方	長方	79	11.9	
116	鉄釘	平釘	尖頭	i	長方	長方	100	20.6	
117	鉄釘	平釘	尖頭	i	長方	長方	119	27.4	
118	鉄釘	平釘	尖頭	i'	長方	四角	49	4.1	
119	鉄釘	平釘	脚端欠失	i'	長方	長方	63	5.9	
120	鉄釘	平釘	尖頭	i'	長方	四角	86	10.2	
121	鉄釘	平釘	脚端欠失	i'	四角	四角	106	15.6	脚部欠失
122	鉄釘	平釘	尖頭	i'	長方	長方	72	30.6	
123	鉄釘	巻線釘	脚端欠失	m1	長方	四角	33	1.3	
124	鉄釘	巻線釘	尖頭	m1	四角	四角	40	1.0	脚部欠失
125	鉄釘	巻線釘	尖頭	m1	長方	四角	78	8.1	
126	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	四角	四角	26	0.6	
127	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	四角	四角	52	2.0	
128	鉄釘	巻線釘	脚端欠失	m2	四角	四角	34	8.9	
129	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	四角	四角	129	14.4	
130	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	長方	四角	32	0.9	
131	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	長方	四角	45	2.0	
132	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	長方	四角	47	1.9	
133	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	長方	四角	56	1.3	
134	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	長方	四角	71	4.2	
135	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	長方	四角	71	5.4	
136	鉄釘	巻線釘	尖頭	m2	長方	四角	111	8.4	脚部欠失
137	鉄釘	巻線釘	脚端欠失	m2	円	円	62	8.4	
138	鉄釘	分断形	脚端欠失	n	四角	四角	51	5.6	
139	鉄釘	分断形	脚端欠失	n	長方	四角	71	7.3	平釘
140	鉄釘	分断形	尖頭	n	長方	長方	53	28.6	
141	鉄釘	分断形	脚端欠失	n	長方	四角欠失	81	144.2	
図号	名称	存在状況	基礎長(mm)	基礎幅(mm)	基部・脚部断面形状	脚部長(mm)	全高	高さ (10%)	備 考
142	角座	尖頭	65	方	隅丸	28	方	21.4	
143	角座	片脚端欠失	89	方	隅丸	17	方	21.9	
144	角座	尖頭	101	縦長	隅丸(尖頭)	7(尖頭)	縦長	34.3	変形転用
145	角座	片脚端欠失	132	縦長	丸	33	縦長	96.7	
146	角座	尖頭	93	方	隅丸	38	方	89.6	
147	角座	片脚端欠失	119	方	隅丸	50	方	202.5	
148	角座	尖頭	229	縦長	隅丸	58	縦長	121.3	変形転用
149	板座	尖頭	28	縦長	角欠失	7(尖頭)	縦長	3.3	
150	板座	片脚端欠失	27	縦長	隅丸	12	縦長	2.9	
151	板座	尖頭	60	縦長	角欠失	12	縦長	12.2	平釘
152	板座	片脚端欠失	61	縦長	角欠失	11	縦長	51.4	平釘
153	板座	尖頭	75	縦長	角欠失	24	縦長	96.7	平釘
154	板座	片脚端欠失	82	縦長	隅丸	27	縦長	138.7	平釘
155	板座	片脚端欠失	126	縦長	丸	10	縦長	69.9	

表V-3-11 非鉄製品觀察 (2)

品名	規格	内径10mm (mm)		内径15mm (mm)		外径20mm (mm)		重量 (kg)	備考
		外径 平均	内径 平均	外径 平均	内径 平均	外径 平均	内径 平均		
114	工業水産用	25.08	19.82	7.88	6.14	2.23	0.56	3.30	富士17年製-4点品2点
115	工業水産用	11.86	9.62	3.64	2.62	2.18	0.57	2.10	富士17年製-四角品1点(水、海、水、水)
116	工業水産用	24.68	19.76	7.17	5.41	2.24	0.60	3.07	富士17年製-2点品A点Z
117	工業水産用	24.84	19.99	7.44	6.49	2.33	0.70	2.75	富士17年製-3点品Z点Z
118	工業水産用	24.79	19.94	7.82	5.82	2.02	0.50	3.08	富士17年製-2点品Z点Z
119	工業水産用	24.66	19.82	6.86	5.58	2.45	0.59	2.86	富士17年製-不点品Z点Z
120	工業水産用	24.46	19.76	7.26	5.61	2.47	0.71	3.47	富士17年製-不点品Z点Z
121	工業水産用	24.72	20.05	7.21	5.86	2.80	0.61	3.23	富士17年製-不点品/力点A、力点Z
122	工業水産用	24.48	19.58	7.43	5.51	2.39	0.50	3.47	富士17年製-不点品/力点A、力点Z
123	工業水産用	23.86	19.61	7.30	5.69	2.03	0.58	3.52	富士17年製-不点品/正点A、正点B、他一種正点
124	工業水産用	24.42	19.71	7.80	5.38	2.02	0.54	2.90	富士17年製-不点品正点Z点Z
125	工業水産用	23.71	19.78	7.80	5.61	2.40	0.60	3.48	富士17年製-不点品正点Z点Z
126	工業水産用	24.30	19.69	7.20	5.62	2.18	0.65	3.08	富士17年製-不点品正点Z点Z(規格、正点以外正点)
127	工業水産用	24.18	20.07	7.20	5.30	2.17	0.58	2.86	富士17年製-不点品正点Z点Z
128	工業水産用	24.30	19.98	7.12	5.24	2.49	0.60	4.23	富士17年製-不点品正点Z点Z
129	工業水産用	24.29	19.18	6.91	5.60	2.02	0.62	2.84	富士17年製-不点品正点Z点Z
130	工業水産用	24.36	20.07	7.81	6.08	2.20	0.55	2.86	昭和17年製-正点品(規格以外正点)
131	工業水産用	24.51	19.69	7.77	6.08	2.51	0.61	3.24	昭和17年製-正点品(規格以外正点)
132	工業水産用	24.37	19.73	7.21	5.86	1.82	0.38	2.49	昭和17年製-1点品正点品(規格)
133	工業水産用	25.11	19.74	7.73	6.38	2.13	0.52	3.62	昭和17年製-4点品Z点Z(規格)
134	工業水産用	24.20	19.30	7.19	5.64	2.70	0.72	3.80	昭和17年製、不点品正点Z点Z
135	工業水産用	25.24	19.24	7.79	5.97	2.58	0.74	3.70	昭和17年製、不点品正点Z点Z
136	工業水産用	24.28	19.68	6.88	5.56	2.41	0.58	3.08	昭和17年製、不点品正点Z点Z
137	工業水産用	24.35	19.68	6.82	5.38	2.52	0.68	3.54	昭和17年製、不点品正点Z点Z
138	工業水産用	24.29	19.58	7.26	5.71	2.19	0.60	2.87	昭和17年製、不点品正点Z点Z
139	工業水産用	24.14	19.67	7.86	5.58	2.01	0.49	2.74	昭和17年製、不点品正点Z点Z
140	工業水産用	24.88	19.84	7.24	5.34	2.29	0.71	3.28	昭和17年製、不点品正点Z点Z
141	工業水産用	24.35	19.63	6.88	5.48	2.12	0.71	2.79	昭和17年製、不点品正点Z点Z
142	工業水産用	23.87	18.32	7.07	5.27	2.30	0.66	3.24	昭和17年製、不点品正点Z点Z
143	工業水産用	24.19	19.58	6.82	5.41	2.49	0.94	2.28	昭和17年製、不点品正点Z点Z
144	工業水産用	24.44	19.33	6.83	5.72	1.80	0.47	4.30	昭和17年製、不点品正点Z点Z
145	工業水産用	23.81	19.43	7.86	5.38	2.12	1.00	4.08	昭和17年製、不点品正点Z点Z
146	工業水産用	25.20	19.99	7.17	5.67	2.49	0.51	3.48	富士17年製-正点Z点Z、Z点Z
147	工業水産用	25.28	20.28	7.28	5.98	2.62	0.51	3.68	富士17年製-正点Z点Z、Z点Z
148	工業水産用	25.31	19.80	7.14	5.80	2.62	0.68	3.74	富士17年製-正点Z点Z、Z点Z
149	工業水産用	25.21	20.24	7.84	5.71	2.61	0.60	3.78	富士17年製-正点Z点Z、Z点Z
150	工業水産用	25.29	20.44	7.41	5.96	2.86	0.49	3.59	富士17年製-正点Z点Z、Z点Z
151	工業水産用	25.48	20.18	7.73	6.02	2.22	0.55	3.38	富士17年製-正点Z点Z、Z点Z
152	工業水産用	25.01	18.81	6.81	5.68	2.22	0.78	2.71	昭和17年製-正点品
153	工業水産用	25.71	18.80	7.24	6.05	2.16	0.67	2.75	Z点Z年製-正点品規格
154	工業水産用	25.20	18.80	6.91	6.20	2.09	0.72	1.80	Z点Z年製-他種正点、正点
155	工業水産用	22.93	18.90	6.84	6.27	2.38	0.76	2.82	Z点Z年製-他種正点、正点
156	工業水産用	22.59	18.71	7.82	5.19	2.14	0.78	2.43	Z点Z年製-他種正点、正点
157	工業水産用	24.88	19.63	6.80	6.62	2.00	0.60	2.41	Z点Z年製-他種正点、正点
158	工業水産用	22.20	18.45	6.80	6.27	2.31	0.45	2.12	Z点Z年製-他種正点、正点
159	工業水産用	22.87	18.48	7.82	5.94	2.29	0.70	2.98	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
160	工業水産用	24.12	19.02	7.82	6.19	2.29	0.73	2.68	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
161	工業水産用	24.42	18.32	7.49	6.19	2.70	0.20	3.80	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
162	工業水産用	24.43	19.08	7.42	5.81	2.37	0.60	2.82	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
163	工業水産用	24.44	18.28	7.42	6.02	2.31	0.68	3.14	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
164	工業水産用	24.18	18.34	7.42	6.08	2.34	0.78	3.25	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
165	工業水産用	25.23	19.88	7.86	5.77	2.70	0.72	2.84	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
166	工業水産用	25.18	18.68	7.80	6.28	1.84	0.44	1.81	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
167	工業水産用	22.21	19.09	7.31	5.79	2.13	0.67	3.67	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
168	工業水産用	25.41	19.28	7.28	5.49	2.44	0.69	4.04	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
169	工業水産用	25.36	19.85	7.87	6.68	2.29	0.51	3.43	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
170	工業水産用	24.42	19.12	7.37	6.17	2.46	0.78	3.42	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
171	工業水産用	25.91	20.31	7.32	6.03	2.39	0.70	3.86	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
172	工業水産用	24.63	19.38	7.38	5.84	2.15	0.45	2.78	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
173	工業水産用	25.25	19.29	7.29	5.82	2.40	0.58	3.42	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
174	工業水産用	25.28	18.65	7.21	6.28	2.02	0.84	2.23	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
175	工業水産用	23.07	18.67	6.29	7.01	1.92	0.47	2.18	Z点Z年製-他種規格
176	工業水産用	22.84	17.44	6.19	6.28	2.21	0.75	1.84	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
177	工業水産用	23.90	19.88	6.48	7.18	1.82	0.57	1.82	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
178	工業水産用	22.82	18.44	6.28	6.28	2.33	0.70	2.78	Z点Z年製-他種規格
179	工業水産用	22.95	17.78	6.83	6.98	2.26	0.77	2.62	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
180	工業水産用	22.15	17.51	7.21	5.88	2.15	0.72	2.40	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
181	工業水産用	22.36	17.18	6.19	6.38	2.12	0.67	2.51	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
182	工業水産用	23.29	20.05	7.14	5.33	2.33	0.87	2.90	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
183	工業水産用	22.32	20.80	8.42	6.37	2.23	0.62	3.98	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
184	工業水産用	23.83	19.82	8.71	6.51	2.81	0.89	1.89	他一種1/16
185	工業水産用	24.42	19.65	8.42	5.98	2.27	0.67	2.44	昭和17年製-正点規格(Z点Z)
186	工業水産用	21.84	17.81	6.28	6.24	2.99	1.14	2.53	Z点Z年製-正点規格(Z点Z)
187	Z点Z	21.54	0.00	0.00	3.96	1.58	0.00	1.88	Z点Z
188	Z点Z	18.33	0.00	0.00	4.48	1.22	0.00	0.98	Z点Z
189	Z点Z	16.82	0.00	0.00	8.17	6.76	0.00	0.20	Z点Z
190	工業水産用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.78	Z点Z
191	工業水産用	20.05	19.71	5.49	7.11	3.23	1.01	1.71	Z点Z
192	工業水産用	23.50	19.62	8.20	6.82	1.78	0.47	2.28	Z点Z
193	工業水産用	23.06	18.53	7.19	5.56	2.88	0.73	2.41	Z点Z
194	工業水産用	17.95	15.22	7.25	5.77	1.12	0.43	0.52	Z点Z
195	工業水産用	11.06	0.00	0.00	8.84	8.78	0.20	1.89	Z点Z
196	工業水産用	25.45	20.63	6.78	5.13	2.75	0.73	3.72	Z点Z

表V-3-12 鉄製品接合

品名	検出地点名	層位名	遺物№	取上げ日付	点数
刀剣					
1	M3	II	42	2010/10/9	1
2	M4	III	37	2010/9/28	1
3	M3	II	47	2010/10/9	1
4	遺	3	97	2010/10/25	1
5	遺	5	98	2010/10/25	1
6	M2	III	41	2010/11/18	1
7	遺	6	113	2010/10/28	1
8	伊1	式部306	2	2010/10/9	1
9	L3	遺	26	2010/10/15	1
10	丹戸2	徳和製刀	3	2010/10/9	1
11	遺	7	107	2010/10/25	1
12	遺	7	108	2010/10/25	1
13	M3	II	52	2010/10/18	1
鏡					
14	M3	III	9	2010/9/24	1
15	N3	III	3	2010/10/26	1
16	M4	I	7	2010/9/16	1
17	M4	I	5	2010/9/9	3
18	伊1	—	1	2010/11/25	1
19	L2	I	5	2010/9/9	1
20	M3	I	2	2010/9/25	2
21	遺	高野朝利	6	2010/10/19	1
22	M3	II	4	2010/9/2	1
23	遺	高野朝利	2	2010/10/19	1
24	L2	II	4	2010/9/23	2
25	遺	—	1	2010/9/18	1
26	L2	II	9	2010/9/29	1
27	遺	6	174	2010/10/28/2	2
28	遺	6	10	2010/10/9	1
29	M3	III	8	2010/9/24	1
30	M3	II	6	2010/9/18	1
31	遺	—	1	2010/10/14	1
32	遺	6	52	2010/10/12	1
33	遺	5	30	2010/10/1	1
鍔					
34	M3	II	43	2010/10/9	1
35	M3	II	22	2010/9/13	1
36	N2	—	7	2010/11/18	1
37	L4	I	9	2010/9/21	1
38	L3	II	49	2010/9/28	1
工具					
39	丹戸2	徳和製刀	4	2010/10/9	1
40	N2	I	1	2010/9/23	1
41	L1	II	11	2010/10/5	1
42	M1	III	3	2010/11/22	1
43	遺	6	72	2010/10/13	1
44	遺	6	110	2010/10/27	1
45	M2	III	37	2010/11/10	1
46	M3	II	11	2010/9/3	1
47	遺	—	2	2010/9/22	1
48	木舟1	榑士	2	2010/9/12	1
49	M4	I	15	2010/9/13	1
50	木舟1	榑士	1	2010/9/13	1
51	L3	I	21	2010/9/22	1
52	遺	5	36	2010/10/5	1
53	遺	6	44	2010/9/16	1
54	遺	6	47	2010/10/9	1
55	遺	6	48	2010/10/9	1
56	L2	I	6	2010/9/26	1
その他					
57	L2	II	39	2010/9/28	1
58	L3	I	17	2010/9/21	1
59	N4	I	2	2010/9/23	1
60	L1	II	18	2010/10/5	1
61	丹戸2	徳和製刀	4	2010/10/9	1
62	丹戸1	徳和製刀	4	2010/9/26	1
63	遺	5	33	2010/10/1	1
文に慣わし道具					
64	L2	II	58	2010/10/12	1
65	L3	I	4	2010/9/26	1
66	L3	I	14	2010/9/16	1
67	M3	I	43	2010/9/21	1
68	遺	5	39	2010/10/5	2
69	M4	II	24	2010/9/14	1
70	L2	I	3	2010/9/26	1
71	遺	6	112	2010/10/28	1
鍔					
72	遺	6	53	2010/10/12	1
73	L3	I	2	2010/9/25	1
74	遺	3	102	2010/10/28	1
75	M3	I	24	2010/9/16	1
76	L3	II	30	2010/9/9	1
品名					
77	遺	3	56	2010/10/14	1
78	L2	I	12	2010/9/26	1
79	遺	1	7	2010/9/12	1
80	遺	5	32	2010/10/1	1
81	L4	I	30	2010/9/9	1
鏡					
142	M2	III	23	2010/9/29	1
143	M4	III	20	2010/9/13	1
144	遺	榑士	1	2010/9/29	1
145	L2	I	10	2010/9/28	1
146	L2	伊朝1	32	2010/9/15	1
147	M3	伊	55	2010/10/13	1
148	M4	I	9	2010/9/28	1
149	M2	I	6	2010/9/12	1
150	L3	I	3	2010/9/21	1
151	L2	遺	42	2010/10/12	1
152	M4	I	9	2010/9/28	1
153	M3	III	35	2010/9/24	1
154	遺	3	85	2010/10/25	1
155	M2	III	10	2010/9/9	1
鍔					
82	L2	III	96	2010/10/13	1
83	遺	伊朝1	1	2010/9/2	1
84	木舟1	榑士	3	2010/9/13	1
85	木舟1	榑士	2	2010/9/13	1
86	伊1	式部306	3	2010/10/9	1
87	遺	榑士2	10	2010/9/23	1
88	木舟1	榑士	7	2010/10/7	2
89	M3	III	38	2010/10/18	1
90	遺	2	10	2010/9/23	1
91	遺	1	17	2010/11/17	1
92	遺	2	10	2010/9/23	1
93	遺	6	108	2010/10/27	2
94	L2	III	74	2010/11/26	1
95	遺	2	10	2010/9/23	1
96	K2	I	3	2010/9/24	1
97	M4	I	43	2010/9/27	1
98	L5	I	19	2010/9/22	1
99	L4	I	14	2010/9/9	1
100	遺	6	41	2010/10/5	1
101	遺	伊朝1	2	2010/9/9	1
102	遺	6	41	2010/10/15	1
103	遺	2	93	2010/10/23	1
104	遺	3	40	2010/10/14	1
105	遺	徳和朝利	30	2010/10/12	1
106	遺	4	27	2010/9/28	1
107	遺	3	46	2010/10/12	1
108	L2	I	35	2010/9/28	1
109	M3	III	33	2010/9/24	1
110	L2	III	69	2010/10/28	1
111	L2	I	15	2010/9/1	1
112	L2	I	10	2010/9/1	1
113	遺	徳和	22	2010/9/24	1
114	遺	5	99	2010/10/23	1
115	遺	5	30	2010/10/1	1
116	M3	III	36	2010/9/27	1
117	遺	5	101	2010/10/23	1
118	遺	2	122	2010/11/16	1
119	遺	3	94	2010/10/13	1
120	遺	榑士1	10	2010/10/28	1
121	M2	III	14	2010/9/27	1
122	L3	I	27	2010/9/7	1
123	遺	2	19	2010/9/24	1
124	遺	2	22	2010/9/24	1
125	M2	III	18	2010/9/28	1
126	遺	4	27	2010/9/28	1
127	遺	5	103	2010/10/28	1
128	遺	1	14	2010/10/28	4
129	M3	III	2	2010/9/26	1
130	遺	2	10	2010/9/23	1
131	遺	4	27	2010/9/28	1
132	遺	4	27	2010/9/28	1
133	遺	5	30	2010/10/1	1
134	L2	I	5	2010/9/27	1
135	遺	5	36	2010/10/5	1
136	I-IC2	榑士	1	2010/9/24	1
137	L3	I	12	2010/9/9	1
138	N4	III	19	2010/9/13	1
139	M3	I	32	2010/9/23	1
140	L2	I	2	2010/9/25	1
141	遺	I-榑朝利	73	2010/10/18	1

表V-3-13 非鉄製品接合

品%	輸出 地点名	届位名	進 数 No.	取り上げ 日付	点 数
刀器具					
1	L.2	I	20	2010/9/1	1
2	L.2	I	6	2010/9/28	1
3	縦2	6	41	2010/10/14	5
4	縦2	3	26	2010/10/14	1
5	L.2	I	5	2010/9/1	1
6	M2	II	4	2010/9/28	1
7	L.2	II	14	2010/10/28	3
8	L.2	II	4	2010/10/9	3
9	M2	I	10	2010/9/1	1
10	縦2	6	32	2010/9/12	1
11	M2	II	4	2010/9/14	1
12	L.2	II	8	2010/9/26	3
13	縦2	6	23	2010/11/4	1
14	縦2	6	31	2010/10/9	3
15	L.2	II	7	2010/9/15	3
16	縦2	4	35	2010/9/26	1
17	M2	II	7	2010/10/7	1
18	L.2	II	16	2010/12/2	3
器具具					
19	縦1	縦上	1	2010/12/2	3
20	M2	II	34	2010/9/13	1
21	M2	I	5	2010/10/12	1
22	L.2	I	18	2010/9/1	1
23	ボリP	1.黒	2	2010/9/14	1
24	L.2	I	18	2010/9/31	3
25	L.2	I	10	2010/9/26	1
26	M4	I	9	2010/9/19	1
27	縦2	6	33	2010/10/14	1
28	縦2	1	29	2010/9/22	1
その他					
29	L.2	I	1	2010/9/17	1
30	L.2	I	6	2010/9/22	1
31	M2	II	5	2010/9/29	1
32	L.1	I	3	2010/9/9	1
33	縦4	縦上	1	2010/11/4	1
34	縦2	下の黒上	28	2010/9/7	1
35	縦4	縦上	1	2010/9/18	1
36	L.2	II	11	2010/10/26	1
37	L.2	II	13	2010/10/15	1
38	縦1	トランプ	3	2010/9/9	1
39	縦1	3	3	2010/11/4	3
40	L.2	II	6	2010/10/5	3
41	M2	I	3	2010/9/9	1
42	M2	I	1	2010/9/23	1
43	縦1	I	1	2010/9/22	1
44	縦1	2	18	2010/10/20	3
45	M2	I	2	2010/9/31	3
46	縦1	1	12	2010/11/9	1
47	L.2	I	12	2010/9/5	1
48	L.2	I	2	2010/9/25	1
49	ボリP	縦上	1	2010/10/6	3
50	縦1	縦上	1	2010/9/10	3
51	縦4	縦上	2	2010/9/31	3
52	M4	II	6	2010/9/23	1
53	ボリP	縦上	1	2010/10/6	3
54	L.1	II	8	2010/10/9	3
55	M5	II	5	2010/10/9	3
56	M2	I	6	2010/9/9	3
57	M2	II	8	2010/9/18	3
58	L.2	I	12	2010/9/7	1
59	L.2	I	17	2010/9/31	1
60	縦4	縦上	11	2010/9/1	1
61	縦2	縦上	2	2010/10/27	1
62	M2	IV	9	2010/10/13	1
器具					
63	L.1	I	2	2010/9/9	1
64	縦2	3	14	2010/10/25	1
65	縦2	7	12	2010/10/22	1
66	縦2	1	40	2010/10/20	1
67	L.2	I	28	2010/9/1	1
68	L.2	I	1	2010/9/1	1
69	L.4	I	3	2010/9/27	1
70	M6	I	1	2010/9/9	1
71	縦1	縦上	20	2010/10/29	1
72	M2	I	9	2010/9/26	1
その他					
73	K1	II	1	2010/11/18	1
74	ボリP	黒心め	34	2010/10/15	1
75	縦2	6	23	2010/11/12	1
76	ボリ	光沢面	14	2010/10/6	1
77	M2	II	17	2010/10/14	1
78	M2	II	6	2010/10/14	1
79	M2	II	18	2010/10/12	1
80	縦2	6	21	2011/11/19	1
81	ボリ	7	2	2010/11/22	1
82	縦2	トランプ	1	2010/9/3	1
83	縦2	縦4	24	2011/11/19	1
84	L.2	II	18	2010/10/13	1
85	L.2	I	22	2010/9/23	1
86	M2	I	9	2010/9/25	1
87	縦2	1	44	2010/9/24	1
88	M4	I	144	2010/9/16	1
89	M4	II	13	2010/9/16	1
90	M2	II	1	2010/9/22	1
91	L.2	I	6	2010/10/22	1
92	縦2	5	147	2010/10/28	1
93	縦2	6	156	2010/10/27	1
94	L.2	II	126	2010/9/26	1
95	縦2	6	7	2010/9/9	1
96	縦2	6	84	2010/10/12	1
97	縦2	6	17	2010/10/27	1
98	縦4	縦上	2	2010/11/19	1
99	縦4	縦上	14	2010/9/10	1
100	L.2	II	1	2010/9/27	1
101	L.2	I	1	2010/9/10	1
102	縦2	4	28	2010/9/30	1
103	M2	I	27	2010/9/31	1
104	縦4	縦上	14	2010/9/10	1
105	L.2	I	1	2010/9/17	1
106	縦2	6	18	2010/10/14	1
107	縦2	5	142	2010/10/25	1
108	縦1	I	11	2010/9/22	1
109	L.2	II	9	2010/9/27	1
110	M4	II	9	2010/9/22	1
111	M4	I	148	2010/10/1	1
112	ボリP	縦上	2	2010/10/13	1
113	縦2	6	19	2010/11/8	1
器具					
114	縦2	3	131	2010/10/16	1
115	L.2	I	84	2010/9/31	1
116	L.2	II	174	2010/10/28	1
117	L.2	II	44	2010/10/9	1
118	縦2	トランプ	24	2010/9/9	1
119	縦2	トランプ	24	2010/9/9	1
120	縦1	1	114	2010/10/5	1
121	L.2	II	67	2010/9/21	1
122	縦2	3	124	2010/11/8	1
123	縦2	3	124	2010/11/8	1
124	縦2	5	48	2010/10/1	1
125	縦2	5	127	2010/10/16	1
126	L.2	II	146	2010/9/29	1
127	縦2	3	174	2010/10/14	1
128	縦2	3	124	2010/11/8	1
129	NO	I	2	2010/10/10	1
130	ボリP	II	14	2010/11/24	1
131	M2	IV	2	2010/11/18	1
132	L.2	II	184	2010/9/29	1
133	M4	II	84	2010/10/20	1
134	M4	II	3	2010/10/16	1
135	縦2	5	124	2010/10/16	1
136	L.2	I	254	2010/10/13	1
137	M2	II	3	2010/9/14	1
138	L.2	II	224	2010/10/13	1
139	縦2	5	124	2010/10/16	1
140	L.2	I	31	2010/9/26	1
141	L.2	I	24	2010/9/25	1
142	縦2	3	124	2010/11/8	1
143	L.2	II	44	2010/10/5	1
144	L.2	I	314	2010/11/28	1
145	L.2	I	334	2010/10/13	1
146	M2	II	124	2010/11/8	1
147	L.2	I	34	2010/9/26	1
148	縦2	5	84	2010/10/1	1
149	M4	II	4	2010/9/9	1
150	縦2	トランプ	24	2010/9/9	1
151	L.2	I	31	2010/9/25	1
152	L.2	I	24	2010/9/25	1
153	M2	II	84	2010/9/29	1
154	L.2	II	44	2010/10/13	1
155	L.2	I	147	2010/9/26	1
156	L.2	I	184	2010/9/1	1
157	縦2	5	234	2010/10/28	1
158	縦2	5	154	2010/10/13	1
159	ボリP	縦上	11	2010/9/13	1
160	L.2	I	74	2010/9/16	1
161	L.2	II	174	2010/9/30	1
162	M2	II	124	2010/11/8	1
163	L.2	I	34	2010/9/1	1
164	縦2	4	114	2010/10/10	1
165	縦2	4	114	2010/10/10	1
166	ボリP	縦上	14	2010/9/13	1
167	L.2	II	44	2010/10/10	1
168	縦2	5	84	2010/10/1	1
169	M2	I	6	2010/10/14	1
170	L.2	I	34	2010/9/25	1
171	M2	II	7	2010/9/24	1
172	縦2	縦4	24	2010/10/13	1
173	L.2	I	84	2010/9/21	1
174	L.2	I	34	2010/9/1	1
175	K3	縦上	14	2010/10/28	1
176	L.2	I	31	2010/9/25	1
177	M2	I	1	2010/9/9	1
178	縦1	縦上	14	2010/9/9	1
179	K3	縦上	13	2010/10/28	1
180	L.2	I	24	2010/9/25	1
181	L.2	I	34	2010/9/26	1
182	縦2	2	44	2010/9/23	1
183	L.2	I	3	2010/9/1	1
184	L.2	I	21	2010/9/23	1
185	M2	I	44	2010/9/9	1
186	ボリP	縦上	3	2010/10/13	1
187	L.2	I	1	2010/9/26	1
188	M2	II	11	2010/10/15	1
189	L.2	II	34	2010/10/28	1
190	L.2	II	114	2010/10/5	1
191	L.2	I	4	2010/9/26	1
192	M2	IV	9	2010/10/14	1
193	L.2	II	114	2010/10/5	1
194	M2	IV	12	2010/10/13	1
195	L.2	II	21	2010/10/13	1
196	L.2	II	204	2010/10/28	1

表V-4-1 骨角製品観察

国%	種別	産物(ton, g)			加工の名称	原料	産地・産種	備考
		長さ	幅	重量				
1	中柄	200	8	4.7	黒角丸	シラ-中骨		
2	中柄	132	16	7.3		シラ-中骨		
3	中柄	132	8	3.8		シラ-中骨		
4	中柄	123	8	4.3		シラ-中骨		
5	中柄	135	9	5.3		シラ-中骨		
6	中柄	111	8	7.3		シラ-角	黒角丸、黒角加工	
7	細骨丸	122	11	8.3		7-細骨丸		
8	細	13	23	18.3				
9	細	21	20	13	2.1丸丸	シラ-中骨	細角に穿入アウソウ	
10	細	20	20	20	10.2	シラ-中骨	細角に穿入	
11	細	100	10	3.1	黒角丸			
12	細	122	10	4.3	黒角丸、黒角丸、黒角丸			
13	細	111	8	3.8				
14	三端細骨丸	100	8	6.6	三の角細骨丸	骨	黒角丸、黒角加工	
15	中骨丸	100	14	9.7		中骨丸	黒角丸	

表V-5-1 石器・石製品観察

国%	種別	産物(ton, g)			加工の名称	原料	産地	石種	色	産地・産種	使用用途	備考
		長さ	幅	重量								
1	三つ爪アゴ	86	80	18	丸		チャーム	黒角丸			黒角丸、黒角加工	
2	三つ爪アゴ	86	77	15	丸		チャーム	黒角丸			黒角丸	
3	細石	402	28	18	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
4	細石	112	70	60	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
5	細石	200	45	20	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
6	細石	113	60	40	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
7	細石	130	60	30	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
8	細石	170	60	18	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
9	細石	100	60	15	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
10	細石	180	54	21	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
11	細石	80	40	18	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
12	細石	—	—	—	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
13	細	602	32	29	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
14	細	1300	72	21	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
15	細	1300	60	40	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
16	細	1000	48	15	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
17	細	130	70	27	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
18	細	1000	60	20	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
19	丸打石	26	21	8.7			丸	丸	丸	丸	丸	
20	丸打石	25	20	11	8.7		丸	丸	丸	丸	丸	
21	丸打石	26	42	18.8			丸	丸	丸	丸	丸	
22	丸打石	25	24	14.9			丸	丸	丸	丸	丸	
23	中骨	100	100	78	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
24	中骨	130	147	66	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
25	厚板丸打石	130	130	68	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	
26	中骨丸	11	8	7.9			丸	丸	丸	丸	丸	
27	厚板丸	31	18	14.3			丸	丸	丸	丸	丸	
28	厚板丸	36	34	23.3			丸	丸	丸	丸	丸	
29	丸打石	600	443	227	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	

表V-4-2 骨角製品接合

国%	備考	検出地点名	層位名	遺物No.	取り上げ日付	点検接合	点検備考
骨製品							
1	中骨製品-中柄	L2	B	3	2018/9/29	1	
2	中骨製品-中柄	黒2	B	5	2018/10/3	1	
3	中骨製品-中柄	黒2	B	3	2018/10/3	1	
4	中骨製品-中柄	N2	B	1	2018/10/28	1	
5	中骨製品-中柄	N2	B	2	2018/10/28	1	
6	中骨製品-中柄	L2	B	20	2018/11/30	1	
7	中骨製品-細骨丸	L2	B	2	2018/9/29	1	
刀製品							
8	中骨製品-細	L2	B	1	2018/9/29	1	
9	中骨製品-細	黒2	B	4	2018/10/3	1	
10	中骨製品-細	L2	B	4	2018/10/28	1	
石製品							
11	中骨製品-骨	黒2	B	2	2018/10/3	1	
12	中骨製品-骨	N2	B	1	2018/10/27	1	
13	中骨製品-骨	N2	B	4	2018/10/8	1	
14	骨製品(丸)・細骨丸	N2	B	3	2018/10/26	1	
その他							
15	中骨製品-中骨丸	丸	B	1	2018/9/23	1	

表V-5-2 石器・石製品接合

国%	検出地点名	層位名	遺物No.	取り上げ日付	点検接合	点検備考
骨製品						
1	M	黒	1	2018/12/9	1	
2	L2	黒	1	2018/10/30	1	
石製品						
3	M	黒	1	2018/10/27	1	
4	黒	丸	1	2018/10/28	1	
5	M	黒	1	2018/10/28	1	
6	L2	黒	2	2018/10/28	1	
7	M	黒	1	2018/10/28	1	
8	M	黒	4	2018/10/2	1	
9	M	黒	1	2018/10/15	1	
10	M	黒	1	2018/10/15	1	
11	M	黒	1	2018/10/15	1	
12	黒	丸	1	2018/10/15	1	
13	M	黒	1	2018/10/15	1	
14	M	黒	1	2018/10/2	1	
15	L2	黒	2	2018/10/29	1	
16	M	黒	1	2018/10/2	1	
17	M	黒	8	2018/11/29	1	
18	M	黒	10	2018/9/29	1	
骨製品						
19	丸	丸	1	2018/10/28	1	
刀製品						
19	丸	丸	10	2018/10/28	1	
20	丸	丸	2	2018/10/28	1	
21	丸	丸	1	2018/10/28	1	
22	丸	丸	5	2018/11/28	1	
その他						
23	L2	丸	10	2018/10/15	1	
24	丸	丸	1	2018/10/15	1	
25	丸	丸	1	2018/10/15	1	
骨製品						
26	N2	丸	3	2018/10/28	1	
27	L2	丸	8	2018/10/15	1	
石製品						
28	M	丸	10	2018/10/15	1	
29	M	丸	10	2018/10/15	1	
その他						
30	M	丸	1	2018/11/29	1	
31	M	丸	1	2018/11/29	1	
32	M	丸	1	2018/11/29	1	
33	M	丸	1	2018/11/29	1	
34	M	丸	1	2018/11/29	1	
35	M	丸	1	2018/11/29	1	
36	M	丸	1	2018/11/29	1	
37	M	丸	10	2018/9/29	1	

表V-6-1 木製品観察(1)

図 番号	資料 番号	造形 ブツID	部位	取上り 日付	名称	材 種	本取り	造り	新種	耐久	長 寸	幅	厚	備考
1	S1	籠1	6層	10/19	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	46.3	17.0			花太鼓
2	S2	土壇2	覆土	9/23	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	16.5	6.1	6.9		【金】 /図は口縁部反転側
3	S3	覆4	覆土	11/19	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	11.0	6.0	6.0		
4	S4	片F5	覆土	12/2	漆塗板	硬木	ケヤキ	1/3	12.0	6.6	6.6			田
5	S5	縁中F7	覆土	10/26	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	12.0	6.23	6.2			【竹】
6	S6	縁中F8	覆土	10/29	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	12.6	5.9	6.0			縁裏 /図は裏合のみ反転側
7	S7	K9	1層	6/30	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	6.4	3.0			図は裏合のみ反転側
8	S16	L2	原箱	11/20	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	4.0	3.7			膝口 /図は口縁部反転側
9	S18	L3	原箱	10/13	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	3.0	3.23			太刀 /図は反転側
10	S19	L3	原箱	10/13	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	3.0	3.0			縁裏 /図は反転側
11	S20	籠2	南砂利層	10/22	漆塗板	硬木	ケヤキ	1/3	9.0	5.0	6.8			図は反転側
12	S21	K3	原箱	10/13	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	3.3	3.3	3.3			「一」 /図は反転側
13	S22	箱	1層	8/31	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	-	3.13			図は反転側
14	S23	覆1	覆土	10/21	漆塗板	硬木	ケヤキ	1/3	10.0	5.8	3.1			縁口 /図は縁部反転側
15	S24	覆1	覆土	10/21	漆塗板	硬木	トチノキ	1/3	10.0	-	4.0			竹文 /図は口縁部反転側
16	S25	K3	原箱	10/20	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	-	3.0			原箱、縁文、縁反 /図は反転側
17	S27	箱	1層	8/23	漆塗板	硬木	トチノキ	1/3	-	4.0	3.7			竹文、縁文 /図は反転側
18	S28	片F3	覆土	10/15	漆塗板	硬木	トチノキ	1/3	13.0	8.1	4.0			図は反転側
19	S29	籠2	6層	10/12	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	10.0	-	2.0			約子に転用 /図は反転側
20	S30	L1	原箱	10.6	漆塗板	硬木	ケヤキ	1/3	13.0	-	2.0			膝口 /図は反転側
21	S31	籠2	6層	10/12	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	10.2	-	2.5			蓋 /図は反転側
22	S32	L3	砂利層	10.6	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	3.23	4.0			竹文 /図は反転側
23	S33	片F2	覆土	9/22	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	-	6.0	4.7			約子に転用
24	S34	K3	原箱	10/28	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	13.0	-	6.5			図は反転側
25	S35	縁5	覆土	10/28	漆塗板	硬木	ブナ属	1/3	12.4	6.0	6.7			縁口 /図は反転側
26	S4	L2	原箱	9/28	漆塗板八角蓋	硬木	ヒノキ科	1/3	17.9	16.7	1.3			
27	S3	籠1	覆土	10/19	漆塗板八角蓋	硬木	ヒノキ科	1/3	25.9	13.0	6.0			縁口
28	S14	土壇2	覆土	9/24	漆塗板	硬木	ヒノキ科	1/3	24.0	3.3	1.0			
29	S10	覆1	覆土	10/19	漆塗板	分製	タケ藁材	1/3	25.2	6.7	6.4			
30	S17	土壇2	覆土	9/24	漆塗板	分製	タケ藁材	1/3	15.7	5.8	6.7			
31	S28	K2	1層	8/25	漆塗板	分製	タケ藁材	1/3	18.5	5.9	6.5			金箔付
32	S11	覆1	覆土	10/19	漆塗板	分製	タケ藁材	1/3	25.0	6.0	6.5			
33	S37	覆1	覆土	10/26	漆塗板約子	硬木	ハンノキ属	1/3	13.23	6.23	1.9			
34	S15	L2	原箱	9/27	漆塗板	硬木	ツバキ属	1/3	15.30	3.13	1.0			縁文
35	S36	L2	原箱	11/26	漆塗板	硬木	イヌノキ	1/3	16.4	3.7	6.8			
36	S26	覆1	覆土	10/21	漆塗板材	硬木	タケ藁材	1/3	17.0	6.6	6.4			
37	S12	L2	1層	9/9	漆塗板材	硬木	ヤニ属	1/3	62.7	1.9	1.7			
38	S13	縁3	覆土	9/15	漆塗板印下駄台	硬木	サワグルミ	1/3	20.7	12.8	9.5			
		縁3	覆土	9/15	漆塗板印下駄蓋	硬木	ケヤキ	1/3						
39	S39	籠4	覆土	10/14	漆塗板八角蓋	硬木	ヒノキ科	1/3	66.23	6.5	6.5			裏面
40	S14	土壇2	覆土	9/21	漆塗板	硬木	マツ属	1/3	17.0	5.0	5.5			縁口
41	S24	L2	原箱	11/11	漆塗板材	硬木	マツ属	1/3	16.0	13.23	3.0			縁口
42	6441	箱	1層	9/9	漆塗板材	硬木	ハナギ	1/3	37.0	3.0	3.0			縁口
	6442													
43	1	覆4		11/17	漆塗板材	硬木	ヤニ属	1/36	256.0	32.0	10.0			柄杓、釘
44	S329	覆3	裏皮層	12/2	漆塗板	硬木	タリ	1/5	43.8	5.8	1.4			
45	S334	覆3	裏皮層	12/1	漆塗板	硬木	タリ	1/5	47.5	8.9	2.0			
46	122	覆4		11/11	漆塗板	硬木	ハナギ	1/3	61.0	13.0	2.0			
47	9	覆4		11/19	漆塗板	硬木	タリ	1/12	328.0	17.0	2.3			柄杓
48	35	L2	裏皮層	12/1	漆塗板材	硬木	アスナロ	1/12	207.0	20.2	3.0			
49	36	L2	裏皮層	12/1	漆塗板材	硬木	アスナロ	1/12	197.0	20.6	3.0			
50	45	覆2	12/2	漆塗板	硬木	タリ	1/8	45.0	6.2	7.8				
51	770	覆5		10/28	漆塗板	硬木	コナラ属	1/8	78.0	10.6	1.8			
52	S328	籠2	6層	10/8	漆塗板手	分製	コナラ属	1/3	19.5	3.7	2.0			
53	S334	縁中F9	覆土	11/19	漆塗板	分製	コナラ属	1/3	24.9	3.3	2.0			
54	S423	K3	裏皮層	11/19	漆塗板	分製	タリ	1/3	27.8	3.9	2.0			
55	1	覆1		10/20	漆塗板	硬木	ヤニ属	1/36	310.0	20.0	11.0			
56	5	覆1		10/20	漆塗板	硬木	マツ属	1/36	247.0	23.0	11.0			蓋
57	10	木枠1		9/16	漆塗板	硬木	アスナロ	1/36	297.0	19.5	10.5			
58	73	覆1		11/2	漆塗板	硬木	ヤニ属	1/12	145.0	12.5	6.5			柄杓、釘
59	469	L2	1層	8/30	漆塗板	硬木	ヒノキ科	1/12	117.0	16.0	1.6			
60	364	覆1		11/2	漆塗板	硬木	スギ	1/12	124.0	20.0	10.1			柄杓
61	116	覆2		10/28	漆塗板	硬木	マツ属	1/12	131.0	14.5	6.0			柄杓、釘
62	117	覆2		11/3	漆塗板	硬木	アスナロ	1/12	170.0	15.0	7.5			
63	118	覆2		10/26	漆塗板	硬木	タリ	1/12	165.0	11.0	6.4			柄杓
64	39	K2	原箱	11/22	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	172.0	17.0	17.0			
65	30	K2	原箱	11/19	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	179.0	16.0	15.0			
66	202	原箱		11/23	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	198.0	12.0	12.1			
67	195	覆4		11/18	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	117.0	11.5	12.0			
68	829	覆4		11/17	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	193.0	8.5	8.5			柄杓
69	547	覆1		10/30	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	192.0	13.0	9.0			柄杓
70	552	覆1		10/21	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	185.0	8.0	5.7			柄杓
71	554	覆1		10/21	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	183.0	6.2	5.2			柄杓
72	218	覆2		10/26	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	184.0	6.0	11.1			柄杓
73	304	覆2		11/3	漆塗板	硬木	心持ら	1/12	198.0	9.0	5.8			

表V-6-2 木製品観察(2)

品番	品名	規格	単位	取上げ 日付	名称	残 量計	木取り	種目	用途	縮尺	長 mm	幅 mm	厚 mm	備考
74	185	横		10/29	角板		心持ち	アスナロ	1/12	(131.0)	11.5	11.0		
75	41	横		10/21	角板		心持ち	アスナロ	1/12	(128.0)	12.5	12.5		
76	43	横		10/26	角板		心持ち	アスナロ	1/12	(130.0)	12.0	12.0		
77	113	横		10/21	平板		板目	アスナロ	1/12	(65.0)	11.0	6.0		納孔
78	114	横		10/26	平板		板目	アスナロ	1/12	(66.0)	6.7	12.7		納孔
79	120	横		10/29	角板		板目	アスナロ	1/12	(94.0)	7.0	6.5		納孔
80	156	横		10/26	平板		板目	アスナロ	1/12	(75.0)	5.5	8.9		納孔、釘
81	157	横		10/26	平板		板目	アスナロ	1/12	(74.0)	5.1	8.8		納孔
82	800	横		10/22	平板		板目	アスナロ	1/12	(87.0)	8.0	9.0		納孔
83	737	横		10/22	平板		板目	アスナロ	1/12	(74.0)	8.5	8.8		納孔、釘
84	131	横		10/26	平板		分類	アスナロ	1/12	(113.0)	12.3	9.0		溝
85	175	横		10/21	平板		板目	マツノ属	1/12	(85.2)	12.0	5.4		溝
86	43	横		10/26	平板		板目	○ 辛工属	1/12	(76.0)	14.0	9.0		
87	282	横		10/27	平板		板目	アスナロ	1/12	(114.0)	12.9	6.0		
88	186	横		11/19	割板		板目	アスナロ	1/12	(113.0)	11.0	5.0		納孔
89	240	横		11/3	割板		分類	辛工属	1/12	(91.0)	10.0	7.0		納孔
90	361	横		10/21	割板		心持ち	アスナロ	1/12	(96.0)	10.0	8.5		納孔
91	747	横		10/26	割板		分類	アスナロ	1/12	(92.0)	7.5	7.2		縁割
92	109	横		10/26	割板		平削	○ アスナロ	1/12	(97.0)	11.0	6.0		
93	153	横		10/21	割板		平削	アスナロ	1/12	(99.0)	10.7	5.7		
94	154	横		10/27	割板		平削	アスナロ	1/12	(100.0)	11.3	5.7		
95	173	横		10/26	割板		平削	アスナロ	1/12	(96.0)	17.5	7.0		
96	290	横		10/27	割板		平削	○ アスナロ	1/12	(101.0)	12.5	6.0		
97	174	横		10/21	割板		板目	アスナロ	1/12	(90.0)	11.0	7.5		
98	8	片戸2		9/22	片戸枠調板		心持ち	アスナロ	1/12	(174.0)	9.0	10.0		
99	25	片戸2		9/22	片戸枠調板		心持ち	アスナロ	1/12	(167.0)	10.0	8.0		
100	836	片戸2		9/22	片戸枠板		板目	アスナロ	1/16	(120.0)	41.9	5.0		
101	827	片戸2		9/22	片戸枠板		板目	アスナロ	1/16	(107.0)	36.0	5.0		
102	838	片戸2		9/22	片戸枠板		板目	アスナロ	1/16	(80.0)	37.0	5.0		
103	839	片戸2		9/22	片戸枠板		板目	アスナロ	1/16	(100.0)	42.0	5.0		
104	29	横	6割	11/4	溝		板木	カツラ	1/19	100.0	45.0	(21.0)		
105	S460	目調			動物調板	多数	板目	スギ	1/3	(15.0)	(21.0)	0.6		
106	S103	横	塵土	10/1	動物調板		板目	スギ	1/3	12.5	12.2	0.8		
107	S104	N2	動物調板	11/24	動物調板		板目	スギ	1/3	10.6	10.2	1.3		板目で縁割
108	S105	横	塵土1	10/26	動物調板		板目	スギ	1/3	7.5	7.2	0.7		
109	1241	N2	動物調板	11/22	動物調板		板目	スギ	1/3	24.2	(22.0)	1.3		
110	S168	M2	動物調板	11/22	動物調板		板目	スギ	1/3	(23.2)	(7.7)	2.2		
111	S325	横	ワケ	9/3	板の縁の縁板		板目	アスナロ	1/3	(14.3)	5.9	2.6		
112	S177	縦板中戸	塵土	10/19	縁板手		板目	スギ	1/3	24.0	4.0	1.7		
113	S178	横	6割	10/19	縁板手		板目	辛工属	1/3	24.1	5.6	1.3		
114	425	M2	1割	9/10	縁板手		板目	アスナロ	1/6	(71.0)	12.9	1.8		
115	38	横	1割	9/10	縁板調板		板目・板目	スギ	1/6	41.0	42.4	3.5		
116	S231	横	塵土2	10/19	縁板		分類	スギ	1/3	13.3	3.7	3.7		
117	6291	L4	草席	9/17	縁板		分類	スギ	1/3	8.1	4.4	3.3		
118	1512	土祝2	塵土1	9/23	縁板		分類	スギ	1/3	9.7	3.0	2.8		
119	S456	M2	草席	11/17	縁板		分類	スギ	1/3	8.1	3.4	2.6		
120	S390	K2	草席	10/26	縁板		分類	スギ	1/3	7.3	4.2	4.1		
121	S379	M3	1割	9/9	縁板		分類	スギ	1/3	6.7	3.7	3.3		
122	1603	土祝2	塵土1	9/23	縁板		分類	スギ	1/3	8.2	4.0	4.0		
123	S232	M1	草席	11/12	縁板		分類	スギ	1/3	5.4	3.2	3.2		
124	S405	M3	草席	10/26	縁板		分類	スギ	1/3	4.0	3.8	3.8		
125	S349	M1	1割	9/8	縁板		分類	スギ	1/3	3.3	3.3	3.3		
126	S209	N2	草席	11/24	縁板材		板目	アスナロ	1/3	31.0	4.1	0.9		
127	S214	L2	草席	11/23	動物調板		板目	スギ	1/3	(24.0)	(24.0)	(1.7)		釘
128	431	M3	1割	9/31	動物調板		板目	アスナロ	1/6	41.2	(24.7)	1.8		釘
129	S30	N2	動物調板	11/19	浮子		板目	アスナロ	1/3	(26.1)	(6.2)	1.3		縁割
130	S31	横	動物調板	12/1	浮子		板目	アスナロ	1/3	36.4	6.6	1.0		縁割
131	S34	横	動物調板	12/1	浮子		板目	アスナロ	1/3	(27.7)	6.3	1.2		縁割
132	S39	横	動物調板	11/19	浮子		板目	アスナロ	1/3	(23.0)	7.8	1.0		縁割
133	S92	横	6割	10/26	浮子		板目	アスナロ	1/3	(27.0)	7.5	1.3		
134	S30	N1	動物調板	11/11	浮子		板目	アスナロ	1/3	(28.0)	7.4	1.7		
135	S16	N2	動物調板	11/22	浮子		板目	アスナロ	1/3	35.1	7.3	1.5		
136	S16	横	6割	10/19	浮子		板目	アスナロ	1/3	35.5	7.6	1.6		
137	S17	横	6割	11/17	浮子		板目	アスナロ	1/3	(25.9)	5.9	1.2		
138	S100	縦板中戸	動物調板	11/19	浮子		板目	スギ	1/3	(26.3)	6.4	1.35		
139	S101	N1	動物調板	11/11	浮子		板目	アスナロ	1/3	(27.0)	7.0	1.3		
140	S16	K1	動物調板	11/17	浮子		板目	スギ	1/3	(26.2)	6.7	1.3		
141	S101	M2	動物調板	11/23	浮子		板目	アスナロ	1/3	(27.0)	6.7	(1.2)		
142	S423	L2	動物調板	12/1	浮子		板目	アスナロ	1/3	(22.0)	(1.0)	1.0		
143	S102	横	動物調板	11/17	浮子		板目	アスナロ	1/3	(16.5)	(2.1)	1.2		
144	S241	L2	草席	9/7	浮子		板目	アスナロ	1/3	(21.0)	4.4	1.0		アノ
145	S168	M2	草席	11/16	浮子		板目	アスナロ	1/3	(26.7)	7.5	1.3		アノ
146	S16	L3	1割	8/25	縁板下駄		板目	スギ	1/3	23.4	(11.0)	5.3		
147	S40	M3	草席	10/26	縁板下駄		板目	モクレン属	1/3	16.7	7.0	3.2		
148	S19	横	塵土2	10/20	縁板下駄		板目	ハリギリ	1/3	(24.3)	8.7	3.6		

表V-6-3 木製品観察 (3)

品番	品名	用途	部位	取上日	名称	材	本取り	焼付	特徴	長さ	幅	厚	備考
番号	番号	ブツド		日付		種				mm	mm	mm	
149	S61	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	16.0	0.5	(1.0)
150	S63	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	17.0	0.4	(1.0)
151	S64	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	23.4	10.2	6.2
152	S66	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	23.9	12.0	8.5
153	S67	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目	心持ち		モヤシ属	1/3	22.9	0.7	8.1
154	S68	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	22.0	8.6	4.0
155	S70	L2	扉縁	11/26	漆塗り板	板目			スサ	1/3	21.9	9.4	3.0
156	S71	調5	尻庇縁	12/1	漆塗り板	板目			タリ	1/3	18.5	10.9	6.9
157	S139	井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(14.2)	0.7	(0.3)
158	S143	井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(13.9)	0.7	(0.3)
159	S82	W	扉縁	10/8	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(21.3)	8.0	(1.3)
160	S81	W	6層	10/26	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	21.2	0.2	(0.4)
161	S84	S2	尻庇縁	11/22	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(17.0)	0.6	(0.4)
162	S103	W	1層	8/27	漆塗り板	板目	○		モヤシ属	1/3	(13.0)	0.7	(1.3)
163	S158	井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目	心持ち		モヤシ属	1/3	(18.2)	(10.0)	7.3
164	S153	調5	尻庇縁	12/1	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	21.7	0.7	(0.3)
165	S154	S2	尻庇縁	11/19	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(15.2)	10.2	(2.0)
166	S243	W	尻庇縁	11/11	漆塗り板	板目			カバノ木属	1/3	(15.7)	9.7	(2.0)
167	S144	井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(12.2)	0.3	(0.4)
168	S145	井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(17.1)	0.3	(0.3)
169	S146	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	0.2	0.7	(0.1)
170	S147	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	(13.8)	0.4	(0.3)
171	S158	W	扉縁	10/8	漆塗り板	板目	○		モヤシ属	1/3	(16.9)	0.7	(0.3)
172	4207	W	扉縁	10/1	漆塗り板	板目	心持ち		モヤシ属	1/3			
173	S413	W	扉縁	11/17	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(4.9)	10.3	2.0
174	S161	調4	覆土	11/16	漆塗り板	板目	心持ち		モヤシ属	1/3	12.5	(1.0)	(2.3)
175	S162	調4	6層	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	22.4	0.7	(0.3)
176	S65	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3			
176	S65	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			ヒノキ属	1/3	26.0	10.1	6.3
		土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			ヒノキ属	1/3			
		土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			ヒノキ属	1/3			
177	S69	W	扉縁	10/8	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	20.6	10.3	7.5
		W	扉縁	10/8	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3			
178	S155	調4	覆土	11/19	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	24.5	(12.0)	8.4
		調4	覆土	11/19	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3			
		調4	覆土	11/19	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3			
179	S159	井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	(23.2)	(10.4)	13.4
		井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3			
		井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3			
180	S83	調2	6層	10/15	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	22.1	0.6	(0.2)
181	S149	W	扉縁	10/8	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(15.1)	0.7	(0.3)
182	S16	W	扉縁	10/15	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(15.4)	0.2	(0.2)
183	S141	井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(11.1)	0.6	(0.2)
184	S137	調2	6層	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	0.1	0.5	(0.1)
185	S148	井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			コナラ属	1/3	12.3	12.8	2.0
186	S160	井戸	覆土	10/6	漆塗り板	板目			コナラ属	1/3	12.8	(11.0)	(2.3)
187	S89	土組	覆土	9/23	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	0.7	0.6	(1.0)
188	S295	L3	扉縁	9/3	漆塗り板	板目			アスナロ	1/3	0.7	0.5	2.0
189	S168	W	IV層	10/14	漆塗り板	板目			スサ	1/3	9.1	11.8	2.1
190	1754	調2	6層	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	8.3	0.7	1.7
191	S149	井戸	覆土	10/15	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	8.0	10.4	2.1
192	S247	W	1層	9/1	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	11.6	10.9	1.4
193	S242	W	1層	9/13	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	12.0	(14.5)	1.7
194	S87	W	IV層	10/15	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	11.9	0.7	1.6
195	S188	W	扉縁	11/12	漆塗り板	板目	○		ササ	1/3	10.3	0.3	1.4
196	S142	井戸	覆土	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	(10.1)	0.1	1.4
197	S85	調2	覆土	10/22	漆塗り板	板目	○		ハリギヤ	1/3	(16.0)	0.7	(0.3)
198	S166	調2	6層	10/14	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	11.4	11.3	2.0
199	S167	調4	覆土	11/18	漆塗り板	板目			アスナロ	1/3	10.4	(11.2)	2.1
200	1752	調4	6層	10/12	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	7.4	0.5	1.7
201	1753	調2	6層	10/12	漆塗り板	板目			カツラ	1/3	8.9	0.7	1.7
202	S248	W	1層	8/27	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	0.9	0.7	0.5
203	S184	調1	1層	9/8	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	8.5	11.7	1.2
204	3528	W	1層	10/15	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	8.9	0.7	1.4
205	S294	W	扉縁	10/8	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	0.5	9.9	1.6
206	S298	L2	1層	8/25	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	8.2	9.9	1.2
207	S246	W	1層	9/8	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	0.2	16.9	1.6
208	S244	W	1層	9/8	漆塗り板	板目			モヤシ属	1/3	10.4	0.5	(1.0)
209	4514	W	1層	9/2	漆塗り板	板目			ハリギヤ	1/3	12.6	0.7	1.4
210	S150	W	扉縁	10/21	漆塗り板	板目			アスナロ	1/3	11.7	6.9	(1.3)
211	S151	W	1層	9/8	漆塗り板	板目			アスナロ	1/3	12.6	7.1	(1.5)
211	S55	W	扉縁	8/28	朽子	板目			ヒノキ属	1/3	(12.4)	9.2	1.9
212	S173	調2	6層	11/10	朽子	板目			アスナロ	1/3	0.7	2.0	1.8
213	S174	調2	6層	11/14	葉	板目			モヤシ属	1/3	(32.0)	0.7	(1.2)
214	S157	調2	6層	10/18	葉	板目			ヒノキ属	1/3	(28.4)	10.9	0.9

表V-6-4 木製品観察(4)

品目番号	産物番号	産物グループ	部位	取上げ目付	名称	性 質	木取り	検方	縦横	厚	幅	厚	備考
215	S434	楕4	塵土	10/1	楕	楕目	スギ	1/3	26.1	3.5	0.7		
216	S303	楕4	塵土	10/1	楕	楕目	アスナロ	1/3	26.2	0.7	0.6	A型	
217	S558	楕6	塵土	10/15	楕	楕目	スギ	1/3	25.4	0.7	0.7	B型	
218	S114	楕1	I層	10/20	楕	楕目	アスナロ	1/3	25.9	0.7	0.6	C型	
219	S287	楕4	塵土	11/19	楕	楕目	スギ	1/3	27.9	0.5	0.6	D型	
220	S199	楕1	塵土	8/23	楕	楕目	スギ	1/3	17.3	0.6	0.5	E型	
221	S572	楕6	塵土	10/15	楕	楕目	アスナロ	1/3	25.6	0.8	0.5	F型	
222	S629	楕6	塵土	10/15	楕	楕目	イタイ	1/3	28.9	0.8	0.6	G型	
223	S225	L2	II層	11/25	楕	楕目	アジナシ	1/3	34.9	1.2	0.8		
224	S43	楕1	塵土	9/8	マキ子楕	楕目	マキ子楕	1/3	28.6	0.2	2.3		
225	S45	丹戸1	榎方榎材	10/8	マキ子楕	楕目	マキ子楕	1/3	(14.0)	2.1	1.3		
226	S49	楕1	榎材	10/21	マキ子楕	楕目	マキ子楕	1/3	(14.0)	3.0	1.9	楕目「山は二」	
227	S192	楕2	6層	10/15	マキ子楕	楕目	スギ	1/3	13.9	2.9	1.5		
228	S41	楕1	II層	10/20	マキ子楕	楕目	マツ楕	1/3	14.4	3.7	2.3		
229	S202	楕2	6層	10/12	マキ子楕	楕目	スギ	1/3	(22.2)	0.9	2.0		
230	S194	楕1	II層	10/15	マキ子楕皮楕	楕目	カバノ楕	1/3	(7.7)	(4.2)	(0.8)		
231	S46	楕2	榎材楕	11/10	楕楕	楕目	マツ楕材	1/3	(0.4)	6.0	1.2	榎材用	
232	S43	楕1	塵土	10/19	楕がり楕	楕目	ヒノキ楕材	1/3	(15.0)	(5.0)	2.7	楕目「山は二」	
233	S47	L2	I層	9/1	楕	楕目	ヒノキ楕材	1/3	(0.8)	1.4	1.4		
234	S178	楕2	北側榎材	11/16	砵石台	楕目	マキ子楕	1/3	26.7	7.8	5.6		
235	S192	上段2	塵土	9/23	砵石台	楕目	マキ子楕	1/3	33.3	6.6	2.5		
236	S181	上段2	塵土	9/23	10層	榎木	マツ楕	1/3	(06.7)	(14.3)	4.7		
237	S175	楕1	榎材	10/21	楕楕	榎木	カバノ楕	1/3	31.7	9.2	8.2		
238	S56	上段2	塵土	9/23	10層き	楕目	マキ子楕	1/3	13.8	8.8	1.6		
239	S183	上段2	塵土	9/23	楕目楕	楕目	カバノ楕	1/3	11.9	8.5	8.3		
240	S192	榎材中7	塵土	10/20	榎目	楕目	マツ楕材	1/3	23.6	1.9	0.3		
241	S184	N1	北側楕	11/12	楕台	楕目	スギ	1/3	20.6	20.1	3.5	マキ子楕	
242	S183	楕2	北側楕	11/11	楕台	楕目	スギ	1/3	(22.4)	(11.0)	1.7	楕目	
243	S214	N2	北側楕	11/24	楕台	楕目	スギ	1/3	14.3	14.0	3.0	2段楕合	
244	S222	楕2	I層	10/1	楕台	楕目	マキ子楕	1/3	(20.5)	3.7	2.8		
245	S94	L1	北側楕	11/10	楕台榎	楕目	ヒノキ楕材	1/3	12.9	10.1	18.7	榎材用	
246	S345	L5	I層	8/25	楕台	楕目	スギ	1/3	15.2	5.7	0.8	榎材用?	
247	S199	楕1	I層	9/8	台榎	楕目	カバノ楕	1/3	(13.1)	4.2	4.3		
248	S343	L2	I層	9/6	榎材榎	楕目	マツ楕	1/3	(18.7)	(6.5)	2.3	内野金具	
249	S53	楕1	西側	11/22	楕楕	楕目	マツ楕	1/3	16.9	8.0	4.1		
250	S172	楕2	6層	11/19	丹子楕	楕目	アスナロ	1/3	(25.5)	7.5	0.9	一部に榎楕	
251	S147	楕1	II層	10/8	丹子楕	楕目	カバノ楕	1/3	(15.7)	(2.2)	(2.2)		
252	S261	楕2	榎材	10/20	楕楕	楕目	アスナロ	1/3	(6.5)	6.9	0.7		
253	S208	丹戸1	塵土	10/6	楕楕	楕目	カバノ楕	1/3	8.8	(1.4)	0.5		
254	S188	楕1	I層	11/2	命の口コロ	心持ち	カバノ楕	1/3	(3.5)	(3.4)	(1.5)		
255	S309	楕1	I層	8/28	命の口コロ	心持ち	カバノ楕	1/3	(5.8)	(4.4)	(1.6)		
256	S215	木枠1	塵土	10/7	榎材榎材	楕目	スギ	1/3	7.1	1.7	1.3		
257	S189	L2	北側楕	12/1	榎手	楕目	アスナロ	1/3	16.3	4.3	2.6		
258	S201	楕1	北側楕	11/23	榎入り材	楕目	アスナロ	1/3	(23.0)	(1.2)	(1.2)	榎材用?	
259	S308	楕1	榎材	10/14	榎入り材	楕目	マツ楕	1/3	(13.1)	(6.0)	1.1		
260	S186	楕2	6層	10/18	榎材楕	楕目	カバノ楕	1/3	11.9	4.6	1.8		
261	76	楕5		10/8	榎材楕	楕目	スギ	1/3	42.7	10.2	1.2	楕印	
262	S685	楕7	榎方	11/2	榎材楕	楕目	スギ	1/3	29.7	9.9	1.9	楕印	
263	S137	楕1	I層	9/8	榎材楕	楕目	スギ	1/3	31.0	4.9	2.0	楕印	
264	S340	L4	I層	9/14	榎材楕	楕目	スギ	1/3	32.5	8.5	1.7	楕印	
265	184	楕1	I層	9/15	榎材楕	楕目	スギ	1/3	28.8	16.5	1.8	楕印「改造」	
266	S90	楕1	I層	9/22	榎材楕	楕目	マキ子楕	1/3	(12.0)	4.2	0.8		
267	S211	楕2	たつき	10/27	榎材楕	楕目	マキ子楕	1/3	(7.1)	(2.0)	(0.9)		
268	S192	L2	II層	10/15	榎材楕	楕目	マツ楕	1/3	7.3	7.5	1.0		
269	S91	L1	I層	9/6	榎材楕	楕目	マキ子楕	1/3	(0.3)	(3.0)	1.2		
270	S48	L3	I層	8/25	榎材楕	楕目	マキ子楕	1/3	24.4	6.9	1.2		
271	S49	楕1	I層	8/20	榎材楕	楕目	マキ子楕	1/3	17.3	(3.2)	1.4		
272	S108	楕2	6層	10/21	榎材楕	楕目	スギ	1/3	(24.5)	(4.7)	(1.0)		
273	S52	楕1	10/28		榎材楕	楕目	スギ	1/3	28.9	4.9	1.6		
274	S56	楕1	塵土	10/26	榎材榎材	楕目	スギ	1/3	24.7	16.2	0.9		
275	S127	楕3	塵土	10/20	榎材楕	楕目	スギ	1/3	52.1	12.1	1.5	榎材	
276	77	楕3		10/12	榎材楕	楕目	スギ	1/3	42.9	8.2	1.1	榎材	
277	S223	上段2	塵土	10/29	榎材楕	楕目	スギ	1/3	41.6	4.9	1.2	榎材	
278	74	楕5	10/5		榎材楕	楕目	スギ	1/3	46.0	19.0	3.0	榎材	
279	S78	楕7		11/2	榎材楕	楕目	スギ	1/3	(41.7)	8.9	1.5	榎材	
279	S79	楕7		11/2	榎材楕	楕目	スギ	1/3	41.8	12.2	1.4	榎材	
1894	楕7			10/28	榎材楕	楕目	スギ	1/3	41.8	8.1	1.1	榎材	
1895	楕7			10/28	榎材楕	楕目	スギ	1/3	41.7	9.3	0.8	榎材	

*榎材楕の計測値は口径×縦径×厚高

